

リアホサ

総大会の 説教

ネルソン大管長、
昇栄を求めるよう家族を励ます

新しい中央幹部七十人と
中央日曜学校会長会が支持される

8つの新しい
神殿の発表、
開拓者時代の
神殿の改修





大管長会と十二使徒定員会、イタリア・ローマ神殿の訪問者センターにて

「2,000 年以上前、わたしたちの救い主イエス・キリストは、主の教会と主の福音を確立しながら、世を教え導かれました。主は使徒を召し、「あなたがたは行って、すべての国民を〔教えよ〕』とお命じになったのです〔マタイ 28：19〕。

わたしたちの時代に、主の教会が回復されました。救い主は、末日聖徒イエス・キリスト教会の頭として立てられています。イエス・キリストの現代の使徒として、わたしたちは今日、古代の使徒たちが述べたと同様のメッセージをお伝えします。—— 神は生きておられ、イエスはキリストであります。」

—— ラッセル・M・ネルソン大管長、3月にイタリア・ローマ神殿の奉獻のためにイタリアを訪れたときの言葉

リアホナ 2019年5月号 目次

第21巻・5号

土曜午前の部会

- 6 どうして理解できるでしょうか
ウリセス・ソアレス長老
- 9 注意深さと無頓着
ベッキー・クレブン
- 11 祈りの答え
ブルック・P・ヘイルズ長老
- 15 伝道活動——
心の中にあることを伝える
ディーター・F・ウークトドルフ長老
- 19 主がなされたように
W・クリストファー・ワデルビショップ
- 22 主の御霊がとどまる家庭
ヘンリー・B・アイリング管長

土曜午後の部会

- 26 教会役員の支持
ダリン・H・オークス管長
- 27 2018年度教会監査部報告
ケビン・R・ジャージェンセン
- 28 純粋でシンプルなイエス・キリストの
まことの福音
M・ラッセル・バラード会長

- 31 御霊によって知識を求める
マティアス・ヘルド長老
- 34 信仰の目
ニール・L・アンダーセン長老
- 38 キリストの言葉をよく味わう
和田貴志長老
- 41 主の御声を聞く
デビッド・P・ホーマー長老
- 44 見よ、神の小羊
ジェフリー・R・ホランド長老

中央神権部会

- 47 神権の作戦ノート
ゲーリー・E・ステイブソン長老
- 51 定員会—帰属意識を抱く場所
カール・B・クック長老
- 54 イエス・キリストを仰ぎ見る
キム・B・クラーク長老
- 58 神の僕を支持する信仰がもたらす力
ヘンリー・B・アイリング管長
- 60 その先に何があるだろうか
ダリン・H・オークス管長
- 67 行いを改善し、より良くなれます
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午前の部会

- 70 多くの祝福を得る
デール・G・レンランド長老
- 73 キリスト——
闇の中に輝く光
シャロン・ユーバンク
- 76 御父の子供たちに対する大きな愛
クエンティン・L・クック長老
- 81 主の再臨に備える
D・トッド・クリストファーソン長老
- 85 イエス・キリストの贖罪
タッド・R・カリスター
- 88 「わたしに従ってきなさい」
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午後の部会

- 91 悔い改めによる清め
ダリン・H・オークス管長
- 95 霊的な筋肉を働かせる
フアン・パブロ・ビラル長老
- 97 良い羊飼い、神の小羊
ゲレット・W・ゴング長老
- 101 すべての必要なものを得るために
備える
デビッド・A・ベドナー長老
- 105 すぐに与えられる神の慈しみ
カイル・S・マッケイ長老
- 107 霊性と守りの岩を築く
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 111 結びの言葉
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 64 末日聖徒イエス・キリスト教会の
中央幹部と中央役員
- 112 2018年度統計報告
- 113 大会で話された実話や物語の索引
- 114 教会のニュース
- 127 「わたしに従ってきなさい——
総大会のメッセージから学ぶ」



第189回年次総大会の概要

2019年4月6日土曜午前、一般部会

司会——ダリン・H・オークス管長
開会の祈り——スティーブン・E・スノー長老
閉会の祈り——ウィルフォード・W・アンダーセン長老
音楽——テンブルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；オルガニスト——リチャード・エリオット、アンドリュー・アンズワース；「いざ救いの日を楽しまん」『賛美歌』5番；“Press Forward, Saints,” *Hymns*, 81, ウィルバーク編曲；「心に光あり」『賛美歌』139番、ウィルバーク編曲；「イスラエルの救い主」『賛美歌』4番；“Dearest Children, God Is Near You,” *Hymns*, 96, ウィルバーク編曲；「神の子です」『賛美歌』189番、マーフィー編曲；「喜べ、主を」『賛美歌』32番、マーフィー編曲。

2019年4月6日土曜午後、一般部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り——ブレント・H・ニルソン長老
閉会の祈り——リサ・L・ハークネス
音楽——ブリガム・ヤング大学の学生による聖歌隊；指揮——ロザリンド・ホール、アンドリュー・クレーン；オルガニスト——リンダ・マーゲッツ、ボニー・グッドリフ；「来ませ、王の王」『賛美歌』29番、ケーセン編曲；「主イエスの愛に」『賛美歌』109番、ジェソップ編曲；「造り主の主を」『賛美歌』37番；「いやしく生まれ」『賛美歌』113番、ケーセン編曲；「主イエスよ、愛もて」『賛美歌』57番、スタヘリ編曲。

2019年4月6日土曜夜、中央神権部会

司会——ダリン・H・オークス管長
開会の祈り——ジョン・C・ビングリー・ジュニア長老
閉会の祈り——ブライアン・K・テラー長老
音楽——ユタ州レイトン地域にある複数のステークの若い男性から成るアロン神権者聖歌隊；指揮——スティーブン・シャック；オルガニスト——ブライアン・マシアス；「導きたまえよ」『賛美歌』41番、ウィルバーク編曲；「み恵み数えあげ」『賛美歌』153番、ケーセン編曲；「シオンのつわもの」『賛美歌』159番；「うるわしき救い主」『リアホナ』1998年10月号、シャック編曲。

2019年4月7日日曜午前、一般部会

司会——ダリン・H・オークス管長
開会の祈り——ブラッドリー・D・フォスター長老
閉会の祈り——ジーン・B・ビングム

音楽——テンブルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク；オルガニスト——アンドリュー・アンズワース、ブライアン・マシアス；“Sing Praise to Him,” *Hymns*, 70；「主のみ言葉は」『賛美歌』46番、ウィルバーク編曲；「救い主の愛」『子供の歌集』42番、カードン編曲；「来たれ、主の子ら」『賛美歌』31番；「力強き主よ」『賛美歌』164番、ウィルバーク編曲；「われに來よ」『賛美歌』66番、ウィルバーク編曲。

2019年4月7日日曜午後、一般部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り——タニエラ・B・ワコロ長老
閉会の祈り——クラウディオ・R・M・コスタ長老
音楽——テンブルスクウェア・タバナクル合唱団；指揮——マック・ウィルバーク、ライアン・マーフィー；オルガニスト——ボニー・グッドリフ、リンダ・マーゲッツ；「わが神、わが王」『賛美歌』87番、マーフィー編曲；「主に來たれ」『賛美歌』67番、マーフィー編曲；「天よりの声聞け」『賛美歌』166番；“I Know That My Savior Loves Me,” *Creamer and Bell*, マーフィー編曲；「絶えず頼り主求む」『賛美歌』53番、ウィルバーク編曲。

総大会の説教の入手

様々な言語に訳された総大会の説教をオンラインで聞くことができます。インターネットで conference.ChurchofJesusChrist.org にアクセスし、言語を選択してください。大会説教は「福音ライブラリー」モバイルアプリでも利用できます。通常、総大会後6週間以内に、英語による大会の映像と音声を録音したものが配送センターを通じて入手できるようになります。障がいのある会員が利用できる形式の総大会に関する情報は disability.ChurchofJesusChrist.org で入手できます。

表紙

表紙——写真／レスリー・ニルソン
写真／マシュー・ライアー

大会の写真

ソルトレーク・シティーにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。コーディー・ベル、ジャネイ・ビンガム、メーソン・コーバリー、ランディー・コリアー、ウェストン・コルトン、アシュリー・ラーセン、レスリー・ニルソン、マシュー・ライアー、クリステイナ・スミス



末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会:ラッセル・M・ネルソン, ダリン・H・オークス, ヘンリー・B・ア
イリング

十二使徒定員会:M・ラッセル・バラード, ジェフリー・R・ホランド, ディー
ター・F・ウークトドルフ, デビッド・A・ペドナー, クエンティン・L・クック,
D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン, ロナルド・A・ラ
ズバンド, ゲーリー・E・スティープンソン, デール・G・レンランド, ゲレ
ット・W・ゴング, ウリセス・ソアレス

編集長:ランディー・D・ファンク

顧問:ブライアン・K・アシュトン, ランドール・K・ベネット, ベッキー・ク
レーブ, クリスティナ・B・フランコ, シャロン・ユバンク, ドナルド
L・ホールストロム, ラリー・S・ケーチャー, エリック・W・コビシカ, リ
ン・G・ロビンズ

実務運営ディレクター:リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター:アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー:ガフ・キャン

編集主幹:アダム・C・オルソン

編集主幹補佐:ライアン・カー

出版補佐:カミラ・カストリヨン

執筆・編集:デビッド・ディクソン, デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・
フリットン, キャレット・H・ガーフ, ジョン・ライアン・ジェンセン, アー
ロン・ジョンストン, シャーロット・ラーカバル, マイケル・R・モリス, エリ
ック・B・マードック, ジョシュア・J・パーキー, ジョシュア・J・パーキー, ジ
ョアン・ピンボロ, リチャード・M・ロムニー, ミンディー・セル, ローリー・フ
ラー・ソウサ, チャケル・ワードレイ, マリッサ・ウィティソン

編集インターン:アレクサンドリア・パーマー

実務運営アートディレクター:J・スコット・クヌーセン

アートディレクター:タッド・R・ピーターソン

デザイン:ジャネット・アンドリュース, フェイ・P・アンドラス, マンディー・
ベントレー, C・キンボール, ポット, トーマス・チャイルド, ジョシュア・デ
ニス, デビッド・グリーン, コリン・ヒンクレイ, エリック・P・ジョンソン,
スーザン・ロフグレン, スコット・M・ムーイ, エミリー・チエコ・レミントン,
マーク・W・ロビンズ, K・ニコール・ウォーケンホースト

デザインインターン:ソフィア・スパノウ

版權および許諾コーディネーター:コレット・ネバカー・オーヌ

制作主幹:ジェーン・アン・ピーターズ

制作:アイラ・グレン・アデア, ジュリー・バーデット, トーマス・G・クロ
ニ, ブライアン・W・キユギ, キニー・J・ニルソン, マリッサ・M・スミス

製版:ジョシュア・デニス

印刷ディレクター:スティーブ・T・ルイス

配送ディレクター:ネルソン・ゴンザレス

日本語版翻訳課長:大森陽子

郵便宛先:Liahona, Fl. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City,
UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口
座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)
にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。

●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-
0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会
管理本部配送センター 電話:03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話:03-3440-2351

価 格 年間購読:国内 1,150円(送料込み)
(2018年1月より) 海外 1,150円(+送料実費)
海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへ
のお申込みをお勧めします。
普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉、「羅針盤」または「指示器」の意)
は、以下の言語で出版されています。
アルメニア語, アルメニア語, ビスラマ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブア
ノ語, 中国語, 中国語(簡体字), クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オラ
ンダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ
語, キリヤ語, ハンガリー語, アイランド語, インドネシア語, イタリア語,
日本語, キリリス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マ
シャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア
語, ロシア語, サモア語, スロベニア語, スペイン語, スワヒリ語, スウェーデン
語, タガログ語, タヒチ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベ
トナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2019 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷:韓国
著作権情報:制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは、
個人的に、また非営利目的(教会の召しめ含む)で使用する場合に複製する
ことができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。視覚資料
に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないこ
とがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office,
50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USA に
郵送するか、電子メール——cor-intellectualpropertyldschurch.
org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:
May 2019 Vol. 43 No. 5. LIAHONA (USPS 311-480) English
(ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus
Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City,
UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada,
\$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt
Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address.
Include address label from a recent issue; old and new address
must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt
Lake Distribution Center at address below. Subscription help line:
1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover,
MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store.lds.org.
(Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)
POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2).
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to
Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt
Lake City, UT 84126-0368, USA.



話者リスト(50音順)
アイリング, ヘンリー・B

22, 58
アンダーセン, ニール・L..... 34
ウークトドルフ, ディーター・F
..... 15
オークス, ダリン・H
.....26, 60, 91
カリスター, タッド・R..... 85
クック, カール・B 51
クック, クエンティン・L 76
クラーク, キム・B 54
クリストファーソン, D・トッド
..... 81
クレブ, ベッキー 9
ゴング, ゲレット・W 97
ジャーゲンセン, ケビン・R 27
スティープンソン, ゲーリー・E
..... 47
ソアレス, ウリセス 6
ネルソン, ラッセル・M
..... 67, 88, 111
バラード, M・ラッセル 28
ビラル, ファン・パブロ 95
ヘイルズ, ブルック・P 11
ペドナー, デビッド・A 101
ヘルド, マティアス 31
ホームー, デビッド・P 41
ホランド, ジェフリー・R 44
マッケイ, カイル・S..... 105
ユバンク, シャロン 73
ラズバンド, ロナルド・A..... 107
レンランド, デール・G 70
和田貴志 38
ワデル, W・クリストファー..... 19

テーマ別索引
あ愛

11, 15, 22, 28, 58, 73, 76
証 107
アロン神権 19, 47, 51
憐れみ 91
安息日 28
イエス・キリスト 6, 19,
22, 28, 34, 38, 44, 54, 67,
73, 81, 85, 88, 91, 95, 97,
101, 105, 107
祈り 11, 22, 58, 70
受け入れる 73
教える 6, 28, 76
か改心 19, 31, 38
解放 105
家族 34, 58, 76, 88
家族歴史 76, 81
活発化 19
家庭 22, 101, 107
神から受け継いだ特質 60
儀式 85, 88
犠牲 60
奇跡 15
希望 6, 91, 105
逆境 34, 73, 85
教会指導者 58
兄弟愛 51
キリストの光 73
悔い改め
..... 22, 67, 73, 85, 91
敬虔 44
啓示 31, 38, 41
幸福 9, 22
個人の価値 38
さ再臨 81
裁き 91, 111
支持 58
集合 81, 97
従順 70
祝福 70, 105
昇栄 88
贖罪 44, 85, 91, 97
ジョセフ・スミス
..... 22, 85, 101

神権 54, 58, 67
神権定員会 47, 51
信仰 6, 22, 34, 58, 70,
95, 107
親切 105
神殿 22, 111
神殿の業 76, 81, 101
真理 34, 107
救いの計画 60
聖餐 44
聖文研究 38
聖約 9, 54, 73, 88, 101
聖霊 22, 31, 38, 41
選択 60
備え 101, 107
た知識 31, 41
父親の務め 22, 58
父なる神 11
弟子の務め 6, 9, 15, 28,
47, 54, 67, 107, 111
伝道活動
..... 15, 22, 51, 76, 95
な慰め 105
肉体の死 85
日曜学校 101
忍耐 70, 105
はフェローシップ 51
復活 81, 91
平安 28
変化 67
奉仕 19
ま学び 6, 28, 101
ミニスタリング
..... 19, 28, 54, 97
メディア 76
模範 6
モルモン書 51, 81
や勇気 15
誘惑 47
赦し 22
預言者 34
喜び 28, 60, 88
ら靈感 31, 41
霊性 70, 47, 95, 107
霊の死 85



第189回年次総大会の見どころ

ラッセル・M・ネルソン大管長が教会の大管長として支持を受けて以来、総大会で数々の重要な変更が発表されてきました。

そのため、会員が今回の大会でさらなる変更の発表があるかもしれないと期待するのはごく自然なことでした。しかし、教会の指導者は異なった種類の変化、すなわち、救い主がわたしたち一人一人の心の中で行われる変化に焦点を当てたのです。

預言者の嘆願

ネルソン大管長は次のように述べています。「イエスは皆さんやわたしに『悔い改めよ』とお求めになるとき、……〔わたしたちに〕変〔わるように〕と勧めておられるのです。

……悔い改めを阻むものを特定し、それから変わってください！ 悔い改めてください！ わたしたちは皆、かつてないほど行いを改善し、より良い人になれるのです。」

- ネルソン大管長からの悔い改めへの招きを読んでください (67 ページ)。
- どうすれば悔い改めの祝福を享受できるかについて詳しくは、以下の説教を参

照してください：

- ダリン・H・オークス管長 (91 ページ)
- ヘンリー・B・アイリング管長 (22 ページ)
- タッド・R・カリスター (85 ページ)

教会における変更

多くの話者が前回発表された変更について述べました。M・ラッセル・バラード会長はわたしたちに「変更そのものを喜ぶあまりに、これらの変更の霊的な目的」を見失わないように勧めました。

- 福音のシンプルな真理に焦点を当てるようにというバラード会長の招きを読んでください (28 ページ)。
- ジェフリー・R・ホランド長老の話から、集会スケジュールの変更により聖餐会に対するわたしたちの焦点をどのように改善すべきか学んでください (44 ページ)。
- デビッド・A・ベドナー長老の話から、家庭を中心とした学習に焦点を当てることで期待できる結果を見つけてください (101 ページ)。
- ネルソン大管長が大管長として支持を

受けて以来発表されてきた変更を要約したリストを参照し、それらの霊的な目的を考えてください (121 ページ)。

新たな神殿と改修が行われる神殿

ネルソン大管長は大会を閉会するに当たり、8つの新たな神殿と、開拓者時代に建てられた神殿の大規模な改修の発表を行いました。しかし、大管長は個人が生活を新たにすることの必要性を強調しました。「主に対する信仰と信頼を通してわたしたちの生活を新たにすることができますように」と大管長は述べました。

- ネルソン大管長の結びの言葉を読んでください (111 ページ)。
- 新しい神殿の建設予定地のリストを御覧ください (124 ページ)。
- ソルトレーク神殿の改修計画について詳しくは、[ChurchofJesusChrist.org/go/05194](https://www.ChurchofJesusChrist.org/go/05194) を御覧ください。〔英語以外の言語での情報は、news.ChurchofJesusChrist.org を御利用ください。〕■





土曜午前の部会

十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

どうして理解できるで しょうか

熱心に、心を込めて、しっかりと、誠実にイエス・キリストの福音を学ぼうと努め、互いに教え合うときに、これらの教えは心を変えることでしょう。

愛する兄弟姉妹の皆さん、愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長の管理の下で末日聖徒イエス・キリスト教会のこの総大会に再びともに集えることは、何と大きな喜びでしょう。わたしは証します。わたしたちには、この大会で祈る人々、歌う人々、この時代に必要なことを語る人々の教えを通して、救い主イエス・キリストの御声を聞く機会があります。

使徒行伝に記録されているように、伝道者ピリポは、エチオピアの女王の財宝のすべてを管理していた、エチオピア人の宦官かんがんに福音を教えました。¹ その宦官はエルサレムでの礼拝から帰る途中でイザヤの書を読んでいました。ピリポは、御霊に促されて彼に近づくと、こう言いました。「あなたは、読んでいることが、わかりですか。」

「〔宦官〕は『だれかが、手びきをしてくれなければ、どうしてわかりましょう』と答え〔まし〕た。……

そこでピリポは口を開き、この聖句から説き起して、イエスのことを宣べ伝え〔まし〕た。²

このエチオピア人の問いかけは、わたしたちは皆、イエス・キリストの福音を互いに学び合い、教え合うように努めなけれ

ばならないという神の指示を思い出させます。³ 事実、福音を学び、教えるという観点から、時にわたしたちはそのエチオピア人のようです——忠実な、靈感を受けた教師の助けが必要です。また、時にはピリポのようです——改心の過程にある人々を教え、強める必要があります。

イエス・キリストの福音を学び、教えよう

と努めるときのわたしたちの目的は、神とその神聖な幸福の計画、イエス・キリストとその贖いの犠牲を信じる信仰を増すことと、永続する改心をすることであるべきです。このように信仰が増し、改心が深まると、それは神と聖約を交わして守る助けとなり、その結果としてイエスに従いたいという望みが増し、真の霊的な変化がもたらされます。言い換えれば、コリント人への手紙の中で使徒パウロが教えているように、わたしたちは「新しく造られた者」になるのです。⁴ この変化によって、わたしたちは、より幸せな、実り多い、健全な生活を送るようになり、永遠の観点からものを見続けられるようになります。このことが、エチオピア人の宦官に、救い主について学び、福音に改心した後実際に起こったのではないのでしょうか。聖典には、「宦官はよろこびながら旅をつづけた」とあります。⁵

互いに福音を学び、教え合うようにという戒めは、新しいものではありません。人類の歴史の初めから、繰り返し与えられてきました。⁶ あるとき、モーセとその民が約束の地に入る前にモアブの平野にいた



間に、主から受けている定めと契約を学んで子孫に教えるという責任について民に勧告するよう、主はモーセに靈感を下されました。⁷ 彼らの多くは、個人的に紅海を渡った経験やシナイ山で与えられた啓示の経験がありませんでした。

モーセは民にこう勧告しました。

「わたしがあなたがたに教える定めと、おきてとを聞いて、これを行いなさい。そうすれば、あなたがたは生きることができ、あなたがたの先祖の神、主が賜わる地にはいって、それを自分のものとすることができよう。……

……それらのことを、あなたの子孫に知らせなければならない。」⁸

最後にモーセはこう言っています。「あなたは、きょう、わたしが命じる主の定めと命令とを守らなければならない。そうすれば、あなたとあなたの後の子孫はさいわいを得、あなたの神、主が永久にあなたに賜わる地において、長く命を保つことができるであろう。」⁹

神の預言者たちは、「主の薫陶と訓戒とによって」¹⁰ また「光と真理の中で」¹¹ 子供たちを育てる必要があると一貫して教えてきました。ネルソン大管長は最近、次のように述べています。「不道徳と、依存症に発展するポルノグラフィが蔓延する今日、両親には子供の生活において神〔とイエス・キリスト〕がいかに重要であるかを教える神聖な責任があります。」¹²

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの愛する預言者の警告は、次のことを学んで家族に教えるように努めるとい個人的な責任をさらに思い出させます。すなわち、わたしたちを愛し、御自分の子供たちのために神聖な幸福の計画を進めてくださっている天の御父がおられること、その御子イエス・キリストは世の贖い主であること、救いは主の御名を信じる信仰からもたらされるということです。¹³ わたしたちの生活は、贖い主イエス・キリストの岩の上に築かれる必要があります。それ



は、個人的にも家族としても、自分の霊的な思いを心の中に刻むのに役立ち、信仰をもって堪え忍ぶのに助けとなります。¹⁴

皆さんは、バプテスマのヨハネの二人の弟子が、イエスは神の小羊、メシヤであられるというヨハネの証を聞いた後にイエス・キリストに従ったことを思い出さかもしれません。この善良な二人は「きてごらんなさい」というイエスの招きに応じ、¹⁵ その日は主のもとに泊まりました。彼らは、イエスがメシヤ、神の御子であられることを知るようになり、生涯イエスに従いました。

同様に、わたしたちは「きてごらんなさい」という救い主の招きを受け入れるとき、救い主につながり、自分自身を聖文の中に浸し、聖文を喜び、救い主の教義を学び、救い主の生き方に従って生活する必要があります。そうして初めて、わたしたちは主イエス・キリストを知り、主の声を認識するようになり、主のもとに来て主を信じるときに、決して飢えることや渴くことがないということを知るようになるのです。¹⁶ わたしたちは、あの日イエスとともに泊まったあの二人の弟子のように、常に真理を見極めることができるでしょう。

兄弟姉妹の皆さん、それは偶然には起こりません。神の至高の影響に自分の波長を合わせるのには簡単ではありません。神に求め、イエス・キリストの福音を生活の中心に置く方法を学ぶ必要があります。わたしは約束します。聖霊の影響はわたしたちの心と思いと真理を伝え、証し、¹⁷ すべてのことを教えてくれます。¹⁸

「だけれど、手びきをしてくれなければ、どうしてわかりましょう」というエチオピア人の問いかけには、学んだ福音の原則を自分の生活に取り入れるという個人の責

任の観点からも、特別な意味があります。例えば、エチオピア人の場合、ピリピから学んだ真理に従って行動し、バプテスマを受けたいと言いました。彼はイエス・キリストが神の御子であられることを知るようになったのです。¹⁹

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちの行動は、自分が学び、教えていることを反映するものでなければなりません。生き方を通して自分の信念を示す必要があるのです。最良の教師は、良い手本となる人です。自分が実際に従っている生き方を教えると、教える相手の心を変えることができます。その相手が家族であろうとなかろうと、聖文や、わたしたちの時代の生ける使徒と預言者の教えを、喜びをもって心の中に大切に蓄えてもらいたいと思うならば、わたしたちがそれらを喜んでいる姿を見てもらう必要があります。同様に、ラッセル・M・ネルソン大管長がこの時代の預言者、聖見者、啓示者であることを知ってもらいたいと思うならば、わたしたちが手を挙げて彼を支持し、彼が靈感を受けた教えに従っている姿を見てもらう必要があります。よく知られているアメリカのことわざにあるように、「行動は言葉よりも雄弁」なのです。

皆さんの中に、今、次のように考えている人がいるかもしれません。「ソアレ長老、わたしはこれらのことをすべて行い、個人としても家族としても、この模範に従ってきました。それでも、残念なことに、友人や愛する人々の中には主から遠ざかった人がいます。どうすればよいのでしょうか。」今、悲しみや苦しみ、あるいは後悔の気持ちを感じている人に申し上げます。彼らは決して行方知れずではな



いということを知っておいてください。主は彼らのいる場所を御存じであり、見守っておられるからです。覚えておいてください。彼らも神の子供なのです。

別の道を選ぶ人がいる理由をすべて理解することは困難です。このような状況にあってわたしたちができる最善のことは、ただ、彼らを愛して抱き締め、彼らの幸せのために祈り、そして何を行い、何を言うべきか知るために主の助けを求めることです。彼らの成功と一緒に心から喜んでください。彼らの友となり、良い点を探してください。彼らのことを決して諦めず、関係を保ってください。決して拒絶せず、不当に裁かないでください。ただ彼らを愛しましょう。放蕩息子のたとえが教えているのは、子供たちは本心に立ち返ると、家に帰りたいと思うことがしばしばあるということです。愛する人々にそのようなことがあれば、放蕩息子の父親が行ったように、思いやりに満ちた心で彼らのもとへ走り寄り、その首を抱いて口づけしてください。²⁰

詰まるところ、ふさわしい生活を続け、皆さんが信じていることの良い模範となり、救い主イエス・キリストにさらに近づいてください。救い主はわたしたちの深い悲しみと苦痛を御存じであり、理解しておられます。この世ではなかったとしても次の世で、救い主は、愛する人々に対する皆さんの努力と献身を祝福してください。兄弟姉妹の皆さん、希望は福音の計画の大切な一部であるということを常に覚えておいてください。

教会で長年奉仕する間ずっと、わたしは、これらの原則を一貫して生活に應用している忠実な会員たちを見てきました。次に紹介するのは、あるシングルマザーの事例です。ここでは「メアリー」と呼びます。悲しいことに、メアリーは、つらい

離婚を経験しました。そのとき彼女は、家族について自分が行う最も重要な決断は霊にかかわることだと気づいたのです。祈り、聖文研究、断食、教会への出席、神殿参入を続けることは、彼女にとって重要ではなかったでしょうか。

メアリーは常に忠実であり、その危機的な状況のときに、すでに真実であると知っていることに従い続けよう決意しました。彼女は『家族——世界への宣言』の中に強さを見いだしました。多くのすばらしい原則の中に、このような教えがあります。「両親には、愛と義をもって子供たちを育て、〔神の戒めを常に守るように教える〕という神聖な義務があります。」²¹彼女は絶えず主からの答えを探し求め、家族とのあらゆる機会を通じてその答えを4人の子供と分かち合いました。福音について頻繁に話し合い、互いに経験と証を分かち合いました。

子供たちは、悲しみを経験していたにもかかわらず、キリストの福音に対する愛を深め、ほかの人々に仕えてその愛を分かち合いたいという望みを強くしました。3人は専任宣教師として忠実に奉仕を終えており、末っ子は今、南アメリカで伝道中です。わたしもよく知っている長女は、結婚していて強い信仰があり、こう語っています。「わたしは、母が一人でわたしたちを育てていると感じたことは一度もありません。我が家にいつも主がいてくださったからです。母が主について証を述べたことで、わたしたちはそれぞれ、主に直接問いかけるようになりました。わたしは母が福音を生活に取り入れてくれたことに、とても感謝しています。」

兄弟姉妹の皆さん、この善良な母親は、自分の家庭を霊的な学びの場とすることができました。あのエチオピア人の問い

かけと同様、メアリーは何度もこう自問しました。「母親が導かなければ、どうして子供たちは学べるでしょうか」と。

福音における愛する同僚の皆さん、わたしは証します。真の目的を持って、御霊の影響の下で、熱心に、心を込めて、しっかりと、誠実にイエス・キリストの福音を学ぼうと努め、互いに教え合うときに、これらの教えは心を変え、神の真理に従って生活したいという望みを抱かせることでしよう。

わたしは証します。イエス・キリストは世の救い主であられます。贖い主であり、今も生きておられます。イエス・キリストが、預言者、聖見者、啓示者を通して教会を導いておられることを、わたしは知っています。またわたしは証します。神は生きておられ、わたしたちを愛しておられます。御自分のもとに戻るよう、わたしたちに望んでおられます。わたしたち全員にです。神はわたしたちの祈りを聞いてくださいます。これらが真実であることを、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

注

1. 使徒 8 : 27 参照
2. 使徒 8 : 30 - 31, 35
3. 教義と聖約 88 : 77 - 78, 118 : 130 : 18 - 19 ; 131 : 6 参照
4. 2 コリント 5 : 17 参照
5. 使徒 8 : 39
6. モーセ 6 : 52, 57 - 58 ; 申命 4 : 5, 14 : 5 : 1 ; 教義と聖約 43 : 8 - 9 ; 130 : 18 - 19 ; 136 : 32 参照
7. 申命 4 : 10 参照
8. 申命 4 : 1, 9
9. 申命 4 : 40
10. エベソ 6 : 4 ; エノス 1 : 1
11. 教義と聖約 93 : 40
12. ラッセル・M・ネルソン「救いと昇栄」『リアホナ』2008年5月号, 9 参照
13. モーサヤ 3 : 9 参照
14. ヒラマン 5 : 12 参照
15. ヨハネ 1 : 38 - 39 参照
16. ヨハネ 6 : 35 参照
17. ヨハネ 16 : 13 参照
18. ヨハネ 14 : 26 参照
19. 使徒 8 : 37 - 38 参照
20. ルカ 15 : 20 参照
21. 『家族——世界への宣言』『リアホナ』2017年5月号, 145 参照



中央若い女性会長会第二顧問
ベッキー・クレープン

注意深さと無頓着

この世の影響力がますます悪を受け入れる中であって、救い主のみもとへと安全に導く道にしっかりとどま〔るよう〕力の限り努力しなければなりません。

以前、ショーウィンドウにこのような貼り紙があるのを見かけました。「幸福、15ドル。」15ドルで買うことのできる幸福がどれほどのものか知りたくなったわたしは店に入りました。そこで見つけたのは、たくさんの安物のアクセサリーと土産物でした。貼り紙が意味する幸福をもたらしてくれるものは何一つなかったのです。長年にわたり、その貼り紙について、また安くはかないものの中に幸福を見いだすことがどれほど容易かについて何度も思い巡らしました。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、わたしたちは真の幸福をどこで、またどのように見いだせるか知っているという祝福にあずかっています。それは主であり救い主であるイエス・キリストによって確立された福音に注意深く従って生活し、さらに主のようになるよう努める中で見いだすことができます。

親友に電車の運転士がいます。ある日、彼が路線で電車を走らせていると、線路上に止まっている車が見えました。車が立ち往生していて線路を渡ることができない状態にあることにすぐ気づきました。そこで電車を非常用モードに切り替え、機関車の後ろに4分の3マイル(約1.2キロ)続く、貨車1両ごとのブレーキを作動させました。貨車は5,900トンもの積み荷を載せていましたから、車にぶつからずに止まるのは物理的に不可能でした。幸運にも、車の中にいた人々は電車

の警笛を聞き、衝突前に車から脱出することができました。運転士の彼が捜査中の警察官と話していると、怒った様子の女性が近づいて来ました。彼女は事故の一部始終を目撃したと大声を出し、運転士が車をよけようと試みることをしなかったと証言しました。

車との衝突を避けようとした場合、列車は脱線して大破し、急停車を余儀なくされ、彼が命を落としていたであろうことは明らかでした。幸いにも、列車が走っていた線路のレールは、列車の車輪をその上にしっかりと乗せたまま、障害物をものともせず、列車を目的地に向かって動かし続けたのです。幸いなことに、わたしたちも、道すなわち聖約の道にいます。それ

は末日聖徒イエス・キリスト教会の会員としてバプテスマを受けたときに、とどまると決意した道です。途中で障害物に遭遇することもあります。この道は、そこにしっかりとどまるなら、きわめて重要な永遠の行く末に向かってわたしたちを導き続ける道なのです。

命の木の示現は、無頓着から来る影響がどのようにわたしたちを聖約の道から引き離すかを示しています。鉄の棒と細くて狭い道、または聖約の道が、まっすぐ命の木に向かつて通じていることを考えてみてください。そこでは、忠実な者に救い主と贖罪によってもたらされるすべての祝福が与えられます。示現で見たものの中には、世の汚れを表す、水の流れている川があります。聖文では、この川は道に「〔沿って〕流れて」いましたが、木の「そば」を流れていただけであり、命の木に向かつて流れていただけではありません。この世は選民をも惑わす、気を散らすものであふれています。それらは、聖約に従って生活することに無頓着にさせるので、木のそばには導きますが、木に向かつて導くことはしません。もしわたしたちが聖約に厳密に従って生活することに注意を払わなければ、最終的には無頓着な態度が禁じられた道へと導き、大きく広々とした建物にすでにいる





人々に加わることになるかもしれません。もし注意を払わなければ、汚れた川の深みにおぼれてしまうかもしれないのです。¹

福音に従って生活することを含め、あらゆることを行う際には注意深く行う方法と無頓着に行う方法があります。救い主に対するわたしたちの献身を振り返るとき、それは注意深いものでしょうか。それとも無頓着なものでしょうか。わたしたちが持つ死すべき性質のため、行いについて言及する際、あまり良くない行いであっても許される範囲と見なす、あるいは良いものを混ぜたりするなどして、振る舞いを時折正当化することがないでしょうか。預言者の勧告に従うことや福音に従って生活することに注意を払っていても、「けれども」「～を除いて」あるいは「でも」を使うときはいつでも、実際は次のように言っていることになるのです。「その勧告はわたしには当てはまらない。」望むものすべてを正当化することはできますが、**正しい道を歩んでいるのなら、誤った行いに導かれるはずはないのです。**

2019年の青少年のテーマはヨハネによる福音書第14章15節から取っており、主が次のように命じておられます。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」わたしたちが主張するとおり主を愛するならば、戒めに従って生活することにもう少し注意を払うことで愛を示さないでしょうか。

福音に注意深く従って生活することは、必ずしも形式的になったり、息苦しくなったりするという意味ではありません。思いや振る舞いをイエス・キリストの弟子とし

てふさわしいものにするという意味です。福音に従った生活に注意深くなることと無頓着になることの違いについて深く考える際、以下の事柄について考慮すべきです。

毎週の安息日の礼拝や聖餐を取る備えに注意を払っているだろうか。

祈りや聖文研究をもっと注意深く行うことはできるだろうか。あるいは『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』にさらに積極的に携わることはできるだろうか。

神殿での礼拝に注意を払っているだろうか。バプテスマを受けたときや神殿で交わした聖約の両方に注意深く、丹念に従って生活しているだろうか。特に神聖な場所や状況において、自分の外見や慎重な服装に注意を払っているだろうか。神聖な神殿のガーマントをどのように着用するかに注意を払っているだろうか。あるいはこの世のファッションを身に着けることで、より無頓着になっていないだろうか。

どのようにミニスタリングを行うか、教会での召しをどのように果たすかに注意を払っているだろうか。それとも奉仕の召しに無関心あるいは無頓着だろうか。

読むもの、テレビや携帯機器で見るとものに注意を払っているだろうか。それとも無頓着だろうか。言葉に注意を払っているだろうか。それとも低俗で下品な言葉が無頓着に使っているだろうか。

小冊子『若人の強さのために』には、注意深く従うときに豊かな祝福をもたらす、聖約の道にとどまらせる標準が含まれています。これは青少年を益するために書かれたものですが、これらの標準は、若い男性や若い女性のプログラムを離れても

有効です。わたしたち一人一人がいつでも応用できるものです。これらの標準を見直すことで、福音に従った生活にもっと注意を払うように促されるかもしれません。

わたしたちは、だれかに合わせたり、だれかのご機嫌を取るために自分の標準を下げたりするようなことはしません。わたしたちはイエス・キリストの弟子です。ですから人々を高め、彼ら自身も大いなる祝福を刈り取ることでできる、より高く、より神聖な場所へと導くのです。

さらに注意深く聖約に添った生活を送るにはどのように軌道修正すればよいかを知るために、一人一人が聖霊の導きを求めるようお勧めします。どうかこの同じ旅路を歩む人々を批判しないでください。『裁きはわたしのすることである』……と、主〔は言って〕おられます。² わたしたちはそれぞれ成長と変化の過程にいます。

モルモン書に記された、背教したアムリサイ人の話は興味深いものです。イエス・キリストと主の教会にもうかがわれないことを人々に知らせる方法として、彼らは皆に分かるように、額に特別な赤いしるしを付けました。³ それとは反対に、わたしたちはイエス・キリストの弟子として、自分たちにどのようなしるしを付けるでしょうか。人々はわたしたちの顔に主の面影を容易に見だし、わたしたちが注意深く生活を送ることによってだれを代表しているか知ることができるでしょうか。

聖約の民として、わたしたちはこの世に溶け込むためにいるものではありません。わたしたちは「神につける民」と呼ばれています。⁴ —— 何と光栄なことでしょう。この世の影響力がますます悪を受け入れる中であって、救い主のもとへと安全に導く道にしっかりとどまり、聖約に従う生活と世の影響力との間の距離を広げるよう、力の限り努力しなければなりません。

永続する幸福を得ることについて思い巡らすとき、わたしたちは時折自分自身が



七十八
ブルック・P・ヘイルズ長老

祈りの答え

あいまいな領域にいることに気がつきま
す。暗黒の霧は、聖約の道に添って旅を
するうえで避けられないでしょう。誘惑や
無頓着は、わたしたちの進路を聖約の道
から世の暗闇へとわずかにそらします。
このようなことが起こり得るときのため
に、わたしたちの愛する預言者であるラッ
セル・M・ネルソン大管長は、聖約の道に
戻るよう、また素早く戻るよう強く勧めて
います。悔い改めの賜物と、救い主の贖
罪の力にわたしはどれほど感謝している
ことでしょう。

完全な生活を送ることは不可能です。
しかし、この星の栄えの惑星で生活してい
た間に完全な生涯を送られた人物が一人
だけいました。その御方こそイエス・キリ
ストです。兄弟姉妹の皆さん、わたしたち
は完全ではありませんが、ふさわしくなる
ことができます。聖餐を取るのにふさわし
く、神殿の祝福を受けるのにふさわしく、
個人の啓示を受けるのにふさわしくなるこ
とができるのです。

ベニヤミン王は、注意深く救い主に従う
者にもたらされる祝福について証してい
ます。「そしてさらにあなたがたは、神の
戒めを守る者の祝福された幸福な状態に
ついて考えてほしい。見よ、これらの者は
物質的にも霊的にも、すべてのことにつ
いて祝福を受ける。そして、もし最後まで
忠実であり続けるならば、彼らは天に迎え
られ、決して終わりのない幸福な状態で
神とともに住めるのである。」⁵

幸福は15ドルで買うことができますか。
いいえ、できません。深く永続する幸福
は、意識して注意深くイエス・キリストの
福音に従って生活することによってもたら
されます。イエス・キリストの御名によっ
て、アーメン。■

注

1. ニーファイ8章:15章参照
2. モルモン8:20
3. アルマ3:4参照
4. 1ペテロ2:9
5. モーサヤ2:41

天の御父はわたしたちとわたしたちの必要を御存じで、完全な
助けを下さいます。

イエス・キリストの福音の中で重要か
つ慰めを与えてくれる教義は、天の御父
が子供たちに対して完全な愛を持ってお
られることです。その完全な愛ゆえに、
わたしたちの望みや必要に応じてのみな
らず、天の御父の無限の知恵に従って祝
福を与えてくださいます。預言者ニーフ
アイは、このように簡潔に語っています。
「わたしは、神がその子供たちを愛してお
られること[を]知っています……。」¹

完全な愛の一つの側面として、天の御父
は、わたしたちが自分でも気づかず分か
らない、生活のささいなことにもかかわ
っておられます。心を込めた熱心な祈りによ
って、わたしたちは天の御父の聖なる導きと
助けを求めます。聖約を守り、もっと救い
主のようになろうと努力するとき、聖霊の

影響と靈感を通して、変わることなく²流
れ込む神の導きを受ける権利があります。

聖文は次のように教えています。「あなた
がたの父なる神は、求めない先から、あな
たがたに必要なものはご存じであ[り]」³、
「すべてのことが目の前にあるのですべて
のことを知っている者[である。]」⁴

預言者モルモンがその良い例です。彼
は自分の業の結末を、生きて見ることは
なかったものの、主が注意深く導いてくだ
さっていることを理解していました。モル
モンは、ニーファイの小版を記録に加える
ようにという促しを感じたとき、このよう
に記しました。「わたしは、ある賢明な目的
のためにこのようにする。わたしの内にある
主の御霊の働きによって、わたしにその
ようなささやきがあるからである。わたし





はすべてのことを知っているわけではないが、主は将来起こることをすべて御存じである。したがって主は、御自分の御心どおりに行うように、わたしに働きかけられるのである。」⁵ モルモンは将来 116 枚の原稿が無くなることを知りませんでした。主はそれが起こる前に、障害を克服する方法を備えられていたのです。

天の御父はわたしたちとわたしたちの必要を御存じで、完全な助けを下さいます。神の助けを願い求めた瞬間に助けが与えられることもあれば、最も熱心でふさわしい願いが望んだ方法でこたえられないこともあります。神は、よりすばらしい祝福をわたしたちのために用意されています。そして時には、義にかなった願いがこの世ではかなえられないこともあります。天の御父がわたしたちの懇願にこたえてくださる方法を、3つのお話を通して説明したいと思います。

我が家の末の息子が、フランス・パリ伝道部で奉仕するように召されました。その準備のために息子と一緒に出かけ、ワイシャツ、スーツ、ネクタイ、靴下、コートを買って出かけました。残念なことに、彼が欲しかったコートは必要なサイズの在庫がありませんでした。しかし店員は、そのコートは数週間で入荷されるので、彼がフランスにたつ前にはプロボの宣教師訓練センターに届けられるだろうと言いました。わたしたちは代金を支払うと、それ以上コートについて考えることはありませんでした。

息子は6月に宣教師訓練センターに入所し、コートは8月の出発予定日の数日

前に届いたため、息子はコートを試着することなく、服やほかの荷物と一緒に急いでかばんに詰め込みました。

伝道しているパリに冬が近づくと、コートを引っ張り出し着てみたら小さすぎたと息子は手紙に書いてきました。そこでわたしたちは銀行にお金を余分に入金しなければならなくなり、彼はパリでコートを新たに購入しました。わたしは少しいらいらして、着られないのならば初めのコートはあげてしまうようにと手紙に書きました。

後に、息子からこのようなEメールを受け取りました。「ここは、とてつもなく寒いです。……風が身に染みますが、新しいコートは厚手で最高です。前のコートは、[同じアパートの宣教師に] あげました。彼は、もっといいコートが手に入るように祈っていたと言いました。彼は数年前に改宗し、母親しかおらず、……彼にバプテスマを施した宣教師から伝道資金をサポートしてもらっているようで、あげたコートが祈りの答えだと知り、とてもうれしくなりました。」⁶

天の御父は、家から6,200マイル(1万キロ)離れてフランスで伝道しているこの宣教師が、寒いパリの冬にオーバーコートを早急に必要でも購入する手立てがないことを御存じでした。御父はまた、息子がユタ州プロボの洋品店から受け取るオーバーコートが小さすぎること御存じでした。この二人の宣教師がパリでともに伝道することも、そのコートが必要に迫られている宣教師の謙遜で熱心な祈りの答えとなることも御存じでした。

救い主は次のように教えておられます。

「二羽のすずめは一アサリオンで売られているのではないか。しかもあなたがたの父の許しがなければ、その一羽も地に落ちることはない。

またあなたがたの頭の毛までも、みな数えられている。

それだから、恐れることはない。あなたがたは多くのすずめよりも、まさった者である。」⁷

またほかの状況としては、ふさわしい願いが望んだ方法でかなえられないとき、実はそれがわたしたちにとって究極の益となるためかもしれません。例えば、ヤコブの息子ヨセフは、ねたみや憎しみにより兄弟たちから殺される場所でしたが、代わりに奴隷としてエジプトに売られました。⁸ 望んだ方法で祈りがこたえられなかったと感じた人がいたとしたら、それはヨセフでしょう。実際には、その一見すると不幸な出来事は結果的に祝福となり、家族を飢餓から救うことになったのです。後にエジプトの信頼される指導者となったヨセフは、偉大な信仰と知恵をもって兄弟たちに言いました。

「しかしわたしをここに売ったのを嘆くことも、悔むこともありません。神は命を救うために、あなたがたよりさきにわたしをつかわされたのです。

この二年の間、国中にききんがあったが、なお五年の間は耕すことも刈り入れることもないでしょう。

神は、あなたがたのすえを地に残すため、また大なる救をもつてあなたがたの命を助けるために、わたしをあなたがたよりさきにつかわされたのです。

それゆえわたしをここにつかわしたのはあなたがたではなく、神です。」⁹

長男が大学生のころ、卒業後にすばらしい正社員の仕事につながる可能性のある、とても良いアルバイトに就きました。学生としての4年間の間、熱心に働き、技能を高め、同僚や上司からもとても敬意を持たれていました。4年生の終わりに、(少な

くとも息子の考え方によると)まるで天で画策されたように、正社員のポジションが空き、彼はその最有力候補であり、実際その仕事に就けるといふ兆しや期待が高まっていました。

しかし、息子は雇われず、だれも理由が分かりませんでした。息子はよく備え、面接もうまくいき、最も有能な候補であり、大きな希望と期待をもって祈っていたからです。息子はひどく落胆し、打ちひしがれ、この一連の出来事にわたしたちは皆困惑させられました。神はなぜ、息子の義になかった願いを聞き入れてくださらなかったのでしょうか。

その答えがはっきりとしたのは、それから何年もたった後のことでした。もし息子が卒業後にその夢の仕事に就いていたら、人生を変える重大な機会を逃していたことでしょう。今になって、彼にとって永遠の益と祝福のためだったことが分かります。神は、(いつもそうであるように)初めから終わりまでを御存じなので、このような場合には、多くの義になかった祈りへの答えが「ノー」であるのは、はるかに良いもののためなのです。

そして時に、義にかない、必死に、熱心に求める祈りへの答えは、この世では与えられないのです。

パトリア・パーキンソン姉妹は、通常の視力を持って生まれましたが、7歳のときに視力を失い始めました。パットは9歳のとき、ユタ州オグデンにあるユタ盲・ろう学校に通い始めました。家から約90マイル(145キロ)ほどの所にあつたため、寮生活をする必要があり、9歳児がかかるあらゆるホームシックを経験しました。

11歳になるまでに完全に視力を失い、地元の高校に通うため、15歳で実家に戻りました。彼女は大学に進み、コミュニケーション障害と心理学の学位を取得し、卒業しました。また、否定的な入学選考員を相手に果敢に奮闘して大学院に入り、音声言語病理学の学士号を取得しまし

た。パットは今、53人の小学生のために働き、自分の学区内で4人の言語療法士の指導に当たっています。自宅と自家用車を所有し、パットの移動手段として友人や家族がその車を運転します。

パットが10歳のとき、視力低下に対処するために別の医療処置が予定されました。両親はいつも、医療に関して何が行われるかをきちんと伝えていましたが、この処置についてはなぜか伝えていませんでした。両親がその処置の予定を彼女に話すと、母親が言うには、彼女は「ひどい有様」でした。パットは別の部屋へ行って戻って来ると、少し憤って両親にこう言いました。「ちょっと言わせて。わたしも、神様も、たぶんお父さんやお母さんも

分かっているかもしれないけど、わたしは一生目が見えなくなるの!」

何年前か、パットはカリフォルニアに住んでいる自分の家族を訪ねました。3歳の甥と外で遊んでいると、彼はこう言いました。「パットおばさん、どうして天のお父様に新しい目を下さいってお願いしないの。天のお父様をお願いしたら、何でもかなえてくれるんだから、お願いすればいいだけだよ。」

彼女は一瞬戸惑いながらもこう答えたそうです。「そうねえ、天のお父様はそうされないときもあるのよ。何かを学ぶ必要があるときは、願っているものが与えられないこともあるの。待たなければならぬときもあるのよ。天のお父様と救い





主は、わたしたちにとって良いことと必要なことをいちばんよく御存じだわ。だから、望んだときに願ったことをすべて与えてくださるわけではないの。」

わたしは長年パットを知っています。最近、彼女がいつも前向きで幸せそうなことを立派だと思いと伝えました。すると彼女はこう答えました。「わたしと家にずっと一緒にいたことはないですよ。大変なときもあります。重いうつ状態になったり、たくさん泣いたりもしました。」しかしこう付け加えました。「視力を失い始めてから、不思議と天の御父と救い主がわたしや家族とともにいてくださることが分かりました。できるかぎり最善の方法を取りましたし、正しい方法だったとわたしは思っています。最終的には十分成功したと言えると思いますし、たいがい幸せに感じてきました。すべてに御父の御手があったことを覚えています。盲目だということに腹が立たないかと聞かれたら、こう答えます。『だれに対してですか。天の御父はわたしとともにこの状況にいてくださっているのです。わたしは独りではありません。御父が常にともにいてくださるのです。』」

視力を取り戻したいというパットの願いはこの世ではかなわないかもしれません。彼女が父親から学んだモットーは、「これ

も過ぎ去る」¹⁰ ということです。

ヘンリー・B・アイリング管長はこう述べました。「御父はこの瞬間も、皆さんや、皆さんの気持ち、また皆さんの周囲の人々の霊的、物質的な必要を完全に御存じであることを心から、個人的に証します。」¹¹ これらの3つのお話に、この偉大で慰めとなる真理を見いだすことができます。

兄弟姉妹の皆さん、祈りが望んだとおりにすぐにこたえられることもあれば、望んだようにはこたえられないこともあります。が、時とともに、当初期待していたよりもすばらしい祝福を神が備えてくださっていたことが分かります。そして、義にかなった懇願が、この世ではかなえられないこともあります。¹² ニール・A・マックスウェル長老が言ったように、「信仰は神が定められた時に対する信頼を含みます。」¹³

天の御父は御自身の方法で、御自身が定められた時に、祝福を与え、わたしたちの懸念や不当な扱い、失望を解決してください。

ベニヤミン王の言葉を引用します。「そしてさらにあなたがたは、神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態についても考えてほしい。見よ、これらの者は物質的にも霊的にも、すべてのことについて祝福を受ける。そして、もし最後まで忠実であり続けるならば、彼らは天に迎えられ、決し

て終わりのない幸福な状態で神とともに住めるのである。おお、これらのことが真実であることを記憶にとどめ、覚えておきなさい。主なる神がこれを言われたからである。」¹⁴

神がわたしたちの祈りを聞いておられることをわたしは知っています。¹⁵ すべてを御存じで、愛ある御父は、無限の知恵により、わたしたちの究極の益と祝福となる方法で、わたしたちの祈りに完全にこたえてくださることを、わたしは知っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 1ニーファイ 11:17; 1ヨハネ 4:8も参照
2. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 93-96参照
3. マタイ 6:8
4. 教義と聖約 38:2
5. モルモン言葉 1:7
6. 個人的な書簡
7. マタイ 10:29-31
8. 創世 37:20, 26-28参照
9. 創世 45:5-8
10. 2018年12月10日、パトリシア・パーキンソンとの個人的な対談から
11. ヘンリー・B・アイリング「御子の御霊を受けられるように」『リアホナ』2018年5月号, 88
12. ジェフリー・R・ホランド「すでに現れた祝福の大祭司」『リアホナ』2000年1月号, 42-45参照
13. ニール・A・マックスウェル「弱り果てて意気そそぐしないために」『聖徒の道』1991年7月号, 91
14. モーサヤ 2:41
15. See "Power of Prayer," mormon.org/beliefs/power-of-prayer.



十二使徒定員会
ディーター・F・ウークトドルフ長老

伝道活動 —— 心の中にあることを 伝える

皆さんはこの地上のどこにいても、イエス・キリストの福音の良い知らせを伝える機会がたくさんあります。

先月、十二使徒会は、愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長の招きで、イタリア・ローマ神殿の奉獻式に同行しました。その旅行中に、わたしは使徒パウロと彼の旅について考えました。当時はエルサレムからローマまで、40日はかかったでしょう。現在は、わたしの大好きな飛行機で3時間足らずです。

聖書学者たちは、パウロはその手紙の何通かを書いたときにローマにいたと信じています。その手紙は、今日と同様、当時の教会員を強めるうえで非常に重要でした。

パウロと古代の教会のほかの会員たち、すなわち初期の聖徒たちは、犠牲についてよく知っていました。多くの聖徒がひどい迫害を受け、死ぬことさえあったからです。

過去200年、回復されたイエス・キリスト教会の会員、すなわち末日聖徒も、様々な形で迫害を受けてきました。しかし、その迫害にもかかわらず（また、時にはその迫害によって）末日聖徒イエス・キリスト教会は成長し続け、今は全世界に教会があります。

なすべきことが多くある

しかし、ケーキを焼き、花吹雪をまき、この目覚ましい成功を祝う前に、その成長を大きな視点から見るとよいでしょう。

世界にはおよそ75億の人がいるのに対して、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は約1,600万人です。実に非常に小さな集団です。¹

その一方で、世界の一部の地域では、キリスト教信者の人数が減っています。²

主の回復された教会においてさえ、全会員数は増加し続けているものの、定期的に教会に出席することの祝福を受けていない人はあまりにも多くいます。

言い換えれば、皆さんはこの地上のどこにいても、出会う人やともに学ぶ人、ともに暮らす人、あるいはともに働く人や交流する人にイエス・キリストの福音の良い知らせ³を伝える機会がたくさんあるということです。

これまでの1年間、わたしは世界中で行われているこの教会の伝道活動に深くかかわるすばらしい機会がありました。わたしは、救い主が弟子たち——つまり神の子であるわたしたち——に託された、次のような大いなる務めについてしばしば深く考え、祈ってきました。「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施し〔なさい。〕」⁴

また、次の問いにも取り組んできました。「わたしたちは会員、またキリストの弟子として、どうすれば日々の生活の中でその大いなる務めを最もよく果たせるだろうか。」

今日、わたしは皆さんに、その同じ問題について心の中でよく考えるよう勧めます。⁵





伝道活動の賜物

教会の指導者は、これまで数十年間、「すべての会員は宣教師である」という明快な呼びかけを強調してきました。⁶

イエス・キリスト教会の会員は、過去の時代も現代も、熱心に喜んで友人や知人に福音を伝えてきました。その心はイエス・キリストの証で燃えており、自分が救い主の福音の中に見いだした喜びを、ほかの人にも味わってもらいたいと心から願っているのです。

一部の教会員はこのための賜物を持っているようです。福音の大使でありたいと強く願っています。会員宣教師として、積極的に喜んで奉仕し、その業の先頭に立っています。

しかし、ほかの会員たちはそれよりも消極的です。教会の集会で伝道活動について話し合われるとき、ゆっくりと頭を下げて椅子のうしろに身を隠し、目は聖典に注ぐか、深く瞑想しているかのように閉じ、ほかの会員と目を合わせないようにします。

なぜでしょうか。福音を伝えていないことに罪悪感を抱くのかかもしれません。方法が分からないのかかもしれません。居心地のよい場所から出るのをためらっているのかかもしれません。

その気持ちはよく分かります。

しかし、覚えておいてください。主は決して熟達した完璧な伝道の取り組みを求

めてはおられません。むしろ、「心と進んで行う精神」を求めておられるのです。⁷

すでに楽しく伝道活動を行っているのであれば、どうぞ、それを続けて、ほかの人への模範となってください。主はあなたを祝福して下さいます。

しかし、福音のメッセージを伝えることにこれまで消極的であったと感じているのなら、救い主から与えられた、イスラエルの集合を手伝うという大いなる務めに参加するために、だれにでもできる、罪悪感を抱かずに済む、5つのことを提案します。

5つの簡単な提案

第1に、神に近づきます。第一の大切な戒めは神を愛することです。⁸それが、わたしたちがこの地上にいる一番の理由です。こう自問してください。「自分はほんとうに天のお父様を信じているだろうか。」

「自分は御父を愛し、信頼しているだろうか。」

天の御父に近づけば近づくほど、御父の光と喜びがあなたの内から輝きます。ほかの人々は、あなたには何か独特で特別なものがあることに気づくでしょう。そしてそれについて尋ねるでしょう。

第2に、ほかの人々に対する愛で心を満たします。これは第二の大切な戒めです。⁹周囲のすべての人は神の子供であると心から考えるようにします。彼らにミニスタリ

ングを行います。彼らの名前があなたのミニスタリングシスターやブラザーの担当リストにあるかどうかにかかわらずです。

ともに笑い、ともに喜び、ともに涙を流し、彼らを尊重し、癒し、励まし、強めます。キリストの愛に倣ってほかの人を思いやるように努めてください。あなたに不親切な人や、あなたをあざけり、あなたに危害が及べばよいと思っている人にさえもです。天の御父の同じ子供として彼らを愛し、彼らに接します。

第3に、弟子としての道を歩むように努めます。神と神の子供たちに対する愛が深まると、イエス・キリストに従うあなたの決意は強くなります。

主の言葉をよく味わい、また現代の預言者と使徒の教えを心に留めて実践することによって、主の道について学びます。素直でへりくだった心で天の御父と話すときに、主の道に従う自信と勇気が増します。

弟子としての道を歩むには、練習が必要です。そのために毎日少しずつ「恵みに恵み」¹⁰「規則に規則」¹¹を加えます。時には、2歩進んで1歩下がることもあります。

大切なのは諦めないこと、できるようになるまで努力し続けることです。そのうちにもっとよく、もっと幸せに、もっと本物になるでしょう。あなたが信じていることについてほかの人に話すことが、普通で自然

になります。実際に、福音はあなたの生活に欠かせない大切なものとなり、それについてほかの人と話さないことが不自然だと感じるようになります。すぐにはそうならないかもしれません。それは生涯にわたる取り組みだからです。しかし、必ずそうなります。

第4に、心の中にあることを伝えます。わたしが求めているのは、皆さんがメガホンを持って街角に立ち、モルモン書の言葉を叫ぶことではありません。そうではなく、自然な普通の方法で、あなたが信じていることを人々に伝える機会をいつも探すことです。直接的にも、またオンラインでもです。いつでも福音の力の「証人になる」こと、¹² そして必要なときに言葉を用いることです。¹³

「(キリストの)福音……は、……救いを得させる神の力」ですから、それを伝えるときに、あなたは自信と勇気を持ち、謙虚になることができます。¹⁴ 自信と勇気と謙虚さは相反する特質のように思えるかもしれませんが、そうではありません。それらは、福音の価値と原則を柀の下に隠すことなく、光を輝かして、善い行いによって天の御父に栄光を帰すようにという救い主の勧めを反映するものです。¹⁵

これを行うのに普通で自然な方法は多くあります。日々の思いやりある行いから、YouTube (ユーチューブ) や Facebook (フェイスブック)、Instagram (インスタグラム)、Twitter (ツイッター) 上での自分の証、出会う人々との簡単な会話まで様々です。今年、わたしたちは家庭と日曜学校で新約聖書を学んでいます。救い主について一緒に学ぶために友人や隣人を教会や家庭に招くのには最高の機会です。福音ライブラリーのアプリを紹介してください。『わたしに従ってきなさい』を見つけることができます。若い人々とその家族を知っていれば、『若人の強さのために』の小冊子を渡して、教会の若人がどのようにそれらの原則に従って生活しよう

と努めているかを見に来るよう招いてください。

週末をどう過ごしたかについて尋ねられたら、ためらわずに、教会で経験したことについて話してください。会衆の前に立ち、イエス様のようになるためにどうしているか熱意を込めて歌っている、幼い子供たちについて話してください。高齢者施設で高齢者の個人史の作成を手伝っている青少年について話してください。日曜日の集会スケジュールに関する最近の変更と、それが家族にどのような祝福をもたらしているかを話してください。あるいは、この教会がイエス・キリストの教会であること、また古代の教会の会員が**聖徒**と呼ばれていたように、わたしたちが**末日聖徒**であることを強調しているのはなぜかを説明してください。

どんな方法であれ、あなたにとって自然で普通であると思われる方法で、イエス・キリストと教会が自分にとってなぜ大切であるかを人々に伝えてください。「きて見[る]」ように誘ってください。¹⁶ それから、**来て手伝う**ように勧めてください。教会には手伝う機会がたくさんあります。

選民を宣教師が見つけれられるようにと祈るだけでなく、**来て目にし、来て助ける**人々、そして、**来てとどまる**人々を自分が見つめることができるよう、心を尽くして日々祈ってください。専任宣教師にあなたがやっていることを伝えてください。宣教師は天使のようであって、手伝う備えができています。

良い知らせ、イエス・キリストの福音を伝えるときには、愛と忍耐をもって行います。すぐに白い服を着て、最寄りのバプテスマフォントへの行き方を尋ねてくることだけを期待して人々と交流するとしたら、それは間違っています。

来て見る人の中には恐らく教会に入らない人もいるでしょうし、後になって入る人もいるでしょう。それは彼らの選りです。それでも、わたしたちの愛は変わりません。

来て見るように、来て手伝うように、来てとどまるようにという、個人や家族を招き続けるわたしたちの熱烈な努力は変わりません。

第5に、**奇跡を起こしてくださる主を信頼**します。人々を改心させるのはあなたの仕事ではないことを理解してください。それは聖霊の役割です。あなたの役割は自分の心の中にあることを伝え、自分が信じていることに従って生活することです。

ですから、人がすぐに福音のメッセージを受け入れなくても、がっかりしないでください。あなたのせいではありません。

それは、その人と天の御父の間の事柄なのです。

あなたの役割は、神を愛し、隣人、つまり神の子供たちを愛することなのです。

信じ、愛し、行ってください。

この道に従ってください。そうすれば神はあなたを通して奇跡を行い、御自分の貴い子供たちを祝福されます。

以上の5つの提案は、昔からイエス・キリストの弟子たちが行ってきたことをあなたが行う助けとなるでしょう。イエス・キリストの福音と教会は、あなたの生活にとって、またあなたが何者で、何をなすべきかについて重要な位置を占めています。





そのためあなたは、来て見るように、来て手伝うようにほかの人々を招きたくなるでしょう。神は救いの業を行われ、彼らは来てとどまるでしょう。

しかし、難しかったらどうしようか

しかし、こう思うかもしれません。「あらゆる手を尽くしても人々の反応が鈍かったら、どうしようか。教会について批判的だったら、どうしようか。友達に絶交されたら、どうしようか。」

確かに、そのようなことがあるかもしれません。昔から、イエス・キリストの弟子はしばしば迫害されてきました。¹⁷使徒ペテロは、「キリストの苦しみを共に負えるのだから喜びなさい」と言っています。¹⁸初期の聖徒たちは「御名のために恥を加えられるに足る者とされたことを」喜びました。¹⁹

忘れないでください。主は奇跡的な方法で働かれます。拒絶に対するあなたのキリストのような対応で、かたくなな心が和らぐかもしれません。

主イエス・キリストの使徒として、わたしは皆さんに、福音の価値を証する生ける証人となる**自信**と、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員としていつも認められる**勇気**と、天の御父とその子供たちに対する愛を表現するために主の御業を支援する**謙虚さ**を持てるように祝福します。

愛する友人の皆さん、皆さんは、「力と大いなる栄光とをまもってすべての聖なる

天使たちとともに」来られるキリストの来臨に備え、長年預言されてきたイスラエルの集合において、自分が重要な役割を果たす者であることを知って喜ぶことでしょう。²⁰

天の御父は皆さんを御存じです。主は皆さんを愛しておられます。神は皆さんを祝福してください。この業は神によって定められたものであり、皆さんはこれを行うことができます。わたしたちはこれと一緒に行うことができます。

イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

注

1. 神の小羊の教会が「地の全面に」広がっても、世の悪事のために教会の人々の「数は……少ない」のを、偉大な預言者ニーファイは示現の中で見た（1ニーファイ 14：12。ルカ 12：32も参照）。
2. 例えば、ピュー研究所による最近の調査で以下のことが明らかになった。アメリカ合衆国の「キリスト教徒を自称する成人（18歳以上）の比率は、ほんの7年間で8パーセント近く減少しました。すなわち、2007年の78.4パーセントから、2014年には70.6パーセントまで減少しています。同じ期間に、無神論者や不可知論者や『特になし』という、宗教団体に属していないアメリカ人の比率は、16.1パーセントから22.8パーセントに、6パーセント以上跳ね上がっています。」（“America’s Changing Religious Landscape,” Pew Research Center, May 12, 2015, pewforum.org）
3. 「福音」という言葉は「良い知らせ」を意味する。良い知らせとは、イエス・キリストが全人類を死から贖い、各自の行いに応じて報いを与える完全な贖罪の業を成し遂げられたということを知らせるものである。この贖罪は、前世

における主の任命から始まり、主の現世の生活の間続き、主の栄光ある復活で頂点に達した。主の現世における生活と教導の業と犠牲に関する聖書の記録は福音書と呼ばれる。マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネによる福音書がそれである。

4. マタイ 28：19

5. 「まことに、わたしは友であるあなたがたに言う。あなたがたの心の中で深く考えるように……。」（教義と聖約 88：62）「見よ、わたしはあなたに言う。あなたは心の中でそれをよく思い計り、その後、それが正しいかどうかわたしに尋ねなければならない。もしそれが正しいければ、わたしはあなたの胸を内から燃やそう。それゆえ、あなたはそれが正しいと感じるであろう。」（教義と聖約 9：8）

6. デビッド・O・マッケイ大管長は、1922年から1924年までヨーロッパ伝道部を管理していたときに、「すべての会員〔に〕宣教師」となるよう促し、1952年には総大会でそのメッセージを教会全体に伝えた（see “‘Every Member a Missionary’ Motto Stands Firm Today,” Church News, Feb. 20, 2015, news.Church of Jesus Christ.org）。

7. 教義と聖約 64：34

8. マタイ 22：37 - 38 参照

9. マタイ 22：39 参照

10. 教義と聖約 93：12

11. イザヤ 28：10

12. モーサヤ 18：9

13. この考えはしばしばアシジの聖フランシスコによるものとされている。ヨハネ 10：36 - 38も参照

14. ローマ 1：16

15. マタイ 5：15 - 16 参照

16. ヨハネ 1：46；強調付加

17. ヨハネ 15：18 参照

18. 英語標準版 1ペテロ 4：13より和訳。キリストに従う者は福音のための苦しみをどのように見るべきかについて、さらに詳しくは1 - 19節も参照。

19. 使徒 5：41

20. 教義と聖約 45：44



管理ビショップリック第二顧問
W・クリストファー・ワデルビショップ

主がなされたように

わたしたちが「主がなされたように」ミニスタリングを行おうとする
とき、自分を忘れてほかの人々を高める機会が与えられるでしょう。

約18か月前、2017年の秋のことです。64歳の兄のマイクが、すい臓がんを患っていることをわたしに連絡してきました。彼はまた、ホームティーチャーから神権の祝福を受けたことと、ビショップに面会したことを話してくれました。その後、自分が治療を受けている病院から撮ったカリフォルニア州オークランド神殿の写真を、「病室から何が見えるか見てください」¹と題名を付けて、ショートメールで送ってくれました。

わたしは、がんの知らせにも驚きましたが、ホームティーチャー、神権の祝福、ビショップ、そして神殿について兄が話したことにも驚きました。なぜなら、マイクはアロン神権の祭司で、50年近く教会に定期的には集っていなかったからです。

わたしたちは家族として、兄の闘病における進捗と同じくらい、兄の霊的成長に興味を湧きました。それは、兄が今や、モルモン書や結び固めの力、死後の生活につ

いてよく質問してくることが大きな理由でした。何か月かが過ぎ、がんが転移し、より専門的な治療を受ける必要が生じたため、マイクはユタ州のハンツマンがん研究所に入院しました。

到着して間もなく、ジョン・ホルブルックがマイクを訪ねて来ました。入院したケア施設は、ジョンのワードの管轄区域にあり、彼は伝道主任でした。ジョンは、「マイクが神の息子であることはわたしにも明らかでした」と話してくれ、また、二人がすぐにきずなと友情を育み、ジョンがマイクの「事実上の」ミニスタリングブラザーとなったことを話してくれました。ジョンはすぐに、宣教師に訪問してもらうことを勧めましたが、兄は丁寧に断りました。しかし、友情が築かれて1か月がたち、ジョンはマイクに再び尋ね、次のように説明しました。「福音のメッセージを聞けば、君はきっと喜びを感じると思うんだ。」² 今回の招きは受け入れられ、マイクは宣教師と

会うようになり、ジョン・シャープビショップの訪問も受けるようになりました。ビショップとのやりとりはやがて、マイクがバプテスマから57年後に祝福師の祝福を受けることへとつながりました。

昨年の12月初旬、何か月にも渡る治療の後、マイクは激しい副作用を起こしているがん治療を中止し、自然のなりゆきに任せることを決断しました。わたしたちは医師から、マイクはおよそ3か月しか生きられないことを告げられました。その間、福音についての質問は続き、地元の神権指導者による訪問と支援も続きました。わたしたちがマイクを訪問したときは、福音の回復や神権の鍵、神殿の儀式や人の永遠の性質について話し合い、その際、彼のベッド脇の小さなテーブルにモルモン書が開いて置いてあるのをよく目にしました。

12月中旬までには、祝福師の祝福文を手にして、マイクは元気になってきているように見えました。そして、少なくともあと3か月という予後は十分あり得そうに思えました。わたしたちは兄と一緒にクリスマスと新年、そしてその先も過ごす計画をしました。12月16日に、シャープビショップから突然電話がありました。ビショップは、彼とステーキ会長がマイクと面接をし、マイクがメルキゼデク神権を受けるのにふさわしいと分かったことを教えてくれ、わたしにいつ聖任に参加できるか尋ねました。儀式は12月21日の金曜日に予定されました。

その日がやって来て、妻のキャロルとわたしはケア施設に到着しました。すると、すぐに兄の病室のそばの廊下で出迎えられ、兄の脈がないことを告げられました。病室に入ると、祝福師、ビショップ、そしてステーキ会長がすでに中で待っていました。するとそのとき、マイクが目を開けたのです。彼はわたしに気づき、わたしの声は聞こえている、神権を受ける準備はできていると知らせてくれました。マイクがアロン神権の祭司に聖任されてから50年





後、わたしは彼の地元の指導者から助けを受けながら、自分の兄にメルキゼデク神権を授け、長老の職に聖任するという特権にあずかりました。5時間後、マイクは亡くなりました。メルキゼデク神権者として両親に会うために幕をぐりました。

ちょうど1年前、ラッセル・M・ネルソン大管長から、わたしたち一人一人が「より高い、より神聖な方法」でわたしたちの兄弟姉妹の世話をしよう呼びかけがありました。³ ネルソン大管長は救い主について話し、「主の教会に属するわたしたちは主の僕として、主がなされたように、個人に対して仕え、教え、導きます。また、わたしたちは主の御名により、主の力と権能と愛にあふれた優しさをもって仕えます」⁴ と教えました。

神の預言者からの招きにこたえて、個人に対してミニスタリングを行う素晴らしい働きが世界中で行われています。組織的な取り組みにおいては、会員が忠実にそのミニスタリングの責任を果たしていますし、また、わたしは「即興の」ミニスタリングと呼びたいと思いますが、とても多くの人々が予期せぬ機会の訪れた際に、キリストのような愛を示しています。このような種類のミニスタリングを、わたしたちは自分の家族の中で、間近で目にしました。

マイクの友人でミニスタリングプラザーであり、以前は伝道部会長だったジョンは、自分の宣教師たちに次のように言ってきました。「『興味なし』のリストに載っている人であっても、諦めないでください。人々は変わります。」ジョンはそれからわ

たしたちに次のように言いました。「マイクは大きく変わりました。」⁵ ジョンは初めは、頻繁に励ましや支援を提供する友人でした。——しかし、彼のミニスタリングは単なる友人としての訪問にとどまりませんでした。ジョンは、ミニスタリングを行うことは友人になる以上のことであり、友情はミニスタリングを通して大いなるものとなることを知っていました。

人がミニスタリングの奉仕を必要とするのは、わたしの兄のように、生命を脅かす病気で苦しんでいるときだけではなくありません。そうした必要は様々な形や大きさ、状況でやって来ます。ひとり親、あまり活発でない夫婦、苦悩している10代の若者、押しつぶされそうになっている母親、信仰の試し、経済的な問題、健康の問題、あるいは結婚の問題など、リストはほとんどきりがありません。しかしながら、マイクのように、遠く離れすぎてしまっている人は一人もいません。そして、救い主の愛を受けるのに、遅すぎるということは決してありません。

わたしたちは教会のミニスタリングのウェブサイトで次のように教えられています。「ミニスタリングの目的は数多くありますが、わたしたちは、人々がより深く改心し、いっそう救い主のようになるのを助けたいという望みに導かれて努めるべきです。」⁶ このことについて、ニール・L・アンダーセン長老は次のように説明しています。

「思いやりのある人は、タイヤの修理を手伝ったり、ルームメイトを医者連れて行ったり、悲しい思いをしている人と昼食を共にしたり、ほほえんであいさつしたり

することで、相手の一日を明るくすることができます。

しかし、第一の戒めに忠実な人は、そのような重要な奉仕の働き以上のことを自然に行うでしょう。⁷

イエス・キリストに倣ってミニスタリングを行うとき、愛し、高め、仕え、祝福するという主の働きには、当座の必要を満たすことよりも高い目標があったことを覚えておくことが大切です。主は人々の日々の必要をはっきりと御存じであり、癒し、食べ物を与え、赦し、教えられた際、彼らの現状での苦しみに対して憐れみをお持ちでした。しかし、主は今日のことについて世話をする以上のことをしたいと思われました。主は、御自分の周りの人々に、主に従い、主を知り、彼らが神から受け継いだ可能性に到達してほしいと願っておられました。⁸

わたしたちが「主がなされたように」ミニスタリングを行おうとするとき⁹、自分を忘れてほかの人々を高める機会が与えられるでしょう。こうした機会は都合のよいものではないことが多く、もっと主のようになりたいというわたしたちの望みが試されます。主の最大の奉仕である無限の贖罪は、決して都合のよいものではありませんでした。マタイによる福音書の第25章では、多くの人々が直面していながらも見落とされがちな苦しみや試練、困難に対して、わたしたちが主のように心を配るとき、主がどのように感じておられるかについて思い出させてくれます。

「『わたしの父に祝福された人たちよ、さあ、世の初めからあなたがたのために



用意されている御国を受けつぎなさい。

あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し……てくれたからである。』

そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。』

いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し……ましたか。』

すると、王は答えて言うであろう、『あなたがたによく言うておく。わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。』¹⁰

わたしたちがミニスタリングブラザーやミニスタリングシスターとして奉仕する場合でも、単に困っている人がいることに気づいた場合でも、わたしたちは御霊の導きと指示を求めてから行動するように勧められています。どうすれば最善の奉仕ができるだろうかと思うかもしれませんが、主は御存じであり、主の御霊を通して、わたしたちの働きは導かれるでしょう。「前もって自分のなすべきことを知らないまま、御霊に導かれた」ニーファイのように¹¹、主の子供たちを祝福するために主の手に使われる道具となるよう努力するとき、わたしたちもまた、御霊によって導かれるでしょう。わたしたちが御霊の導きを求め、主を信頼するならば、行動し祝福する、すなわち、ミニスタリングを行うことができる状況や機会が訪れるでしょう。

わたしたちはときに、必要に気づいても、自分が提供できるものでは不十分だと思ひ込み、自分に対応するのに不十分だと感じることもあるかもしれません。しかしながら、「主がなされたように」行うとは¹²、自分が提供できるものを提供することによってミニスタリングを行い、「この現世の旅を共にしている同胞^{ほらから}」¹³を祝福するための働きを、主が大いなるものとしてくださるのだと信頼することです。ある人にとっては、時間や才能の賜物を提供

することもかもしれませんし、別の人のとっては、優しい言葉をかけることや実際に手を貸すこともかもしれません。わたしたちは自分の取り組み方は不十分だと感じるかもしれませんが、ダリン・H・オークス管長は「小さな簡単な」ことに関して、重要な原則を分かち合っています。小さな簡単な行いには力があります。なぜなら、そうした行いにより「聖霊を伴侶とすること」¹⁴ができるからです。聖霊は、与える人と受ける人両方を祝福してくださる伴侶です。

間もなく自分は死ぬと分かっていた兄のマイクは、次のように言っていました。「すい臓がんによって、いかに最も大切なことに焦点を当てることができたかに驚いているよ。」¹⁵ 必要を見だし、裁かず、救い主のようにミニスタリングをしてくれたすばらしい皆さんに感謝します。マイクにとって遅すぎることはありませんでした。人によっては、変化が比較的すぐに来るかもしれませんが、人によっては幕の向こうに行ってからかもしれません。しかし、わたしたちは次のことを覚えておかなければなりません。遅すぎることは決してありません。そして、時間と範囲に制限のないイエス・キリストの無限の贖罪が届かないほど道から遠くさまよっている人は、だれもいません。

昨年10月の総大会で、デール・G・レンランド長老は次のように教えています。「どれほど長い期間道から外れていようと……変わろうとした瞬間に、神はわたしたちが戻るように助けてくださいます。」¹⁶

しかし、そのような変わろうとする決意は、「福音のメッセージを聞けば、君はきっと喜びを感じると思うんだ」といった招きの結果として起こることがよくあります。ちょうど、救い主にとって遅すぎるということが決してないように、わたしたちにとって招くに早すぎるということも決してありません。

この復活祭の時季は、わたしたちの救い主イエス・キリストの偉大な贖いの犠牲に思いをはせる、すばらしい機会を改めて提供してくれます。救い主が、わたしたち一人一人のためにとてつもない代価、すなわち、「すべての中で最も大いなる者であるわたし自身が、苦痛のためにおののき」と明言されるほどの代価を支払ってくださったということをよく考える機会です。主は次のように述べられました。「しかしながら、……わたしは杯を飲み、人の子らのためにわたしの備えを終えたのである。」¹⁷

主が「終え〔てくださった〕」ので、希望が常にあることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 個人的な会話
2. ジョン・ホルブルックとの会話
3. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号, 6
4. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号, 69
5. ジョン・ホルブルックとの会話
6. 「ミニスタリングの原則——目的がミニスタリングを変える」『リアホナ』2019年1月号, 8; ministering.ChurchofJesusChrist.org も参照
7. Neil L. Andersen, "A Holier Approach to Ministering" (Brigham Young University devotional, Apr. 10, 2018), 3, speeches.byu.edu.
8. 「目的がミニスタリングを変える」8-10を参照
9. 3 ニーファイ 17:9-10, 20-21 参照
10. マタイ 25:34-35, 37-38, 40
11. 1 ニーファイ 4:6
12. 3 ニーファイ 17:9-10, 20-21 参照
13. トーマス・S・モンソン「愛——福音の真髄」『リアホナ』2014年5月号, 91
14. ダリン・H・オークス「小さな、簡単なこと」『リアホナ』2018年5月号, 90
15. 個人的な会話
16. デール・G・レンランド「きょう、選びなさい」『リアホナ』2018年11月号, 106
17. 教義と聖約 19:18-19



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

主の御霊が とどまる家庭

皆さんは家庭を主イエス・キリストへの信仰と愛に満ちあふれた場所にするように努めるとき、最も大きな喜びの幾つかを見いだすことでしょうか。

愛する兄弟姉妹の皆さん、末日聖徒イエス・キリスト教会のこの第189回年次総大会で皆さんにお話できる機会に、心から感謝しています。1830年のこの日、ジョセフ・スミスは主の指示の下で教会を組織しました。それはニューヨーク州フェイエット近郊にあるホイットマー家族の自宅で行われました。その日、そこには6人の会員と、興味を持った50人ほどの人々が集っていました。

その小さな集団の前で、ジョセフ・スミスが何を言ったのか、人々にはどのように映ったのかわたしには分かりませんが、イエス・キリストへの信仰を持つ人々が何を感じたのかは分かります。彼らは聖霊を感じ、自分たちが聖なる場所にいると感じたのです。皆が一致して一つとなっていると確かに感じたことでしょうか。

その奇跡のような気持ちこそ、わたしたちが家庭に求めているものであり、パウロが述べた「霊の思い」から来るものです。¹

今日のわたしの目的は、家庭においてその気持ちをもっと頻繁に、より長い時間感じられるように御霊を招く方法について、わたしが知っていることをお話しすることです。皆さんもそれが容易ではないことは経験から御存じでしょう。争いや高

慢、罪を避ける必要があります。家族一人一人が心にキリストの純粋な愛を受ける必要があります。

アダムとエバ、リーハイとサライア、聖典に出て来るほかの両親たちにとっても、それは難しかったことでしょうか。それでも、家庭においてこの上ない幸福を保つことができた事例から励ましと勇気を得ることができます。それらの例は、わたしたち自身の家族もそうなれることを示していま

す。皆さんは第4ニーファイにある記録を覚えていることでしょうか。

「そして、民の心の中に宿っていた神の愛のために、地の面にはまったく争いがなかった。

また、ねたみや紛争、騒動、みだらな行い、偽り、殺人もなく、どのような好色もなく、神の手によって造られたすべての人の中で、彼ら以上に幸せな民は確かにあり得なかった。

強盗も人殺しもおらず、レーマン人とか何々人とか言われる者もなく、彼らは一つであり、キリストの子であり、神の王国を受け継ぐ者であった。

彼らは何と祝福されていたことか。第百十年が過ぎ去るまで、彼らは祝福されて栄えた。そして、キリストからの最初の世代の人々が世を去ったが、全地に少しも争いがなかった。」²

御存じのように、その幸福な状態は永遠には続きませんでした。第4ニーファイの記録は、善良な人々の中で霊性が下がることによって引き起こされる症状について示しています。これは過去の歴史を通して民族全体や集団の中に、また最も悲しいことに、家族の中でも繰り返されてき



たパターンです。そのパターンについて学ぶことで、家族内で感じられる愛を守り、増し加える方法を知ることができます。

福音がもたらす完全な平安の中で 200 年の間生活していた人々が衰退したパターンは次のとおりです。

- 高慢が入り込む。
- 所有物を分かち合わなくなる。
- 階級に分けて人を見るようになる。
- イエス・キリストへの信仰が弱まる。
- 憎しみが芽生える。
- あらゆる罪を犯すようになる。

賢明な両親は、これらの症状が自分の家族内に現れると、それに気づきます。そしてもちろん心配します。しかし、根本的な原因は、善良な人々を罪に落とし入れ、聖霊の影響を受けられなくするサタンの影響だと分かります。そして賢明な両親は、「わたしのもとに来なさい」という主の招きをより強い決意で受け入れるように、子供一人一人と自分自身を導く機会として捉えるのです。

例えば、高慢を悔い改めるよう子供に呼びかけても、成果は限られています。子供たちに、自分の物をもっと寛大に分かち合うよう説得できるかもしれません。家族のだれかよりも優れていると思うのをやめるように言うこともできます。しかしそのとき「イエス・キリストへの信仰が弱まり始める」という症状が現れてくるのです。

ここに、家族と自分自身を望ましい霊的な状態に引き上げるよう、家族を導くための鍵があります。イエス・キリストが愛深い救い主であられるという信仰を増すことができるように家族を助けるとき、彼らは悔い改めたいと感じます。そうすると、謙遜が高慢に取って代わります。主が与えてくださったものに気づき始めると、もっと寛大に分かち合いたいと思うようになります。注目や脚光を浴びるために競争する気持ちがなくなっていくます。愛に



よって、憎しみが消え去ります。そして最終的に、ベニヤミン王によって改心した民に起こったように、善を行おうとする望みが、罪の誘惑に対するとりでになるのです。ベニヤミン王の民は、悪を行う性癖をもう二度と持つことはなかったと証しています。³

ですから、イエス・キリストへの信仰を築くことは、あなたの家族と家庭における霊性の低下を逆転させる第一歩なのです。霊性の低下がもたらす症状について説教するよりも、信仰を育む方が悔い改めにつながるのです。

最も効果的なのは、模範によって導くことです。家族やほかの人々は、イエス・キリストと主の福音に対する信仰を強める皆さんの模範を見る必要があります。皆さんには、最近すばらしい助けが与えられました。教会の親たちは、家族と個人のための靈感を受けたプログラムという祝福を受けています。それを使って、主イエ

ス・キリストに対する皆さん自身と子供たちの信仰を築くのです。

信仰を強める

モルモン書をもう一度読むようにというラッセル・M・ネルソン大管長の提案に皆さんが従ったとき、救い主への皆さんの信仰が強まりました。救い主を表す表現や言葉に印を付けて、イエス・キリストへの信仰はいっそう深まりました。しかし、イエス・キリストに対するそのような信仰は、深く考えてよく祈ろうとする決意を継続して、より深めようとしない限り、植物と同様に枯れてしまいます。

今は家族の中に、信仰を強めようとする皆さんの模範に従わない人がいるかもしれませんが、息子アルマの経験から希望を見いだしてください。悔い改めと救しが必要な苦しみの中で、彼は父親のイエス・キリストへの信仰を思い起こしたのです。皆さんの子供たちは、悔い改めが必要だ



と切に感じたときに、救い主に対する皆さんの信仰を思い起こすかもしれません。アルマはその瞬間について、こう述べています。

「そして苦痛に責めさいなまれていたときに、わたしは自分の多くの罪を思い出してひどく苦しみながら、見よ、かつて父がイエス・キリストという御方の来臨について民に預言するのを聞いたことを思い出した。イエス・キリストは神の御子であり、世の罪を贖うために来られるのである。

心にこの思いがはっきりと浮かんできたとき、わたしは心の中で、『おお、神の御子イエスよ、苦汁の中におり、永遠の死の鎖に縛られているわたしを憐れんでください』と叫んだ。

さて見よ、このことを思ったとき、わたしはもはや苦痛を忘れることができた。まことに、わたしは二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった。』⁴

愛をもって祈る

皆さんの信仰を育む模範に加えて、家庭を神聖な場所とするために不可欠なのが家族の祈りです。通常、家族の一人が代表して祈ります。祈りが、そこでひざまずいて一緒に聞いている家族のために神へ向けられるときに、皆の信仰が強められます。彼らは天の御父と救い主への愛を感じることができます。祈る人が、祈りの輪の中にいる、助けを必要としている家族について述べる時、全員が互いへの愛

を感じるすることができます。

家族のだれかが、一緒に住んでいなくても、祈りによって愛のきずなが生まれます。家族の祈りは、世界の果てまで届くのです。遠く離れている家族が、わたしと同じことを同じ時間に祈っていたという経験が一度ならずありました。わたしにとって「ともに祈る家族はいつまでも離れない」という古いことわざは次のように拡張できると思います。「ともに祈る家族は、遠く離れていても、いつも一緒にいる。」

すぐに悔い改めるように教える

わたしたちは、だれもが不完全で傷つきやすいので、すぐに心から悔い改めるのであれば、家庭は神聖な場所となります。親が模範を示すことができます。とげとげしい言葉や不親切な思いは、すぐに心から悔い改めることができます。「ごめんなさい」と言うだけで、傷を癒し、赦しと愛がもたらされるのです。

悪意のある攻撃や裏切り、家族の中の意見の相違に対する預言者ジョセフ・スミスの対応は、わたしたちの模範です。彼は、再び攻撃してくると分かっていた相手でさえ、すぐに赦しました。相手が赦しを求めれば、ジョセフは惜しみなく赦したのです。⁵

伝道の精神を養う

モーサヤの息子たちは、福音をすべての人々に伝えると決意しました。その望みは、彼ら自身が悔い改めた経験から生ま

れたものです。自らも経験した罪による苦しみをだれかが受けると考えただけでも耐えられなかったのです。そして彼らは自分たちの敵である人々にイエス・キリストの福音を伝えるために、長年にわたり拒絶や苦難、そして危険にさらされました。その過程で、多くの人が悔い改めてイエス・キリストの贖いを通して赦しがもたらす喜びを経験するのを見て、喜びを見いだしました。

わたしたちの家族は、赦しの喜びを感じる時、福音を分かち合いたいという望みが増すのです。その喜びは、彼らが聖餐を受けて聖約を新たにするときにも感じられます。子供や親たちが、聖餐会で赦しのもたらす喜びを感じる時、彼らの家庭における伝道の精神が養われます。彼らの敬虔さの模範を通して、親も子供たちも喜びを感じるように助け合うことができます。その喜びがわたしたちの家庭を宣教師訓練センターにするのです。すべての子供が伝道に出るわけではないとしても、赦しと平安をもたらす福音を分かち合いたいという望みを全員が持つことでしょう。現在専任宣教師として奉仕しているかどうかにかかわらず、すべての人が福音を伝える喜びを感じることができるのです。⁵

神殿に参入する

親と子供にとって、神殿は神のみもとへの愛を感じ、培う最適の場となります。子供たちが幼いときには特にそうです。子

供はキリストの光を伴って生まれてきます。赤ん坊でさえ、神殿が神聖であると感じることができます。親は自分の幼い子供たちを愛しているので、神殿は彼らにとって、永遠の家族の中で子供たちを永遠に愛することができるという希望の象徴となります。

自宅に神殿の写真を飾っている人もいるでしょう。世界中で神殿が建てられている今、多くの親が家族で神殿を訪問することができるようになりました。神殿が完成したときに行われるオープンハウスに参加できる家族もいるでしょう。子供たちに神殿でどう感じたのか尋ねることもできます。

すべての親は、自分にとって神殿がどのようなものか証を述べることができます。神殿を愛するエズラ・タフト・ベンソン大管長は、母親が神殿衣に丁寧にアイロンを掛けるのを見ていたとしばしば述べています。⁶ 子供のときに家族が神殿に参入するために出かけるのを見送った思い出についても話しています。

大管長だったとき、彼は毎週決まった曜日に神殿に参入し、いつも先祖のために神殿の儀式を受けていました。ベンソン大管長は両親の模範から大きな影響を受けたのです。

わたしの証

皆さんは家庭を主イエス・キリストへの信仰と、キリストの純粋な愛に満ちあふれた場所にするように努めるとき、最も大きな喜びの幾つかを見いだすことでしょう。福音の回復は、質素な家庭で素朴な疑問から始まりました。そして福音の原則を実践し確立しようと努めるとき、わたしたちの家庭に受け継がれています。これはわたしの少年時代からの希望と大きな望みです。そのような家庭を皆さんも目にすることがあると思います。皆さんの多くも、主の助けを受けてそのような家庭を築いています。

中には、最善を尽くしても、まだその祝福を得られていない人もいることでしょう。わたしからそのような人への約束は、かつて十二使徒定員会の一人がわたしに与えてくれたものです。わたしは彼に、家族の何人かの選びのために、来世で彼らとともに住むことができないかもしれないと言ったことがあります。わたしの記憶によれば、彼はこう答えました。「あなたは間違った問題について心配しています。自らが日の栄えの王国にふさわしく生活すれば、家族の状況は、あなたの想像以上にすばらしいものになるでしょう。」

彼は、自分や家族が永遠の命にふさわしくなるためにこの世で最善を尽くすすべての人々に、喜びに満ちた希望を伝えたかったのだと思います。天の御父の計画は幸福の計画です。御父の計画により、最善を尽くす一人一人が、家族と永遠に結ばれることを証します。

ジョセフ・スミスに回復された神権の鍵が、途切れることなくラッセル・M・ネルソン大管長に引き継がれていることを知っています。それらの鍵によって今日、家族の結び固めができるのです。天の御

父は完全な愛で、霊の子供であるわたしたちを愛しておられることを、わたしは知っています。イエス・キリストの贖いのおかげで、わたしたちは悔い改め、清められ、天の御父と御子イエス・キリストと、愛する家族と永遠に住むのにふさわしくなれるのです。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. ローマ 8:6
2. 4 ニューファイ 1:15-18
3. モーサヤ 5:2
4. アルマ 36:17-19
5. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』(2007年), 391-398 参照
6. 『歴代大管長の教え——エズラ・タフト・ベンソン』(2014年), 167 参照





土曜午後の部会

大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

教会役員の支持

兄弟姉妹の皆さん、これから教会の中央幹部、地域七十人、中央補助組織会長会の名前を、皆さんの賛意の表明を頂くために提示いたします。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン、また、大管長会第一顧問としてダリン・ハリス・オークス、大管長会第二顧問としてヘンリー・ベニオン・アイリングを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会長として、ダリン・H・オークスを、十二使徒定員会会長代理として、M・ラッセル・バラードを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会員として、M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、

ディーター・F・ウークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲアリー・E・スティーブンソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレスを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方はその意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

もし反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

次の各長老を地域七十人としての奉仕から解任することを提議します。ビクトリノ・A・バビダ、L・トッド・バッジ、ピーター・M・ジョンソン、ジョン・A・マックキューン、マーク・L・ペイス、ジェームス・R・ラズバンド、ベンジャミン・M・Z・タイ。

この兄弟たちの熱心な働きに対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、手を挙げてその意を表してください。

わたしたちは心からの感謝とともに、タッド・R・カリスター、デビン・G・デュラント、ブライアン・K・アシュトンの各兄弟を、中央日曜学校会長会から解任することを提議します。

この兄弟たちのすばらしい奉仕に、ともに感謝を示してくださる方は、手を挙げてその意を表してください。

次の方々を中央幹部七十人として支持するよう提議します。ルーベン・V・アリオード、ホルヘ・M・アルバラード、ハンス・T・ブーム、L・トッド・バッジ、リカルド・P・ヒメネス、ピーター・M・ジョンソン、ジョン・A・マックキューン、ジェームズ・R・ラズバンド、ベンジャミン・M・Z・タイ、アラン・R・ワーカー。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方は、その意を表してください。

次の方々を地域七十人として支持するよう提議します。ソロモン・I・アリック、ギレルモ・A・アルバレス、ダレン・R・バーニー、ユリウス・F・バリエントス、ジェームス・H・ベッカー、ケビン・G・ブラウン、マーク・S・ブライス、A・マルコス・キャ



ブラル, ダンスタン・G・B・T・チャダン
ブカ, アラン・C・K・チュン, クリスチャ
ン・C・チグブンドゥ, ポール・N・クレ
ートン, カリム・デル・バレ, 土門大幸, メル
ナルド・P・ドナト, マーク・D・エディ,
ザッカーリー・F・エバンズ, ヘンリー・J・
アイリング, サベル・ファラゴ・ジュニア,
デビッド・L・フリシュクネクト, ジョン・
J・ガレゴ, エフライン・R・ガルシア, ロ
バート・ゴードン, マーク・A・ゴットフ
レッドソン, トーマス・ハニ, マイケル・J・
ヘス, グレン・M・ホームズ, リチャード・
S・ハッチンズ, テイトー・イバネズ, 伊藤
彰記, ジェレミー・R・ジャッキ, ケリー・
R・ジョンソン, クリストファー・ヒュンス・
キム, H・モロナイ・クライン, イノケ・F・
クブ, ステイーブン・チ・コンライ, ビク
ター・D・ラタロ, タルモ・レップ, イツ
コーダ・ロザノ, ケビン・J・リスゴー, エド
ガー・P・モンテス, S・エフライム・ムサ
ネ, ルイズ・C・D・ケイロズ, イファノメ
ザーナ・ラソロンドライベ, エドワルド・
D・レセク, トーマス・G・ローマン, ラモ
ン・E・サルミエント, ジョナサン・S・シュ
ミット, ヴァイ・シカヘマ, デネルソン・シ
ルバ, ルイス・スピーナ, カルロス・G・ス
フェルト, ヴォイ・R・タオオーリ, セルジ
オ・R・バルガス, マルクス・ザルセ。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してく
ださい。

わたしたちは、マーク・L・ベイスを中
央日曜学校会長に、ミルトン・デ・ロー
シャ・カマルゴを第一顧問、ジャン・エ
リック・ニューマンを第二顧問として支持
するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方はその意を表してください。

そのほかの中央幹部、地域七十人、中
央補助組織会長会を現在のまま支持する
よう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してくだ
さい。

ネルソン大管長、表明が記録されまし
た。これまでの提議のいずれかに反対の
方は御自分のステーク会長に連絡してく
ださい。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの変わらぬ
信仰と教会の指導者のための祈りに感謝
します。

新たな中央幹部七十人と中央日曜学校会
長会の方々は、壇上にご着席ください。■

2018年度 教会監査部報告

教会監査部実務運営ディレクター

ケビン・R・ジャーゲンセン提出

末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会に対する報告

愛する大管長会の皆さん、教義と聖約第 120 章に記録されている啓示によって
指示されているとおり、大管長会、十二使徒定員会、および管理ビショップリックで
構成される什分の一配分評議会が教会基金の支出の承認を行います。教会の各
部門は承認された予算、方針および手続きに従って基金を使います。

教会監査部門は、資格のある専門家によって構成され、教会の他のあらゆる部門
から独立しており、受領した献金、支出および教会資産の保全に関して合理的な保
証を提供するという目的のために監査を行う責任があります。

監査の結果、教会監査部の見解によると、2018 年に受領した献金、支出、および
教会資産は、あらゆる重要な点で、教会の承認された予算、方針および会計実務に
従って記録され、管理されています。教会は、予算内で賄い、負債を避け、必要時
に備えて蓄えるという、教会員に対して教えられている慣行に従っています。

以上、謹んでご報告いたします。

教会監査部

ケビン・R・ジャーゲンセン

実務運営ディレクター ■



十二使徒定員会会長代理
M・ラッセル・バラード会長

純粹でシンプルな イエス・キリストの まことの福音

神を愛し、隣人を愛することがミニスタリングや家庭中心・教会サポートの学習、安息日の靈的な礼拝、救いの業における根本となる原則です。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしにとっては信じ難いことですが、わたしがイングランドで伝道したのが71年前の1948年、カナダのトロント伝道部の伝道部会長になって妻のバーバラとわたしが子供たちをカナダに連れていったのが44年前のことです。カナダで奉仕していた1976年に七十人第一定員会に召され、そして1985年、思いもよらず十二使徒に召されました。いつか解任されるそれまでの召しと違い、十二使徒の召しからの解任となる日の意味するところは現在のところ喜ばしいものとは言えませんが、主から頂いた務めをすべて果たした後にのみその日が来るようにと祈っています。

中央幹部として過去43年間奉仕し、全世界にいる天の御父の子供たちにミニスタリングを行うというすばらしい特権にあずかりました。これについて考えると、御自分のすべての子供たち、実にすべての子供たちに平安と喜び、幸福を人生で見いだしてほしいと御父が願っておられることがますますよく分かるようになってきました。

「人が存在するのは喜びを得るためである」と預言者リーハイは教えています。¹ この人生で平安や喜び、幸せが失われる理由は、貧しさや戦争、自然災害であったり、仕事や健康、家族関係に予期せずして持ちあがった問題であったりと、たくさんあります。

しかし、地上での生活に影響を与えるこのような外的な力の多くは自分でコントロールできないものの、主イエス・キリスト

の忠実な弟子になろうと努力するならば、この世の煩いが周囲に渦巻いていても、わたしたちは平安と喜び、幸せを見いだすことができます。

わたしの子供の一人がこう言ったことがあります。「お父さん、日の栄えに入れるかどうか自信がないんだけど。」わたしはこう答えました。「天の御父がわたしたちに望んでおられるのは、日々最善を尽くすことなんだよ。」兄弟姉妹の皆さん、来る日も来る日も最善を尽くしてください。そうすれば、天の御父が自分のことを御存じで愛してくださっていることが、いつの間にか分かるようになってるでしょう。そして、それが分かったならば、ほんとうに分かったならば、皆さんの人生には真の目的と意味が生じ、皆さんは喜びと平安に満たされることでしょう。

救い主は世の光として、こう言われました。「わたしを信じる者〔は〕、やみのうちにとどまらない……。」²

「見よ、イエス・キリストとは、父から与えられている名である。この名のほかに、人に救いを与えることのできる名は与えられていない。

それゆえ、すべての人は、父から与えられているこの名を受けなければならぬ。」³

サタンは人々を闇に導くことを望んでい



ると、聖典は教えています。サタンはイエス・キリストの福音の光と真理をささげざるために、どんなことでもします。リーハイが子供たちに教えたように、悪魔は「すべての人が自分のように惨めになることを求めている」のです。⁴ 天の御父の「業であり、……栄光」が「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと」だとすると、ルシフェルの「業」は無窮の惨めで不幸な状態に神の子供たちを追いやることです。⁵ 罪と背きは、生活にあるキリストの光を弱めます。だからわたしたちは、平安と喜び、幸福を与えてくれるキリストの光を浴びるために努力するのです。

過去 18 ヶ月にわたり、主は預言者と使徒に靈感を与えて、幾つかのすばらしい変更を実施されました。しかしながら、変更そのものを喜ぶあまりに、これらの変更の霊的な目的がなおざりになっているのではないかと、わたしは心配しています。

ジョセフ・F・スミスは、こう言いました。「純粹でシンプルなイエス・キリストのまことの福音が回復されました。わたしたちには地上でそれを守る責任があります。」⁶ そして、彼は、この純粹でシンプルなまことの福音は「キリストの救いの教義」であると、付け加えたのです。⁷

信仰箇条で預言者ジョセフ・スミスは、「キリストの贖罪により、全人類は福音の律法と儀式に従うことによって救われ得る」ことを教えました。⁸

福音の第一の原則は、主イエス・キリストへの信仰、悔い改め、バプテスマ、聖霊の賜物を受けること、最後まで耐え忍ぶことです。大管長の兄であるハイラム・スミスは、「福音の第一の原則を宣べ伝えなさい。繰り返し宣べ伝えなさい。そうすればあなたは、日々それらについての新しい考えが明らかにされ、さらなる光が与えられることに気づくでしょう。原則についていっそう深く知ることにより……、それらを明確に理解することができます。そうすればあなたは、教える人々にいっそう



はっきりと理解させることができるでしょう」と述べました。⁹

教会の霊的な目的を知るためにわたしたちにとって最善の方法は、純粹でシンプルなキリストのまことの教えに従った生活をして、さらに救い主の最も大切な次の二つの戒めを実践することです。「あなたは心を尽くし……て、主なるあなたの神を愛さなければならない。……あなたは自分自身を愛するように隣人を愛さなければならない。」¹⁰

最も大切なこの二つの戒めに従うことで、さらなる平安と喜びを味わうことができます。主を愛して主に仕え、隣人を愛して仕えるならば、ほかの方法では感じることでできない幸せを自然に強く感じるようになります。

神を愛し、隣人を愛することは、ミニスターリングの教義や家庭中心・教会サポートの学習、安息日の霊的な礼拝、扶助協会と長老定員会の助けで行われる幕の両側の救いの業の基本です。これらはすべて神を愛し、隣人を愛しなさいという神の戒めが土台になっています。これほど基本的でシンプルなことがほかにあるでしょうか。

純粹でシンプルなまことの福音の計画に従って生活すると、伴侶を亡くした人や孤児、孤独な人、病気の人、貧しい人を訪れる時間が取れるようになります。主と隣りに仕え、人生に平安と喜び、幸せを見いだします。

安息日のスケジュールの変更は家庭中心・教会サポートの福音学習と福音研究を強調しており、これは、わたしたちの霊の更新の機会であり、家庭という囲いの中で神に献身する機会です。これほど分かりやすく、基本的で、深い意味を持つものがあるでしょうか。兄弟姉妹、家庭で福音を学び、教えることは人生で喜びと幸福を見いだすための大切な方法であることが、皆さんには分かるでしょうか。

安息日について、救い主はこう言われました。「まことに、この日は、あなたがたの労苦を解かれて休み、いと高き方に礼拝をささげるように定められた日だからである。」¹¹ そして、こう付け加えています。「あなたの喜びが満たされるようにする〔のである。〕……喜びと祈り〔により、〕あなたがた〔は〕、感謝して、楽しげな心と表情をもって、……喜びの心と楽しげな表情をもって、これらのことを行う〔べき



である。』¹²

この啓示に出てくるキーワードに注目してください。喜び、感謝、楽しげな心、喜びの心と楽しげな表情です。安息日を守ると笑みがこぼれるようです。

ミニスタリングをより高く、より神聖な方法で行う際には、教会の集会に来るすべての人たち、特に新会員や訪問者を歓迎することがいかに大切かよく考えてください。教会員は皆楽しく賛美歌を歌い、心を開いて聖餐の祈りの言葉によく耳を傾けるべきです。

断食証会での信仰の証は、ビショップリックの一員が司会者として最初に述べます。幸福の計画と純粋でシンプルなイエス・キリストのまことの福音に的を絞った短い証をします。ほかの人は皆、この模範に従うべきです。単に話をしたり、面白い旅行談を分かち合うには適切な場所がほかにあることを、忘れないでください。証をシンプルでキリストの福音に的を絞ったものにするならば、互いに証を分かち合うときに、キリストが精神を新たにしてくださいます。

神を愛し、隣り人を愛することに焦点を合わせると、効果的なミニスタリングの仕方が最もよく分かるようになります。端的に言うと、わたしたちがミニスタリングを行うのは、天の御父とその子供たちを愛しているからなのです。ミニスタリングの努力は、ミニスタリングをシンプルにするこ

とでさらに効果が上がります。最大の喜びは人生のシンプルな物事から得られます。ですから、信仰と強い証を神の子供たちの中に育てるために与えられた変更、さらに付け加える必要があると思わないよう気をつけてください。

集会を増やしたり、期待することややるべきことを増やしたりして複雑にしないでください。シンプルにしてください。そのシンプルさにこそ、わたしがこれまで話してきた平安と喜び、幸福を、皆さんは見いだすのです。

長年にわたる教会での指導の目的は、『手引き 第2部』にあるように、明瞭かつ簡潔な成果です。

「指導者はどの会員にも、必要なすべての神権の儀式を受け、それに伴う聖約を守り、昇栄と永遠の命を受けるふさわしさを身につけるように励ましを与える。……

成人：神殿の儀式を受けるふさわしさを身につけられるように、成人一人一人を励ます。先祖を捜し出し、彼らのために神殿の身代わりの儀式を受けるよう、すべての成人に教える。

青少年：メルキゼデク神権を受け、神殿の儀式を受け、専任宣教師として伝道に出るふさわしさを身につけられるように、若い男性一人一人を準備させる助けをする。神聖な聖約を交わしてそれを守り、神殿の儀式を受けるふさわしさを身につけられるように、若い女性一人一人に準備で

きるよう助けをする。有意義な活動に参加することを通して青少年を強める。

全会員：神権指導者、補助組織指導者、ワード評議会、ワード宣教師、専任宣教師、会員が、改宗、定着、活発化を通して、個人を救い出し、家族と教会のユニットを強め、神権活動を活発にし、イスラエルを集合させる業にバランスよく取り組み、協力し合って働けるよう助ける。また、自立し、家族を養い、主の道にかなって貧しい人や助けの必要な人を支援するよう会員たちに教える。」¹³

教会で奉仕することによって、わたしはすばらしい、霊的な経験を数多くするという祝福を頂いてきました。わたしは、主が御自分の業を成し遂げるために主の教会





七十人
マティアス・ヘルド長老

御霊によって知識を 求める

を導かれることの証人です。これまで自分の能力をはるかに超えた導きを神から受けてきました。わたしが福音に従った生活から得てきた喜びは、イエス・キリストの純粹でシンプルなまことの教義と福音を中心としたものでした。

わたしはスペンサー・W・キンボール大管長からラッセル・M・ネルソン大管長に至るまで、預言者であり教会の大管長である6人の持つ鍵とその指示の下で奉仕してきました。その一人一人が神の選ばれた預言者であることを証します。この預言者たちは、教会と神の王国に関するきわめて大切な原則をわたしたちに教えてきました。ネルソン大管長は、驚異的なペースで主の業を進めています。「驚異的」と言うのは、使徒の中で唯一わたしより年長のネルソン大管長に、わたしはついていくのが必死だからです。神権の鍵と神の預言者の外套がネルソン大管長の上にあることを証します。ネルソン大管長は純粹でシンプルなまことのイエス・キリストの福音を教えています。イエスはキリストであり、この教会は主の教会です。このことをへりくだり、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

注

1. 2ニーファイ2:25
2. ヨハネ12:46
3. 教義と聖約18:23-24
4. 2ニーファイ2:27
5. モーセ1:39
6. Joseph F. Smith, "Principles, Not Popularity," *Improvement Era*, July 1906, 732.
7. Joseph F. Smith, "Principles, Not Popularity," 732.
8. 信仰簡条1:3
9. ハイラム・スミスの言葉——「宣教師としてのわたしの目的は何でしょうか」『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』(2019年), 6
10. 教義と聖約59:5-6。レビ19:18:申命6:5; マタイ22:36-40も参照
11. 教義と聖約59:10
12. 教義と聖約59:13-15
13. 『手引き 第2部——教会の管理運営』3.4.3.4

わたしたちは、論理的な解釈だけでなく、御霊の静かな細い声を通して真実を識別できるようにならなければなりません。

愛する兄弟姉妹の皆さん、「研究によって、また信仰によって学問を求め〔る〕』ようにと主は繰り返し告げておられます。¹ わたしたちは論理的考察のみならず、聖霊の導きと靈感により光と理解を受けることができます。

この知識の源を、わたしは常に得てきたわけではありません。

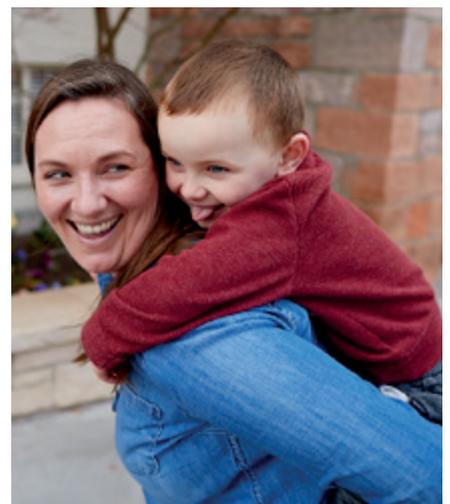
愛する妻のアイリーンとわたしが教会に入ったのは、31年前、新婚だったときのことで、二人ともコロンビアで育ちましたが、結婚して数か月後、わたしの仕事のためにドイツに移り住みました。わたしたちはとても若く、大きな希望と期待を抱いていました。興奮に満ちた幸せな時期でした。

わたしが仕事に集中する一方で、アイリーンは、いつ、どのようにかは分からないものの、わたしたちのもとに天から何らかのメッセージが届くと感じていました。そこで、その特別なメッセージを常に待ち望みながら、百科事典、掃除機、料理本、台所用品などの、ありとあらゆる訪問販売員を家に迎え入れるようになりました。

ある晩、妻はわたしに、黒っぽいスーツを着た二人の青年が玄関をノックしたこと、二人を迎え入れるべきだと、とても明瞭ではっきりとした印象を受けたことを話してくれました。彼らは、神について話したいが、わたしも家にいるときにまた戻

て来たいと言ったそうです。これが待ち設けていたメッセージなのでしょうか。

宣教師による訪問が始まり、彼らの導きの下、わたしたちは聖文を読み、イエス・キリストがわたしたちの救い主、贖い主としてきわめて重要な御方であられることを理解するようになりました。わたしたちはすぐに、小さな赤ん坊のときにバプテスマを受けていたことを残念に思いました。その聖約は知らずに交わしたものでした。それでも、再びバプテスマを受けることは、この新たに会った教会の会員になることも意味するので、まずこの教会について、理解する必要がありました。



しかしモルモン書、ジョセフ・スミス、救いの計画について宣教師の言っていることが実際にすべて真実かどうか、どのようにして分かるのでしょうか。わたしたちは主の言葉から、「その実によって彼らを見分け〔られ〕る」ことを理解していました。² そこで、とても体系的な方法で教会について調べ始め、非常に論理的な目でその実を探し始めました。何が見えたか御紹介しましょう。

- ただ苦しみや不幸だけでなく、喜びを感じるためにこの世にいることを理解している、友好的で幸せそうな人たちがすばらしい家族。
- 有給の聖職者がおらず、会員自身が割り当てや責任を引き受けている教会。
- イエス・キリストと家族をすべての事柄の中心とし、会員たちは月に1度断食して貧しい人や助けの必要な人を助けるために献金し、健康的な習慣が勧められ、有害な物質を避けるように教えている教会。

さらに、

- 個人の成長、教育、勤勉と自立が強調されているところにも好感を持たれた。
- 優れた人道支援プログラムについても知れた。
- すばらしい音楽と深遠で霊的な原則が分かち合われる総大会に感動した。

このすべてを見て、教会に非難すべき点は見つかりませんでした。それどころか、見たことはどれも、とても気に入りました。それでも、先にすべてのことを知っておきたかったので、依然としてバプテスマを受ける決意はできませんでした。

しかし躊躇している間でさえ、主は忍耐強くわたしたちを備え、論理的な思考を通してだけでなく、特にわたしたちの心に語りかける、御霊のとても静かな細い声を

通して、真理を見極めることを学ぶべきであると気づけるように助けてくださっていました。

その声と、感覚を経験したのは、福音を学び始めて10か月がたったある晩、モーサヤ書第18章を読んだときのことでした。「あなたがたは……互いに重荷を負い合うことを望み、……慰めの要る者を慰めることを望み、……あなたがたが心からこれを望んでいるのであれば、……主の御名によってバプテスマを受けるのに何の差し支えがあろうか。」³

モルモン書のこの聖句がわたしたちの心と霊に入り込んできて、その瞬間、バプテスマを受けない理由は何もないと感じ、知ることができました。この聖句で述べられている望みは自分たちの心の望みでもあり、これらの事柄こそほんとうに重要であると悟ったのです。それは、すべてを理解することよりも大切でした。わたしたちはもう十分に知っていたからです。わたしたちは、愛にあふれた天の御父の導きの御手に絶えず頼ってきましたし、御父がこれからも導いてくださるという確信がありました。



そういうわけで、その日、わたしたちはバプテスマを受ける日を計画し、程なくして、ついにバプテスマを受けたのです。

その経験から、わたしたちは何を学んだのでしょうか。

第1に、愛にあふれた天の御父を完全に信頼することができることを学びました。御父はわたしたちがどのような人物になれるか御存じであり、そうなれるよう常に助けようとしてくださっています。わたしたちは、主が語られた次の言葉が深遠な真理であることを確認しました。「わたしはここにも少し、そこにも少しと、教えに教え、訓戒に訓戒を加えて、それを人の子らに与えよう。わたしの訓戒を聴〔く〕……者は、知恵を得るので幸いである。わたしは受け入れる者にさらに多く与え〔る〕。」⁴

そして第2に、わたしたちの論理的な思考に加えて、知識の取得におけるもう一つの側面を通して導きや理解が与えられることを学びました。わたしたちの心と、またわたしたちの思いに語りかける主の聖なる御霊の静かで柔らかな声です。

この原則を、わたしたちの物を見る能力にたとえようと思います。天の御父は、わたしたちに肉体的な目一つだけではなく、二つ与えてくださっています。一つ目だけでも十分に見えますが、もう一つ目が別の視点を与えてくれます。両方の視点が脳内で一つに合わさると、周囲のものが立体的に見えます。

同じように、わたしたちには二つの情報源が与えられていて、肉体的な能力と霊的な能力を通して知識を得ることができます。肉体的な感覚を通して、また論理的な思考を通して、わたしたちの思いは一つの物の視点を作り出します。しかし聖霊の賜物を通して、御父はわたしたちにもう一つの視点を与えてくださっています。それは御父から直接もたらされるものなので、実に最も大切で偽りのない視点です。ただし、御霊のささやきは、たいいてとて



もかすかであるため、多くの人は、このもう一つの源に気づいていません。

この二つの視点がわたしたちの中で組み合わさるとき、一つの全体像が真実をありのままに示してくれます。実際、人が頭の中で思い描いた「真実」が聖霊から得る別の視点を通して、欺きや明らかな誤りであると露呈されることがあります。次のモロナイの言葉を覚えていてください。「聖霊の力によって、あなたがたはすべてのことの真理を知るであろう。」⁵

教会員として31年過ごしてきた中で、わたしが何度も経験によって学んできたのは、もし自分の論理的な思考だけに頼り、聖霊のささやきや印象を通して得られる霊的な理解を否定したりないがしろにしたりするなら、それはあたかも、一つの目だけで人生を歩んでいるようなものであるということです。比喩的に言えば、わたしたちは「二つの目」が与えられています。両方の見方を組み合わせて初めて、すべての真理と、わたしたちが人生で経験するすべてのことについて真の全体像が見え、生ける天の御父の子供としてのわたしたちの存在や目的について、深く完全に理解することができるのです。

1年前にネルソン大管長が教えてくれたことを思い出します。大管長は次のよう

に言いました。「導き、指示し、慰める、変わることのない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。」⁶

わたしは次のことを確かに知るようになりました。

- わたしたちには愛にあふれた天の御父がおられて、わたしたちは皆、神の計画の一部としてこの地上に来ることに同意しました。
- イエスはキリストであり、生きておられ、わたしの救い主、贖い主であられます。
- わたしは貧しい農家の少年であったジョセフが召され、偉大な預言者となって、神の聖なる神権のすべての鍵と力と権能をもって、この時満ちる神権時代が始まったことを知っています。
- モルモン書がイエス・キリストについての第二の証であり、家族が永遠にともにいるように意図されていることを知っています。
- そしてわたしたちの主イエス・キリストがこの回復された主の教会を、今日、生ける預言者ラッセル・M・ネルソン大管長を通して導いておられることを知っています。

これらの真理やそのほかの多くの貴い真理は、神の助けを通してわたし自らを形成する霊的な要素となってきました。わたしは、主がわたしたちに、このすばらしい人生を歩む中で「研究によって、また信仰によって」得るよう望んでおられるさらなる新しい教えを心待ちにしています。

わたしはこれらのことが真実であると知っており、イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 109:7。教義と聖約 88:118 も参照
2. 3 ニーファイ 14:16
3. モーサヤ 18:8-10
4. 2 ニーファイ 28:30
5. モロナイ 10:5
6. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

信仰の目

宣言全体を受け入れずに取捨選択するならば、わたしたちの永遠の展望は曇り、今ここでの体験に重きを置きすぎてしまいます。

十字架に掛けられる少し前、イエスは裁きの広間にいるピラトの前に引き出されました。「あなたはユダヤ人の王か」と蔑むように尋ねるピラトに向かい、イエスはこう答えられました。「わたしの国はこの世のものではない。……わたしは真理についてあかしするために……この世に来たのである。だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける。」

ピラトは皮肉を込めて尋ねました。「真理とは何か。」¹

「真理とは何か」という質問は、今の世の宗教を信じない人にとって、ひどく複雑なものかもしれません。

グーグルで「真理とは何か」と検索する

と、100万以上の回答が表示されます。従来の図書館の蔵書全部を合わせたよりも多くの情報が、携帯電話で入手できます。わたしたちは情報過多、意見過多の社会に住んでいます。どちらを向いても、わたしたちの心をそそり、引き付ける声が続いてきます。

今日混乱に陥った多くの人々が、2500年も前の哲学者の言葉を鵜呑みにするのも不思議ではありません。かつてプロタゴラスは若きソクラテスに向かってこう言いました。「あなたにとっての真理はあなたにとって正しく、わたしにとっての真理はわたしにとって正しい。」²

イエス・キリストの回復された福音に焦点を当てる

イエス・キリストの回復された福音に恵まれているわたしたちは、完全かつ絶対に正しい事柄が存在すると、へりくだり宣言します。これらは、すべての神の息子、娘にとって同じ真理です。

聖文は、「真理とは、現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である」と教えています。³ 真理は過去と未来に目を向け、時間軸の小さな一点しか見えないわたしたちの物の見方を広げてくれます。

イエスは「わたしは道であり、真理であり、命である」と言われました。⁴ 真理はわたしたちに永遠の命に至る道を示してくれますが、それは救い主イエス・キリストを通してのみ与えられるものです。ほかに道はありません。

イエス・キリストはわたしたちにいかに生きるべきかを教え、御自身の贖いと復活を通して、わたしたちに罪からの赦しと、死後の不死不滅の機会を与えてくださいます。これは絶対的な真理です。

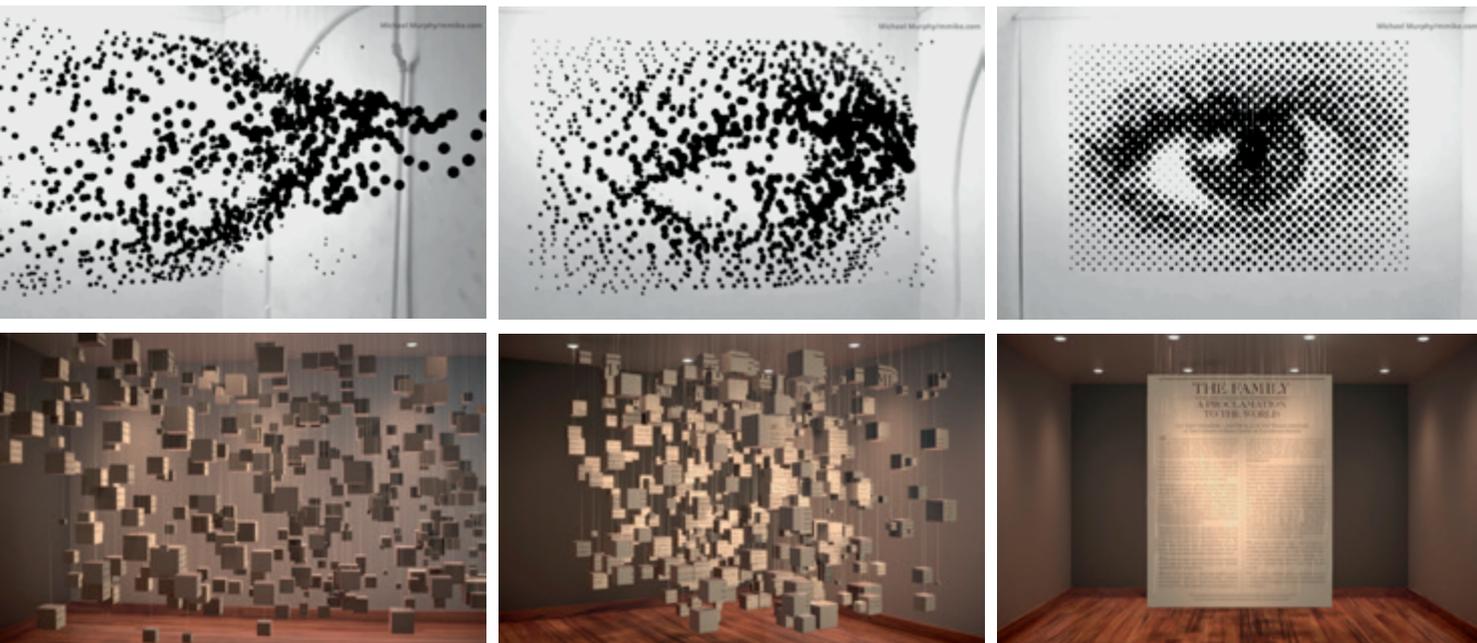
主は、貧富、有名・無名、教養の有無は問題でないと教えておられます。むしろ、この世の目的は、主イエス・キリストを信じる信仰を強め、悪を選ばず正義を選び、主の戒めを守ることにあります。わたしたちは科学や医学の革新を喜びますが、神の真理はそのような発見をはるかに超えるすばらしいものです。

永遠の真理に反し、この世にはいつも神の子供たちの気を真理からそらそうとするまがいものがあります。サタンのはいつも同じです。2千年前のサタンの言葉を聴いてください。

「……あなたがたはまだ見ていない物事を知ることはできない。……また人がすることはどんなことも決して罪にならない……。

〔神があなたがたを祝福しているのではなく、〕人は皆自分の素質に応じて栄え





この宣言を祈りの気持ちと信仰の目を通して深く考えれば、幾つもの原則がいかに美しく結び合い支え合って御父の子供たちのための計画を明らかにしているかが、よく分かるようになります。

〔る〕……。〕⁵

「キリストのようなものが来るのは道理に合わない。」⁶

「〔あなたがたが信じているのは愚かな言い伝えと〕精神の錯乱〔によって〕、……生じたものである。」⁷ 今日のわたしたちも同じような言葉を聞いているのではないのでしょうか。

福音の回復に伴い、神は必要不可欠な霊的真理を学び知る方法をわたしたちにお与えになりました。聖文、個人の祈りと体験、生ける預言者と使徒たちによる勧告、そして「すべてのことの真理を知る」よう助けてくださる聖霊の導きを通して、わたしたちは真理を学びます。⁸

真理は霊的な目で判断することができる

神の事柄は、御霊によって真理を求めるときに知ることができます。パウロはこう述べています。「神の思いも、神の御霊〔を通してでなければ〕、知るものはない。……〔なぜなら、〕それは御霊によって判断されるべきであるから〔である。〕」⁹

マイケル・マーフィーによるこの作品を見てください。こちらから見ると、人の目のオブジェだとは信じ難いかもしれせん。しかし、別の観点から見ると、アーティストによる美しい作品が見て取れます。

同様に、信仰の目を通すことによって、

神の霊的な真理が見えるのです。パウロは言いました。「生れながらの人は、神の御霊の賜物を受け入れない。それは彼には愚かなものだからである。また、御霊によって判断されるべきであるから、彼はそれを理解することができない。」¹⁰

聖文、祈り、個人の体験、現代の預言者、そして聖霊の賜物により、わたしたちはこの地上の旅路に関する真理について曇りのない物の見方ができるようになります。

信仰の目を通して見る「家族——世界への宣言」

「家族——世界への宣言」を信仰の目を通して見てみましょう。

24年前、ヒンクレイ大管長は次のような言葉でこの宣言を世に出しました。「わたしたちの方で皆さんに警告したいことがあります。……真理という仮面をかぶった詭弁があふれており、倫理基準や価値観に対する欺瞞〔さかまし〕が後を絶たず、じわじわと世の汚れに染めていこうとする誘惑があまりにも多いからです。」¹¹

宣言は次の言葉で始まります。「すべての人は、男性も女性も、神の形に創造されています。人は皆、天の両親から愛されている霊の息子、娘です。したがって、人は皆、神の属性と神聖な行く末を受け継いでいます。」

これは永遠の真理です。皆さんもわたしも、偶然の産物ではないのです。

わたしはこの言葉が好きです。「前世で、霊の息子、娘たちは神を知っていて、永遠の御父として神を礼拝し、神の計画を受け入れました。」¹²

わたしたちは生まれる前から存在しており、一人一人が永遠に個人として識別されているのです。その方法は完全には理解できないものの、前世におけるわたしたちの霊的な成長は現世におけるわたしたちの人となりに影響を及ぼしています。¹³ わたしたちは神の計画を受け入れました。地上において困難や苦痛や悲しみを経験することを知っていました。¹⁴ また、救い主が来られること、そしてふさわしさが証明されるときに、わたしたちは復活し、「とこしえに栄光をその頭に付け加えられる」¹⁵ ことも知っていました。

宣言は単刀直入に述べています。「わたしたちは宣言します。この世に命をもたらす手段は、神によって定められたものです。わたしたちは断言します。命は神聖であり、神の永遠の計画の中で重要なものです。」

天の御父の計画は、夫婦に子供を生むよう勧めると同時に、これから生まれる子供たちを守るために声を上げるよう、わたしたちに義務付けています。



宣言にある一つ一つの原則は美しく結び合っている

宣言全体を受け入れずに取捨選択するならば、わたしたちの永遠の展望は曇り、今ここでの体験に重きを置きすぎてしまいます。この宣言を祈りの気持ちと信仰の目を通して深く考えれば、幾つもの原則がいかに美しく結び合い、支え合って御父の計画を明らかにしているかが、よく分かるようになります。¹⁶

真理の重要な原則について、主の生ける預言者が主の御心を宣言するとき、人によっては、いくばくかの疑問が残るのはそれほど驚くべきことではないでしょう。もちろん、直ちに預言者の声を拒絶する人もいれば、¹⁷ 心からの疑問について祈りの気持ちで深く考える人もいます。そのような疑問は忍耐と信仰の目があれば、いずれ解消されることでしょう。もし家族の宣言が違う世紀に啓示されたとしても、今日の疑問とは違う疑問が、あったことでしょう。預言者たちの一つの目的は、心からの疑問を解消できるように助けることです。¹⁸

ラッセル・M・ネルソン大管長は大管長になる以前にこう述べています。「預言者は将来を見通します。サタンがわたしたちの行く手に設けた、あるいは将来設ける、ひどい危険を見ることができのです。また預言者は、*従う意志*をもって耳を傾ける人が持つ大きな可能性や特権も目見します。」¹⁹

大管長会と十二使徒定員会が一致して

上げる声には真理があり、霊的な力があることを証します。

深まる世との溝

わたしが生まれてから現在まで、家族の宣言で教えられている原則の多くに対する世の人々の考えは劇的に変わりました。わたしの十代のころや結婚したばかりのころ、わたしたちが純潔の律法または貞潔の律法と呼ぶ、性的な関係は法律上結婚している夫婦間でのみ許されるとする主の標準に、世の多くの人が背を向けました。わたしの20代や30代のころには人工中絶がより受け入れられるようになり、胎児を守るという神聖な義務に多くの人が背を向けるようになりました。最近では、多くの人が、結婚は男女間の神聖な結びつきであるとする神の律法に背いています。²⁰

多くの人が主の定められた戒めに背くのを見るとき、カペナウムでの出来事を思い出します。救い主が御自身の神性を宣言したところ、悲しいことに「多くの弟子たちは……[去って行きました]。」

そこでイエスが十二使徒に「あなたがたも去ろうとするのか」と尋ねると、ペテロが答えて言いました。

「主よ、わたしたちは、だれのところに行きましょう。永遠の命の言^{ことば}をもっているのはあなたです。」

わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。²¹

必ずしもすべての人の現状が完全に宣言にそぐうものではない

年齢を問わず、自身の現状が家族の宣言の内容に必ずしもそぐわなくても、イエス・キリストの福音を忠実に守っている人々が大勢います。親の離婚に心を痛める子供たち、友人に純潔の律法をばかにされる青少年、離婚し、伴侶の不貞に深く傷つく経験をした男女、子供を授からない夫婦、伴侶が回復された福音を信じていない既婚の男女、様々な理由で結婚できない独身の男女などです。

わたしがとても尊敬する20年来の友人は、同性にひかれる気持ちがあるために結婚していません。彼は神殿で交わした聖約を守り続けています。また、自身の創造性と職業的才能を開花させ、教会と地域社会で立派に奉仕をしてきました。最近、彼はわたしにこう言いました。「わたしと同じ状況にあって、この世で純潔の律法を守らないことを選ぶ人々を気の毒に思います。でも、キリストはわたしたちに『世のものとならない』ように言っておられますよね。神の標準と世の標準は明らかに違うのです。」

世の律法は主の定めたものとは異なりません。神に喜ばれたいと望むのであれば信仰と忍耐、勤勉さが必ず求められます。²²

妻のキャシーとわたしの知人で、現在40代半ばの独身の姉妹がいます。彼女は職業的能力に優れ、ワードですばらしい働きをしています。彼女もまた、神の律法を守ってきました。彼女はこう書いています。

「わたしは夫と子供に恵まれる日を夢見ていました。まだその日が来るのを待っています。わたしのような状況にいます、時々忘れられたかのように感じ、孤独になりがちです。でも、わたしは自分にないものではなく、自分に与えられているものと、どのように人を助けられるかに焦点を当てようとしています。

遠い親戚も含めた家族への奉仕と、ワードの中や神殿で行う奉仕が助けになってきました。わたしは大きな家族の一員なのです。そして、皆がその家族の一員なのですから、忘れられてはいませんし、独りぼっちでもないのです。」

理解してくれる御方がいる

「あなたにはわたしの状況が分からない」と言う人たちもいるでしょう。わたしには分からないかもしれませんが、確かに分かる御方がおられることを証します。²³ ゲツセマネの園と十字架上での犠牲によって、あなたの重荷を知っておられる御方です。主を求め、その戒めを守るとき、主は皆さんを祝福し、独りでは負いきれない重荷を軽くしてください。主は皆さんに永遠の友と奉仕する機会を与えてください。何より、主は聖霊の強い御霊で皆さんを満たし、皆さんの努力が天に認められたことを知らせてください。聖霊を伴侶とする機会、あるいは永遠の

祝福を受ける機会を妨げる選択や考えは、いかなるものも考えるに値しません。

わたしは救い主が生きておられることを知っています。主がほんとうに大切なすべての真理の源であり、御自身の戒めを守る人々に約束されたすべての祝福を成就してくださることを証します。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

注

1. ヨハネ 18 : 33, 36 - 38
2. William S. Sahakian and Mabel Lewis Sahakian, *Ideas of the Great Philosophers* (1966), 28
3. 教義と聖約 93 : 24
4. ヨハネ 14 : 6
5. アルマ 30 : 15, 17
6. ヒラマン 16 : 18
7. アルマ 30 : 14, 23, 27 参照
8. モロナイ 10 : 5
9. ジョセフ・スミス訳 1 コリント 2 : 11 [(英文) 1 コリント 2 : 11 脚注 c] : 1 コリント 2 : 14
10. 1 コリント 2 : 14
11. ゴードン・B・ヒンクレー「世の策略に対抗して立つ」『聖徒の道』1996年1月号, 113。ラッセル・M・ネルソン大管長は、シェリー・デュエが *Insights from a Prophet's Life: Russell M. Nelson* (2019), 208 でかいつまんで話しているように、宣言の歴史にまつわる話を最近、説明した。
「1994年のある日、十二使徒定員会は、ソルトレーク神殿の十二使徒定員会評議会室で一日中、家族を取り巻く問題について話し合っていました。ますます蔓延するポルノグラフィから、様々な反家族的法律の制定の恐れに至るまで、あらゆることについて、十二使徒は検討しました。これは新しい議題ではなかったのですが、その日はこの重要なテーマを中心にすべての議論が展開したのです。

十二使徒たちは教義と方針の両方を見直しました。変えることのできないものである教義と、変えることも可能である方針を検討しました。同性婚やトランスジェンダーの権利を認めさせようとする社会の圧力が強くなることなど、これから起こると見られる問題について話し合いました。「しかし、わたしたちに見えてきたのは、そのような問題にとどまりませんでした」とネルソン長老は説明しています。「様々な地域社会が性的行為に関するあらゆる標準や制限を取り払おうと努めるであろうという実態が、見えてきたのです。性別の混乱が起こるのが見えました。起こることのすべてが分かったのです。」

この長時間に及んだ話し合いからは、ある期間かけたその他の話し合いと合わせて、十二使徒が文書を作成するという結論が導き出されました。これは、家族に対する教会の立場を説明する宣言になるかも知れませんでした。それを作成して大管長会に提出し、検討してもらったことになったのです。」

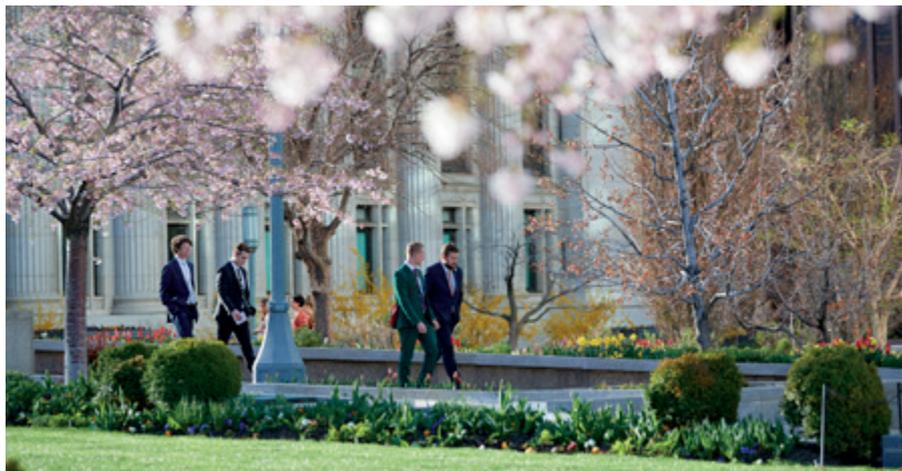
12. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
13. ダリン・H・オークス管長はこう述べている。「これまでこの世に生を受けた数限りない人々は皆、天父の計画を受け入れ、この計画のために戦いました。また、わたしたちの多くは、この世でどのような行いをするかについて御父と聖約を交わしたのです。まだ明らかにされていませんが、前世での行いは、何らかの形で現世におけるわたしたちに影響を及ぼしています。」(「人に幸福を与える偉大な計画」『聖徒の道』1994年1月号, 81)
14. ダリン・H・オークス「真理と計画」『リアホナ』2018年11月号, 25 - 28 参照
15. アブラハム 3 : 26
16. ダリン・H・オークス管長は次のように言っている。

「25年近く前に発表され、現在多くの言語に翻訳されている家族の宣言は、家族が現代の試練を受ける中であってわたしたちを支えるものです。その宣言において、主がなくてはならない福音の真理を再度強調されていると、改心した末日聖徒は信じています。

わたしは家族に関する宣言が永遠の真理、すなわち永遠の命を求める神の子供たちに向けられた、主の御心を表す声明であることを証します。過去22年間にわたって、それは教会の教えと慣行を支える土台となっています。今後もその位置づけが変わることはないでしょう。家族の宣言をそのように受け入れ、宣言について教え、宣言に従って生活するならば、永遠の命に向かって力強く歩む中で、皆さんは祝福を受けることでしょう。

家族の宣言に対するわたしたちの態度とその用い方は、この世代が遭遇する試練の一つであると思います。すべての末日聖徒が、その試練に揺らぐことのないよう祈ります。」(「計画と宣言」『リアホナ』2017年11月号, 30 - 31)

17. ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように言っている。「わたしたちを偏屈者と見る人もいます。しかし、偏屈者とは、ほかの人が感じたいように感じる自由を認めず、自分が感じた





七十八
和田貴志長老

キリストの言葉をよく味わう

わたしたちが心を備えてさえいれば、キリストの言葉をいつでもどのようなときにも味わうことができます。

いように感じる自由を人に認めさせようとする人のことです。わたしたちの立場を煮詰めると、純潔の律法になります。十戒は今でも有効です。撤回されたことはありません。……神が下された律法を変える権利はわたしたちにありません。」(Dew, *Insights from a Prophet's Life*, 212 で引用)

18. 「家族は全世界で攻撃的的となっていますが、家族の宣言に含まれる真理は皆さんを強めてくれるでしょう。

貴い生得権をもつ素晴らしい若人の皆さんは、結婚の定義そのものについて社会で争いがあり、それが広範囲に影響を及ぼすことを理解する必要があります。現在論議的的となっているのは、同性である二人が結婚することができるかという疑問についてです。このことを始めとする重要な問題に対する教会の立場について疑問がある場合は、祈りながらそのことについてよく考えてから、次回の10月の総大会で預言者のメッセージに耳を傾けてください。靈感あふれる預言者の言葉に聖霊からもたらされる靈感が加わり、さらに心により真理に対する理解を深めることができます。」(ラッセル・M・ネルソン「貴い生得権をもつ若人たち——何を選びますか」[ヤングアダルトのための教会教育システムディベーションナル、2013年9月6日], broadcasts.Churchof-JesusChrist.org)

19. ラッセル・M・ネルソン「本物のミレニアル世代として立つ」『リアホナ』2016年10月号、53
20. ネルソン大管長はこう言っている。「法律を起草したり、修正したり、執行したりするとき、政府は社会の風潮やこの世的な考え方に非常に影響されます。どのような法律が制定されようと、結婚と道徳に関する主の教義は変わることがありません。覚えておいてください。罪は、たとえ人によって合法化されたとしても、神の目には依然として罪なのです。」「(永遠のための決断)『リアホナ』2013年11月号、108)
21. ヨハネ 6:66 - 69
22. アルマ 32:41 - 43 参照。わたしはいつも感動するのだが、信仰を育てることと信仰や忍耐、勤勉という徳が、この偉大な章の最後の3節にまとめて述べられている。
23. アルマ 7:12 参照。イエス・キリストはわたしたちの罪のためだけでなく、わたしたちの弱さのためにも苦しみました。「神の御子は、御自分の民を束縛している死の縄目を解くために、御自身に死を受けられる。また神の御子は、肉において御自分の心が憐れみで満たされるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように、彼らの弱さを御自分に受けられる。」(弱さの同義語は、*病、弱点、苦難、欠陥*であろう。)教義と聖約 88:6 参照。「イエス・キリストは……万物の下に身を落とし、それによってすべてのことを悟って、万物の中にあり、万物を貫いてあり、真理の光となった。」

天の御父はわたしたちを愛しておられます。御父はわたしたちのために完全な計画を備え、御父からの祝福を享受できるようにしてくださいました。この世に来て、回復されたイエス・キリストの福音を受け入れるように招かれています。すなわちバプテスマを受け、聖霊の賜物を授かり、福音に忠実に生活することです。ニーファイは、わたしたちがバプテスマを受けようと決意することを「細くて狭い道」に入ると表現しています。また天の御父がわたしたちに備えておられるすべての祝福を受けられるように、「キリストを確固として信じ……力強く進[み]……

キリストの言葉をよく味わいながら……最後まで堪え忍[び]」続けるよう語りかけました(2ニーファイ 31:19 - 20)。

ニーファイはさらに、わたしたちが「キリストの言葉をよく味わう」ならば、それは「[わたしたちが] なすべきことをすべて告げ」てくれ(2ニーファイ 32:3)、「敵対する者の……火の矢」に打ち勝つ力が授けられると教えています(1ニーファイ 15:24)。

味わうとは

わたしは若いころ、「味わう」、すなわち英語でごちそうを頂くという意味の“Feast”(2ニーファイ 32:3 [英語] 参照)





とは、単に寿司などのごちそうを食べることだと思っていました。今では、ごちそうを頂くことは、おいしい食事を味わう以上のことである、と知っています。それは非常においしく沢山の食物をよく味わいながら、喜び、養い、祝い、分かち合い、家族や愛する人々に愛を示し、神に感謝の気持ちを伝え、関係を築くという経験です。キリストの言葉をよく味わうときにも、同じように考えるべきです。聖文をよく味わうとは、単に読むことではありません。わたしたちに真の喜びをもたらすもの、救い主との関係を築くものとなるべきなのです。

このことは、モルモン書でははっきりと教えられています。リーハイが夢で見た木の「実は人を幸せにする好ましいもの」でした。この実は神の愛を表しており、リーハイが「今までに味わったどんな実よりもずっと甘い」ものでした。リーハイの「心は非常に大きな喜びに満たされ」、家族にも食べてほしいと思ったほどでした(1ニーファイ8:10-12)。

味わうとき、心が感謝で満たされていれば、何をどれだけ食べるかはあまり気になりません。リーハイの家族は荒野で生肉を食べて暮らしていましたが、ニーファイはこの困難な試練について、「主の祝福が大変豊かであったので、妻たちは……強く」「つぶやかずに旅に耐えるようになった」と述べています(1ニーファイ17:1-2)。

よく味わうことには、ときに試したり、味見をすることも含まれます。アルマはわたしたちの心に植えられた良い種について述べています。植えてみると、わたしたちはその種が自分に「良い気持ち」〔訳注——英語では“to be delicious”,「おいしいと思う」の意〕を与え始めていることを実感するのです(アルマ32:28-33)。

キリストの言葉をよく味わう

キリストの言葉をよく味わうことによりもたらされる祝福は力強く、人生を変えるもの。皆さんの生活に取り入れるよう特にお勧めしたいことが3つあります。

一つ目に、キリストの言葉はわたしたちが「啓示を受ける霊的な能力を伸ばし」(ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちのための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 96)、生涯にわたって安全に導かれるうで助けとなります。キリストの言葉は「民に正しいことを行わせるのに大きな効果があり」、「剣」などよりも力強い影響を及ぼすとモルモンは教えています(アルマ31:5)。わたしは自分自身の試練に対処するために神の知恵を探し求めるとき、いつも「神の言葉の力」(アルマ31:5)を試してみることにより、靈感を受け、賢明な決断を下せるようになり、誘惑に打ち勝ち、キリストを信じる信仰と周りの人々への愛が増し加えられるという祝福を受けてきました。預言者ラッ

セル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「導き、指示し、慰める、変わることのない聖霊の影響力がなければ、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう」(「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」96)。必要な啓示は、わたしたちが「言葉の力」を試すときに与えられます。キリストの言葉は、わたしたちが試し、想像し得る何にも増して力強い影響をもたらしてくれるでしょう。

二つ目に、自分が何者であるか分からず、自尊心を失うとき、聖文にある「喜びをもたらす神の御言葉」(モルモン書ヤコブ2:8)は、自分がほんとうは何者であるかを知り、自分が持つ以上の強さを受けよううで助けとなるでしょう。わたしにとって、自分自身が神の子供だと理解できた瞬間は、この上なくすばらしい経験の一つでした。10代前半のころ、わたしは救い主の教えを何一つ知りませんでした。生まれて初めて新約聖書を読んだとき、キリストの言葉はわたしの傷ついた心をほんとうに癒してくれました。自分が独りではなく、神の子供であるということを知り、神の御前において自分がほんとうは何者であるかを知ったことで、わたしはキリストの贖罪により、自分には無限の可能性があることに気がつくしました。

同じくエノスも、キリストの言葉を深く考えることにより心が照らされた個人的な経



験について話しています。父に教えられた「永遠の命と聖徒たちの喜びについて……の言葉が……心に深くしみ込ん[だ]」エノスの霊は「飢えを感じ」、彼は「造り主の前にひざまずき……熱烈な祈り」をささげました（エノス1:3-4）。祈りを通して、エノスは救い主について知るようになりました。わたしたちには大いなる価値があり、愛されていること、間違っても赦しを受けられること、自分がほんとうに神の子供であることが分かったのです。

3つ目に、わたしたちはキリストの言葉を通して人々の人生を高めることができます。キリストの言葉は、エノスにとってかなった時と場所において彼の心に触れました。同じように、主は御自分の務めを果たされ、わたしたちが福音を伝えたいと願う人々の心に触れてくださいます。わたしたちの多くは、福音に耳を傾けるようだれかを招いた際、望むような結果が伴わなかったために落ち込んだ経験があるかもしれません。結果がどうであれ、主は口を開き、人々に福音のメッセージを分かち合うようわたしたちを招いておられます。

2年前、主はわたしの愛する母の心に触れてくださいました。それが助けとなって、母はバプテスマの儀式を受ける決意をしたのです。わたしは35年近くの間、その日が来るのを待ち望んでいました。母の決意を助けるべく、教会の多くの会員たちはキリストがなされたように真のミニス

タリングをしてくれました。ある日曜日、自分は教会に行くべきだと感じた母は、その促しに従いました。最前列に座り、聖餐式が始まるのを待っていると、4歳の男の子が母の前に立ち、母を見つめました。母はにっこりと男の子にあいさつしました。すると、その小さな男の子は突然母の前から立ち去り、自分の席に戻りました。母が座っていた列とは反対側の離れた席でした。この男の子は自分の席から何かを手に取り戻って来ると、母に賛美歌を手渡して自分の席に戻りました。母は、礼拝堂の椅子に賛美歌が一つおきに置いてあったのに気がつきました。母にとって、自分の隣の椅子に置いてある賛美歌を取るのには容易なことでした。しかしながら、母は男の子が家庭や教会で身に付けたであろう、純真で親切な行いに非常に感銘を受けました。母にとって、すばらしい経験でした。その時母は、救い主のもとに来て、主に従うよう神が自分を招いておられるという強い印象を受けたのです。母はバプテスマを受けるべきだと感じました。この小さな男の子は、自分の行いを認めてもらおうとは思っていませんでした。神の言葉に従って生活し、隣人を愛するために、ただ自分にできることを行っていたのです。彼の思いやりは、母の心に重要な変化をもたらすきっかけとなりました。

キリストの言葉は、まだ主を見ていない人々の心に深く触れ、その目を開くことで

しょう。エマオへ向かう道中、二人の弟子はイエスとともに歩きました。悲しみに暮れる彼らは、救い主が死に打ち勝たれたことを理解していませんでした。嘆きの中で、彼らは生けるキリストが自分たちとともに歩いておられることに気づけなかったのです。イエスは「聖書全体にわたり、ご自身についてしるしてある事どもを、解きあかさせ」ましたが、主とともに座り、パンを裂くまで、弟子たちは主が復活された救い主であるということが分かりませんでした。それから、彼らの「目」が開けたのです。わたしたち——または友人、同僚、隣人——が主とともに食卓につき、パンを裂くとき、わたしたちの理解の目は開かれることでしょうか。弟子たちは、エマオで復活された救い主とともに過ごした時間を振り返り、主が聖書を説き明かしてくださったとき、互いの心が内に燃えたと述べました（ルカ24:27-32参照）。これは、わたしたち皆に当てはまることです。

終わりに

話を終えるに当たり、わたしたちが御言葉を受けるべく心を備えるなら、いつでも、どのような場にあっても、キリストの言葉をよく味わうことができることを証します。キリストの言葉をよく味わうことで、命の糧となる啓示がもたらされ、自分が何者であるかを再認識し、また神の子供である自分の価値を再確認し、わたしたちの友人をキリストのもとに、永遠の命へと導くことができます。ニーファイの次の招きを繰り返し、結びとします。「あなたがたはこれからもキリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して力強く進まなければならない。そして、キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」（2ニーファイ31:20）イエス・キリストの御名により、アーメン。■



七十人
デビッド・P・ホーマー長老

主の御声を聞く

兄弟姉妹の皆さん、数多くの誘いの声が満ちあふれる世にあって、わたしたちの天の御父のおかげで御声を聞き、それに従うことができるようになったことをわたしは証します。

今日の早朝、妻の兄弟が、何年も前にまだ妻が小さな女の子だったころに母親に手渡したメモを見せてくれました。そのメモの一部には次のようにありました。「大好きなママへ、今日証を述べなくてごめんなさい。愛してるよ。」昼食を共にしながら、それは良い考えだと思い、わたしは腰かけ、次のようなメモを書きました。「愛するネルソン大管長、今日お話を述べなくて申し訳ありません。愛していますよ。」ですが、さすがにそれではまずいと感じました。この大会ですでに語られたことに加え、お話できる機会に感謝しています。

何年も前のことですが、わたしは、免許を取ったばかりの新人パイロットの操縦する小型飛行機に乗りました。空の旅も終わりに近づき、着陸の許可も下りました。しかし、飛行機が地面に近づいたとき、コックピットから「上昇せよ」という警告音が聞こえてきました。操縦士は、自分より経験豊かな副操縦士の顔を見ると、彼は滑走路から離れた下の方向を指さし、「今だ!」と操縦士に言いました。

わたしたちの乗った飛行機は、左下に向かって急旋回すると再度適当な高度を取り戻すところまで上昇し改めて着陸体制に入り直すと、目標地点に無事に着陸したのです。後から知ったことですが、その時、別の飛行機に離陸の許可が出たばかりだったということでした。もし警告音の指示に従っていたとしたら、離陸寸前

の飛行機を回避するどころか、飛行機に接近していたことでしょう。この経験からわたしは二つの重要な教訓を得ました。一つは、人生における重大な瞬間には、わたしたちの関心を引こうと、相反する複数の声が聞こえるということ。もう一つは、正しい方の声に聞き従わなければならないということです。

相反する声

わたしたちは、関心を得ようとする皆さんの声に囲まれて生活しています。ニュース速報やツイッター、ブログ、ポッドキャスト、そしてアレクサやシリのような音声アシスタントの指示の声などが次々と押し寄せる中で、信用できる声を識別することは困難です。時に、わたしたちはコン

ピュータの中に人生の導きを求めます。大多数が支持していることに真理の源があると考えるのです。また、「二つのものの中に迷い」¹、「冷たくもなく、熱くもない」² 状態を選ぶこともありますし、都合の良い方に従ったり、たった一つの声や論点にしか耳を傾けなかったり、自分自身の思考能力だけに頼ることもあります。

こうした手段が問題解決の役に立つ場合もあるでしょうが、経験から言えることは、それが常に確実なわけではないということです。多くの人が支持するから最善だというわけではありません。二つの意見の間で迷っては、何も進みません。都合の良さは、最も大切な事にはつながらず、一つの声や論点に固執することで、視野が損なわれることがあります。自分自身の思考力だけに頼ると、知的観念が強すぎて思いが鈍くなってしまいます。注意していないと、間違った声に誘われ、福音の中心から外れて、信仰を維持できなくなり、むなしさ、つらさ、そして不満といったものしか感じられなくなってしまいます。

間違った声に耳を傾ける

たとえ聖典の例を使って、それがどういう意味なのか、説明したいと思います。登山家たちは、通常 8,000 メートル以上の高地を「死のゾーン」と呼んでいます。そ





の高度では、生命を維持できる酸素が十分にはないからです。同じように、霊的な「死のゾーン」があります。わたしたちが信仰とは縁遠い場所に長くいすぎると、一見善い導きであるかのような声が聞こえてきて、わたしたちが必要とする霊的な酸素を奪っていきます。

モルモン書にはコリホルの例があります。彼が人々から大いに慕われたのは、彼の教えが「肉の思いに快い」からでした。³ 親や預言者たちが教えている愚かな言い伝えは自由を制限し無知のうちにとどめようとするものであり、⁴ 人々は自分の思いどおりに行く自由があり、戒めというものは都合よく考案された制限でしかないからだとして主張しました。⁵ イエス・キリストの贖罪などといったものを信じているのは、目に見えず、存在するわけもない存在を信じる妄想により「精神がおかしくなっている」からである、というのがコリホルの見解でした。⁶

大きな不安をかき立てたコリホルは、大さばきつかさと大祭司のもとに連れてこら

れました。彼は立ち上がって「大言壮語し」、指導者を批判して、しるしを示すことを要求しました。一つのしるしと与えられ、彼は打たれて、物が言えなくなりました。こうしてコリホルは自分が欺かれていたことに気がつき、これまで無駄にしてきた貴重な真理のことを思い、嘆きました。「わたしは……前から知っていました。」⁷

こうしてコリホルは物乞いとなり、やがてゾーラム人の一団に踏みつけられて死んでしまいました。⁸ 彼の物語の最後の節は、次のような悲しげな内省の言葉で締めくくられています。「また、悪魔は終わりの日には自分の子らを助けようとせず、速やかに地獄に引きずり込むということも、わたしたちに分かるのである。」⁹

正しい声

天の御父はわたしたちにさらに良いものを得てほしいと望んでおられるので、わたしたちが御声を聞けるようにしてください。なかでも、聖霊から与えられる心の思いを通じて、御声を聞くのが最

も一般的です。聖霊とは神会の第三の御方です。聖霊は御父と御子について証をし、¹⁰ 「[わたしたちに] すべてのことを教え」るために遣わされており、¹¹ 「[わたしたちが] なすべきことをすべて [わたしたちに] 示され」ます。¹²

御霊は異なる方法で人に語りかけ、同じ人であっても場合によって異なる方法で話しかけます。ですから、生涯をかけて御霊が語りかける様々な方法について学ぶ必要があります。時に、わたしたちの「思いと [わたしたちの] 心に」語りかけますが、¹³ その声は小さな声でありながらも、力強く「人々の心の中まで貫く」声です。¹⁴ また、御霊の思いが「[わたしたちの] 心を占め」、¹⁵ 「[わたしたちの] 気持ちに……重くのしかか [る]」こともあります。¹⁵ わたしたちの胸が「内から燃」えることもあります。¹⁶ また、場合によっては、わたしたちの心を喜びで満たし、わたしたちの思いを照らし、¹⁷ また、混乱しているわたしたちの心に平安を告げることもあります。¹⁸

御声を見いだす

わたしたちは、多くの場所で、神の御声を見つけ出すことができます。わたしたちは、祈るとき、聖典を研究するとき、教会に出席するとき、そして信仰に関する話し合いに参加しているとき、あるいは神殿に行くとき、御声を見いだします。またこの総大会の中でも必ず、御声を見いだせるでしょう。

今日、わたしたちは15人の方々に預言者、聖見者、啓示者として支持しました。彼らの霊性や経験から来る独自の視点を、わたしたちは切に必要としています。彼らの語るメッセージは、すぐに見つけることができ、実に明確に語られています。世間で受け入れられるか否かに問わず、神がわたしたちに伝えたいことを告げます。¹⁹

今紹介したような場面で御声を求めることは良いことですが、さらに多くの場面で求めると良いでしょう。そして、御声を

聞いたなら、わたしたちは与えられる指示に従う必要があります。使徒ヤコブはこう述べています。「御言^{みことば}を行う人になりなさい。……ただ聞くだけの者となってはいけません。」²⁰ また、トーマス・S・モンソン大管長はかつて次のように教えました。「わたしたちは心を澄ませて待ちます。あの静かな細い声に耳を傾けるのです。御霊が語られるとき、賢い人は従います。」²¹

導き与えられるのが遅いとき

わたしが仕事を始めたばかりのころ、ホームー姉妹とわたしは、業務上の変更を受け入れてもらえるかどうか、尋ねられたことがあります。その当時のわたしたちにとっては、実に大きな決断を求めたような気がしました。よく検討し、断食し、祈りましたが、答えはすぐには与えられませんでした。最終的に、わたしたちは一つの決断を下し、その決断に従って前進しました。そうやって進んでいくうちに、心も落ち着き、やがて、その決断がこれまで下した決断の中でも最善のものの一つだったということを知りました。

その結果、時に答えが遅く来ることもあると学んだのです。それは正しい時期ではない、答えが必要ではない、あるいは、わたしたちが自ら決断できると神が信頼しておられるからです。リチャード・G・スコット長老は、かつて、そのような時は感謝すべきであると教え、次のように約束しました。「ふさわしい生活を送っており、その選択が救い主の教えと一致していて、そして行動を起こさなければならないの

であれば、信頼を胸に前進してください。……皆さんが……間違った決定をしている場合、神は警告的な気持ちを与えないまま、皆さんが進み過ぎてしまうのを黙って見ているようなことはされません。」²²

わたしたちは選ばなければならない

そういうわけで、わたしたちは、あらゆる声の中から、自分がどの声に従うのか、決める必要があります。わたしたちはこの世が提唱する信頼できない声に従っていくのでしょうか。それとも決定するとき、天父の声を導きとして必要な努力をし、危険から身を守るのでしょうか。わたしたちが御父の御声を熱心に求めれば求めるほど、聞くことも容易になってきます。それは御父の御声が大きくなるからではなく、わたしたちの聞く能力が増すからです。救い主は、わたしたちがもし「訓戒を聴き、〔御父の〕勧めに耳を貸す」なら、「さらに多く与え」られると約束されました。²³ これが各個人に与えられた約束であり、真実であることを証します。

1年近く前、わたしたちは悲劇的な自動車事故で兄を亡くしました。兄のジョンが若いころは、将来の成功は約束されているようなものでした。しかし、年齢を重ねるにつれ、兄の肉体はむしばまれ、心もバランスを失って、生きることが非常に難しくなってきました。望んでいたような癒しは、この世の生涯では与えられませんでした。それでも兄は信仰を固く守り、最後まで最善を尽くして、耐え続ける決意をしていました。

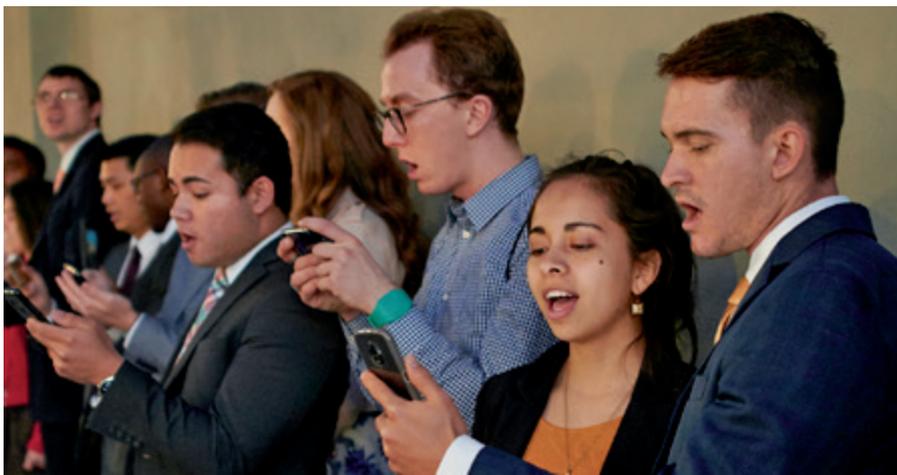
もちろん兄のジョンは完全な人ではありませんでしたが、どのようにそれほどまでの耐える力を得たのか、わたしはずっと考えてきました。多くの人から批判的なグループへ誘いをかけられても、兄はそれを選びませんでした。むしろ、最善を尽くして、福音を中心として生きることを選んだのです。そこに、主の御声を見いだせること、教えを受けることができることを兄が知っていたからです。

終わりに

兄弟姉妹の皆さん、無数の誘いの声があふれる世にあって、天の御父はわたしたちが御声を聞き、それに従うことができるようにして下さったことを証します。わたしたちが熱心に努めるなら、神と御子は、わたしたちの求める導きや、必要とする強さ、わたしたちが望む幸福を授けてくださいます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 列王上 18:21
2. 黙示 3:15 - 16 参照
3. アルマ 30:53。アルマ 30:18 も参照
4. アルマ 30:14, 23 - 24, 27 参照
5. アルマ 30:17, 23, 27 参照
6. アルマ 30:16。アルマ 30:13, 15, 26, 28 も参照
7. アルマ 30:31, 52。アルマ 30:23, 28, 43, 50, 53 も参照
8. アルマ 30:56:58 - 59 参照
9. アルマ 30:60
10. 2 ニーファイ 31:18 参照
11. ヨハネ 14:26
12. 2 ニーファイ 32:5。2 ニーファイ 32:1 - 4 も参照
13. 教義と聖約 8:2
14. 3 ニーファイ 11:3
15. 教義と聖約 128:1
16. 教義と聖約 9:8
17. 教義と聖約 6:14 - 15:11:13 参照
18. 教義と聖約 6:22 - 23 参照
19. 教義と聖約 1:38 参照
20. ヤコブの手紙 1:22
21. トーマス・S・モンソン「霊は人を生かす」『聖徒の道』1997年6月号, 4
22. リチャード・G・スコット「祈りという天与の賜物を用いる」『リアホナ』2007年5月号, 10
23. 2 ニーファイ 28:30





十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホランド長老

見よ、神の小羊

日曜日の集会スケジュールの変更の目的は主の晩餐の聖餐を神聖なもの、毎週の礼拝行事全体における焦点とすべきことを強調するためです。

若い聖歌隊にいる方々の目に浮かぶ涙を見るまで平常心でいられたのですが、そのような涙はどのような雄弁な説教よりも心に訴えるものがあります。

バプテスマのヨハネが水辺から見上げて、バプテスマを受けるのを待ちきれない様子の群衆の後方に目をやると、遠くに、いとこであるナザレのイエスがバプテスマを受けようと、しっかりした足取りでこちらに歩いて来られるのが見えました。ヨハネは、敬意を込め、しかし近くにいる人たちによく聞こえるように称賛の言葉を述べました。その言葉は、2,000年後のわたしたちを今なお感動させます。「見よ、……神の小羊。」¹

イエスに先駆ける者として昔から預言されていたこの人が、イエスのことを「エホバ」とも「救い主」「贖い主」「神の御子」とも呼ばなかったことは、銘記すべきことです。そのすべてがふさわしい称号であったにもかかわらず、ヨハネは、民の宗教上の伝統の中で最も早い時期の、恐らく最も広く知られていた象徴的な呼称を選んでいました。墮落した世界とその世界の墮落したすべての人の罪と悲しみ、試練と苦しみの贖いとしてささげられる犠牲の小羊の象徴を用いているのです。

その歴史について少しお話させてください。

エデンの園を追われた後、アダムとエバは、過酷な生活を送ることになりました。

わたしたちのために死すべき状態と現世の生涯の扉を開き、自分たちの不死不滅と永遠の命の扉を閉じたのです。自分の意思で選んだ背きのために、彼らは今や、肉体の死と霊的な追放を受け、長い期間神の御前から締め出されました。² どうすればよいのでしょうか。彼らがこの状況から逃れる方法はあるのでしょうか。この二人が園にいたときに受けていた指示をどこまで記憶にとどめることが許されていたのかは定かではありませんが、彼らは神への犠牲として、清らかで傷のない子羊、群れの雄の初子を定期的にささげるべきことは覚えていました。³

後に天使が訪れ、彼らの犠牲は、来る

べき世の救い主が彼らのためにささげる犠牲の予型であり、予表であることを説明し、こう告げました。「これは、御父の……独り子の犠牲のひながたである。したがって、……悔い改めて、いつまでも御子の御名によって神に呼び求めなさい。」⁴ 幸いなことに、逃れるどころか、それ以上の道が備えられていました。

前世の天上の会議で、神はアダムとエバ（それに全人類）に、清らかで汚れない長子、使徒ヨハネが「[世の始めから]ほふられた」神の小羊と後に述べる御方から助けが与えられると約束しました。⁵ アダムとその子孫は、象徴の子羊を現世でささげることによって、油注がれた御方であるイエスの贖いの犠牲に対する理解とその必要性を示したのです。⁶ 後に、荒野の幕屋がこの儀式を執行する場所となり、その後、ソロモンが建てた神殿がその場所となりました。

不幸なことに、心からの悔い改めと信仰生活の象徴である、傷のない子羊をささげるこの儀式は、旧約聖書の多くの記録から明らかなようにあまり効力を発揮してはいませんでした。その犠牲に伴っているべき道徳的な決意は、血液が石の上で乾くように、時折長続きしなかったので



す。少なくとも、最初の世代であるカインの弟アベルを殺す手をとどめるには至りませんでした。⁷

このような試練と混乱が何世紀も続いたのですから、ついにイエスがお生まれになったとき、天の御使いたちが喜びの歌を歌ったのも不思議はありません。長い間約束されてきたメシヤがおいでになったのです。それから短いこの世での務めを果たされた後、過越のすべての羊の中で最も清らかなこの御方は、主の晩餐の聖餐を定め、御自分の死に弟子たちを備えさせられました。この聖餐は、エデンの外で定められた、より個人的な形式の儀式です。これにもささげ物があります。犠牲が関係しています。しかし、象徴的な意味があり、羊の初子の血を流すことよりさらに深く、さらに内省的で個人的なものです。救い主は、復活された後、ニーファイ人にこう言われました。

「あなたがたは、もはや血を流すことをわたしへのささげ物としてはならない。……

あなたがたは打ち砕かれた心と悔いる霊を、犠牲としてわたしにささげなさい。打ち砕かれた心と悔いる霊をもってわたしのもてに来る者に、わたしは……火と聖霊によってバプテスマを受けよう。……

それゆえ、……悔い改め、……救われなさい。」⁸

愛する兄弟姉妹の皆さん、喜ばしくも、家庭での福音学習の比重を増やすように新たに強調されましたが、「わたしの聖日に祈りの家に行って、聖式をささげ〔るよう〕」今なお命じられていることを覚えておく必要があります。⁹ 家庭中心の福音学習の時間を作るほかに、日曜日の礼拝の変更も、集会スケジュールの複雑さを軽減することが目的です。それによって、主の晩餐の聖餐に然るべき重点を置き、それを神聖で、明快で、広く認められた毎週の礼拝の中心にするのです。キリストは全人類の罪と悲しみをたった一人で背負う



ことによって心が打ち砕かれ、亡くなられたのです。わたしたちは、このことを、できるかぎり個人的な方法で覚えておかなければなりません。

致命的な重荷の一部を課した者として、わたしたちは安息日のこのような時間に畏敬を示す必要があります。ですから、わたしたちは敬虔な思いを持ち、神聖な儀式に参加するのにふさわしい服装で早めに来て集会に出席するように奨励されているのです。「日曜日の服装〔英語では” Sunday best” と言い、正装という意味もある〕」は現在、礼拝の対象である主に敬意を示すというその本来の意味を失いつつあります。わたしたちは、時と場所に合わせた身だしなみと服装の伝統を回復すべきです。

集会に遅れることに関してですが、子供や子供のおやつ、おむつ用バッグを抱えて悪戦苦闘し、教会に来ただけでも幸いな母親をわたしたちはいつでも快く

迎え入れます。さらに、安息日の朝に自分の牛が沼にはまってしまう人がいるかもしれません。しかし、後者の場合は、時折の遅刻は理解できますが、牛が毎週日曜日に沼にはまってしまうようであれば、その牛を売るか、沼地を埋めることを強く勧めます。

同様に、使徒としてわたしたちはお願いします。教会堂の神聖な場所での騒音を減らしてください。わたしたちは雑談が大好きですし、雑談はするべきです。それは教会に出席する喜びの一つです。しかし、礼拝のために奉献された特別な場所では望ましくありません。祈りや啓示や平安があるはずの場所に時折騒がしく敬虔でない態度が見られることに、教会員でない訪問者がショックを受けているのではないかと、わたしは心配しています。恐らく天も少し驚かれておられることでしょう。

管理役員が、聖餐会の始まる前に時間



のゆとりを持って壇上に着席し、前奏曲に耳を傾け、見習うべき模範をほかの人たちに示すならば、聖餐会は敬虔なものになるでしょう。壇上が騒がしいようであれば、会衆が騒がしくても無理はありません。わたしたちは、礼拝の精神を損なう発表をしないようにしているビショップリックを称賛します。古代の主の神殿で祭司が犠牲をささげる特権にあずかるのは、生涯でただ一度だけでした。わたし個人としては、その犠牲をささげようとするまさにそのときに聖壇の前で一息ついて、6週間先に開催されるパインウッド・ダービーのような楽しい活動の締め切りをお知らせする姿を、思い描くことができます。

兄弟姉妹の皆さん、主が定められたこの時間は、一週間の中で最も神聖な時間です。戒めによって、わたしたちは、教会で会員が最も一般的に受けている儀式のために集まります。それは、杯を取りのけられるかお尋ねになった御方を記念するものです。その御方が杯を飲まれたのは、ひとえに、わたしたちのために身を引けないことを御存じだったからです。聖餐のカップがそのときの杯を象徴することを思い出し、それが11歳や12歳の子たちの手によって自分に手渡されようとしていることを考えてください。

神聖な時間が訪れて、主に犠牲の贈り物をするときにもなお、わたしたちには克服すべき罪と弱点があります。だからこ

そ、このような機会が必要なのです。しかし、周囲にいる打ち砕かれた心と悔いる霊を持つほかの人たちに気を配るなら、このような悔い改めはさらに確実なものになるでしょう。聖餐の賛美歌を歌っている間、そして祭司たちが祈りをささげている間もずっと涙を浮かべていた人、また密かに涙していた人たちが皆さんが座っている側の席にいるかもしれないのです。わたしたちは慰めのパンの一切れと思いやりの小さなカップをそのような人に差し出せるでしょうか。聖餐会に出席していない、涙し、苦しんでいる会員に対してはどうでしょうか。彼らが贖いの力にあずかれるような行動をわたしたちが取らなければ、来週もその人は来ないのではないのでしょうか。教会の会員ではなくとも、わたしたちの兄弟姉妹であるそのほかの人々に対してはどうでしょうか。この世には、教会の内外を問わず、苦難は尽きることがありません。どの方向を見ても、耐え難いような苦勞をしている人や、終わりのないような心の痛みを持つ人がいるでしょう。「いつも御子を覚え[る]」¹⁰ 一つの方法は、重荷を負っている人の荷をともに負い、取り乱している人の傷を和らげるとい主の終わりのない業に、偉大な医者である主とともに携わることです。

愛する友人の皆さん、毎週全世界で一つとなって、わたしたちが望んでいるように、キリストの荘厳な贖いの犠牲に対して神聖な感謝の念を深めるときに、「主の悲し

み、知りて泣き」という思いを聖餐の聖壇にささげることができますように。内省し、祈り、聖約を更新するとき、その神聖な瞬間から「苦しみに耐え……なおたたえん」という気持ちになりますように。¹¹ このような忍耐と称賛、このような聖さと希望が得られるよう、赦しの尊いパンを裂き、贖いの聖なるぶどう酒を注がれた御方、すなわちイエス・キリスト、偉大で慈悲深い神の小羊の御名によって祈ります。アーメン。■

注

1. ヨハネ 1:29 参照
2. ニーフай 9:8-9 参照
3. モーセ 5:5。出エジプト 12:3-10 も参照
4. モーセ 5:7-8。モーセ 5:9 も参照
5. 黙示 13:8 参照
6. 『聖句ガイド』『油注がれた者』, Bible Dictionary, "Anointed one." ChurchofJesusChrist.org 参照
7. 皮肉なことに、アベルのささげた犠牲は受け入れられたのにもかかわらず、自らの捧げた犠牲が主に受け入れられなかったということに対する憤りが、カインをアベルの命を奪うという行動に至らせました。
「神は……御自身の御子を遣わすことによって一つの犠牲を用意されました。御子は道を備えるために、すなわち人が主のもとに行く扉を開く……ことになっていました。
この贖罪、すなわち贖いの計画を信じる信仰によって、アベルは神に羊の群れの初子を犠牲としてささげ、神はそれを受け入れられました。カインは地の産物をささげましたが、神はそれを受け入れられませんでした。〔犠牲には〕血が流され〔ることが伴わなければなりません〕。』(『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』[2007年], 48。107-108 も参照)
8. ニーフай 9:19-20, 22
9. 教義と聖約 59:9
10. モロナイ 4:3:5:2
11. 「さらに清くなお努めん」『賛美歌』74 番



中央神権部会

十二使徒定員会

ゲリー・E・スティーブソン長老

神権の作戦ノート

自分自身がキリストの弟子であることを示す方法について、あなた自身の作戦ノートを作ってください。

昨年12月に大管長会は、11歳の少年が「アロン神権定員会に〔12歳になる年の〕1月の最初から出席し始める」という声明を発表しました。¹

その結果、今年の初めに、かなりの数の11歳の少年が驚いたことでしょう。次の誕生日まで初等協会に在籍するはずなのに、今や教会でいちばん新しく聖任された執事として、日曜日に聖餐のパスをしているからです。

この変更にも最も驚いたのは、執事でしょうか、それとも彼らの両親でしょうか。約8万人の新しい執事の多くが今晚、このカンファレンスセンターに出席しているか、テクノロジーを通してともに参加しています。ようこそ、偉大な神権者の仲間へ！



この変更により、この集会は歴史的なものになります。かつて行われた総大会の神権部会の中で、最も多くのアロン神権者が出席しているはずだからです。この特別な機会に、わたしは特にアロン神権を持つ若い男性に向けて話したいと思います。

スポーツから学んだ教訓

皆さんの多くは学生ですが、学校の課外活動を通して、また学校外の個人レッスンやチーム、グループで、スポーツやそのほかの才能を伸ばし、関心事、趣味に打ち込んでいます。

わたしは生涯を通じてスポーツを楽しんできましたが、運動能力を高めてハイレベルの成果を残した人をいつも称賛してきました。何かにとっても秀でるためには、生まれながらの才能に加えて、強い自制心と犠牲、そして訓練と練習が必要です。そのようなアスリートは、時にはコーチの厳しい助言を聞き、将来のよりすばらしい何かのために、今したいことを進んで諦めます。

わたしたちは、プロのアスリートとして最高レベルの成功を収めた教会員と神権者を知っています。すばらしい実例がたくさんありますが、時間の関係で少しだけ紹介しましょう。皆さんは以下のアスリートの何人かを知っているかもしれません。野球のジェレミー・ガスリー、ブライス・ハーバー、バスケットボールのジャバリ・パーカー、ジマー・フレデッテ、サッカーの

リカルド・ロハス、ラグビーのウィリアム・ホボアテ、フットボールのテイサム・ヒル、ダニエル・ソレンセン、などです。それぞれがスポーツで多大な貢献をしました。

これらのアスリートはスポーツで大きな成功を収めました。完全なアスリートや完全な人間ではないことを率直に認めていました。彼らはスポーツで最高の選手になるために、そしてわたしたち一人一人のように、福音に従って生活するために、一生懸命努力しています。つまり立ち上がり、最後まで努力するのです。

作戦ノートを研究する

団体スポーツでは、特定の試合状況に対して考案したプレーを作戦ノートにまとめます。アスリートは、各プレーにおける自分の特別な割り当てを学びます。成功する選手は作戦ノートを徹底的に研究し、一つのプレーが選択されると、ほとんど直観的に、自分がどのポジションで何をするか、正確に分かるのです。

同じように、わたしたち神権者も、定員会というチームに属し、聖典と現代の預言者の言葉という作戦ノートを持っています。

あなたはチームの仲間を強めていますか。

作戦ノートをよく研究していますか。

自分の割り当てを十分に理解していますか。

対戦相手に立ち向かう

このたとえについてさらに考えると、偉大なコーチは対戦チームだけでなく、自分のチームの強さと弱さも知っていることが分かります。コーチは、勝利の可能性が最も高い行動計画を作ります。あなたはどのようにですか。

あなたは、自分がどのような誘惑を最も受けやすいか知っていますし、敵があなたを道からそらせ、落胆させるために用いる方法を予測することもできます。あなた

は対戦相手に直面したときにどう対応するか分かるように、自分の行動計画と作戦ノートを作りましたか。

様々な道徳的な誘惑に直面するとき、ほかの人と一緒にであろうと、あるいは一人で画面を見ているときであろうと、あなたは自分の行動計画を知っています。友達からアルコールやドラッグを試すよう勧められたら、取るべき行動は分かっています。前もって練習し、どう対応するか知っているのです。

行動計画と作戦ノート、そして自分の役割を遂行する固い決意があれば、誘惑に支配されることは少なくなります。あなたはどのように対応し、何をするか、前もって決めているでしょう。誘惑に遭う度に決心する必要はありません。

最近十二使徒の一人が、この原則を表わす話を紹介してくれました。彼は高校生の祭司のとき、仲間と遊んでいました。皆で食べ物を買ってドライブをしていると、だれかがある映画を見に行こうと言いました。問題は、その映画を見るべきでない、彼には分かっていたことでした。自分の置かれた状況にプレッシャーと不安をすぐに感じましたが、行動計画はできていました。これは、彼の神権の作戦ノートに具体的に記された状況だったのです。

深呼吸をして勇気を奮い起こすと、彼はこう言いました。「はくはその映画に興味はないよ。家の前で降ろしてくれればいいから。」彼らはそうしました。シンプルな行

動が勝利へ導くのです。数年後に、あの晩一緒にいた友人は、彼の模範が自分の生活で同じような状況に勇気をもって対処する大きな力になったと、話してくれました。

作戦ノートからの行動計画

わたしは中央幹部の兄弟たちに、作戦ノートに取めるとよい行動計画を推薦してもらいました。彼らの靈感あふれる提案は次のようなものでした。

- イエス・キリストのより大きな光と証を求めて毎日祈る。
- 両親やビジョッパ、若い男性や定員会の指導者の教えに注意深く耳を傾ける。
- ポルノグラフィや不道徳な内容のソーシャルメディアを避ける。
- 神と交わした約束を覚え、守るために努力する。
- 聖典から偉大な預言者たちの物語を研究し、彼らのよい特質を取り入れる。
- 奉仕を通して天の御父の子供たちを祝福する。
- 自分になりたい人になれるように助けしてくれる良い友達を探す。
- ファミリーサーチ・アプリに精通し、自分自身の家族歴史を探索する。
- 悪の影響から逃れる安全な場所を決めておく。
- 神権定員会の会員を愛し、強めるように助ける。

わたしは、先ほど見た写真のアスリートとも話しました。興味深かったのは、彼らがプロのアスリートとして何をしているかによって自分を評価するだけでなく、愛にあふれる天の御父の息子、神の神権者として、自分が何者であるかによっても自分を評価していることでした。

では、彼らの考えを聞いてください。

- この写真では、ネクタイの結び方を学んでいる執事ですが、ジマー・フレデッテはこう話しています。「福音が真実であるという知識と信仰に深く頼っています。これがわたしを……ふさわしい神権者となり、何よりも、確かな模範となるよう導いてくれます。」
- ブライス・ハーバーは、この写真では夫ですが、こう書いています。「名声や富や MVP (訳注：最優秀選手賞) の賞は、わたしを幸せな気持ちにしてくれますが、何かが欠けていると感じました。そこで……準備して神殿に [参入] しました。わたしは今、天の御父の [みもとに帰る]、永遠の家族を持つための道を歩んでいます。それはこの世で最大の喜びです。」
- ダニエル・ソレンセンは、この写真では宣教師ですが、こう話しています。「良い作戦ノートは、各チームメンバーの才能と力を生かすような計画です。……イエス・キリストの福音の教えを学んで実践するとき、神権における奉仕に自



ジマー・フレデッテ



ブライス・ハーバー



ダニエル・ソレンセン



ジェレミー・ガスリー



分の力をどう生かすか知ることができます。」

- 現在、伝道部会長として奉仕しているジェレミー・ガスリーはこう言っています。「12歳の執事だったとき、……御霊がわたしに『この世の生涯は……神にお会いする用意をする時期〔である〕』と証していると〔感じました。〕² 行動計画は、救い主を通じて悔い改め〔と〕行動に導く、神への信仰であり、……作戦ノートは、聖典と生ける預言者を通じて見いだせます。」
- これは長老の職に聖任されたときの写真ですが、ジャバリ・パーカーはこう話しています。「バプテスマを受ける決心をしていなかったら、自分がどんな人になっていたか想像できません。……神が毎日導いてくださることに感謝しています。」
- リカルド・ロハスは、現在支部会長として奉仕していますが、こう言っています。「〔神の〕神権を通して、〔わたしたちは〕主の業をお手伝いできます。わたしたちは、真理を擁護するに当たり、

『強く、また雄々しく』³ あるよう召されています。」この召しが、サッカー選手として、また神権者として成功するうえで彼の助けになってきました。

- テイサム・ヒルは、この写真では宣教師ですが、イエス・キリストの福音が彼の人生における作戦ノートになったと感じています。彼はこう言っています。「〔神の〕計画を信じて、自分の役割を果たすために最善を尽くすときに、神がわたしの努力を喜んでおられることが分かり、生活の中で大いなる安らぎと幸せを感じるのです。」
- ウィリアム・ホボアテは、この写真では4世代の家族とともに息子の幼児の祝福に加わっていますが、こう言いました。福音は「敵対者の戦略を見極めるのを助けてくれますし、火のような矢に耐えてさらに人々に奉仕する霊的な活力をもたらしてくれます。」

あなたはどうか。神の息子として、神の聖なる神権を持つ者として、自分のより高く、より神聖な本質に気づいていますか。この永遠の本質を心に留めて、誘惑や逆境のときに導きとなる自分の行動計画と神権の作戦ノートを作ってください。攻撃と守備の両方の戦略を考えてください。

攻撃の戦略は、証を強め、細くて狭い道にとどまるという決意を高めるのに役立ちます。例えば、定期的に祈る、聖文を研究する、教会に出席し神殿に参入する、什

分の一を納める、小冊子『若人の強さのために』の助言に従う、などです。

守備の戦略には、誘惑にどう立ち向かうか前もって計画することが含まれます。個人の標準を下げるように誘惑されたとき、あなたはどのようにするか前もって分かっています。

そのために作戦ノートが必要です。

今日、祈りたくなければ、どうしますか。前もって決めておいた行動計画を実行する時です。

証が弱まっていると感じたら、どうしますか。そのための行動計画があります。何をするか分かっているのです。

神の目から見た花形選手

あなたは神の聖なる神権を持っています。鉄の棒にしっかりつかまるという決意は、あなたが造られた目的である永遠の存在へとあなたを変えていくでしょう。

神はあなたを御存じで、愛しておられます。あなたを祝福し、あなたの足もとを導いてくださいます。

自分は特別な人でも、傑出した業績を残す人でもないと考えているかもしれませんが、しかし、それは正しくありません。神がこう宣言されたのを知りませんか。「世の弱い者たちが出て来て、力ある強い者たちを打ち破る。」⁴

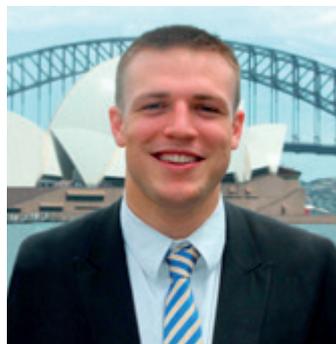
自分が弱いと感じますか。おめでとうございます。あなたは選手に登録されました。



ジャバリ・パーカー



リカルド・ロハス



テイサム・ヒル



ウィリアム・ポボアテ



自分は重要でないと感じますか。劣っていると感じますか。あなたはまさに神が必要とされ、お使いになる人かもしれません。

ここで最適な例は、恐るべき敵ゴリアテと戦うために戦場に進み出たダビデではないでしょうか。主を信頼し、計画を持ったダビデは、自分だけでなく、イスラエルの軍隊も救いました。主の側に立つために勇気を奮い起こすとき、主がともにいてくださることを忘れないでください。「もし、神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵し得ようか。」⁶

神は扉を開き、わたしたちが自分にあるとは知らなかった強さや能力を見いだせるように助けてくださいます。⁷

あなたの信頼できるコーチに耳を傾けてください。それは、両親やビショップ、若い男性の指導者などです。作戦ノートを読んでください。聖文を読み、生ける預言者の言葉を研究してください。自分自身がキリストの弟子であることを示す方法について、あなた自身の行動計画を作ってください。

自分の霊を強め、敵対者のわなを避けるために、前もって行動計画を決めておいてください。

そうすれば、神は必ずあなたをお使いになるでしょう。

さて、中には福音から離れて、迷い出る人がいるかもしれません。あるいは、観客席に座って、遠くから観戦する人がいるかもしれません。ベンチに座ったままで、コーチから呼ばれても試合に出ようとしていない人がいるかもしれません。チームメイトのように彼らを救出し、支え、愛するようお勧めします。

試合に出ることを望み、それを実行する人もいます。彼らにとって最も大事なことは、どれだけ才能があるかではなく、競技に参加する積極性です。彼らは自分の番号が呼ばれるのを待ってはいません。次の聖句を知っているのです。「あなたがたは神に仕えたいと望むならば、その業に召されている。」⁸

あなたは自分を選手に登録することができます。

そのためには、自分の神権の作戦ノートを研究し、実行することです。

途中でつまずいて倒れそうになることが、恐らく何度も、何度もあるでしょう。あなたは完全ではありません。失敗は人格を磨いて、さらに思いやりをもって奉仕できるようになるためのプロセスの一部です。救い主はその無限の贖罪により、心からの悔い改めを通して誤りを克服する道を備えてくださいました。

偉大なアスリートは、試合での小さな役

割を完成させるために、何百時間も費やします。あなたも神権者として、同じ態度が必要です。失敗したら、悔い改め、そこから学び、次回はもっとよくできるように練習してください。結局は、あなた次第なのです。作戦ノートを学んでいただけますか。

わたしは、心からお勧めします。主を信頼してください。神のすべての武具を身に着けて⁹ 出場してください。

最高レベルのプロスポーツ選手は多くはありません。しかし、キリストに従うことを選んでいる主の弟子はたくさんいます。

つまるところ、この人生におけるあなたの使命は、主の方法を学び、弟子の道に入り、神の計画に従って生活するように努めることです。神に心を向けるなら、神によって支えられ、祝福されるでしょう。あなたならできます。あなたは主の目から見ただ花形選手だからです

わたしは、皆さんが聖なる神権にふさわしく生活することを決意し、自分の神聖な役割を毎日実行することができるように、祈っています。また、そのように行う能力と望みを持てるように祝福します。わたしは、皆さんが持っている神権の力について、生ける預言者について、イエス・キリストと救い主、贖い主としての役割について、わたしの証を付け加えます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 大管長会の手紙「子供および青少年の年齢グループによる進級」2018年12月14日付
2. アルマ 34:32
3. ヨシヤ 1:9
4. 教義と聖約 1:19
5. サムエル上 17章参照
6. ローマ 8:31
7. エテル 12:27参照
8. 教義と聖約 4:3
9. 教義と聖約 27:15-18 参照



七十人会長会
カール・B・クック長老

定員会 —— 帰属意識を抱く場所

主は、皆さんが強い定員会を築くよう望んでおられます。主が御自分の子らをお集めになるとき、主の子らが所属し、成長する場所が必要です。

2010年、アンドレ・セバコという若い男性が真理を探し求めていました。それまで心から祈ったことは一度もありませんでしたが、祈ってみることにしました。その直後に、アンドレは宣教師と出会います。宣教師は、モルモン書の写真が印刷されたパスアロングカードをくれました。アンドレは何かを感じ、この本は宣教師から買えるのかと尋ねました。すると、教会に来れば無料で受け取れる、とのことでした。¹

アンドレはアフリカのボツワナにある設立後間もないモチュディ支部に、一人で出席しました。支部には、愛にあふれ、強いきずなで結ばれた40人ほどの会員が集っていました。² 彼らはアンドレを温かく歓迎しました。アンドレは宣教師から福音を学び、バプテスマを受けました。すばらしい経験でした。

しかし、これからどうなるのでしょうか。アンドレはどのようにして活発であり続けるのでしょうか。聖約の道を歩んでいくの



ボツワナのモチュディワードの神権定員会に所属する「きずなで結ばれた兄弟たち」

を、だれが助けてくれるのでしょうか。この問いに対する答えの一つは、彼の神権定員会です!³

すべての神権者は、どのような状況にある人も、強い定員会から恵みを受けます。アロン神権を持つ若い兄弟の皆さん、主は、皆さんが強い定員会を築くよう望んでおられます。強い定員会とは、すべての若い男性が帰属意識を抱く場所であり、主の御霊が宿る場所、定員会のすべての会員が歓迎され、価値ある存在だと認められる場所です。主が御自分の子らをお集めになるとき、主の子らが所属し、成長する場所が必要です。

定員会会長会の皆さんは、それぞれが靈感を求めながら先頭をいき、定員会のすべての会員の間に愛と兄弟のきずなを育みます。⁴ 新会員やあまり活発でない会員、特別な助けを必要とする会員に、特に関心を寄せます。⁵ 神権の力を用いて、皆さんは強い定員会を築きます。⁶ そして強い、結束した定員会は、若い男性の人生をまったく異なるものにします。

教会が家庭を中心に福音を学習する新しい取り組みを発表したとき、⁷ アンドレのような会員を思い浮かべて次のように尋ねる人たちがいました。「福音の学習が行われていない家庭の若人、家庭で福音を学び、福音に従って生活する環境にない若人はどうなるのですか。彼らは置き去りにされてしまうのでしょうか。」

いいえ、だれ一人として置き去りにはされません。主は若い男性と若い女性の一人一人を愛しておられます。神権者であるわたしたちは、主の御手です。家庭を中心とした取り組みに対する教会のサポートとは、わたしたちのことなのです。家庭で受けられる支援が限られているとき、神権定員会とほかの指導者や友人がそれぞれの個人や家族を見守り、必要に応じてサポートします。

わたしはその働きを目にしてきました。自ら経験してきました。わたしが6歳のと

き、両親は離婚し、父は、5人の幼い子供を抱えた母のもとを去りました。母はわたしたちを養うために働き始めました。しばらくの間、母は副業も必要で、さらに教育を受ける必要もありました。子供たちを世話する時間は、ほとんどありませんでした。しかし祖父母、おじやおば、ピショップ、ホームティーチャーが、天使のような母を助けてくれました。

そしてわたしには定員会がありました。わたしを愛し、サポートしてくれた友人たち、すなわち、わたしの兄弟たちにとっても感謝しています。定員会は、帰属意識を抱く場所でした。家族の状況のために、わたしは豊かな人生を見込めない、劣勢にあって勝ち目の薄い者だと思われていたかもしれません。実際、そうだったでしょう。しかし神権定員会がそんな見込みを変えてくれたのです。定員会はわたしの味方となって、人生に計り知れないほどの祝福をもたらしてくれました。

わたしたちの周りには、劣勢にある人や苦戦している人がいます。だれもが何らかの点でそうなのではないでしょうか。しかしわたしたちにはそれぞれ定員会があり、そこでわたしたちは強さをもらうことができ、与えることができます。定員会では、「みんなは一人のために、一人はみんなのために」いるのです。⁸ 定員会は、神に仕えながら、指導し合い、奉仕し合い、一致と兄弟愛を育む場所です。⁹ 奇跡が起こる場所です。

モチュディでアンドレの定員会に起こった幾つかの奇跡について話したいと思います。この例を紹介する間、実践することですべての神権定員会を強める原則によく注意してください。

アンドレはバプテスマを受けた後、宣教師がほかの4人の若い男性を教える際に同席し、彼らもバプテスマを受けました。これで若い男性は5人になりました。彼らは互いに強め合い、支部を強め始めました。



6人目の若い男性、ツーツがバプテスマを受けました。ツーツは3人の友人に福音を紹介し、間もなく9人になりました。

イエス・キリストの弟子はしばしばこのように集められます。友人に招かれて、一度に数人ずつ集まるのです。昔、救い主を見いだしたアンデレは、急いで兄弟のシモンのところに行き、シモンを「イエスのもとにつれてき」ました。¹⁰ 同様に、ペリポはキリストに従う者になるとすぐに、「きて見なさい」と友人のナタナエルを招きました。¹¹

モチュディでは、10人目の若い男性が程なく教会に加わりました。宣教師が11人目を見つけました。そして福音が友人たちに及ぼす影響を目にして、12人目の若い男性がバプテスマを受けました。

モチュディ支部の会員は喜びに沸きました。この若い男性たちは「主に帰依し、……教会に加わ[り]」ました。¹²

彼らの改宗において、モルモン書が重要な役割を果たしました。¹³ ツーツは次のように回想します。「家でも、学校でも、どこでも、時間のあるときにはいつでもモルモン書を読むようになりました。」¹⁴

オラティリは友人たちの模範によって福音に興味を持ちました。次のように説明しています。「[彼らは]一瞬にして変わったように思えました。……学校で持ち歩くようになったあの小さな本と関係があるに違いないと思いました。彼らがとても良い人たちになったのが分かりました。……[わたし]も変わりたいと思ったのです。」¹⁵

12人の若い男性は全員が2年の間に集められ、バプテスマを受けました。皆、家族の中で教会員は自分だけでした。それ

でも彼らは、支部会長のラクウエラ会長、¹⁶ シニア夫婦宣教師のテラー長老姉妹、¹⁷ そのほかの支部の会員たちを含む、教会の家族からサポートを受けました。

定員会指導者のジュニア兄弟は、¹⁸ 日曜日の午後若き男性たちを自宅に招き、彼らの良い助言者となりました。若い男性たちは一緒に聖文を学び、定期的に家庭の夕べを開きました。

ジュニア兄弟は彼らを連れて、会員たちや、宣教師から福音を学んでいる人たち、そのほか訪問の必要な人たちを訪ねました。12人の若い男性全員を、自分のトラックの荷台に乗り込ませ、2、3人ずつを同僚として家々で降ろし、後で迎えに行くのでした。

若い男性たちは福音についてまさに学んでいるところで、自分にはあまり知識がないと感じていましたが、ジュニア兄弟は彼らに、自分が知っていることを一つか二つ、訪問先の人と分かち合うように言いました。この若い神権者たちは、教え、祈り、教会員を見守る手助けをしました。¹⁹ 神権の責任を果たし、奉仕の喜びを経験しました。

アンドレは言います。「わたしたちはともに遊び、ともに笑い、ともに泣き、兄弟になりました。」²⁰ 実に、彼らは自分たちを「きずなで結ばれた兄弟たち」と呼んでいます。

彼らはともに、全員が伝道に出るという目標を立てました。家族の中で教会員は自分たちだけであったため、克服しなければならない障害が幾つもありましたが、互いに助け合って乗り越えていきました。



一人、また一人と、若い男性たちは伝道の召しを受けました。先に旅立った者たちは、まだ故郷で準備をしている者たちに手紙を書き、経験したことを伝え、伝道に出るよう励ましました。若い男性たちのうち11人が宣教師として奉仕しました。

この若い男性たちは自分の家族に福音を分かち合いました。伝道地で教えた人々に加えて、母親、姉妹や兄弟、友人が改宗してバプテスマを受けました。数々の奇跡が起こり、大勢の人々の生活に祝福がもたらされました。

そのような奇跡が起こるのは恐らくアフリカのような、イスラエルの集合が速まっている実り豊かな畑だけだろう、と考えている人が皆さんの中にいるのが感じられます。しかし、わたしはモチュディ支部で実践された原則がどこにおいても真実であることを証します。皆さんがどこにしようと、皆さんの定員会は再活発化と福音を分かち合うことを通して成長するのです。一人でも主の弟子が友人に手を差し伸べるなら、1人が2人になり得ます。2人が4人になり得ます。4人が8人になり得ます。そして、8人が12人になり得ます。支部はワードになり得るのです。

救い主は次のように教えておられます。「二人または三人〔またはそれ以上〕がわたしの名によって集まっている所には、見よ、わたしもその中にいる……のである。」²¹ 天の御父はわたしたちの周りの人々すべての思いと心を備えておられます。わたしたちは促しに従い、友情の手を差し伸べ、真理を分かち合い、モルモン書を読むよう人々を招き、彼らが救い主を知るようになる過程において、彼らを愛し、サポートすることができます。

モチュディの「きずなで結ばれた兄弟たち」がともに旅を始めてほぼ10年がたちますが、彼らは今もなお固いきずなで結ばれています。

カトレゴは言います。「遠く離れているかもしれませんが、それでもわたしたちは

互いの助け手です。」²²

わたしたちが主の招きにこたえて自分の神権定員会において主とともに結束し、それによってそれぞれの定員会が帰属意識を抱く場所、集まる場所となり、成長していけるように祈ります。

イエス・キリストはわたしたちの救い主であられ、この業は主の業です。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. See Mark and Shirley Taylor, comp., *The Band of Brothers* (Mochudi Branch conversion stories and testimonies, 2012-13), 4, Church History Library, Salt Lake City.
2. Personal correspondence, Letanang Andre Sebako, Band of Brothers resource files, 2011-19, Church History Library, Salt Lake City.
3. ボイド・K・バックャー会長は次のように述べている。「神権を受けた男性は、自分という存在よりもっと大きなものに属することになります。神権とは自分という存在以上のものであり、男性が完全に自己を投じることのできるものです。」(「姉妹の輪」『聖徒の道』1981年4月号, 210 参照)
4. ラッセル・M・ネルソン大管長は、啓示を求める方法について説明した後、次のように述べている。「来る日も来る日も、年月を重ねて、このプロセスを繰り返すときに、『啓示の原則が身に付いて』くるでしょう。」「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号, 95。『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』132も参照)
5. 『手引き 第2部——教会の管理運営』8.3.2 参照
6. ビショップリックやアドバイザーなど、ほかにも助け手がいる。ロナルド・A・ラズバンド長老は、2018年3月31日に発表されたメルキゼデク神権定員会の組織変更がもたらす恵みの一つを次のように述べている。「ビショップは長老定員会と扶助協会の会長たちにもっと多くの責任を委任できるようになり、そうすることでビショップと顧問たちは自分たちの主要な務め、特に若い女性と、アロン神権を持つ若い男性を管理することに集中できるようになります。」(「見よ、王の軍は」『リアホナ』2018年5月号, 59) 天使も助けてくれるであろう。アロン神権者は天使の働きの鍵を持っている(教義と聖約13:1 参照。see also Dale G. Renlund and Ruth Lybbert Renlund, *The Melchizedek Priesthood* [2018], 26)。
7. ジェフリー・R・ホランド長老は次のように述べている。「通常、[仕える天使]は目に見えませんが、見えるときもあります。見えても見えなくても、いつも近くにいるのです。天使は世界全体に影響を及ぼすほど大きな使命を担うこともあります。もっと個人に向けたメッセージを携えて来ることもあります。時には警告を目的とすることもあります。しかしほとんどの場合、困難なときにあって慰めを与え、何らかの形で憐れみに満ちた関心を示し、導くために訪れるのです。」(「天使の務め」『リアホナ』2008年11月号, 29) もしそのような助けを望むなら、「求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。」(ヨハネ16:24)
8. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号, 7
9. アレクサンドル・デュマ『三銃士』(1844年) 参照
10. 『手引き 第2部』8.1.2 参照
11. ヨハネ1:40-42 参照
12. ヨハネ1:43-46 参照
13. 3 ニューファイ 28:23
14. See D. Todd Christofferson, “The Power of the Book of Mormon” (address given at the seminar for new mission presidents, June 27, 2017).
15. Thuso Molefe, in Taylor, *The Band of Brothers*, 22.
16. Oratile Molosankwa, in Taylor, *The Band of Brothers*, 31-32.
17. ルーカス・ラクウエラ(ボツワナ, モチュディ)
18. マーク・テラーとシャーリー・テラー(アメリカ合衆国, アイダホ州)
19. シルベスター・ジュニア・ゴシマン(ボツワナ, モチュディ)
20. 教義と聖約20:46-47, 53-54 参照
21. Personal correspondence, Letanang Andre Sebako, Band of Brothers resource files.
22. 教義と聖約6:32
23. Katlego Mongole, in “Band of Brothers 2nd Generation”(unpublished compilation), 21.



七十八
キム・B・クラーク長老

イエス・キリストを 仰ぎ見る

イエス・キリストを仰ぎ見るなら、主はわたしたちがイスラエルの長老として聖約を守り、召しを尊んで大いなるものとできるよう助けてくださいます。

イエスが大勢の群衆に囲まれてカペナウム¹ 近くの通りを歩いておられると、重い病で12年も苦しんできた女性が手を伸ばして、イエスの衣の裾に触れました。すると、瞬間に癒されたのです。²

聖文の記録によると、イエスは「〔力が御自分から〕出て行った」のを感じて³「群衆の中で振り向き、」⁴「さわった者を見つけようとして、見まわしておられ〔まし〕た。」⁵「女は隠しきれないのを知って、」⁶「みまえにひれ伏して、すべてありのままを申し上げました。」⁷

イエスは女に言われました。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」⁸

イエス・キリストは、この女性を救われたのです。彼女は肉体的に癒されましたが、イエスが振り向いて彼女を見られたとき、彼女は主を信じていると宣言し、そこで主は彼女の心を癒されました。⁹ 主は愛情を込めて彼女に語り、承認して安心させ、主の平安という祝福を与えられました。¹⁰

兄弟の皆さん、聖なる神権を持つ者として、わたしたちは救いの業にかかわっています。昨年主は、この業を導く責任を、イスラエルの長老たちの肩にしっかりと託されました。¹¹ わたしたちは心を啓発する責

任を主から頂いています。姉妹たちとともに働いてより神聖な方法でミニスタリングを行い、イスラエルの集合を幕の両側で加速させ、家庭を信仰と福音学習の聖なる場所として確立し、イエス・キリストの再臨に世界を備えさせるという責任です。¹²

すべてのことにおいてそうですが、主は道を示してくださっています。わたしたちはキリストが御父を仰ぎ見て御父に仕えられたのと同様に、イエス・キリストを仰ぎ

見てキリストに仕える必要があります。¹³ 救い主はこれについて、預言者ジョセフに次のように言われました。

「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい。疑ってはならない。恐れてはならない。

わたしのわきを突き刺した傷跡と、わたしの手と足にある釘の跡を見なさい。忠実であり、わたしの戒めを守りなさい。そうすれば、あなたがたは天の王国を受け継ぐであろう。」¹⁴

前世でイエス・キリストは、御父の御心を行ってわたしたちの救い主、贖い主になると、御父に約束されました。「わたしはだれを遣わそうか」と御父が問われると、¹⁵ イエスはお答えになりました。

「わたしがここにいます。わたしをお遣わしてください。」¹⁶

父よ、あなたの御心が行われ、栄光はとこしえにあなたのものでありますように〔。〕¹⁷

この世での全生涯を通して、イエスはその約束どおりの生き方をされました。イエスは、謙遜さと柔和と愛をもって御父の教義を教え、御父から与えられた力と権能によって御父の業を行われたのです。¹⁸





イエスは心を御父にささげられました。こう言っておられます。

「わたし〔は〕父を愛している〔。〕」¹⁹

「わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしている〔。〕」²⁰

「わたしが……きたのは、自分のこのままを行うためではなく、わたしをつかわされた〔御父〕のみこころを行うためである。」²¹

ゲツセマネの苦しみの中で、イエスはこう祈られました。「わたしの思いではなく、みこころが成るようにしてください。」²²

主は、「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見〔て、〕復活した御自身の体の「傷跡……を見〔る〕」ように、イスラエルの長老たちに呼びかけておられます。それは、罪とこの世に背を向けて主に立ち返り、主を愛して主に従いなさいという呼びかけです。主の教義を教え、主の業を主の方法で行うようにという呼びかけです。したがってこれは、完全に主を信頼して自分の意志と心を主に従わせ、主の贖いの力によって主のような者になりなさいという呼びかけなのです。²³

兄弟の皆さん、イエス・キリストを仰ぎ

見るならば、イエスはわたしたちを祝福して、謙遜で柔和、従順で主の愛に満ちた、イスラエルの主の長老にしてくださいませ。²⁴ そして、わたしたちは主の福音と主の教会の喜びと祝福を、幕の両側にいる家族や兄弟姉妹にもたらしめます。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、まさにこのようにしてイエス・キリストを仰ぎ見るようにと、わたしたちに呼びかけています。「そのようなたくましい弟子に、たやすく自動的になれるわけではありません。救い主とその福音に焦点を固定する必要があります。あらゆる思いの中で主を仰ぎ見ようと努めるには、精神的な強さが求められます。しかし、そうするなら、わたしたちの疑いや恐れは消え去るのです。」²⁵

固定するという言葉は、すばらしい言葉です。それは、しっかりと固定し、完全に引き付けて押さえるという意味です。²⁶ わたしたちは交わした聖約にふさわしい生活をするによって、イエス・キリストに焦点を固定します。

交わした聖約にふさわしい生活をするならば、それはわたしたちのあらゆる言動に影響を与えます。交わした聖約にふさ

わしい生活をするとは、イエス・キリストに心に向けるささやかな信仰ある行いを、日々たくさんすることです。²⁷ つまり、キリストの御名によって心から祈り、キリストの言葉をよく味わい、キリストに立ち返って自分の罪を悔い改め、キリストの戒めを守り、聖餐を受けてキリストの安息の日を聖なる日とし、できるかぎり頻繁にキリストの聖なる神殿で礼拝し、キリストの聖なる神権を行使して神の子供たちに仕える、といったことを生活の中で精いっぱい行うのです。

このような聖約を守る献身的な行いによって心が開かれ、わたしたちは救い主の贖いの力と聖霊の清めの力を受けられるようになります。救い主はわたしたちの性質そのものを少しずつ変えてくださり、わたしたちは主にさらに深く帰依するようになって、交わした聖約が心の中で生きるようになるのです。²⁸

天の御父と交わした約束は岩のように固い決意となり、心の底からの望みになります。天の御父がしてくださった約束は、わたしたちを感謝と喜びで満たしてくれます。²⁹ 交わした約束はもはや従うべき規則



ではなく、イエス・キリストに焦点を固定するよう靈感を与え導く、愛する原則になるのです。³⁰

この献身的な行いは、年齢にかかわらずだれにでもできます。アロン神権を持つ若い男性の皆さん、皆さんには、わたしの言ったことがすべて当てはまります。皆さんのことを神に感謝しています。皆さんは、何百万人もの末日聖徒が神聖な儀式と聖約に毎週あずかれるようにしています。聖餐を準備して祝福し、配るとき、ミニスタリングを行うとき、神殿でバプテスマの儀式を行うとき、友達を活動に誘うとき、定員会の会員を助けに行くとき、皆さんは救いの業を行っています。皆さんも、日々イエス・キリストを仰ぎ見て聖約に従った生活をする事ができるのです。皆さんがそれを行うならば、主に信頼された僕になり、後に力強いイスラエルの長老になります。

兄弟の皆さん、これらがすべて途方もないことのように聞こえることを、わたしは知っています。しかし、救い主のこの言葉を思い出してください。「わたしはひとりであるのではない。父がわたしと一緒におられるのである。」³¹ わたしたちも同じです。一人ではありません。主イエス・キリストと天の御父はわたしたちを愛し、わたしたちと一緒におられるのです。³² イエスが御父を仰ぎ見て大いなる贖罪の犠牲を払ってくださったのですから、わたしたちは、助けてくださると確信して、イエス・キリストを仰ぎ見ることが出来ます。

わたしたちの中に完全な人はいません。行き詰まることもあります。惑わされたり

落胆したりすることもあります。つまり、つまずくこともあります。しかし、悔い改めた心で主を仰ぎ見るならば、主はわたしたちを引き上げ、罪から清め、心を癒してください。主は忍耐強く優しい御方で、主の贖いの愛は終わることも離れることも決してありません。³³ 主はわたしたちがイスラエルの長老として聖約を守り、召しを尊んで大いなるもののできるよう助けてくださいます。

そして御父は、御自身の目的を達するために必要なものをすべて、「天においても地上においても、すべてのもの〔、〕……父の御心によってその子イエス・キリストを通じて送られる、命も光も、御霊も力も」³⁴、祝福として与えてくださいます。

神の光と力がわたしたちの生活に流れ込むと、奇跡的なことが3つ起こります。

第1に、見えるようになります。啓示によって、わたしたちはイエスがあの重い病の女を御覧になったように、表面からは見えない心が見えるようになるのです。³⁵ イエスが御覧になるように見えるようになると、わたしたちが仕える相手を主の愛で愛せるよう、主は祝福して下さいます。主の助けがあれば、わたしたちが仕える人々は救い主を見てその愛を感じるようになるでしょう。³⁶

第2に、わたしたちには神権の力があります。イエス・キリストの御名によって行動して「他の人を祝福し、導き、守り、強め、癒〔し、〕……、愛する人に奇跡を起こ〔し、〕……、結婚生活と家族を安全に守る」権能と力があるのです。³⁷

第3に、イエスはわたしたちとともに

動されます。わたしたちの行く所に行き、わたしたちが教えるときに教え、わたしたちが慰めるときに慰め、わたしたちが祝福するとき、祝福して下さるのです。³⁸

兄弟の皆さん、喜んでよい理由がありませんか。確かにあります。わたしたちは神の聖なる神権を持っています。イエス・キリストを仰ぎ見て、交わした聖約を守り、主に焦点を固定するとき、わたしたちは姉妹たちと力を合わせてさらに神聖な方法でミニスタリングを行い、散乱したイスラエルを幕の両側で集め、家族を強めて結び固め、主イエス・キリストの再臨に世を備えさせるようになるのです。それは起こります。わたしはそう証します。

この心からの祈りで話を閉じます。わたしたちが皆、イエス・キリストを仰ぎ見て、疑うことも恐れることもありませんように。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

注

1. ジェームズ・E・タルメージは、イエスはこの癒しを行ったときに「カペナウムの近辺」におられたとしている。（『キリスト・イエス』307参照）
2. ルカ8:43-44参照。マタイ9:20-21；マルコ5:25-29も参照。
3. ルカ8:46
4. マルコ5:30
5. マルコ5:32
6. ルカ8:47
7. マルコ5:33
8. ルカ8:48
9. ジェームズ・E・タルメージは、この女性にとって肉体的な癒しよりも大きな価値があったのは、救い主が彼女の心の願いをかなえて下さり、彼女の信仰が主に受け入れられたという確信だったと書いている。（『キリスト・イエス』311参照）イエスは彼女を肉体的にも霊的にも癒し、救いへの道を彼女に開いたのである。
10. この癒しが行われたときに会堂司のヤイロがイエスとともにいたのは、大切なことを示唆している。イエスはその後ヤイロの娘を死からよみがえらせるのであるが、このときはヤイロの家に行く途中だった。イエスが癒された女は、病気を理由に会堂から締め出されていたらしい。イエスはこの女を癒したときに、彼女が愛する娘であり、信仰ある女性であり、肉体的にも霊的にも健康であることを、ヤイロも含むそこにいた全員に明らかにされたのである。
11. ワードに一つのメルキゼデク神権定員会を創設するための変更については、D・トッド・クリストファーソン「長老定員会」（『リアホナ』

2018年5月号、55-58)を参照。この変更の目的は、ミニスタリング関係のウェブサイトの「よくある質問」の項目で次のように説明されている。「ワードに一つのメルキゼデク神権定員会を置くことにより、神権者を一致させ、これまで大祭司グループリーダーによって調整されていた神殿・家族歴史活動を含め、救いの業のあらゆる面を達成することができます。」(「よくある質問」8、<https://www.lds.org/ministering/ministering-faq?lang=jpn>) その後の変更によって、ワードにおいて、ワード伝道主任と、新たに設けられた神殿・家族歴史主任は、長老定員会会長会の指示の下に置かれることになった。すでに長老定員会の指示の下で行われている家族へのミニスタリングと合わせて、この変更によって救いの業を導く責任が、長老定員会に任されることになった。もちろん、ビショップはワードにおける救いの業の鍵を持つが、その業にかかわる責任と鍵を長老定員会の会長に委任して、ビショップがさらに多くの時間を自分の家族のためと、青少年を強化する務めとイスラエルの判事としての奉仕に費やすことができるようにする。

12. ラッセル・M・ネルソン「神の御業に進みて」『リアホナ』2018年5月号、118-119; ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号、113-114; クエンティン・L・クック「天の御父と主イエス・キリストに対する深い改心」『リアホナ』2018年11月号、8-12 参照

13. 御父はイエス・キリストをこの世に送られた。(ヨハネ17:18 参照)

14. 教義と聖約6:36-37

15. アブラハム3:27

16. アブラハム3:27

17. モーセ4:2

18. 御自分は御父の業を行い、御父の教義を教え、いと語られたイエスの言葉は、聖文に数多く記録されている。例として、以下を参照。ヨハネ5:19(イエスは御父のなさることを見て、それをなさる); ヨハネ5:36(御父はなす

べき業を御子に与えられた); ヨハネ8:26(イエスは御父から受けたことを教えられた); ヨハネ14:28(「父〔は〕わたしよりも大きいかたである」とイエスは宣言された) 3ニーファイ11:32(イエスの教義は、御父がイエスにお与えになった教義である)

19. ヨハネ14:31
20. ヨハネ8:29
21. ヨハネ6:38。ヨハネ5:30も参照。
22. ルカ22:42
23. この聖句の「仰ぎ見る」(教義と聖約6:36-37 参照) という言葉には、主の以下の呼びかけに対応する意味がある。顔を向ける(振り向く)、注意を向ける、頼る、探し求める、待ち望む、目標として心に留める(see "Look," Merriam-Webster.com)。
24. 教義と聖約121:41-42 参照。聖文に出てくるキリストのような特質は、イエス・キリストの憐れみと恵みによって与えられる御霊の賜物である。その特質があるからこそ、イスラエルの長老は主の長老なのである。
25. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリストの力を生活に取り入れる」『リアホナ』2017年5月号、41
26. See merriam-webster.com, "rivet."
27. For a discussion of the concept of a covenant life, see Donald L. Hallstrom, "Living a Covenant Life," *Ensign*, June 2013, 46-49. This article was adapted from a longer talk given at BYU-Idaho in May of 2011. For the longer version, see Donald L. Hallstrom, "A Covenant Life" (Brigham Young University-Idaho devotional, May 10, 2011), byui.edu.
28. エレミヤ31:31-33 参照。この聖句で主は、イスラエルの家に新しい聖約を立ててその心に書き記すと宣言しておられる。聖約を心に書きつけるとか、聖約が人の心の中で生きるという考え方は、パウロの書いた文でも出てくる(2コリント3:3; ヘブル8:10 参照)。改心と心についての話は、デビッド・A・ベドナー、「主に帰依する」『リアホナ』2012年11月号、106-109を参照。
29. 聖餐のパンの祝福の祈りは、天の御父とわたしたちと聖約の関係の本質を見事に表現している。御父の救いの計画の中でわたしたちは天の御父と聖約を交わすが、その聖約の目的は果たされ、わたしたちは主イエス・キリストによって約束された祝福にふさわしい者になる。主は仲介者である。聖餐の儀式の中でわたしたちは、いつも主の御霊(聖霊)を受けられるようにするために進んでイエス・キリストの御名を受け、いつも主を覚え、主の戒めを守ることを御父に証する(つまり、御父との聖約を更新する)。この御父の約束にある賜物は、イエス・キリストの人を贖い、強める力からもたらされるのである。例えば、ラッセル・M・ネルソン大管長が教えているように、イエス・キリストはあらゆる喜びの源である(「喜び—霊的に生き抜く道」『リアホナ』2016年11月号、82 参照)。そのため、イエス・キリストに焦点を固定するならば、状況にかかわら

ずわたしたちの生活に喜びがもたらされる。

30. エズラ・タフト・ベンソン大管長は、この態度と方向性の変化の影響力を説明してこう言っている。「従順が心をいだだせるものでなく、自ら求めるものになると、神はそのときに力を授けてくださるであろう。」(ドナルド・L・ステューラー「従順—人生の大きなチャレンジ」『聖徒の道』1998年7月号、89で引用)
31. ヨハネ16:32
32. 御父と御子がわたしたちの生活に関心や興味を寄せ、愛をもってかわわっておられるという事実に関するそのほかの話については、ジェフリー・R・ホランド「偉大な神の性質」『リアホナ』2003年11月号、70-73; ヘンリー・B・アイリング「わたしとともに歩みなさい」『リアホナ』2017年5月号、82-85を参照。マタイ18:20; 28:20; 教義と聖約6:32; 29:5; 38:7; 61:36; 84:88も参照
33. ローマ8:35-39; 1コリント13:1-8; モロナイ7:46-47 参照
34. 教義と聖約50:27。聖任されて遣わされるすべての人に主はこの約束をお与えになり、この約束は具体的な割り当てに関し、それに限定して与えられるのであり、約束を与えられた者は「最も小さい者であってすべての者の僕であるにもかかわらず、最も大なる者となるように任命されている」ことに注意する。それゆえ、彼はすべてのものの所有者である。天においても地上においても、すべてのものが彼に従うからである。父の御心によってその子イエス・キリストを通じて送られる、命も光も、御霊も力もそうである。しかし、だれもすべての罪から清められてきれいにされなければ、すべてのものの所有者ではない。もしもあなたがすべての罪から清められてきれいにされるならば、何であろうと自分の望みであることをイエスの名によって求めると、それは行われる。」(教義と聖約50:26-29)
35. サムエル上16:7; 1コリント2:14 参照。イエスが御覧になるように見るとこの祝福の例は、ヘンリー・B・アイリング管長がビショップだったときに経験した、犯罪を犯した若者にかかわった話を参照。そのとき主は、アイリングビショップにこう言われた。「わたしが見ているように、彼を見られるようにしましょう。」(「わたしとともに歩みなさい」『リアホナ』2017年5月号、84)
36. これは、救い主がバウンティフルの神殿で人々に与えられた約束であり、責任であった。主が彼らに命じられたのは、生活の中で主を世の光として掲げてほかの人たちが主のもとに来ることができるよう、主の光と主の模範が彼らの内にあるような生き方をするのであった。そのような生き方をして、そのように人々を招くならば、ほかの人たちは主の僕の中に主を感じ、主を見るようになるであろう。(3ニーファイ11:29-25 参照)。
37. ラッセル・M・ネルソン「神権の力を得るための代価」『リアホナ』2016年5月号、68
38. 教義と聖約84:88 参照





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

神の僕を支持する 信仰がもたらす力

支持の挙手をする事によって、その僕の主である神に対して、僕を支持することを約束するのです。

神権指導者が、自分が仕える会員が信仰を込めて支持してくれることに感謝を伝えるのを何度も耳にしてきました。その声にも感情から、深く心からの感謝であることが伝わってきます。今日の目的は、主の教会の僕を支持してくださる皆さんへの主の感謝を伝えることです。また、信仰を込めて人々を支持する力を行使し、高めるよう促したいと思います。

皆さんは生まれてくる前に、そのような力を示しました。わたしたちが生まれてくる前の霊界について知っていることを思い出してみましょう。天の御父は、御自分の子供たちのための計画を示されました。わたしたちはその場にいました。霊のきょうだいであるルシフェルは、選択の自由を人に与えるこの計画に反対しました。天の御父の愛される御子エホバは、この計画を支持されました。ルシフェルは謀反を率いました。計画を支持するエホバの声が勝り、エホバは救い主になることをお申し出になりました。

今現世にいるということは、皆さんが確かに御父と救い主を支持したことを示しています。現世で直面する困難についてほとんど知らなかった皆さんが、幸福の計画とその計画におけるイエス・キリストの役割を支持するには、イエス・キリストを信じる信仰が必要でした。

神の僕を支持する信仰は、この世でも幸福の要です。モルモン書が神の言葉であることを知るために祈るよという宣教師の勧めを受け入れたとき、皆さんは主の僕を支持する信仰を抱いていました。バプテスマを受けるよという勧めを受け入れたときに、皆さんは神の謙遜な僕を支持しました。

だれかに自分の頭に手を置いて、「聖霊を受けなさい」と言ってもらったとき、皆さんはその人をメルキゼデク神権者として支持しました。

その日以来、皆さんは忠実に奉仕することにより、神権を授けてくれた人や、その神権の職に聖任してくれた人を支持してきたのです。

神権をもらった当初、毎回支持することは、神の僕を信頼するという単純なことでした。現在、皆さんの多くはさらに進歩し、支持することによりさらに多くのことが求められる立場になりました。

皆さんは、何の召しであろうと、主が召されるすべての人を支持するかどうかを選びます。その選択は、世界中の集会で行われます。今回もそうでした。そのような集会において、神の僕である男女の名前が読み上げられ、挙手をもって支持するよ招かれます。支持することを控えることもできますし、信仰を込めて支持を公に表明することもできます。支持の挙手をする事により、皆さんは約束をします。その僕の主である神に対して、僕を支持することを約束するのです。

彼らは皆さんと同じように不完全な人間です。約束を守るには、主が彼らを召されたのだという揺るぎない信仰が必要です。これらの約束を守る事により、永続する幸福ももたらされます。約束を守らな



いならば、自分や愛する人々に悲しみをもたらし、想像もできないようなものを失うでしょう。

皆さんは、ビショップやステーク会長、教会の中央幹部、中央役員を支持するかどうかを尋ねられたことがある、あるいは今後尋ねられることがあるでしょう。大会で役員や指導者を支持するよう求められることもあるでしょう。ビショップやステーク会長との面接で求められることもあるでしょう。

前もってこれらの質問を自問し、注意深く、祈りの気持ちで考えるようお勧めします。そうするときに、自分の最近の思いや言動を振り返ることでしょう。思い出しながら、主と面接をするときに皆さんが答えるであろうことを考えてみてください。いつかそのような日が訪れるのです。次のようなことを自問することにより備えるようにしましょう。

1. わたしは、支持すると約束した人々の人間的な弱さについて考えたり話したりしたことがあるだろうか。
2. わたしは、主が彼らを導いているという証拠を見つけようとしたことがあるだろうか。
3. わたしは、誠実に心から彼らの勧めに従ってきたらうか。
4. わたしは、彼らが神の僕であることを示す証拠について話したことがあるだろうか。
5. わたしは、定期的に、愛を込めて、名前を挙げて彼らのために祈っているだろうか。

ほとんどの場合、このように自問すると後ろめたさを感じ、悔い改めの必要が生じるでしょう。わたしたちは人を不当に裁かないよう神から命じられていますが、実際のところ、それを避けるのはたやすくないことに気づきます。人々と一緒に働くときに何かをする度に、わたしたちはその人



たちを評価しがちです。また、わたしたちは生活のあらゆる面で人と自分を比較します。そうする理由はたくさんあり、一部は妥当なものです。比較は批判をもたらしがちです。

ジョージ・Q・キャンノン管長の警告をわたしからも皆さんにお伝えします。次の言葉は真実です。「神はその僕たちを選んでくれました。神は、必要なときに僕を非難する権能は御自分にあると述べておられます。僕を批判したり非難したりする権能を個人には与えておられません。どれほど信仰の強い人であろうと、神権の高い職にいようと、主の油を注がれた人々の悪口を言ったり、地上における神の権能のあらゆる面を捜しをしたりして、神の不興を買うことを免れることはできません。聖なる御霊は退き、そのような人は暗闇に足を踏み入れることになるでしょう。そうだとすれば、わたしたちが注意することがどれほど大切か理解できるはずです。」¹

わたしの観察によると、世界中の教会員は一般的に互いや自分を管理する人々に対して誠実です。しかし、改善できる点や改善しなければならない点があります。わたしたちは、互いに支持し合う能力を高めることができます。それには信仰と努力が必要です。この総大会でわたしたちが実行すべき四つのことを提案します。

1. 話者たちが勧めている特定の行いを探し出し、今日からそれを実行しましょう。そうするときに、話者を支持する力は増すでしょう。
2. 話者が話すときに、聖霊が特定の愛す

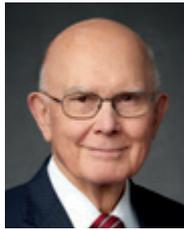
る人の心に言葉を届けてくださるよう祈りましょう。後で祈りがこたえられたことを知るときに、この指導者たちを支持する力は増すでしょう。

3. 特定の話者が話をするときに、彼らが祝福され、大いなるものとされるよう祈りましょう。彼らが大いなるものとされたのを目にするときに、彼らを支持するわたしたちの信仰は増し、持続するでしょう。
4. 助けを求める自分の祈りへの答えを探しながら話者のメッセージを聴きましょう。答えが来たときに、そしてそれは必ず来ますが、主のすべての僕を支持する信仰が増すでしょう。

教会で奉仕する人々を支持する方法を改善する以外にも、そのような力を増し加える場面がほかにもあることを知るようになるでしょう。それは、さらに大きな祝福をわたしたちにもたらすことができます。そのような場面は家庭や家族の中にあります。

父親のいる家庭に暮らす若い神権者に向けてお話しします。子供が信仰を込めて自分を支持してくれていると感じることが父親にとって何を意味するのか、わたし自身の経験からお話ししましょう。父親は自信があるように見えるかもしれませんが、皆さんが思うよりもたくさんの困難に直面しています。時には目の前にある問題の解決方法が分からないこともあります。

皆さんの称賛は父親の助けとなるでしょう。皆さんの愛はなおいっそう大きな助けとなるでしょう。しかし、最も助けになるのは心の込もったこのような言葉です。



大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

「お父さんのために祈っているよ。主はお父さんを助けてくださると感じたよ。きつとすべてうまくいくよ。」

そのような言葉は、父から息子へという逆の向きに伝えられるときにも力があります。息子が、例えば霊的な事柄において深刻な過ちを犯し、自分は失敗したと感じているとします。彼の父親が何をすべきかを知ろうと祈ると、聖霊が次の言葉を父親の口に授けてくださることに驚くでしょう。「息子よ、わたしは君をずっと支えよう。主は君を愛しておられる。主の助けがあれば、主に立ち返ることができる。必ずできるんだ。愛しているよ。」

神権定員会や家族の中で互いに支え合う信仰を増すことは、主が望まれているシオンを築く方法です。主の助けがあれば、必ずできます。そのためには、心と、勢力と、思いと、力を尽くして主を愛し、自分を愛するように互いを愛することを学ぶ必要があります。

キリストの純粋な愛が増すと、わたしたちの心は和らぎます。その愛により、わたしたちは謙遜になり、悔い改めへと至るでしょう。主と互いへの信頼は増すでしょう。そのときわたしたちは、主が約束されたように、一致へと向かいます。²

天の御父は皆さんを御存じであり、愛しておられることを証します。イエスは生けるキリストであります。この教会は主の教会です。わたしたちは神権を保持しています。神権を行使し、互いに支え合う力を高めようとする努力を、主は尊んでくださるでしょう。イエス・キリストの聖なる御名により証します、アーメン。■

注

1. Gospel Truth: Discourses and Writings of President George Q. Cannon, ed. Jerreld L. Newquist (1974), 1:278.
2. 教義と聖約 35:2 参照

その先に 何があるだろうか

別の選択肢を探り、その先に何があるか深く考えるならば、わたしたちはより良い選択や決断ができます。

回復されたイエス・キリストの福音は、将来についてわたしたちに考えさせてくれます。この福音は現世の目的と来世の実在を説明しています。福音は将来について大いなることを教えており、今日の行動を決める際にわたしたちの指針となります。

これとは対照的に、現在のことしか頭がない人がだれの周りにもいます。今日お金を使い、今日楽しみ、将来のことを考えません。

常に将来を意識していれば、わたしたちは現在も将来も幸せになります。決断を下すときには必ず、「その先に何があるだろうか」と考えるべきです。

1.

時には、何かをするか、それとも何もしないかのどちらかを選ぶ場合があります。わたしは、この種の選択の例と言える話を、何年も前にアメリカ合衆国のあるステーク大会で聞きました。

大学の美しいキャンパスでのことです。大勢の若い学生たちが草の上に座っていました。彼らはリスを見ていたのだと、この状況を説明した話者は言いました。大きくてふさふさとしたしっぽのあるかわいいリスが、美しい木の根元で遊んでいました。リスはあるときは地面に、またあるときは木の幹を上ったり下ったり、幹の周りを回っ



たりしています。しかし、ありふれたこの光景に、なぜ学生が群がるのでしょうか。

近くの芝生の上に、猟犬のアイリッシュセッターが寝そべっていました。この猟犬こそ学生たちの関心の的だったのです。そして、この犬の関心の的はリスでした。リスが木の周りを巡って一時的に見えなくなる度に、犬は数十センチそっと近づき、そしてまた何事もなかったかのように寝そべります。これが学生たちの興味を引いていました。学生たちは声を殺して身動き一つせず、ますます結末が明らかになるその様子に目を釘付けにしています。

ついにアイリッシュセッターは十分な距離まで近づくと、飛びかかってリスを口にくわえました。ハッと息をのむ声が上がります、学生たちが群がると、この小動物を犬の口からどうにかして救おうとしたのですが、遅すぎました。リスは死んだのです。

大勢の中のだれかが手を振るなり叫ぶなりしてリスに警告を与えることはいつでもできたはずですが。しかし、だれもそれをしませんでした。避けられない事態が今にも起ころうとしているのに、それをただ見ていたのです。「その先に何かがあるだろうか」とは、だれも考えませんでした。そして、予想できたはずの事態が起こると、皆が駆けつけて最悪の結果を防ごうとしました。でも、手遅れでした。涙が出るほど後悔しても、どうにもなりません。

この実話は、ある種のたとえでもありません。それは、わたしたちの生活で目にする事柄にも、周りの人たちの生活や状況にも当てはまります。大切な人や物事に危険が忍び寄っていることが分かったら、言うか、行動するか、または黙っているかしかなかったら、どう見てもそれ自体は良いものであったとしても、ある活動に時間を使うことで何を失うことになるのかをじっくりと考える必要があることを皆さんが理解してくださいと、わたしは確信しています。



先ほど説明した話での選択肢は、何らかの行動に出るか、それとも何もしないかでした。しかし、もっとよくあるのは、ある行動と別の行動のどちらかを選ぶ場合でしょう。善と悪のどちらかを選ぶ場合もありますが、二つの良いもののどちらかを選ぶ場合の方が多いのです。その場合でも、その先に何かがあるだろうと自問することが大切です。わたしたちは、二つの良いものからどちらを選ぶかという選択を数多くしています。よくあるのは時間の使い方です。テレビゲームをしたり、携帯メールを送ったり、テレビを見たり、携帯電話で話したりするのは、決して悪いことではありません。しかし、このすべてに「機会費用」というものが伴います。つまり、あることをすると、ほかのことをする機会が失われるのです。どう見てもそれ自体は良いものであったとしても、ある活動に時間を使うことで何を失うことになるのかをじっくりと考える必要があることを皆さんが理解してくださいと、わたしは確信しています。

以前にわたしは、「良いこと、より良いこと、最も良いこと」という話をし、その中でこう言いました。「『良いこと』だからというだけでは、行おうのに十分な理由にはならない[のです。]……わたしたちにて

きる良いことの数、それらを達成するのに必要な時間数をはるかに超えています。良いこと以上により良いこともあり、わたしたちはそれらのことに、生活の中で優先的に目を向けるべきなのです。……わたしたちは、より良いものや最も良いその他のものを選ぶために、良いことを諦める必要があります。」¹

長期的な視点から見てください。現在下す決断は、自分の将来にどんな影響を与えるのでしょうか。教育を受けることや福音を研究すること、聖餐を取って聖約を新たにすること、神殿に参入することの大切さを、忘れないでください。

II.

「その先に何かがあるだろうか」と考えることは、自分自身をどういう人間と見るか、自分自身についてどう考えるかを決める際にも大切になります。最も大切なのは、わたしたち一人一人は神の子供であって永遠の命を得る可能性を秘めているということです。そのほかの肩書は、職業や人種、身体的な特徴、名誉などですら、この世だけのものであって、永遠の観点から見ればささいなものです。目指す目標を狭めてしまうような見方や考え方で、自分

にレッテルを貼ったり、自分を決めつけたりしないでください。

兄弟の皆さん、そしてわたしがここで話すことを視聴したり読んだりする姉妹の皆さん、わたしたちが与える教えや勧告を皆さんの指導者たちがなぜ与えるのか皆さんが理解することを願っています。わたしたちは皆さんを愛しています。天の御父と御子イエス・キリストも、皆さんを愛しておられます。御父と御子がわたしたちについてお持ちの計画は、「偉大な幸福の計画」です(アルマ42:8)。この計画と、この御^{おふたかた}二方の戒めと儀式と聖約は、この世と来世での最大の幸せと喜びへとわたしたちを導きます。御父と御子の僕として、わたしたちはこの御二方から聖霊によって導かれるままに教えたり勧告したりします。真理を語りたいという望みと、この御二方が永遠の命への道として説明しておられる事柄を行うようにと皆さんに勧めたいという望みしか、わたしたちにはありません。この永遠の命は、「神のあらゆる賜物の中で最も大なるもの」です(教義と聖約14:7)。



Ⅲ.

今下す決断が将来に影響を与える例を、もう一つ話しましょう。大切な目標を将来達成するために現在犠牲を払うという決断を下した例です。

コロンビアのカロのステーキ大会で、ある姉妹が、婚約者とともに神殿で結婚することを望んでいたという話をしました。当時いちばん近い神殿がはるかかなたのペルーにあったにもかかわらず、それを望んだのです。バス料金を用意するために、二人は長い年月をかけてお金をためました。そして、ついにボゴタ行きのバスに乗りました。しかし、ボゴタに着くと、ペルーのリマ行きのバスは満席だということが分かりました。家に帰って結婚しないことにするか、または、神殿以外で結婚することもできました。でも幸いなことに、もう一つ別の選択肢がありました。本人たちさえ良ければ、リマまでの5泊5日の全行程をバスの床に座って行くことができたのです。二人はこれを選びました。乗客の中には自分は床に寝そべればいいからと席を譲ってくれる人が時々いましたが、それでもこの旅はつらかった、と彼女は言っていました。

この話で感動したのは、彼女のこんな言葉でした。「わたしは夫とともにこの方法で神殿に行くことができ、感謝しています。なぜなら、それによって福音についての感じ方と、神殿結婚についての感じ方が変わったからです。」主は彼らの犠牲に対して成長という報いを与えられました。

彼女はまた、神殿までのこの5日間の旅は、犠牲なしに何度も神殿参入するよりもはるかに自分たちの霊性を高めてくれた、とも言っていました。

その証を聞いて以来わたしは、もしも神殿で結婚するために必要な犠牲を払うことをせずにほかの選択をしていたらこの若い夫婦の生活はどうなっていたらどうか、と何年も考えてきました。

兄弟の皆さん、わたしたちは人生で数限りない選択をします。大きい選択もあれば、小さく見える選択もあります。振り返ってみると、幾つかの選択が自分の人生にいかに大きな違いをもたらしたかが分かります。別の選択肢を探り、その先に何かあるか深く考えるならば、わたしたちはより良い選択や決断ができます。選択する際、わたしたちは目的を持って始めなさいというラッセル・M・ネルソン大管長の勧告に従います。² わたしたちの目的とは、神殿を通して、神のあらゆる賜物の中で最も大なるものである永遠の命に至る聖約の道に常にとどまることです。

イエス・キリストと贖罪の効力について、そして主の永遠の福音に伴うそのほかの真理について、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■

注

1. ダリン・H・オークス「良いこと、より良いこと、最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号, 104, 107 参照
2. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 7 参照



末日聖徒イエス・キリスト教会の中央幹部と中央役員

大管長会



第一顧問
ダリン・H・オークス



大管長
ラッセル・M・ネルソン



第二顧問
ヘンリー・B・アイング

十二使徒定員会



M・ラッセル・バラード



ジェフリー・R・ホランド



ディーター・F・ウークトドルフ



デビッド・A・ベドナー



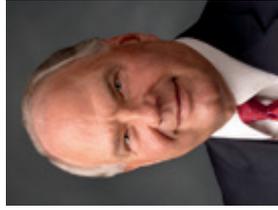
クエンティン・L・クック



D・トッド・クリストファースン



ニール・L・アンダーセン



ロナルド・A・ラズバンド



ゲアリー・E・ステイブソン



デール・G・レンランド



ゲレット・W・ゴング



ウリセス・ソアレス

七十人会長会



L・ホイットニー・クラウン



ブレント・L・ウィレント



カール・B・クック



ロバート・C・テイ



トマス・M・ペテンソン



ジョセフ・A・テイセラ



カロロス・A・ゴトイ

中央幹部七十人
(アルファベット順)

 マルコス・A・ アイトカイテイス	 ルーベツ・V・ アライオード	 ホセ・L・アロンソ	 飛田・M・ アライオード	 ウィルフォード・ W・アスターセン	 イアン・S・ アロカトル	 ステイブ・R・ バロガター	 W・マーク・ バレット	 デッド・S・ バロスター	 ランデル・K・ ベネット	 ハンス・T・ ブーム	 ジェームズ・M・ ボート	 マック・A・ ブラック	 L・トット・ バウジ	 マクレー・L・ カーベスター	 董 謙	 クレフ・C・ クリステンセン
 キム・B・クラーク	 ウエーブ・ W・クレメント	 ロベール・E・ ユフリス	 ハル・U・V・ ゴードン	 J・レビン・ ゴニツキ	 クラカテイ・ M・ゴタ	 ホフスタ・E・ ゴスタ	 リウラフ・R・ カーオス・ ジュニア	 マクモテ・ フロ	 ベハマン・ テ・ ヨヨ	 エドワード・ チベ	 サレン・R・ タコ	 デビッド・ J・ タイクス	 デビッド・ F・ ユル	 エウリカ・ R・ アラハ	 ブラッド・ D・ ジョスター	 ラウチ・ D・ アック
 エドワード・ ガレル	 ジャック・N・ グラ	 リカルド・P・ ヒメス	 テラー・G・ ゴイ	 クリスティアン・ ゴリ	 ウエルター・ F・ コカリス	 O・ピレト・ ハル	 ヨリック・P・ ヘリス	 ドナルド・L・ ホルストロム	 カピル・S・ ハミルトン	 アレク・D・ ヘニ	 マティアス・ ヘル	 デビッド・ P・ ホーマ	 ポール・V・ ジョン	 ビクター・M・ ジョン	 シリ・S・ ケチャ	 ヨウ・ クレバガット
 ジョニ・L・ コッホ	 エリック・W・ コビシヨカ	 ヒュー・E・ マルチネス	 ジェームズ・B・ マクニ	 リチャード・J・ メンス	 ジョ・A・ マキーン	 カイル・S・ マク	 ピーター・F・ マーズ	 ウー・ モトヤ	 マーク・B・ マクシ	 K・ マク	 S・ マク	 フレント・ H・ マク	 アドリアン・ マク	 S・ マク	 アディル・ マク	 ケビン・W・ マク
 ファン・D・ バークス	 ポール・B・ バイ	 ジョーン・C・ マク	 ラファエル・E・ マク	 ジェームズ・R・ マク	 マイケル・T・ マク	 リン・G・ マク	 ゲリー・B・ マク	 エド・A・ マク	 ジョセフ・W・ マク	 ステイブ・E・ マク	 バーン・P・ マク	 ベンジ・ M・Z・ マク	 ブライアン・K・ マク	 マイケル・ U・ マク	 ファン・A・ マク	 アルナルド・ マク

管理ビショップリック

 第一副司 ティーン・M・ テイビーズ	 管理ビショップ ジェラルド・ W・クリストファー ワデル	 第二副司 マイケル・ U・ マク
---	--	--

中央役員

 第一副司 ミルトン・ ガマルゴ	 会長 マーク・L・ ベイス	 第二副司 ジャン・E・ ニューマン	 第一副司 スコット・D・ クレーク	 会長 ホニ・H・ コート	 第二副司 ベッキー・ クリフ	 第一副司 ジャック・ ユーバク	 会長 ジョン・B・ ピカム	 第二副司 レイター・ アブラ	 第一副司 リウ・L・ ハークス	 会長 ジョイ・D・ ジョーンス	 第二副司 クリスティーナ・ フランコ	 第一副司 ダグラス・D・ ホームズ	 会長 スティーブ・W・ オーウェン	 第二副司 M・ ジョセフ・ フラー
--	--	--	--	---	---	--	--	--	--	--	---	--	--	---





ラッセル・M・ネルソン大管長

行いを改善し、 より良くなれます

日々悔い改めに取り組んで生活に欠かせない一部とすることにより、これまで以上に大きな力をもって神権を行使できるようにしてください。

愛する兄弟の皆さん、主の軍勢に属するこれほど多くの神権者を見て、心が奮い立ちます。何とすばらしい善の力でしょう。わたしたちは皆さんを愛し、皆さんのために祈っています。そして、皆さんにとっても感謝しています。

最近わたしは、「この時代の人々には、悔い改めのほかに何も語ってはならない」という、預言者ジョセフ・スミスを通して与えられた主の教えに引き付けられています。¹ この宣言は聖典の至る所で繰り返されているため、² 当然、「すべての人が悔い改める必要があるのか」という疑問が浮かびます。その答えは「はい」です。

悔い改めを罰と捉え、非常に深刻な状況でないかぎり避けるべきだと考える人があまりに多すぎます。しかし、この罰せられるという思いは、サタンから来るものです。サタンは、わたしたちがイエス・キリストに頼るのを妨げようとしています。³ しかし主は両腕を広げて立ち、⁴ 喜んでわたしたちを癒し、赦し、汚れを取り、強め、清め、聖くしたいと望んでおられます。

ギリシャ語の新約聖書で悔い改めに当たる言葉は、「metanoeo (メタノエオ)」です。接頭語の「meta (メタ)」は「変わる」という意味です。接尾語の「noeo (ノエ

オ)」は、「思い」「知識」「霊」そして「息」を意味するギリシャ語に関連しています。⁵

ですからイエスは皆さんやわたしに「悔い改めよ」⁶ とお求めになるとき、思いと知識と霊と、さらに息の仕方までも変えなさいと勧めておられるのです。愛し方、考え方、奉仕の仕方、時間の過ごし方、妻との接し方、子供の教え方、そして自分の体の管理の仕方さえも変えるように求めておられます。



日々欠かさず悔い改めに取り組むことほど、霊を自由にし、気高くするもの、言い換えればわたしたち個人の進歩に不可欠なものはありません。悔い改めは一つの出来事ではなく、一連の過程であって、幸福と心の平安を得る鍵です。信仰と相まって、悔い改めはイエス・キリストの贖いの力に手を伸ばせるようにしてくれます。⁷

聖約の道を熱心に歩んでいるか、または聖約の道から外れてしまったか、それとも今いる場所からその道が見えてさえいないかに関係なく、皆が悔い改めるよう切に願います。日一日と行いを改善してより良い人になるという、日々の悔い改めの力を経験してください。

悔い改めを選ぶとき、わたしたちは変わることを選びます。自らを救い主に委ねて、最高の自分に変えていただくのです。わたしたちは霊的に成長し、喜びを受けることを選びます。それは主による贖いの喜びです。⁸ 悔い改めを選ぶとき、もっとイエス・キリストのようになることを選んでいるのです。⁹

兄弟の皆さん、わたしたちはもっと良いことを行い、もっと良い人になる必要があります。なぜなら、わたしたちは戦いのさ

なかにいるからです。罪との戦いは現実のものです。主への証を崩壊させて主の業を妨げようと、敵対する者はその力を何倍にも増しています。また、その手先に強力な武器を与え、わたしたちが主の喜びと愛を受けるのを阻止しようとしています。¹⁰

悔い改めは、敵のわなによって不幸に陥らないための秘訣です。永遠の進歩において、この時点では、主はわたしたちに完全をお求めになりません。そうではなく、いっそう清くなるように求めておられます。日々の悔い改めは清さへの道であり、清さは力をもたらします。個人の清さは、わたしたちを神の御手に使われる強力な道具に変えてくれます。悔い改め、すなわち清さが、イスラエルの集いに貢献する力を授けてくれるのです。

主は預言者ジョセフ・スミスにこうお教えになりました。「すなわち、神権の権利は天の力と不可分のものとして結びついており、天の力は義の原則に従ってしか制御することも、運用することもできないということである。」¹¹

わたしたちはよりいっそう天の力に手を伸ばすために何が必要かを知っています。

また、自分の進歩を妨げるもの、すなわち、天の力にもっと手を伸ばすためにやめなければならないものも知っています。兄弟の皆さん、皆さんの悔い改めの道に立ち塞がるものが何かを理解できるように、祈りの気持ちで求めてください。悔い改めを阻むものを特定し、それから変わってください！悔い改めてください！わたしたちは皆、かつてないほど行いを改善し、より良い人になれるのです。¹²

具体的な改善法を紹介しましょう。一つは、肉体を扱う方法を変えることです。わたしは人間の肉体という奇跡に畏敬の念を抱いています。肉体は実にすばらしい創造物であり、わたしたちが究極の神聖な可能性に徐々に近づくために不可欠なものです。肉体なくして進歩は不可能です。神は肉体という賜物を授けることで、わたしたちがもっと御自身のようになるための重要な一歩を踏み出せるようにしてくださったのです。

サタンはそのことをよく知っています。前世で背教したため、その特権に浴する資格を永久に失ったという事実いらだって、常にねたみ、憤っています。した

がって、サタンの仕掛ける誘惑は、そのほとんどとはいかないまでも、多くが、自身や人の肉体を乱用させるものなのです。肉体を持たないがゆえに惨めなサタンは、わたしたちが肉体のゆえに惨めになるよう望んでいるのです。¹³

皆さんの肉体は、皆さんの永遠の霊を宿す宮です。¹⁴ その宮を正しく管理することが重要です。ここで兄弟の皆さんに質問します。皆さんは神を喜ばせるよりも、世に迎合するために服装や身なりに気を遣っていないでしょうか。この質問への答えが、この比類ない賜物に対する皆さんの思いを御父に明確に伝えるメッセージとなります。兄弟の皆さん、肉体を尊ぶことに関して、行動を改善し、より良くなる余地があるとわたしは思います。

行動を改善し、より良くなるもう一つの方法は、妻や娘、母親や姉や妹といった、人生における特別な女性たちに対して、どのように敬意を払うかにあります。¹⁵

数か月前、わたしはある姉妹から痛ましい手紙を受け取りました。手紙にはこうありました。「[娘たちとわたし]は、夫や息子たちの注意を引くためにメディアとのしれつな争いを余儀なくされています。彼らは四六時中、スポーツの最新情報やテレビゲーム、株式市場の最新情報に夢中で、[考え得る]あらゆるスポーツの視聴と分析に明け暮れています。まるで、夫や息子が座る[スポーツやゲーム]の最前列の固定席のせいで、夫や息子と過ごすわたしたちの最前列の席を奪われてしまったような気がします。」¹⁶

兄弟の皆さん、神権者の責任は何よりも妻を愛し、慈しむことにあります。妻と一つとなり、パートナーとなってください。あなたの妻でいたい、と容易に思ってもらえるようにしてください。生活のいかなる関心事も、妻と永遠の関係を築くことより優先させるべきではありません。テレビやモバイル機器、またはコンピューター上のいかなるものも、妻の幸せよりも大切では





ありません。時間やエネルギーの使い方を直視してみてください。それによって、自分の心がどこにあるかが分かるでしょう。自分の心を妻の心と調和させられるように祈ってください。妻に喜びをもたらすよう努力してください。意見を求め、耳を傾けてください。妻の助言により、皆さんはもっと良いことができます。

皆さんの最も身近にいる女性との接し方について悔い改める必要があるなら、今すぐ悔い改めを始めてください。また、皆さんの人生における特別な女性たちが、主の貞潔の律法を守ることで祝福を受けられるようにするのは、皆さんの責任であることを覚えていてください。決して、皆さんが原因で一人の女性が神殿の祝福を受けられないようであってはなりません。

兄弟の皆さん、わたしたちは皆、悔い改める必要があります。ソファから身を起こし、リモコンを置き、霊的なまどろみから覚める必要があります。今こそ、地上で最も重要な業に携われるように神の武具で身を固める時です。「[わたしたちの] 鎌を入れ、[わたしたちの] 勢力と思いと力を尽くして刈り取[る]」¹⁷ 時なのです。今日ほど悪の力が激しく猛威を振るう時代はありませんでした。わたしたちは主の僕として、このような激しい戦いの中で眠っていることはできません。

皆さんの家族は皆さんの指導力と愛を必要としています。定員会や、ワードや支

部の会員も皆さんの力を必要としています。皆さんが会おうすべての人は、主のまことの弟子とはどのような姿で、どのように行動するのかを知る必要があります。

愛する兄弟の皆さん、皆さんは前世で示した霊的な勇敢さにより、このきわめて重要な時期に地上に来よう天の御父に選ばれました。皆さんは、これまで地上に来たすべての人の中で、最も立派で勇敢な人々の一人なのです。サタンは皆さんが何者であり、前世でどのような人であったかを知っており、救い主が再びおいでになる前に成就するはずの業を知っています。何千年にもわたってその狡猾な業を繰り返してきたサタンは、経験を積み、手に負えなくなっています。

有り難いことに、わたしたちの持つ神権には、敵対する者の策略とは比べようもないほどの力があります。皆さんにお願いします。どうぞ主が必要としておられる男性および若い男性でいてください。日々悔い改めに取り組んで生活に欠かせない一部とすることにより、これまで以上に大きな力をもって神権を行使できるようにしてください。これが、これからやって来る厳しい時代に皆さんと家族を霊的に守る唯一の方法なのです。

主が必要としておられるのは、自分のことより人の幸せを優先する、私心のない男性です。御霊の声をはっきりと聞き取れるように進んで努力する男性です。誠実に聖約を守る「聖約の男性」です。主が必要としておられるのは、性的な清さを守ろうと固く決意している男性、すなわち、求められればすぐに清い心と清い思いをもって喜んで祝福を受けられるふさわしい男性です。主は進んで悔い改める男性、すなわち、熱心に仕え、ふさわしい神権者から成る主の軍勢の一員となる男性を必要としておられます。

そのような男性になれるよう皆さんを祝福します。日々悔い改める勇気を持ち、神権の力を十分に行使する方法を学べるよ

う、皆さんを祝福します。妻子やすべての知人に救い主の愛を伝えられるよう、皆さんを祝福します。行いを改善し、より良い人になれるように祝福します。また、そのように努力するとき、生活の中で奇跡を経験するように皆さんを祝福します。

わたしたちは全能の神の業に携わっています。イエスはキリストであられます。わたしたちは御二方の僕です。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 6:9; 11:9
2. マルコ 1:4; モーサヤ 18:20; アルマ 37:33; 3 ニーファイ 7:23; モロナイ 3:3; 教義と聖約 19:21; 44:3; 55:2 参照
3. 教義と聖約 6:36 参照
4. 申命 26:8; 2 ニーファイ 1:15; モルモン 6:17; 教義と聖約 6:20 参照
5. ラッセル・M・ネルソン「悔い改めと改心」『リアホナ』2007年5月号, 103 参照
6. 例えばルカ 13:3, 5 参照
7. 2 ニーファイ 9:23; モーサヤ 4:6; 3 ニーファイ 9:22; 27:19 参照
8. ラッセル・M・ネルソン「悔い改めと改心」103 参照
9. 3 ニーファイ 27:27 参照
10. ユダ 1:17-21; 2 ニーファイ 2:25, 27; 28:20 参照。1 ニーファイ 8:10-12, 21-23; 11:21-22; 12:17; 教義と聖約 10:22; モーセ 5:13 も参照
11. 教義と聖約 121:36
12. 主が啓示や今日の教えを通して鼓舞しておられる言葉に、「より高く、より聖く、速める、増す、強める、より大きな、一変する、作り直す、改善する、高める、変わる、深める、伸ばす」があります。どれも霊的な成長を示す言葉です（ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号, 113-114 参照）。
13. わたしたちは次のことを知っています。「人は肉においては自由であ[る。]……そして人は、すべての人の偉大な仲保者を通じて自由と永遠の命を選ぶことも、あるいは悪魔の束縛と力に応じて束縛と死を選ぶことも自由である。悪魔は、すべての人が自分のように惨めになることを求めているからである。」（2 ニーファイ 2:27）
14. 1 コリント 3:16-17; 6:18-20 参照
15. モルモン書ヤコブ 5 章参照
16. 2019年2月4日に届いた手紙
17. 教義と聖約 33:7



日曜午前の部会

十二使徒定員会

デール・G・レンランド長老

多くの祝福を得る

神がわたしたちに与えたいと望んでおられる祝福のほとんどは、わたしたち側の行動、すなわちイエス・キリストを信じる信仰に基づく行動を必要としています。

愛する兄弟姉妹の皆さん、天の御父とイエス・キリストは、わたしたち一人一人に祝福を受けたいと望んでおられます。¹ どうしたらそうした祝福を得られるかについて、何世紀にもわたって神学上の討論や議論的となってきました。² 祝福は皆自力で得るもの、つまり自分の行いを通してのみ得られるものと言う人がいます。一方で、神はすでに祝福をだれに、どう授けるかを決めておられ、それが変わることはないと言う人もいます。この二つの意見のどちらにも根本的な誤りがあります。天からの祝福は、「よい行いのクーポン」を必死に集めても、あるいは祝福という宝くじに当たるのをなすすべもなく待っていても得られるものではありません。実のところ、祝福を受けると言うことにはもっと深い意味合いがあります。祝福は、愛に満ちた天の御父と御父のようになろうとしているわたしたちとの関係に根差したものであるのです。回復された真理により明らかなのは、祝福は決して自力で得るものではないこと、そして信仰に動機づけられ、たゆまず行動することが不可欠であるということです。³

神から祝福を受ける方法を考えるに当たり、天の祝福を積み重ねられた木に例えてみましょう。真ん中には火をつけるための小枝が小さく盛られ、細かい木くずで覆われているのを思い浮かべてください。その上に枝、次に細いまき、最後に太いま

きが積み重なっています。この積み重ねられた木には、何日間も灯りと熱を発することが可能な大量の熱源が含まれています。この積み重ねられた木の近くに、先端にリンの付いた1本のマッチ棒が置かれた様子を思い描いてください。⁴

この木に含まれるエネルギーを放出するには、マッチを擦りたき付け用の小枝に火をつけなければなりません。すると小枝はすぐに燃えだし、より大きな木へと燃え広がります。いったんこの燃焼反応が始まると、それは木が燃え尽きるか、酸素がなくなるまで続きます。

マッチを擦って小枝に点火するというささやかな行為が、木の持つ潜在的なエネルギーの放出を可能にするのです。⁵ 積み

重ねられた木の大小にかかわらず、マッチを擦るまでは何も起きません。マッチそのものから発せられる光と熱はわずかなため、マッチを擦っても小枝に火をつけなければ、木の内にある燃焼エネルギーが放出されることはありません。どこかの時点で酸素がなくなれば、燃焼反応はやんでしまいます。

同様に、神がわたしたちに与えたいと望んでおられる祝福のほとんどは、イエス・キリストを信じる信仰に基づくわたしたちの行動を必要としています。救い主を信じる信仰は、行動と力の原則です。⁶ まずわたしたちが信仰をもって行動すると、神の御心と神の時になつて力がもたらされます。この順序はきわめて重要です。⁷ そして、最終的に受ける祝福と比べると、求められる行動は常にささいなものです。⁸

約束の地へ向かう途中で、古代イスラエルの民に火の飛ぶ蛇が及んだときに何が起こったのでしょうか。毒蛇にかまれることは致命的でした。しかし、かまれた人は、モーセが造って竿の上にかけた青銅の蛇を見るだけで癒しを受けることができました。⁹ 何かを見るのにどれほどのエネルギーが必要でしょうか。見た人々は皆、天の力を受けて癒されました。かまれたほかのイスラエルの民は青銅の蛇を見るこ



とをせず、命を落としました。見るだけの信仰を欠いていたのかもしれませんが。¹⁰ そんなささいな行動で約束された癒しが得られるとは信じがたかったのかもしれませんが。あるいは、故意に心をかたくなにして、神の預言者の勧告を拒んだのかもしれませんが。¹¹

神から注がれる祝福のスイッチを入れるという原則は永遠のものです。古代イスラエルの民と同様、祝福を受けるにはイエス・キリストを信じる信仰に従って行動しなければなりません。神は次のように明らかにされました。「創世の前に天において定められた不変の律法があり、すべての祝福はこれに基づいている。すなわち、神から祝福を受けるときは、それが基づく律法に従うことによるのである。」¹² それでも、祝福は自力で得るものではありません。そのような考えは誤りですが、祝福を受ける資格は得る必要があります。わたしたちの救いは、イエス・キリストの功德と恵みによってのみもたらされるのです。¹³ 計り知れない主の贖いの犠牲は積み重ねられた木が無限であることを意味しています。それに比べて、わたしたちの小さな行いはゼロに等しいですが、ゼロではありませんし、取るに足りないものでもありません。暗闇にともすマッチの光は何マイル先からも見えます。それどころか、天からも見えています。ささやかな信仰の行いは、神の約束に火をとますために必要だからです。¹⁴

望む祝福を神から受けるには、マッチを擦ってください。信仰をもって行動するのです。そうすることにより天の祝福を受けることができます。例えば、祈りの目的の一つは、神が授けようとしておられる祝福を頂くことですが、それにはわたしたちが求めるといった条件が伴います。¹⁵ アルマは憐れみを呼び求めたため、痛みが消え、二度と罪を思い出して苦しむことはなくなりました。喜びが痛みを勝ったのです。このことはすべてアルマがイエス・キリス



トを信じる信仰を込めて叫び求めたために起こりました。¹⁶ 真心から神に祈り求め、主の御心と、答えの来る時を受け入れるために必要なキリストへの信仰を持つことで、祝福の火をとます活性化エネルギーを得ることができます。

多くの場合、祝福を受けるのに必要な活性化エネルギーには、ただ見たり願ったりする以上のことが求められます。継続的に、繰り返し、信仰深い行いを行うことが求められるのです。19世紀の半ば、ブリガム・ヤングは末日聖徒の一団に、北米の乾燥地帯であるアリゾナを探索し、定住するよう指示しました。アリゾナに到着すると、一団は水の蓄えが底をつき、死の恐怖に襲われました。一団が神に助けを切に求めると間もなく、雨と雪が降り、たるに水をためて、家畜にも水を飲ませることができました。元気を取り戻した一団は感謝を胸に、神の慈しみを喜びながらソルトレーク・シティに戻りました。戻って来た一団は、探索の一部始終をブリガム・ヤングに報告し、アリゾナは人の住める場所ではないという自分たちの下した結論を告げました。

報告を聞いたブリガム・ヤングは部屋にいたある男性に、この調査と奇跡についてどう思うか尋ねました。ダニエル・W・ジョーンズというこの男性は簡潔に答えました。「わたしなら水をいっぱいにつめて、調査を継続し、また祈ります。」ブリガム兄弟はジョーンズ兄弟に手を置いて言いました。「次回のアリゾナへの旅はあなたに率いてもらおう。」¹⁷

だれもが、前進してはまた祈り、その結

果祝福がもたらされた経験をしたことがあるでしょう。この原則を実践した、マイケル・ホームズとマリアン・ホームズの経験を紹介します。マイケルとわたしは、地域七十人としてともに奉仕しました。集会でマイケルが祈るように頼まれる度に、わたしは感銘を受けていました。彼の深い霊性を容易に感じ取ることができたからです。マイケルは神と話す方法を知っていました。彼の祈りを聞くのが大好きでした。しかし、結婚当初のマイケルとマリアンは、祈ったり教会に集ったりしていませんでした。二人は、3人の幼い子供や、うまくいっている建設会社のことで手いっぱいだったのです。マイケルは自分は宗教的ではないと感じていました。ある晩、ビショップが自宅を訪れ、二人に祈るよう勧めました。

ビショップが帰ってから、マイケルとマリアンは祈ってみることにしました。寝る前に二人でベッドの傍らにひざまずき、マイケルがごちなく祈り始めました。たどたどしい祈りの言葉を幾らか口にしたマイケルは、突然祈のをやめて「マリアン、無理だよ」と言いました。マリアンは、立ち上がって歩き出そうとするマイケルの手をつかんで引っ張り、ひざまずかせるところ言いました。「マイク、できるわ。さあ、もう一度！」この励ましのおかげで、マイケルは短い祈りを終えました。

ホームズ家は定期的に祈り始め、教会に出席するようという隣人の誘いを受け入れました。礼拝堂に入り、開会の賛美歌を聞いたとき、御霊が「これは真実です」とささやきました。その後、マイケルは自分から、そしてこっそりと集会所のご

みを捨てるのを手伝いました。そのとき、マイケルははっきりと「これはわたしの宮である」という印象を感じたのです。

マイケルとマリアンは教会の召しを受け入れ、自分のワードやステークで奉仕しました。二人はお互いに結び固められ、3人の子供も二人に結び固められました。さらに子供に恵まれ、子供は合わせて12人になりました。ホームズ夫妻は伝道部長とその同僚として2度も奉仕しました。

あの最初のぎこちない祈りは、天の祝福のスイッチを入れる、ささやかながらも信仰深い行動でした。ホームズ家は教会に出席し奉仕することにより、信仰の炎を大きくしました。何年にもわたる献身的な弟子としての生活が、今なお燃え盛る炎を生んだのです。

ただし、最終的に木の本来の能力を最大限に引き出すには、火に酸素を供給し続けなければなりません。ホームズ夫妻の例に見られるように、キリストを信じる信仰の炎を絶やさないようにするには、継続的な行いが求められます。ささやかな行いが、聖約の道を歩む能力を高め、神がお与えになる最も偉大な賜物をもたらします。ただし、わたしたちが歩み続けられない限り酸素は巡りません。食料をどこで探すべきかという啓示を受ける前に弓矢を作らなければならないときがありますし、¹⁸ 船の造り方に関する啓示を受ける前に、道具を作らなければならないときもあります。¹⁹ 尽きることのないびんの油とかめの小麦粉をいただくためには、主の預言者の指示の下、残りわずかな油と小麦粉で小さなパンを焼かなければならないこともあるでしょう。²⁰ また、「安らかにしていて、[神]が神であることを知り」、主の時への信頼が必要なきときもあります。²¹

神から何らかの祝福を頂くとき、皆さんはその祝福の授受をつかさどる永遠の律法の要件を満たしたと結論付けることができます。²² しかし、「定められた不変」の律法には、時間の制約がないことを心に

留めてください。つまり、祝福は神の時にかなってもたらされるのです。古代の預言者でさえ天の家を探し求めて²³「信仰をいだいて死[に、]まだ約束のものは受けていなかったが、はるかにそれを望み見て喜び」しました。²⁴ たとえ望んでいる祝福を「まだ」神から受けていなかったとしても、取り乱したり、ほかに何をしなければならないのかと考えたりする必要はないのです。代わりに、ジョセフ・スミスの勧告に耳を傾けてください。「力のかぎりすべてのことを喜んで行おう。そして……その後、……このうえない確信をもって待ち受けて、……神の腕が現されるのを見ることができるよう。」²⁵ 神の子供たちの中で最も雄々しい者にさえ、一部の祝福は、後に取っておかれることがあります。²⁶

半年前、教義を学び、信仰を強め、個人と家族を強化するために、家庭が中心となり教会がサポートする形の計画が導入されました。この変更についてラッセル・M・ネルソン大管長は、わたしたちが霊的に生き抜き、福音に喜びを増し、天の御父とイエス・キリストへの改心を深める助けになると約束しています。²⁷ しかし、この祝福を得られるかどうかはわたしたち次第です。わたしたち一人一人が、『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』や

聖典、その他の『わたしに従ってきなさい』関連資料を開いて研究する責任を負っています。²⁸ この比喩的な火をともしため、そのことについて家族や友人と話し合い、安息日を組織する必要があります。そうせずに、家に教材を山積みにして、エネルギーを内に閉じ込めたままにしてしまうかはわたしたち次第です。

どうぞ、忠実に天の力を活性化させ、神から特定の祝福を受けてください。マッチを擦って火をともしために信仰を働かせてください。忍耐強く主を待ち望みながら、必要な酸素を送り続けてください。これらの勧めに加え、聖霊が皆さんを導き、手を引いてくださるよう祈ります。皆さんは箴言の「忠実な人」のように「多くの祝福を得る」でしょう。²⁹ 天の御父と愛する御子イエス・キリストが生きておられ、あなたの福利を心にかけて、祝福を与えることを喜びとしておられることを証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 41:1; 78:17; 104:33 参照
2. See, for instance, Craig Harline, *A World Ablaze: The Rise of Martin Luther and the Birth of the Reformation* (2017), 20. そういった討論の一例は、アウグスティヌス(紀元354–430年)対ライバルのペラギウス(紀元354–420年)のものである。ペラギウ





中央扶助協会会長会第一顧問
シャロン・ユーン

キリスト — 闇の中に輝く光

スは、「人間には、善を行う性質が内在し、その善良さを行いに移し、神のすべての戒めを守ることにより神の恵みを獲得する」と主張した。アウグスティヌスはこれに強く反論した。See also Eric Metaxas, *Martin Luther: The Man Who Rediscovered God and Changed the World* (2017), 296. ルターは、行いによって神の恵みがもたらされることは決してないと教えた。信仰は恵みをもたらし、それにより良い行いが生じる。「行いを信仰と切り離すことは不可能である。熱と光を火と切り離せないのと同様である。」

3. 教義と聖約 82:10 参照
4. どこを擦っても火がつく、キャンプ用マッチを指している。キッチン用マッチのような、現代の安全なマッチは、マッチ棒の先ではなく、擦る台の方にリンが含まれている。
5. このような行為は、炎の「活性化エネルギー」の一部である。「活性化エネルギー」という言葉は、1889年にスウェーデンの科学者スヴァンテ・アレニウスにより導入された。
6. See *Lectures on Faith* (1985), 3.
7. デビッド・A・ベドナー「信仰をもって願ひ求めなさい」『リアホナ』2008年5月号、94-96
8. モーサヤ2:24-25 参照
9. 民数21:6-9 参照
10. 1ニーファイ17:41 参照
11. 1ニーファイ17:42 参照
12. 教義と聖約130:20-21
13. 2ニーファイ10:24;25:23 参照
14. アルマ60:11, 21;ダリン・H・オークス「小さな、簡単なこと」2018年5月『リアホナ』;M・ラッセル・バラード「熱心に携わる」2012年11月『リアホナ』参照
15. 『聖句ガイド』「祈り」の項を参照。モロナイ7:48も参照
16. アルマ36:18-21 参照。エノス1:5-8も参照
17. Daniel W. Jones, *40 Years Among the Indians* (1960), 222.
18. 1ニーファイ16:23 参照
19. 1ニーファイ17:9 参照
20. 列王上17:10-16 参照
21. 教義と聖約101:16
22. 教義と聖約130:20-21 参照
23. ヘブル11:16 参照
24. ヘブル11:13
25. 教義と聖約123:17
26. ジェフリー・R・ホランド「すでに現れた祝福の大祭司」『リアホナ』2000年1月号、42-45。ホランド長老はこのように述べている。「祝福はすぐに来ることも、後から来ることも、また天に召されるまで来ないこともあります。イエス・キリストの福音をいただく人には必ず来ます。」
27. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号、6
28. クエンティン・L・クック「天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心」『リアホナ』2012年11月号参照
29. 箴言28:20

もし、あなたの証のかがり火が消え失せ、暗闇が迫っていると感じたら、勇気を持ちましょう。神との約束を守りましょう。

扶助協会ビルにあるわたしの事務所から、ソルトレーク神殿の見事な光景が見えます。毎晩、時計仕掛けのように規則正しく、夕暮れ時に神殿の屋外の照明が点灯します。わたしの部屋の窓からすぐ近くに見える神殿は、変わることなく心安らぐかがり火なのです。

今年の2月のある夜、太陽が沈むと、わたしの事務所はいつもとは違って薄暗いままでした。窓の外を見ると、神殿が暗く見えました。照明が点灯していなかったのです。突然憂鬱に感じました。長年、毎晩見ていた神殿の尖塔を見ることができなかったのです。

光が見えず暗闇を見たときに思いました。わたしたちが成長するうえで基本的に必要なことの1つは、光の源であるイエス・キリストにつながり続けていることです。イエス・キリストは、わたしたちの

力の源であり、世の光であり命です。主にしっかりとつながっていないと、わたしたちは霊的に命を失い始めます。そのことを知っているサタンは、わたしたち皆が経験するこの世の重圧を利用します。わたしたちの光を弱め、主との接続をショートさせ、電源を切り、わたしたちを暗闇の中で独りになるよう追いやりとうします。その重圧は、この死すべき世ではよく見られることですが、サタンはわたしたちを懸命に孤立させようとし、それを経験しているのは自分だけだと言うのです。

わたしたちの中には悲しみのために無力に感じている人がいます

悲劇が不意にわたしたちを襲うとき、息ができなくなるほど人生に傷つくとき、そしてエリコに向かう道で死にそうのまま放置された男のように打たれるとき、イエス





は近寄って来られ、わたしたちの傷に油を注がれ、優しく起こして下さり、宿屋に連れて行って下さり、世話をしてくださるのです。¹ 悲しんでいるわたしたちに主はこう言われます。「わたしは……あなたがたの肩に負わせられる荷を軽くし、……あなたがたの背にその荷が感じられないほどにしよう。……主なる神であるわたしが、苦難の中にいる自分の民を訪れるということ、あなたがたが確かに知ることができるようにするためである。」² キリストが傷を癒してください。

わたしたちの中にはとても疲れている人がいます

ジェフリー・R・ホランド長老はこう述べました。「わたしたちは自分の力以上に速く走ることは求められていません……〔しかし〕、わたしは皆さんの多くが非常に速く走り、時として、体力と気力が底を突かばかりであることを知っています。」³ 期待に圧倒される時、一歩下がって、何を手放すべきか天の御父に尋ねることができます。何をしないかを選び学ぶのも、人生経験の一部です。そうであっても、時に人生はあまりにも大変なものです。イエスはこう約束しておられます。「すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。」⁴

キリストは進んでわたしたちのもとに来られ、ともにくびきを負い、荷が軽くなるように引っ張ってくださいます。キリストは安らぎです。

自分は教会の伝統的な型に合っていないと感じる人がいます

様々な理由により、わたしたちは受け入

れられていないと感じたり、受け入れられることはないと感じたりします。新約聖書には、イエスが次のようなすべての人に手を差し伸べるためにとても尽力されたことが示されています。重い皮膚病患者、取税人、子供、ガリラヤ人、遊女、女性、パリサイ人、罪人、サマリヤ人、やもめ、ローマの兵士、姦淫をする者、儀式によって清められていない者。ほとんどすべての物語の中で、イエスは慣習によって社会に受け入れられていない人々に手を差し伸べています。

ルカ 19 章には、ザアカイという名前のエリコの取税人のかしらの話が載っています。彼は歩いて来るイエスを見るために木に登りました。ローマの政府に雇われていたザアカイは、腐敗した者、罪人と見られていました。イエスは木に登ったザアカイを見上げて声をかけられ、こう言われました。「ザアカイよ、急いで下りてきなさい。きょう、あなたの家に泊まることにしているから。」⁵ ザアカイの心が善良で人のために良いことをしているのを御覧になったとき、イエスはザアカイの申し出を受け入れられて言われました。「きょう、救いがこの家に来た。この人もアブラハムの子なのだから。」⁶

キリストは優しくニーファイ人にこう語られました。「わたしはあなたがたのだれにも立ち去るように命じること〔はない〕。」⁷ ペテロには重要な気づきがあり、使徒 10 章でこう言明しました。「神は、どんな人間をも清くないとか、汚れているとか言ってはならないと、わたしにお示しになりました。」⁸ ほんとうの愛を互いに示し合うというのが、キリストの弟子と末日聖徒に対する不可欠な条件です。⁹ イエスは

ザアカイになされたのと同じ招きをわたしにしておられます。「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。〔あなたが〕わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは〔あなたのいるところ〕にはいつて〔あなた〕と食を共にし、〔あなた〕もまたわたしと食を共にするであろう。」¹⁰ キリストは木に登ったわたしたちを目に留めてくださいます。

疑問に心を悩ませる人がいます

何年前か、わたしは、答えを見つけることができない疑問に対して心に重荷を感じ、いらいらしていました。ある土曜日の早朝に、わたしはちょっとした夢を見ました。その夢の中で見晴らし小屋が見えて、行ってその中に「入るべき」だと思いましたが、それは 5 つのアーチで囲まれていましたが、窓は石でできていました。そこは非常に狭苦しかったので中に入りたくないと思い、夢の中で不平を漏らしました。そうしていると、ヤレドの兄弟は忍耐強く石を溶かして透明なガラスを作ったという思いがわたしの心に浮かびました。ガラスは状態の変化を経た石です。主がヤレドの兄弟の石に触れたとき、暗い船の中で光輝きました。¹¹ 突然、ほかのどの場所よりもその見晴らし小屋の中に入りたいという思いに満たされました。その場所はまさに、わたしが真に「見る」ことのできたたった一つの場所だったので。目を覚ますと、わたしを悩ませていた疑問は解けませんでした。よりはっきりと次の疑問が心に思い浮かびました。「ヤレドの兄弟のように石を光に変えられるよう、信仰を強めるために何を行えばよいだろうか。」¹²

わたしたちの死すべき体の脳は、少しずつ理解し、少しずつ意味を知るように造られています。死すべき体を覆うベールがどうしてそれほど厚いのか、すべての理由は分かりません。永遠の進歩において、この世はすべての答えを受ける段階ではありません。わたしたちがまだ見ていない

事実を確信する（または時には希望を持つ）ことを積み重ねる段階なのです。確信は簡単には分析できない方法でやって来ることもあります。わたしたちの暗闇の中には光があります。イエスは言われました。「わたしは……光であり、命であり、世の真理である。」¹³ 真理を探し求めている人にとって、最初は石で作られた愚かで閉塞感のある窓に思えるかもしれませんが、しかし、忍耐と信仰を持って問い続けるならば、イエスは石で作られた窓をガラスと光へと変えることができるのです。キリストは目を向けるべき光です。

善良に成り切れていないと感じている人がいます

旧約聖書の緋色の染料は色彩豊かなだけでなく、色あせませんでした。それは、その鮮やかな色が羊毛に染み込み、どれほど洗っても消えることはないことを意味しています。¹⁴ サタンはこの論法をこん棒のように振り回し、緋色の染みの付いた羊毛は決して白くならないと言います。しかしイエス・キリストはこう言明しています。「わが道は、あなたがたの道よりも高[い]。」「¹⁵ そしてキリストの恵みによる奇跡は、罪を悔い改めたときに、キリストの赤い血がわたしたちを清めてくださるのです。これは論理的ではありませんが、真実です。

「たといあなたがたの罪は緋のようで



罪を悔い改めたときに、キリストの赤い血がわたしたちを清めてくださるのです。



あっても、雪のように白くなるのだ。紅のように赤くても、羊の毛のようになるのだ。」¹⁶ 主は次のように強調しておられます。「自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。」¹⁷ つまりこう言っておられるのです。さあ、互いに論じよう。¹⁸ あなたは間違いを犯した。皆失敗することがある。¹⁹ わたしのもとに来て悔い改めなさい。²⁰ わたしはあなたの罪を二度と思い起こさない。²¹ あなたは再び傷のない者となる。²² わたしが備えた業を果たしなさい。²³ **キリストは羊の毛を白くしてください。**

でも、そのために実際は何を行うのでしょうか。わたしたちが揺れ動いているとき、イエス・キリストの力に再びつながるための鍵は何でしょうか。ラッセル・M・ネルソン大管長は、そのことを簡潔に述べています。「その鍵は、神聖な聖約を交わして守ることです。……それは複雑な道ではありません。」²⁴ キリストを人生の中心に据えましょう。²⁵

もし、あなたの証のかがり火が消えうせ、暗闇が迫っていると感じたら、勇気を持ちましょう。神との約束を守りましょう。疑問について尋ねましょう。忍耐して石を溶かし、ガラスへと変えましょう。常に愛してくださっているイエス・キリストに頼りましょう。

イエスは言われました。「わたしは暗闇の中に輝いている光である。そして、暗闇

はそれを理解しない。」²⁶ これは、暗闇がどれほど励もうと、暗闇は決してその光を消すことができないことを意味しています。主の光があなたのすぐ傍らにあることを信じてください。

わたしたち、またはわたしたちの愛する人が、一時的に暗闇に行くかもしれません。ソルトレーク神殿の場合、施設マネージャーのバル・ホワイト兄弟の電話がほぼすぐに鳴りました。人が見て気づいたからです。神殿の照明のどこが悪かったのでしょうか。最初に、職員が直接神殿のすべての配電盤を点検し、手で照明を戻しました。その後、自動電源のバッテリーを交換し、どこが故障したかを見つけて出すためにテストを行いました。

自分の力だけで光を戻すのは簡単ではありません。友だちが必要です。互いを必要としています。ちょうど神殿の施設職員のように、直接姿を現し、霊的なバッテリーを充電し、悪くなった所を直すことにより、互いに助け合うことができるのです。

わたしたち個人の光は木につるしてある電球の一つに過ぎないかもしれません。それでもその小さな光を輝かせるとき、すべての電球が合わさることにより、クリスマスのときのテンプル・スクウェアがそうであるように何百万もの人を主の宮へと招くのです。とりわけ、ネルソン大管長が勧めているように、わたしたちは聖約を守るという単純な行いによって、わたしたち自身とわたしたちにとって大切な人々に救い主の光をもたらすことができます。様々な方法によって、主はその信仰深い行いに力と喜びで報いてくださいます。²⁷

皆さんが愛されていることを証します。主は、皆さんがどれほど一生懸命に努力しているかを御存じです。皆さんは進歩しています。前進し続けてください。主は皆さんの隠れた犠牲のすべてを御覧になり、あなたとあなたが愛する人に報いてくださいます。あなたの働きが無駄になることはありません。あなたは独りではありません。



十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

御父の 子供たちに対する 大きな愛

愛はミニスタリングを行う上で中心となる特質と動機であり、霊的な目的なのです。

主の名前であるインマヌエルは、まさに「神われらと共にいます」という意味です。²⁸ 主は確かに皆さんとともにおられます。

暗くて遠くが見えないとしても、聖約の道をもう数歩進みましょう。光が戻って来るでしょう。イエスの言葉に真理があり、光に満ちていることを証します。「すなわち、わたしに近づきなさい。そうすれば、わたしはあなたがたに近づこう。熱心にわたしを求めなさい。そうすれば、あなたがたはわたしを見いだすであろう。求めなさい。そうすれば、与えられるであろう。たたきなさい。そうすれば、開かれるであろう。」²⁹ イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

注

- ルカ 10:30 - 35 参照
- モーサヤ 24:14
- ジェフリー・R・ホランド「互いに重荷を負い合う」『リアホナ』2018年6月号, 30
- マタイ 11:28
- ルカ 19:5
- ルカ 19:9
- 3 ニーファイ 18:25
- 使徒 10:28
- ヨハネ 15:12 参照
- 黙示 3:20
- エテル 6:3 参照
- エテル 4:7 参照
- エテル 4:12
- See “Scarlet, Crimson, Snow, and Wool,” *Ensign*, Dec. 2016, 64 - 65.
- イザヤ 55:9
- イザヤ 1:18
- 教義と聖約 58:42
- イザヤ 1:18 参照
- ローマ 3:23 参照
- 3 ニーファイ 9:22 参照
- 教義と聖約 58:42 参照
- ルカ 8:48 参照
- モーセ 1:6 参照
- ラッセル M・ネルソン「イエス・キリストが授ける4つの賜物」(大管長会クリスマスディボーションナル, 2018年12月2日) 放送
- See Russell M. Nelson, “Why Have Faith Now? LDS President Russell M. Nelson Explains during Phoenix-Area Visit,” *Arizona Republic*, Feb. 10, 2019, azcentral.com.
- 教義と聖約 6:21
- モーサヤ 27:14 参照
- マタイ 1:23
- 教義と聖約 88:63

愛する兄弟姉妹の皆さん、今は歴史上類のない、重要な時代です。わたしたちは恵まれて、救い主の再臨に先立つ最後の神権時代に生きています。1829年、この教会が正式に組織され、この神権時代が幕を開ける少し前に、「不思議な驚くべき業」が「まさに…現れようとしている」ことを告げる、愛すべき啓示が与えられました。この啓示の中で、神に仕えたいと望む者は、「神の栄光にひたすら目を向けて、信仰、希望、慈愛、愛を持つ[ことで]、その業に携わる資格がある」ことが

示されました。¹慈愛、すなわち「キリストの純粹な愛」²には、神のすべての子供たちに対する永遠の愛が含まれます。³

今朝のお話の目的は、伝道活動、神殿と家族歴史活動、また家庭を中心とし教会がサポートする形での家族の信仰の実践において、そのような愛が果たす重要な役割について強調することです。2018年に発表された変更の中で、わたしたちは愛する預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長からミニスタリングを行うように言われていますが、救い主と周囲の人々に対



する愛⁴こそが、ミニスターリングを行う上で中心となる特質と動機であり、霊的な目的なのです⁵。

散乱したイスラエルを集める伝道の業

わたしは人生のごく早い時期に、伝道の業と愛の関係を知る機会に預かりました。11歳のとき、祝福師であった祖父から祝福師の祝福を受けました。⁶ 祝福の中で、「人々に対する大きな愛があるよう祝福します。あなたは……世に福音を携えていく業に召され、多くの人を救い、キリストの元に導くでしょう。」⁷ と言われました。

まだ若かったですが、福音を分かち合うことは天の御父の子供たちに対する大きな愛に根差していることを理解しました。

15年前、中央幹部として『わたしの福音を宣べ伝えなさい』の編集に携わっていたとき、これまでと同様、今の時代においても、愛の特質は伝道の業に欠かせないという結論にいたりました。慈愛と愛を含むキリストのような特質について述べている第6章は、宣教師たちの中で常に最も人気のある章です。

救い主の使者として、ほとんどの宣教師はこのような愛を抱き、そうするときに彼らの働きは祝福されます。このような愛は主の目的を果たすのを助けるうえで不可欠であり、会員がこの愛についてのビジョンを持つとき、主の業は果たされるでしょう。

わたしは、このような愛が示された素晴らしい出来事の中で小さな役割を果たす機会に恵まれました。太平洋諸島の地域の会長として奉仕していたとき、R・ウェイン・シュート会長から電話を受けました。若いときにサモアで宣教師として奉仕した彼は、後に、伝道部会長としてサモアに戻りました。⁸ わたしに電話をしたときには、サモア・アピア神殿の神殿会長でした。彼が伝道部会長だったときの若い宣教師の一人に、O・ビンセント・ハレック長老がいました。ハレック長老は今、太平洋地域の地域会長をしています。シュー



ト会長はビンセントとハレック家全員に対して大きな愛と尊敬の念を抱いていました。家族のほとんどが教会員でしたが、ビンセントの父親であり、家長であるオットー・ハレック（ドイツとサモアの血筋）は会員ではありませんでした。わたしがアメリカ領サモアでステーキ大会やそのほかの集会に出席していたことを知っていたシュート会長は、オットー・ハレックの家に滞在し、福音を分かち合ってもらえないかと依頼してきました。

妻のメアリーとわたしは、オットーと彼の奥さんドロシーの美しい家に滞在しました。朝食の席で、福音のメッセージを伝え、宣教師と会ってみたいかと誘いました。彼は優しく、しかしきっぱりとその誘いを断りました。家族の多くが末日聖徒であることを喜んではいるけれども、サモ



R・ウェイン・シュート

ア出身の母方の先祖はサモアの初期のキリスト教の牧師であり、自分は彼らの伝統的なキリスト教の信仰に大きな忠義を抱いていることを力強く語りました。⁹ それでも、わたしたちは良い友人となり、その場を後にしました。

後に、ゴードン・B・ヒンクレイ大管長がフィジー・スバ神殿の奉獻の準備をしている際、大管長の秘書であったドン・H・スタヘリ兄弟から、ニュージーランドにいたわたしに電話で手配の依頼がありました。¹⁰ ヒンクレイ大管長がフィジーからアメリカ領サモアの聖徒を訪問したいということで、前の訪問で使ったホテルが提案されました。わたしが別の滞在先を探してもよいか尋ねると、スタヘリ兄弟は、「地域会長ですので、どうぞ」と言ってくれました。

わたしはすぐにシュート会長に電話をかけ、愛する友オットー・ハレックに再び霊的な祝福の機会がありそうなこと、そして、今度の宣教師はゴードン・B・ヒンクレイ大管長であることを伝えました。ハレック家に、ヒンクレイ大管長の同行者全員を滞在させてもらうことは適切かどうか尋ねました。¹¹ ヒンクレイ大管長夫妻に加えて、娘のジェーン、またジェフリー・R・ホランド長老夫妻もいました。シュート会長は家族とともにすべての準備を整えま

した。¹²

神殿の奉獻の後、フィジーから到着したわたしたちは、温かく迎え入れられました。¹³ その晩、わたしたちは何千人ものサモアの会員たちに向けて語り、その後ハレック家族の家に向かいました。翌朝の朝食の席で、ヒンクレー大管長とオットー・ハレックはすでに良い友人となっていました。興味深いことに、二人の間で交わされた会話は、1年以上前にわたしがオットーと交わしたのとほとんど同じものでした。オットーが教会に対する敬意を示しながらも、自分の教会に対する忠誠を再び伝えたとき、ヒンクレー大管長は片手をオットーの肩に置いてこう言ったのです。「オットー、それだけでは十分ではありません。あなたはこの教会の会員になるべきです。これは主の教会なのですから。」防御のよろいがみるみるうちに取れ、オットーはヒンクレー大管長の言葉に心を開きました。

そのときを境に、宣教師のレッスンが始まり、オットー・ハレックは霊的にへりくだり、1年を過ぎたころにバプテスマと確認の儀式を受けました。さらに1年後、ハレック家族は神殿で永遠の家族として結び固められたのでした。¹⁴

わたしが心打たれたのは、この特別な経験の初めから終わりまで、ウェイン・シュート会長が自分の元で宣教師として働いたビンセント・ハレック長老に対して示



した圧倒するほどのミニスタリングの愛であり、ハレック家全員が永遠の家族として結ばれる姿を見たいという望みでした。¹⁵

イスラエルの集合について、わたしたちはこのような愛を持って心を一致させる必要があります。単なる責任感¹⁶ や、罪悪感ではなく、愛する気持ちや、救い主のメッセージ、務め、使命を世の人々と分かち合うという、神聖なパートナーとしての役割を担っているという思いを抱く必要があります。¹⁷

会員であるわたしたちは、ただ招くことによって、救い主と世界中の兄弟姉妹に対する愛を示すことができます。新たな日曜日の集会スケジュールは、会員の皆さんが友人や知人を効果的に、愛をもって教会に誘い、教会がどんなところかを体験してしてもらうまたとない機会になるでし

う。¹⁸ 望ましくは昨日ジェフリー・R・ホルランド長老が述べたほど神聖で霊的な聖餐会、またそれに続く50分の集会で、新約聖書や救い主、または救い主やその教義に焦点を当てた大会説教を学ぶ時間を持ちます。

扶助協会の姉妹たちの中には、なぜ神権定員会の兄弟たちと「集まり」をもつようよう割り当てられたのだらうと思う人もいました。これには理由があります。ネルソン大管長はその多くを前回の総大会で示しました。ネルソン大管長は「皆さんなしでは、イスラエルの集合などでできません。」と言いました。¹⁹ 現在恵まれて、専任宣教師の約30パーセントが姉妹宣教師です。これにより、扶助協会の姉妹がさらに愛をもって福音を分かち合うよう鼓舞されます。男性や女性、青少年や子供たちにとって必要なのは、イエス・キリストの福音を分かち合うという、愛と優しさに満ちた霊的な決意です。わたしたちが愛とやさしさと謙遜さを示すなら、多くの人がわたしたちの誘いを受け入れるでしょう。たとえ受け入れなくても、彼らは皆さんの友人となるでしょう。

イスラエルを集合させる神殿と家族歴史の業

幕の向こう側でイスラエルを集合させるための神殿・家族歴史活動においても、愛が中心にあります。先祖が直面した試練や困難について知るとき、先祖に対する愛と感謝が強められます。わたしたちの神殿と家族歴史の業は、日曜日の集会スケジュールの新たな変更や、クラスや定員会で青少年の参加を促すことによって非常に強化されてきています。これらの変更によって、祖先や幕の向こう側でのイスラエルの集合について、より早い時期から非常に積極的に関心が向けられます。それによって神殿と家族歴史の業が大いに強められています。

インターネットは強力なツールです。今



自分のもとで宣教師として働いたO・ビンセント・ハレック長老に対するR・ウェイン・シュートのミニスタリングの愛により、ハレック家が永遠の家族として結ばれました。

や家庭は最も身近な家族歴史センターになっています。若い会員は家族歴史探求のエキスパートになり、愛と感謝を抱くようになった先祖のためにバプテスマをしたいと霊的に動機づけられています。年齢の変更によって、多くの11歳の人が死者のためのバプテスマを受けられるようになり、神殿参入者が大変増加したという報告が、世界各地の神殿会長から寄せられています。ある神殿会長は、「身代わりのバプテスマも非常に増えていますし、11歳の青少年とともに家族も参入するようになっています。……年齢は若くても、自分が行っている儀式の敬虔さと目的を感じている様子で、すばらしい光景です！」²⁰と述べています。

初等協会や青少年の指導者の皆さんが、家族歴史や神殿の業をこれからも続けて主要な働きとしてくださることを知っています。扶助協会の姉妹たちと神権者の兄弟たちは、個人で神殿・家族歴史の責任を愛をもって果たすことができますし、子供たちや青少年が幕の向こう側でのイスラエルの集合を進められるように助けることもできます。家庭で、また安息日にこれを行うことは特に重要です。先祖のために愛をもって儀式を行うことにより、ますます悪が蔓延するこの世にあって青少年や家族を強め、守ることができる約束します。わたしはまた、ラッセル・M・ネルソン大管長が神殿と神殿の業に関して非常に意義深い重要な啓示を受けていることを、個人的に証します。

永遠の家族と個人が神と住めるように備える

家庭を中心として福音を学び、実践することが新たに強調され、教会によってそのリソースが与えられていることは、愛をもって永遠の家族や個人を神にまみえ、神とともに住めるように備えるうえですばらしい機会です。²¹

男性と女性は、神殿で結び固められる



とき、新しくかつ永遠の聖約によって、婚姻関係という神聖な秩序、すなわち神権の位に入ります。²²二人は神権の祝福を受け、家族を導く力を受けます。「家族——世界への宣言」²³で示されているように、女性と男性はそれぞれ独自の役割を持ちますが、価値と重要性においては同等の責任を持ちます。²⁴家族のために啓示を受けることにおいて、同等の力を持ちます。ともに愛と義のうちに働くとき、彼らの選択は天によって祝福されています。

個人としても家族のためにも主の御心を知りたいと求める人は、義と柔和さと優しさと愛を得るよう努力しなければなりません。謙遜さと愛は、特に家族のために主の御心を求める人の持つ特質です。

自身を完成に近づけ、聖約の祝福を受けるにふさわしくあり、神にまみえる備えをすることは、個人の責任です。わたしたちは自立して熱心に、家庭を、周囲を取り巻く嵐からの避け所²⁵、信仰のとりで²⁶とする必要があります。両親には、子供たちに愛をもって福音を教えるという責任があります。愛に満ちた家庭は喜びであり、まさにこの地上における天国です。²⁷

わたしの母のお気に入りの賛美歌は「家庭の愛」²⁸でした。「家庭の中に愛あれば、見るものすべて美しく」という最初のフレーズを聞くたびに、母は感動し、涙ぐんでいました。子供たちは全員がそのような家庭で生活していることを認識していました。それが母が最も優先していた

ことの一つだったからです。²⁹

家庭での愛に満ちた雰囲気促すことに加えて、ネルソン大管長は、わたしたちの第一の目的を妨げるメディアの使用を制限することを強調しました。³⁰インターネットやソーシャルメディア、テレビを僕とすることができれば、ほとんどの家族はその恩恵を受けます。逆にこれらが気をそらすものであったり、わたしたちの主人であってはなりません。すべての人にとって、特に子供にとっての戦場は、家庭である場合がよくあります。親として、メディアの内容が健全で、年齢に適したものであり、わたしたちが作り出そうとしている愛ある雰囲気と一致したものでなければなりません。

家庭での教えは明確で説得力のあるものでなければなりません。³¹しかし同時に霊的で喜びや愛に満ちたものである必要があります。

救い主と贖いに対する愛に焦点を当て、救い主を中心にして幕の両側でイスラエルを集合させるよう努力し、人々にミニスタリングを行い、個人で神に会う用意をするならば、悪魔の影響力は弱まり、福音の喜びと平安はわたしたちの家庭をキリストのような愛で高めてくれることでしょう。³²これらの教義に関する約束が真実であること、そしてイエス・キリストと主の贖いの犠牲がわたしたちのために行われたことを、イエス・キリストの御名によって証します、アーメン。■



23. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145 参照
24. 「全ての父親は自分の家族にとって族長であり、全ての母親もその親としての固有の役割の中で同等の責任を負う族長です。」(ジェームズ・E・ファウスト「預言の声」『リアホナ』1996年5月号, 6参照)
25. 教義と聖約 45:26 - 27; 88:91 参照
26. ラッセル・M・ネルソン「模範的な末日聖徒になる」『リアホナ』2018年11月号, 113
27. 「愛ある家は」『賛美歌』186 番参照
28. 「家庭の愛」『賛美歌』181 番
29. このような愛を得るには、教義と聖約 121:41 - 42にある指針を目標にするとよい。「いかなる力も影響力も、神権によって維持することはできない、あるいは維持すべきではない。ただ、説得により、寛容により、温厚と柔和により、また偽りのない愛により、優しさと純粋な知識による。これらは、偽善もなく、偽りもなしに、心を大いに広げるものである。」

注

1. 教義と聖約 4:1, 5
2. モロナイ 7:47
3. 「慈愛と愛」『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動の手引き』124
4. 申命 6:5; マタイ 22:36 - 40 参照
5. 「会員伝道活動および神殿・家族歴史活動における長老定員会会長および扶助協会会長の責任」2018年10月6日付通知参照
6. わたしの祖父は異なるステーキに住む孫たちに祝福師の祝福を授けるよう権能を受けていた。わたしが祝福師の祝福を11歳で受けたのは、病氣だった祖父が亡くなってしまいう可能性があったためである。
7. クロージーアー・キンボールによりクエンティン・L・クックに与えられた祝福師の祝福, 1951年10月13日, ユタ州
8. R・ウェイン・シュート会長は妻のローナとともに中国・上海, アメリカ, シンガポール, ギリシャにおいて様々な伝道部で奉仕した。ローナ姉妹が亡くなった後, シュート会長はレア・マエ・ロズボールと結婚し, 二人はオーストラリア・プリズベン伝道部で奉仕した。9人の子供のうち7人が専任宣教師として奉仕した。サモアで伝道部会長として奉仕した期間中の2年間, ジョン・H・グローバーク長老がトンガで伝道部会長として奉仕していた。二人の経験は, 伝説となっている。
9. オットー・ハレックはサモアの会衆派教会の一般指導者であった。この教会は, ロンドン宣教師協会から派生したルーツを持つ。オットーの父親はドイツの血筋を引いており, ドイツ・デッサウ出身。
10. ドン・H・スタヘリ会長は現在, ユタ州バウンティフル神殿の神殿会長として奉仕している。
11. ゴードン・B・ヒンクレイ大管長とマージョリー・P・ヒンクレイ姉妹, 娘のジェーン・ヒンクレイ・ダドリー, ジェフリー・R・ホランド長老とパトリシア・T・ホランド姉妹, クエンティン・L・クック長老とメアリー・クック姉妹, ドン・H・スタヘリ兄弟全員がその場にいた。
12. O・ビンセント・ハレック長老がわたしに語っ

- てくれたのは, 自身と弟のデビッドは, ヒンクレイ大管長の訪問に備えて家を確認し, 同席するようにと海外から父親に呼び戻されたとのことだった。ハレック長老によれば, 父親が「彼らは天使のような人々だろう」と語り, 息子たちに「もしも預言者を家にお招きするとしたら, 家を完璧にすることが求められるだろう」と語ったと言う。
13. ヒンクレイ大管長はフットボールスタジアムでアメリカ領サモアの国家指導者や何千人ものサモアの人々に迎えられた。
 14. 熱心な伝道活動を通して家族を一致させることは, サモアや他のポリネシアの人々の大きな特徴となっている。
 15. シュート会長は非常に愛され, 感謝され, 2006年のオットー・ハレックの葬儀で弔辞を述べるように依頼された。
 16. 「時折, 義務感や責任感から奉仕を始めることもあるでしょう。しかし, そうした奉仕でさえ, わたしたちの内にある, より貴いものを引き出し, 「最もすぐれた方法」……で行えるようにしてくれませう。(1コリント 12:31)」ジョイ・D・ジョーンズ「主のために」『リアホナ』2018年11月号
 17. See Tad R. Callister, *The Infinite Atonement* (2000), 5 - 8.
 18. 教会員は, 人々を誘う際にはいつでも, 宣教師と調整すべきである。
 19. ラッセル・M・ネルソン「イスラエルの集合への姉妹の参加」『リアホナ』2018年11月号, 70
 20. ソルトレーク神殿の神殿会長とメイトロンであるB・ジャクソン・ウィクソム会長とローズマリー・M・ウィクソム姉妹による, 中央初等協会会長会への報告, 2019年3月ウィクソム夫妻によると, 「需要に合わせてXXXSサイズのバプテスマの衣装の注文数がとても増えていきます!」と報告されています。
 21. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号, 6
 22. 教義と聖約 131:1 - 4 参照



十二使徒定員会
D・トッド・クリストファーソン長老

主の再臨に備える

末日聖徒イエス・キリスト教会は、主の再臨に必要な備えを成し遂げるために、特別に力を与えられ、権限を与えられています。

2週間後、わたしたちは復活祭を祝います。復活は、イエス・キリストの神性と父なる神の存在を証明するものです。わたしたちの思いは救い主に向け、「イエス・キリストのたぐいまれな生涯〔と〕……、この御方の偉大な贖いの犠牲が無限の力を有すること」に思いをはせるのです。¹ また、「イエス・キリスト〔が〕王の王として治め、主の主として統治され〔る〕」、差し迫る主の再臨についても考えるよう願っています。²

以前、アルゼンチンのブエノスアイレスで行われた会議に、様々な宗教指導者とともに参加しました。隣人への揺るがぬ愛を持つ彼らは、苦難を和らげ、抑圧や貧困を乗り越える助けになろうと努めていま

した。わたしは、会議に参加している多くの宗教団体との共同プロジェクトを含む、わたしたちの教会の様々な人道支援事業に思いをはせました。そのようなキリストがされるような奉仕を可能にする、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員の寛大さに、深い感謝の念を抱きました。

その瞬間、聖霊がわたしに二つの事柄について証しました。一つ目はミニスタリングの業は物質的な必要に対して不可欠であり、継続しなければならないということ、二つ目は思いもよらなかったものの、力強くはっきりとしたものでした。それは、主イエス・キリストの再臨に世界を備えることは無私の奉仕を超越しており、極めて重要な事柄であるということです。

主が来られるとき、抑圧や不当な仕打ちは軽減するだけでなく、やむのです。

「おおかみは子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、子牛と若いライオンと肥えた若い家畜はともにいて、幼い子供がこれらを導く。……

彼らはわたしの聖なる山のどこにおいても、害を与えることも損なうこともない。水が海を覆っているように、主を知る知識が地に満ちるからである。」³

貧困と苦難は減少するだけでなく、消え去るのです。

「彼らは、もはや飢えることがなく、かわくこともない。太陽も炎暑も、彼らを侵すことはない。

御座の正面にいます小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるのであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐいとして下さるのであろう。」⁴

死の痛みや悲しみでさえも取り除かれるのです。

「その日には、幼児は年を取るまで死ぬことはない。そして、人の生涯は木の寿命のようである。

また、人は死ぬときに眠ることなく、すなわち地の中に眠ることなく、一瞬のうちに変えられて引き上げられる。そして、彼の安息は栄光あるものとなる。」⁵

ですから、苦痛や悲しみを和らげるために今わたしたちができるすべてのことを行おうではありませんか。そして、痛みと悪が完全に終わりを告げる日、すなわち「キリストが自ら地上を統治され……、そして地球は更新されて楽園の栄光を受ける」ときのために必要な備えができるよう、さらに熱心に自らをささげようではありませんか。⁶ 贖いの日と裁きの日はやってきます。イギリス国教会のダラムの元主教の、N.T. ライト博士は、キリストの贖いと復活、そして不当な仕打ちを克服しすべてを正す裁きの重要性について適切に述べています。

「神は、御自分が任命された人によって





世界が正しく裁かれる日を定められました。また神は、この人を死人の中からよみがえらせることにより、すべての人に確証をお与えになりました。ナザレのイエスについての事実、特に死人の中からの復活についての事実、この世がでたらめなものではないという確証の基盤となります。この世は究極的に混沌としたものではないのです。つまり、わたしたちが現在正しく行うなら、虚勢を張っているわけでも、最終的に崩壊する建物を補強しようとしているわけでも、スクラップ置き場行きの車を修理しようとしているわけでもないということです。神がイエスを死からよみがえらせられたことは、一言で言えば究極の希望の種であり、大宇宙の裁きを含んだ小宇宙の出来事でした。神は、想像し得る最も力強い方法で、ナザレのイエスが確かにメシヤであられると宣言されました。……歴史上最も皮肉なことに、〔イエス〕御自身が残虐で不当な裁きを経験され、無数の残虐な行為と歴史に残る不当のすべてを象徴し、集めたような場所へ連れてこられたのです。混乱、闇、残酷、不当な仕打ちに御自身で耐えられ、その力を使い果たされるためにです。』⁷

先ほど話した、ブエノスアイレスでの会議の最中、御霊がわたしに明らかにされたことは、末日聖徒イエス・キリスト教会が、主の再臨に必要な備えを成し遂げるために、特別に力を与えられ、権限を与えられているということです。まさにこの目的のために教会は回復されたのです。現代を、

神が「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ〔る〕」ことを目的とされた、預言された「時の満ちる〔神権時代〕」だと受け入れる人々をほかにどこで見つけられるでしょうか。⁸ ここで生者と死者の両方のために必要なことを成し遂げようとするコミュニティーを見つけれないのであれば、また、膨大な時間と資金を進んでささげて主を受け入れる備えのできた聖約の民を集め、備えようとする組織を見つけれないのであれば、どこに行っても見つけることはできないでしょう。

1831年、主は教会に対して次のように宣言されました。

「神の王国の鍵は地上の人にゆだねられており、……そこから福音は地の果てまで転がり進むであろう。

主に呼び求めて、主の王国が地上に進み行くようにして、地に住む者がそれを受け入れて来るべき時に備えられるようにしなさい。そのとき、人の子は、地上に建てられた神の王国に会うために、その栄光の輝きをまとって天の中を降って来るであろう」。⁹

その日に備えるために、今わたしたちにできることは何でしょうか。わたしたちは一つの民として自分たちを備えることができます。主の聖約の民を集めることができます。また、「先祖に約束された」救いの約束が果たされるよう助けることができます。¹⁰ 主が再び来られる前に、これらのことすべてが十分にできていなければなりません。

まず主の再臨に不可欠なことは、主の来臨に際して主を受け入れる備えのできた人々が地上に存在することです。主はその日に地上に残る人々についてこのように言明されました。「そのとき、最も小さい者から最も大なる者……が……主を知る知識に満たされ、目と目を合わせ、声を上げ、声を合わせて次のような新しい歌を歌うであろう。主はシオンを回復された。……主は万物を一つに集められた。主は上からシオンを下された。主は下からシオンを上げられた。」¹¹

古代に、神は義になかったシオンの町を御自分のもとへ取り上げられました。¹² その一方で、終わりのときの新しいシオンは、主の来臨の際に主を受け入れます。¹³ シオンは、心の清い者であり、心一つにし、思い一つにする人々で、義のうちに住み、彼らの中に貧しい者はいません。¹⁴ 預言者ジョセフ・スミスはこのように宣言しています。「わたしたちはシオンを築き上げることを最大の目標としなければなりません。」¹⁵ 家庭、ワード、支部、ステークにおいて、一致と信心と慈愛によってシオンを築きます。¹⁶

わたしたちは、シオンの確立が激動の時代に起こることを認めなければなりません。「これは激しい怒りの日、焼き払いの日、荒廃の日、泣き、嘆き、悲しむ日である。それは旋風のように地の全面に及ぶであろう、と主は言う。」¹⁷ したがって、ステークへの集合は、「防御のためとなり、また嵐と激しい怒りが全地にありのままに注がれるときに、その避け所となる」のです。¹⁸

昔のように、わたしたちは「断食し、祈るため、また〔わたしたち〕の幸いについて互いに語り合うためにしばしば集ま〔ります〕。また……主イエスを記念してパンと〔水〕を頂くために〔集まります。〕」¹⁹ 昨年10月の総大会において、ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように話しました。「教会の長期的な目標は、主イエス・

キリストと主の贖いに対する信仰を増し、神と聖約を交わして守り、家族を強めて結び固められるように、すべての会員をサポートすることです。」²⁰ それに基づいて、ネルソン大管長は、神殿の聖約の重要性、安息日を尊ぶこと、教会の統合された教科課程によるサポートを受けながら家庭を中心に日々福音をよく味わうことの重要性を強調しました。わたしたちは主について知りたいと思っています。主を知りたいのです。²¹

シオンを築くための根本的な取り組みは、主の聖約の民を集めることです。²² 「わたしたちは、イスラエルの文字どおりの集合と十部族の回復とを信じ〔ています〕。」「²³ 悔い改め、キリストを信じ、バプテスマを受ける者は皆、主の聖約の民となります。²⁴ 再臨の前には福音が全世界に宣べ伝えられ²⁵、「イスラエルの家に属する〔主の〕民を再び元に戻すため」²⁶ にそれは起こり、「それから、終わり、……が来る」²⁷ ことを、主自ら預言されました。エレミヤの預言は成就しつつあります。

「主は言われる、それゆえ見よ、〔人々〕は『イスラエルの民をエジプトの地から導き出された主は生きておられる』とは言わないで、

『イスラエルの民を北の国と、そのすべて追いやられた国々から導き出した主は生きておられる』という日がくる。わたしが彼らを、その先祖に与えた彼らの地に導きかえすからである。」²⁸

ネルソン大管長は、次のように繰り返し強調しました。「〔イスラエルの〕集合は、今日地上で行われていることの中で最も重要な事柄です。規模において、重要性において、また偉大さにおいて、ほかに類を見ません。皆さんが自ら選び、望むならば、大きな役割を果たすことができます。」²⁹ 末日聖徒は常に宣教の民でした。回復以来、何十万もの人々が伝道の召しにこたえており、現在、数万人が奉仕しています。クエンティン・L・クック長老が先ほど教



えたように、わたしたち全員がシンプルかつ自然な方法で携わり、愛を持って、人々を教会に招き、家庭に迎え、わたしたちの輪の一員となるよう人々を招くことができます。モルモン書の出版は、集合の始まりのしるしでした。³⁰ モルモン書自体が、集合と改宗の道具なのです。

再臨に向けた備えには、わたしたちの先祖の贖いにかかわる大いなる取り組みも不可欠です。主は、再臨の前、すなわち「主の大いなる恐るべき日」³¹ が来る前に、「神権を現〔し〕」「先祖に与えられた約束を子孫の心に植え〔る〕」³² ために預言者エリヤを遣わすと約束されました。エリヤは約束されたとおりに訪れました。1836年4月3日、カートランド神殿において事は起こりました。その場所で、その瞬間に、実際エリヤは約束された神権と、死者の贖いの鍵、そして夫婦や家族がすべての世代に渡って、またいつまでも永遠にともにいられる鍵を授けたのです。³³ これなしには、創造の目的はくじかれ、そういった意味では、地球は「のろわれ」「ことごとく荒廃〔して〕」いたことでしょう。³⁴

イタリア・ローマ神殿の奉獻式に先立って行われた青少年向けディボーションにおいて、出席していた何百もの若い男性、若い女性が、自分が用意した先祖の名前が入ったカードをネルソン大管長に見せました。彼らは、神殿が開けばすぐに自分の先祖の身代わりのバプテスマを行うために神殿に参入できる準備ができていました。それはすでに世を去った世代

のためにシオンを確立する取り組みが加速している一例に過ぎませんが、きわめて満ち足りた気持ちになった瞬間でした。

主の選民を集める業や死者の贖いの業におけるわたしたちの役割を含め、シオンを築き上げるために熱心に努める一方で、これが主の業であり、主が行っておられるということ、立ち止まって、覚えておく必要があります。主が果樹園の主人であられ、わたしたちはその僕です。主はこの「最後の時」に力を尽くして働くようわたしたちに命じておられ、主もわたしたちとともに働かれるのです。³⁵ より正確に言うならば、主はわたしたちが主とともに働くのを許してくださっています。パウロが述べたように、「わたしは植え、アポロは水をそそいだ。しかし成長させて下さるのは、神」であり、³⁶ 時が来て、主の業を速やかに行われるのは、主なのです。³⁷ 主は、疑いようもなく不完全なわたしたちの行い、すなわちわたしたちの「小さな手段」をも用いられ、大いなることを成し遂げられます。³⁸

この大いなる最後の神権時代は、クライマックスに向けて着実に築かれています。クライマックスとは、救い主の輝かしい再臨のときに、天のシオンに加わって地上のシオンが築かれることです。イエス・キリストの教会はその日のために世を備えるという務めを託されており、実際に備えています。ですからこの復活祭に、イエス・キリストの復活と復活が前触れとなっているその前兆であるすべてを心から祝



おうではありませんか。それは、主の再臨と福千年、その間の義になかった裁き、完全な正義、この地上に生を受けたすべての人の不死不滅、そして永遠の命です。キリストの復活は、すべてが正されるという究極の確証です。その日が速まるよう、シオンを確立することに携わりましょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「生けるキリスト——使徒たちの証」『リアホナ』2017年5月号、内表紙
2. 「生けるキリスト」
3. 2ニーファイ21:6, 9。イザヤ11:6, 9も参照
4. 黙示7:16-17
5. 教義と聖約101:30-31
6. 信仰簡条1:10
7. N. T. Wright, “Full of the Knowledge of the Lord” (sermon given at matins, Durham, England, Mar. 30, 2016), ntwrightpage.com.
8. エペソ1:10
9. 教義と聖約65:2, 5
10. 教義と聖約2:2
11. 教義と聖約84:98-100
12. 聖文の記録には簡単にこう記されている。「シオンはなくなった。神が御自身の懐にそれを迎え入れられたからである。」(モーセ7:69)
13. 主はこのように宣言された。「また、わたしは天から義を下そう。また、地から真理を出して、わたしの独り子と、死者の中からの独り子の復活と、またすべての人の復活について証しよう。そして、わたしは義と真理が洪水のごとくに地を満たすようにし、わたしが備える場所、すなわち聖なる都に地の四方からわたし

の選民を集めよう。それは、わたしの民がその腰に帯を締め、わたしの来臨の時を待ち望めるようにするためである。わたしの幕屋はそこにあり、そこはシオン、すなわち新エルサレムと呼ばれるであろう。……そして、千年の間、地は安息を得るであろう。」(モーセ7:62, 64)

14. 教義と聖約97:21; モーセ7:18 参照
15. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』186
16. D・トッド・クリストファーソン「シオンに来たれよ」『リアホナ』2008年11月号、37-40
17. 教義と聖約112:24
18. 教義と聖約115:6
19. モロナイ6:5-6。アルマ6:5-6:4 ニーファイ1:12も参照
20. ラッセル・M・ネルソン「はじめに」『リアホナ』2018年11月号、7
21. エレミヤ31:34; ヨハネ17:3; 教義と聖約84:98 参照
22. 選ばれた者は一人ずつ、シオンのステークに、すなわち「[神の] 指定の場所」に集められる。(教義と聖約109:39。教義と聖約124:36も参照)
23. 信仰簡条1:10
24. 2ニーファイ30:2 参照
25. ジョセフ・スミス——マタイ1:31 参照
26. 教義と聖約39:11
27. ジョセフ・スミス——マタイ1:31
28. エレミヤ16:14-15。エレミヤ23:7-8も参照
29. Russell M. Nelson, “Hope of Israel” (worldwide youth devotional, June 3, 2018), HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org; see also Russell M. Nelson, “Remnants Gathered, Covenants Fulfilled,” in Paul Y. Hoskisson, ed., *Sperry Symposium Classics: The Old Testament* (2005), 1-17.
30. 3ニーファイ21:1-7 参照
31. マラキ4:5

32. 教義と聖約2:1-2
33. 教義と聖約110章 参照
34. 教義と聖約2:3。マラキ4:6も参照
35. モルモン書ヤコブ5:71-72 参照
36. 1コリント3:6
37. 教義と聖約88:73 参照
38. 1ニーファイ16:29 参照



前中央日曜学校会長
タッド・R・カリスター

イエス・キリストの贖罪

救い主の贖罪は、その範囲において無限であるだけでなく、一人一人に効力をおよぼすものです。

この時季になると、わたしたちはいっそう喜びを感じ、救い主の贖罪に思いをはせます。この世においても、宇宙にあっても、これほどすばらしく、力にあふれ、視野を広げてくれる教義がほかにないことは確かです。贖罪は、人生に希望と目的を与えてくれます。

では、イエス・キリストの贖罪とは一体何なのでしょう。ある意味でこれは、ゲツセマネの園に始まり、十字架へと至り、墓から救い主が復活されたことで終わりを告げる、一連の神聖な出来事です。わたしたち一人一人に対する人知を超えた愛によって行われたものです。罪がなく、諸元素を制する無限の力を持ち、死をも従わせ、全人類の罪と病の結果を負う限りない能力を有し、実に万物の下に身を落とした者が求められました。¹ これがイエス・キリストの使命、主の贖罪だったのです。

では、贖罪の目的は何だったのでしょうか。それは、わたしたちが神のみもとに戻り、さらに神に似た者となり、完全な喜びを味わえるようになることでした。これは、次の4つの障害を克服することによって成し遂げられました。

1. 肉体の死
2. わたしたちの罪とアダムによる霊の死
3. 人の苦難と弱さ
4. 人の欠点と不完全さ

しかし、救い主は正義の律法を犯すこ

となしに、どのようにしてこれを成し遂げられるのでしょうか。

一人の男性が、今にもスリル満点のスカイダイビングに旅立とうとしているとしましょう。早まった男性は、自分の判断で小型飛行機から飛び降りてしまいました。男性はすぐさま、愚かな行動を取ってしまったことに気がつきます。無事に着地することを望むも、重力の法則という障害があります。素早く腕をばたつかせて飛ぼうとしても、それはかないません。落下の速度を落とすために姿勢を変えて、浮かんたり風に乗ろうとしても、重力の法則は無慈悲で情け容赦がありません。男性は、「わたしのミスだ。二度とこんなことはしないから」と言って、この基本的な自然の法則を説き伏せようとします。しかし、この嘆願が聞かれることはありません。重力の法則は同情を寄せることも、例外を認めることもないのです。ところが



わたしたちが罪を犯すとき、贖いによって救い主は霊的なパラシュートを備えてくださいます。

思ってもいなかったことに、男性は突如として自分の背中に何かがあることに気がつきます。飛行機に同乗しており、男性の愚かな判断を察した友人が、飛び降りる直前、背中にパラシュートを装着してくれたのです。リップコード〔訳注——パラシュートを開くためのひも〕を見つけて引くと、男性は安堵に包まれます。体が浮いて、無事地上に戻れるのです。こんな疑問を持つかもしれません。「重力の法則に反することが起こったのだろうか。それとも、パラシュートが法則の範囲内で働いて、安全な着地を可能にしたのだろうか。」

罪を犯すとき、わたしたちは飛行機から飛び降りたこの愚かな男性のようです。自力で何をしようとも、わたしたちは地面にたたきつけられるだけです。正義の律法には逆いようがありません。重力の法則と同じく、厳格で容赦のないものなのです。わたしたちが救いを得られるのは、救い主が贖罪を通して、霊的なパラシュートを憐れみ深く与えてくださっているからにほかなりません。イエス・キリストを信じる信仰をもって悔い改める(リップコードを引くように、なすべきことを行うという意味)ならば、救い主の守りの力がわたしたちに働いて、霊的な傷を負うことなく着地することができます。

ただしこれは、わたしたちの霊的な進歩を妨げる次の4つの障害を救い主が克服してくださったからこそ、可能になったのです。

1. 死。主は栄えある復活により、死を克服されました。使徒パウロはこう教えています。「アダムにあってすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのである。」²

2. 罪。救い主は、悔い改めるすべての人の罪と背きを克服されました。主の清め力は非常に深く広範囲におよぶもので、イザヤがこう断言したほどです。「たとえあなたがたの罪は緋のようであっても、雪のように白くなるのだ。」³

時々わたしは、自分をなかなか赦すことのできない善良な聖徒に会います。彼らは気づかずに、誤って、救い主の贖いの力に限界を設けています。本人にそのつもりがなくとも、彼らは無限の贖罪を、どういふわけか自分が抱える特定の罪や欠点にはおよばない、限りある贖罪に変換してしまっています。ところが、これは無限の贖罪であり、あらゆる罪と欠点にとどまらず、ほかの人から受けたあらゆる虐待や苦痛をも対象としているのです。

トルーマン・G・マドセンは慰めとなる見解を述べています。

「自分はあまりに遠くまで来てしまった……罪の毒に侵され、二度と元に戻ることはできないと思い込んでいる人がいれば、わたしの言葉に耳を傾けてください。

わたしは証します。イエス・キリストの光と、キリストの際限なき英知が届かないほど下に落ちることなど不可能なのです。悔い改めて努力する意志がほんの少しでもあれば、主はそばにいてくださると証します。主はあなたの置かれている状態を**通り越し**、その下^にまで身を落とされたのです。それは、万物の中であって、万物を貫き、真理の光となられるためでした。(教義と聖約 88:64)」⁴

救い主の贖罪とその計り知れない意味を理解することがそれほどまでに重要な理由の一つは、理解が深まるにつれて自分や人を赦したいという気持ちが強まるからです。

キリストの清めの力を信じているはずなのに、わたしたちは度々このような疑問を抱きます。「どうすれば自分の罪が赦されたと分かるのだろうか。」御霊を感じるならば、それは赦されたという証、あるいは清めの過程にあることの証です。ヘンリー・B・アイリング管長はこう教えています。「聖霊の影響力を感じたならば、それは、贖罪が自分の生活の中で効力を発揮している証拠だと考えてよいのです。」⁵

こんな質問をする人もいます。「でも、

赦されているのであれば、いまだ罪悪感を抱くのはなぜでしょうか。」恐らく神の憐れみにおいて、罪の記憶はある種の警報、霊的な「止まれ」の標識となっており、少なくともしばらくの間、再び誘惑に遭ったときに「その道を行ってはいけない。どれほど痛い目に遭うか分かっているのだろ」と叫んでくれるのです。この意味で、罪悪感は守りの役割を果たすのであり、罰ではありません。

では、自分の犯した罪を覚えていながら、罪悪感を抱かなくなるということはあるのでしょうか。

アルマは悔い改めて何年たっても、自分の犯した罪を覚えていました。しかし、イエスに憐れみを呼び求めたところ、「わたしはもはや苦痛を忘れることができました。まことに、わたしは二度と罪を思い出して苦しむことがなくなった」⁶と語っています。

自分の罪を覚えていながら、苦しみや罪悪感から解放されるのはなぜでしょうか。

それは、人は悔い改めると「神から生まれ〔る〕」⁷からです。聖文にあるように、わたしたちはキリストにあって「新たな者」⁸となります。心の底から正直に、こう言うことができるのです。「わたしは、こうした過去の罪に縛られた人間ではありません。新しい者、変化を遂げた者なのです。」

3. 苦難と弱さ。アルマは、キリストは「あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられる」と預言しました。なぜでしょうか。「御自分の心が憐れみで満たされるように、また御自分の民を彼らの弱さに応じてどのように救うかを肉において知ることができるように」⁹するためです。

主は、どのようにしてこの預言を成就されるのでしょうか。主は苦難を取り去られることもあれば、堪え忍ぶ力を与えてくださることもあります。また永遠の観点をもたらし、苦難が一時的なものであることをよく理解できるようにしてくださることもあります。リバティーの監獄で2か月近く惨め





な日々を送った後、ジョセフ・スミスはついに叫びました。「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。」¹⁰すると神は、すぐさま苦難を取り去ることなく、こう答えられたのです。「息子よ、あなたの心に平安があるように。あなたの逆境とあなたの苦難は、つかの間にすぎない。その後、あなたがそれをよく堪え忍ぶならば、神はあなたを高い所に上げるであろう。」¹¹

そうしてジョセフは、この苦々しい経験が、永遠においてはほんの点に過ぎないことを理解しました。視野が広まったジョセフは、その同じ監房から、聖徒たちへ次のように書き送っています。「親愛なる兄弟たちよ、わたしたちの力の限りすべてのことを喜んで行おう。そして願わくは、その後、わたしたちがこの上ない確信をもって待ち受けて、神の救いを目に〔する〕……ことができるように。」¹² 救い主の贖罪のおかげで、わたしたちは永遠の観点を持つことができ、試練の意味を理解し、救いへの希望を抱くようになるのです。

4. 欠点と不完全さ。贖罪により、救い主は人に能力を授ける力を持っておられます。これは時々「恵み」¹³ と呼ばれ、わたしたちが自分の欠点と不完全さを克服するうえで、ひいてはさらに主に似た者になろうとするうえで助けを与えてくれるのです。

モロナイはこう教えています。「まことに、キリストのもとに来て、キリストによって完全になりなさい。……〔そう〕するならば……あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができる。」¹⁴ 人に能力を授ける力は、わたしたちを精錬し、さらには完全に向かわせてくれるものですが、その効力にあずかるには、少なくとも二つの経路、方法があるようです。

第1の経路は救いの儀式です。聖文にはこうあります。「……この神権の儀式によって神性の力が現れる。」¹⁵ 儀式は昇栄に必要なチェックリストの一項目だと考えることがあるかもしれませんが、実際のところ、一つ一つの儀式により神性の力が

解き放たれ、わたしたちがさらにキリストに似た者となるうえで助けをもたらしてくれるのです。例を挙げましょう。

- バプテスマを受け、聖霊の賜物を授かるときに、わたしたちは清くなり、さらに聖なるものとなります。
- さらに、聖霊の賜物をを通して、思いが照らされ、心は和らぎ、神のように考え、感じることができるようになります。
- 伴侶と結び固められるときには、「王位、王国、公国、および力」¹⁶ を神からの賜物として受け継ぐ権利を得ます。

こうした人に能力を授ける力を得る第2の経路は、御霊の賜物です。キリストの贖罪のおかげで、わたしたちには聖霊の賜物とそれに伴う霊的な賜物を受ける資格があります。こうした賜物は神のような特質であり、したがって、わたしたちは御霊の賜物を得る度に、さらに神に似た者となるのです。そのようなわけで、聖文ではこれらの賜物を求めるよう度々勧告がなされているのです。¹⁷

ジョージ・Q・キャンノン管長はこう教えています。「だれもが、『しかたがない、これはわたしの性分なのだから』などと言うべきではありません。それは言い訳になりません。なぜなら、神は〔人の欠点を〕取り去る賜物を授けると約束しておられるからです。……わたしたちの中に不完全な人がいるならば、その人の義務は、自分を完全にしてくれる賜物を祈り求めることです。」¹⁸

まとめると、救い主の贖罪は死に代えて命を、「灰にかえて冠を」、¹⁹ 傷に代えて癒しを、欠点に代えて完全をもたらしてくれます。それは、この世の障害と困難に対して天が与えてくださった対抗手段なのです。

救い主は、現世で過ごす最後の週にこ

う語られました。「あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出さない。わたしはすでに世に勝っている。」²⁰ 救い主が贖罪を成し遂げられたおかげで、神の戒めを守るかぎり、どんな外的な力も出来事も人も、どれほどの罪も、死や離婚も、わたしたちが昇栄に達するのを妨げることはできません。これを知っていれば、わたしたちは天へと向かうこの旅路にあって勇気をもって押し進み、神がともにおられると心から確信することができます。

救い主の贖罪は、その範囲において無限であるだけでなく、一人一人に効力をおよぼすものであることを証します。人を神のもとに返すだけでなく、キリストの贖罪が最終的に目指すもの、すなわちわたしたちが主に似た者となるのを可能にする力があることを証します。以上について、わたしの感謝の気持ちと確かな証を、イエス・キリストの御名により述べます、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 88 : 6 参照
2. 1コリント 15 : 20 - 22
3. イザヤ 1 : 18
4. Truman G. Madsen, *Christ and the Inner Life* (1978), 14.
5. ヘンリー・B・アイリング「困難なときのための御霊の賜物」『リアホナ』2007年6月, 23
6. アルマ 36 : 19。アルマ 36 : 20 - 21 も参照
7. アルマ 36 : 23。アルマ 36 : 24 - 26 も参照
8. モーサヤ 27 : 26
9. アルマ 7 : 11 - 12
10. 教義と聖約 121 : 1
11. 教義と聖約 121 : 7 - 8
12. 教義と聖約 123 : 17
13. See Bible Dictionary, "Grace"; see also Guide to the Scriptures, "Grace," scriptures. ChurchofJesusChrist.org.
14. モロナイ 10 : 32
15. 教義と聖約 84 : 20
16. 教義と聖約 132 : 19
17. 1コリント 12 : 31 ; モロナイ 10 : 30 ; 教義と聖約 46 : 8 参照
18. ジョージ・Q・キャンノン「御霊の賜物を求める」『リアホナ』2016年4月号, 80
19. イザヤ 61 : 3
20. ヨハネ 16 : 33



ラッセル・M・ネルソン大管長

「わたしに従ってきなさい」

イエス・キリストは、聖約の道を進んで天の御父のみもとに帰って、愛する人々とともにいるようにと招いておられます。

愛する兄弟姉妹の皆さん、妻のウェンディーとわたしは、この安息日の朝に皆さんとともに過ごせることをうれしく思っています。前回の総大会以来、多くのことが起こりました。新しい神殿が、チリのコンセプション、コロンビアのバランキージャ、イタリアのローマで奉献されました。これらの神聖な行事で、わたしたちは御霊が豊かに注がれるのを感じました。

最近モルモン書を読んで喜びと隠された宝を見いだした多くの女性（ならびに男性）に賛辞を送ります。奇跡が起こったという報告に、感動しています。

今や執事となって毎週日曜日にふさわしい状態で聖餐を配る11歳の若い男性に感嘆しています。彼らは、今やピーハイブとして熱心に学び、奉仕する11歳の若い女性とともに神殿に参入しています。若い男性も若い女性も、確信を持って明快に、福音の真理を宣べ伝えています。

教会がサポートする家庭中心の教科課程に従うために、親と協力しながら、家庭で福音を教えるのを手伝う子供や青少年がいることをうれしく思います。

このような写真を受け取りました。4歳のブレイクです。土曜日の早朝、教会の本を手にとって叫んでいます。「ぼくの霊に御飯をあげなきゃ！」

霊を養っているブレイク

ブレイク、わたしたちは、あなたのような人たちに感動しています。回復されたイエス・キリストの福音の真理をよく味わって自分の霊を養うことを選んでいる人たちです。わたしたちは、多くの人が神殿で礼拝し奉仕することで、生活に神の力を受けていることを知って喜んでいます。

多くの方が御存じのとおり、わたしたち家族は3か月前につらい別れを経験しました。娘のウェンディーがこの死すべき世を去ったのです。がんと闘いの最後の数日間、わたしは最後の親子の語らひをする機会に恵まれました。

娘の両手を握り、どれほど深く愛しており、彼女の父親であることにどれほど感謝しているかを告げました。そしてこう言い



「霊のご飯」が必要だった4歳のブレイク

ました。「神殿で結婚して、忠実に聖約を守ってきたね。夫婦で7人の子供を家庭に迎え、イエス・キリストの敬虔な弟子、雄々しい教会員、献身的な市民となるように育てた。そして子供たちは、同じ標準に従う伴侶を選んだ。君のお父さんとして、君のことを心から誇りに思うよ。たくさん喜びをありがとう。」

娘は静かに、「ありがとう、お父さん」と答えました。

穏やかな涙のひと時でした。彼女の生きた67年間、ともに働き、ともに歌い、よくスキーをしました。しかしその夜は、聖約、儀式、従順、信仰、家族、忠誠、愛、永遠の命など、最も大切なことについて語り合いました。

娘がいなくてどれほど寂しいことでしょう。それでも、回復されたイエス・キリストの福音があるので、娘のことは心配していません。神との聖約を守り続け、娘と再び会える時を心待ちにしながら過ごしています。それまでの間、わたしたちはここで主に仕え、彼女は幕の向こうのパラダイスで主に仕えます。¹

実は、わたしと妻は今年の初めにパラダイスを訪問しました。カリフォルニア州パラダイスです。予定に従ってそこを訪れたのは、娘がこの世を去ってから40時間とたたないうちのことでした。わたしたちは、同行したケビン・W・ピアソン長老とジューン姉妹とともに、カリフォルニア州チコステークの聖徒たちに元気づけられました。彼らの偉大な信仰とミニスターリングについて、またカリフォルニア州の歴史上最悪の山火事による甚大な被害の中で起こった数々の奇跡について聞きました。

滞在中、若い警察官ジョンと長い時間話しました。ジョンは緊急対応をする大勢の勇敢な人の一人です。2018年11月8日にパラダイスを突然覆い尽くした深い暗闇について話してくれました。炎と火の粉が町を襲って惨劇ながら建物や家財を焼き払い、灰の山と、レンガ造りのむき出し



の煙突以外何も残らなかったそうです。

火事後の集会所

15 時間、ジョンは、火の粉が矢のように襲いかかる底知れぬ暗闇の中で車を走らせ、自分の命を顧みずに次から次へと個人や家族を安全な場所に避難させたのです。それでも、過酷な体験の間、ジョンを最も脅かしたのは、常に頭をよぎる次の質問でした。「わたしの家族はどこにいるのだろうか？」長く恐ろしい苦悩の時間が過ぎ、ジョンはやっと、家族が無事に避難したことを知りました。

家族を思うジョンの話聞き、わたしは今日、死すべき試しの生涯が終わりに近づいたとき「わたしの家族はどこにいるのだろうか？」と問うかもしれない皆さんに向けて話そうと思いました。この世の試しが終わって霊界へ行く、来るべきその日



カリフォルニア州パラダイスを訪問中ネルソン大管長は大きな信仰とミニスタリングと奇跡について学びました。

に、皆さんは、胸の痛むこの問いに向き合うことになります。「わたしの家族はどこにいるのだろうか？」

イエス・キリストは、永遠の家に帰る道を教えてくださっています。主は天の御父の永遠の進歩の計画をだれよりもよく理解しておられます。何と言っても、主はそのすべてのかなめ石であられ、わたしたちの贖い主、癒し主、救い主なのですから。

アダムとエバがエデンの園を追われて以来、キリスト・イエスは、御自分に従うことを選ぶすべての人を助けるために、力強い御腕を差し伸べてこられました。繰り返し聖文に記録されているように、あらゆる人があらゆる罪を犯すにもかかわらず、主の御腕は今なお伸べられています。²

わたしたち各人の霊は、家族の愛が永遠に続くことを生来切に望むものです。愛さえあれば永遠に一緒にいられるとラブソングは歌い継ぎますが、これは誤った期待です。また、イエス・キリストの復活によってすべての人が死後愛する人とともにいられることが保証されたと、誤って信じる人もいます。

実際には、救い主御自身が非常に明確にしておられるように、主の復活のおかげで、かつて生を受けたすべての人は確かに復活して永遠に生きることができます。³しかし昇栄という貴い特権を得たければそれ以上のことが求められるのです。救いは個人の問題ですが、昇栄は家族の間

題です。

主イエス・キリストが御自分の預言者に語られた次の御言葉を聴いてください。「すべての聖約や契約、きずな、義務、誓詞、誓言、履行、関係、交際、期待がなされ、また交わされるとき、……約束の聖なる御霊により結び固められなければ、これらは死者の中からの復活の時も、その後も、まったく効験や効能、効力がない。……この目的で結ばない契約はすべて、人が死ぬと終わるからである。」⁴

では、家族が永遠の昇栄にあずかるために何が必要なのでしょう。それは神と聖約を交わし、その聖約を守り、救いに不可欠な儀式を受けることによって、その特権にあずかる資格を得ることです。

これは時の初めからそうでした。アダムとエバ、ノアとその妻、アブラハムとサラ、リーハイとサライア、またそのほかイエス・キリストの献身的な弟子たちのすべてが、世界が創造されて以来、同じ聖約を神と交わしてきました。彼らは、主の回復された教会の会員である現代のわたしたちがバプテスマと神殿で聖約を交わし受けるのと同じ儀式を受けてきました。

救い主は、御自分に従ってバプテスマの水に入るように、またやがて神殿で神とさらなる聖約を交わすように、そしてさらに救いに不可欠な儀式を受けて忠実であるようにと、すべての人に呼びかけておられます。家族とともに昇栄し、永遠に神とと



もに暮らしたいのであれば、これらのすべてが必要です。

わたしが愛し、称賛し、尊敬する多くの人が、救い主のこの呼びかけに応じていないことをわたしは心から心配しています。イエス・キリストが「わたしに従ってきなさい」⁵と招いておられるのに、彼らはその呼びかけを無視するのです。

なぜ神が涙を流されるのか、わたしには分かります。⁶このような友人や親族のことでわたしも涙を流します。皆すばらしい男性や女性で、家族や社会的な責任に尽くしています。時間、労力、持っているものを惜みなくささげています。彼らの尽力により世界はより良くなっています。しかし、彼らは神と聖約を交わさないことを選んでいます。家族とともに昇栄して永遠とともに結ばれる儀式を受けていないのです。⁷

彼らと語り、それを可能とする主の律法について真剣に考えるよう勧めることができればどんなによいでしょう。救い主に

どれほど愛されているかを実感してもらうため、また、わたしが彼らをどれほど愛しているかを、そして聖約を守る男女が「満ちみちる喜び」⁸を得られることを理解してもらうために、一体何を言えばよいのかと、わたしはずっと考えてきました。

後の世には彼らの居場所があります。立派な、やはり神と聖約を交わすことを選ばなかった男女がいる場所です。そこは、家族が再会して永遠に生きて進歩する特権を受ける場所ではないということを、彼らは理解する必要があります。そこは満ちみちる喜び、決して終わりのない進歩と幸福を経験する王国ではないのです。⁹その究極の祝福は、永遠の御父なる神とその御子イエス・キリスト、そしてふさわしさを備えたすばらしい、資格ある家族とともに高められた日の栄えの王国に住むことによるのみ得られるのです。

ためらっている友人の皆さんにお伝えします。

「この人生で、あなたは2番目に良いも

のでは決して満足してきませんでした。けれども、回復されたイエス・キリストの福音を完全に受け入れようとしない場合、2番目で満足することを選んでいるのです。

救い主は、『わたしの父の家には、すまいがたくさんある』¹⁰と言われました。しかし、神と聖約を交わすことを選ばない場合、あなたは永遠に粗末な屋根の下で暮らすことをよとしてしているのです。」

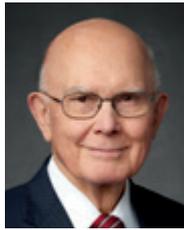
ためらっている友人の皆さんに、加えてお願いします。

「心を神に注ぎ出し、これらのことが真実か、神に尋ねてください。時間を取って御言葉を研究してください。真剣に研究してください！ほんとうに家族を愛しているならば、そして永遠と一緒に昇栄したければ、今、代価を払い、真剣な研究と熱烈な祈りによって、これらの永遠の真理を理解し、それに従って生活してください。

神を信じているのかどうかも分からないのであれば、そこから始めてください。神と交わった経験がなければ、神の存在を疑ってしまうものだということを理解し、神と交わる経験ができるような状況に自らを置いてください。謙虚になってください。自分の人生と周りの世界に及んでいる神の御手を見る目が持てるように祈ってください。神は確かに実在されるのか、あなたのことを御存じなのか、告げてください。神に尋ねてください。あなたについてどう感じておられるか神に尋ね、耳を傾けてください。」

わたしの愛するある友人は、神との交わりがほとんどありませんでした。それでも、亡くなった妻のところに行きたいと切に願い、助けてほしいと言いました。そこで、宣教師に会ってキリストの教義を理解し、福音の聖約と儀式と祝福について学ぶよう勧めました。

彼はそうしました。しかし、宣教師から教えられた生き方をするには、生活の中で変えるべきことがあまりに多いと感じて、こう言いました。「戒めと聖約は自分には



日曜午後の部会
大管長会第一顧問
ダリン・H・オークス管長

難しすぎます。什分の一を納めるなどまず無理ですし、教会で奉仕する時間もありません。」そして、わたしにこう言いました。「わたしが死んだら妻とわたしに必要な神殿儀式を行ってください。そうすれば妻とまた一緒にいられるわけですから。」

幸いなことに、わたしはこの人を裁く立場にはありません。しかし、この世でバプテスマを受ける機会や神権への聖任、神殿の祝福を受ける機会がありながら、自分の意思でその機会を拒む決断をした人にとって、身代わりの神殿の業は有効なかと、わたしは疑問に思います。

愛する兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストは、聖約の道を進んで天の御父のみもとに帰って愛する人々とともにいるようにと招いておられます。「わたしに従ってください」と招いておられます。

今、わたしはイエス・キリストの教会の大管長として、教会から遠ざかっている方に、また救い主の教会が回復されていることを知ろうとまだ心から努めていない方に申し上げます。自分自身で知るために霊的な努力をしてください。今行ってください。もう時間がありません。

わたしは神が生きておられることを証します。イエスはキリストです。主の教会と完全な福音が回復されたのは、今もこの後もわたしたちの生活に喜びをもたらすためなのです。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. アルマ 40 : 12 - 14 参照
2. エレミヤ 27 : 5 ; マタイ 23 : 37 ; ルカ 13 : 34 ; アルマ 5 : 33 ; 3 ニーファイ 9 : 14 参照
3. イエス・キリストが死に勝利されたのですべての人が復活します (アルマ 11 : 41 - 45 ; 40 章 ; 教義と聖約 76 章 ; モーセ 7 : 62 も参照)。
4. 教義と聖約 132 : 7
5. ルカ 18 : 22
6. ヨハネ 11 : 35 ; モーセ 7 : 28 - 29 参照
7. 教義と聖約 76 : 50 - 70 参照
8. 教義と聖約 138 : 17
9. モーサヤ 2 : 41 ; アルマ 28 : 12 参照
10. ヨハネ 14 : 2

悔い改めによる清め

神の計画とイエス・キリストの贖罪があるので、わたしたちは悔い改めの過程を踏むことによって清めを受けることができます。

死すべき世において、わたしたちは人の法律と神の律法の両方に従うべき立場にあります。わたしは、以前はユタ州最高裁判所の判事として、現在は大管長会の一員として、その双方の法をもって重大な不正行為を裁くという、普通と異なる経験をしてきました。人の法律と神の律法を対比してきた中で、わたしはイエス・キリストの贖罪が力ある現実のものであることを深く認識するようになりました。人の法律に基づくと、最も重大な罪を犯した人は、仮釈放のない無期懲役刑を宣告される可能性があります。ところが、愛にあふれる天の御父の憐れみ深い計画の下では違います。わたしは、同じように深刻な罪が現世で赦されるのを目にしました。「打ち砕かれた心と悔いる霊を持つすべての人」の罪に対しては、救い主の贖いの犠牲があるからです (2 ニーファイ

2 : 7)。キリストが贖ってくださいました。贖罪は現実のものです。

先ほどの聖歌隊のすばらしい賛美歌の中に、救い主の愛のこもった哀れみが表現されています。

主に來たれ
闇の中迷うとも 主、守らん
主の愛は汝れ見つけ
闇より導かん¹

イエス・キリストの贖いの犠牲は、「悔い改めて〔主〕のもとに来る……すべての人」のために扉を開きます (教義と聖約 18 : 11。マルコ 3 : 28 ; 1 ニーファイ 10 : 18 ; アルマ 34 : 8, 16 も参照)。アルマ書には、かつて邪悪で血に飢えた民であった人々でさえ、悔い改めて救しを受けたことが記されています (アルマ 25 : 16 ;





27:27, 30 参照)。わたしが今日お伝えするのは、すべての人に向けた希望のメッセージです。それには、破門や登録抹消により教会員の資格を失っている人も含まれます。わたしたちは皆、悔い改めによって清めを受けることができる罪人です。ラッセル・M・ネルソン長老は過去の総大会でこう教えています。「罪を悔い改めるのは決して楽なことではありません。しかし、悔い改めによって得られる結果には、それだけの価値があります。」²

I. 悔い改め

悔い改めは救い主から始まります。それは喜びであって、重荷ではありません。昨年12月のクリスマスディボーションにて、ネルソン大管長はこう教えました。「真の悔い改めは、1回の出来事ではありません。それは、終わりのない特権です。成長の基本であり、心の平安と慰め、喜びの根源です。」³

悔い改めに関する最も偉大な教えの幾

つかは、モルモン書のアルマの説教に見られます。アルマが語りかけた教会員はかつて、「不信仰」な状態で「高慢〔に〕高ぶって」おり、「富や俗世のむなしのもの」に執着していたと言います（アルマ7:6）。この回復された教会の各会員には、アルマの靈感あふれる教えから学ぶべきことが多くあります。

イエス・キリストを信じる信仰から始めましょう。「世の罪……を取り除くために来られ〔た〕のは、この御方」だからです（アルマ5:48）。わたしたちは悔い改めなければなりません。アルマが教えたように、「悔い改めないかぎり決して天の王国を受け継ぐことはできない」からです（アルマ5:51）。悔い改めは、神の計画に欠かせない部分です。すべての人は現世の経験において罪を犯し、神の前から断たれているため、悔い改めることなしに人は「救われぬ」のです（アルマ5:31。ヒラマン12:22も参照）。

このことは、初めから教えられてきまし

た。主はアダムにこう命じられました。「あなたの子供たちに次のことを教えなさい。すなわち、どこにいる人でもすべての人が、悔い改めなければならない。そうしなければ、決して神の王国を受け継ぐことはできない。清くない者はそこに住むことができない、すなわち、神の前に住むことができないからである。」（モーセ6:57）わたしたちはすべての罪を悔い改めなければなりません。それには、神の戒めに反して行ったこと、または行わなかったことすべてが含まれます。免れる人はいません。昨夜ちょうど、ネルソン大管長はこう勧告しました。「兄弟の皆さん、わたしたちは皆、悔い改める必要があります。」⁴

悔い改めによる清めを受けるには、自分の罪を捨て、主に対し、また必要な場合に現世の主の判士に罪を告白する必要があります（教義と聖約58:43参照）。またアルマは、「義の業を行いなさい」とも教えています（アルマ5:35）。こうした事柄はすべて、聖文で度々招かれているように、キリストのもとに来ることを意味します。

わたしたちは、毎週安息日に聖餐を受ける必要があります。その儀式においてわたしたちは聖約を交わし、祝福を受けます。それは、救い主がわたしたちを招いておられるように完全な者となるうえで妨げとなる、すべての行いと望みを克服する助けとなります（マタイ5:48:3 ニーフアイ12:48参照）。わたしたちは「神の御心に添わないものをすべて拒み、勢力と力と力を尽くして神を愛する」ときに、「キリストによって完全になり」、主の血が流されたことによって「聖められ」て、「染みのない清い者となる」ことができるのです（モロナイ10:32-33）。何とすばらしい約束でしょう。何という奇跡でしょう。何という祝福でしょう。

II. 報告責任と現世における裁き

神がこの死すべき世の経験を計画された一つの目的は、わたしたちを「試し」、



「主なる〔わたしたち〕の神が命じられるすべてのことを〔わたしたち〕がなすかどうかを見〔る〕」ことです(アブラハム3:25)。この計画の一環として、わたしたちは神と神の選ばれた僕に報告する責任があります。そうした報告責任には、現世における裁きと神による裁きの双方がかかわっています。

主の教会において、会員や見込み会員に対する現世の裁きは、神の導きを求める指導者によって行われます。永遠の命に至る聖約の道において、キリストのもとに来て主の贖罪の力を受けようとしている人を裁く責任は指導者にあります。現世の裁きでは次のような判断をします。この人はバプテスマを受ける用意ができていますか。この人は神殿に参入する推薦状を受けるとにふさわしいか。教会の記録から名前を消されているこの人は、イエス・キリストの贖罪によって十分に悔い改めをしており、バプテスマによって再加入を認められるか。

神から召された現世の判士が、神殿の特権など、人がさらに進歩する機会を承認する場合、判士はその人を完全と認めているわけでも、罪の赦しを与えているわ

けでもありません。スペンサー・W・キンボール長老はこのように教えています。キンボール長老の言う、この世の「罰を免除」された後、その人は、「天の神に求めて最終的な悔い改めを受け入れていただかなければなりません。神だけが、罪の赦しを言い渡せるのです。」⁵ 最後の裁きまで罪深い行いと欲望を悔い改めないままでは、悔い改めない人は汚れたままとなります。悔い改めによる最終的な清めの効力を含め、報告責任は究極的に、各人と神との間のことなのです。

Ⅲ. 復活と最後の裁き

聖文の中で通常述べられている裁きは、復活に続く最後の裁きです(2ニーファイ9:15参照)。多くの聖文に記されているように、「わたしたちはみな、神のさばきの座の前に立〔ち〕」(ローマ14:10。2ニーファイ9:15;モーサヤ27:31も参照)。「死すべき体にあつてなした行いに応じて裁かれ」ます(アルマ5:15。黙示20:12;アルマ41:3;3ニーファイ26:4も

参照)。すべての人は「各々の行いに応じて」(3ニーファイ27:15)、また「その心の望みに応じて」裁かれるのです(教義と聖約137:9。アルマ41:9も参照)。

この最後の裁きの目的は、アルマが述べている「心の……大きな変化」がもたらされ(アルマ5:14, 26参照)、わたしたちが「悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う望み」(モーサヤ5:2)を持つ新しく造られた者になったかどうかを見極めることです。その裁き主は、わたしたちの救い主イエス・キリストであり(ヨハネ5:22;2ニーファイ9:41参照)、裁きが下された後、わたしたちは皆「神の裁きが公正であることを」認めるでしょう(モーサヤ16:1。モーサヤ27:31;アルマ12:15も参照)。主は全知の御方であり(2ニーファイ9:15, 20参照)、義人や悔い改めた人、あるいは悔い改めなかった人や心を変えなかった人、双方に関して、そのすべての行いと望みを完全に御存じなのです。

聖文には、この最後の裁きまでの過程が述べられています。アルマは、神の正義において、「復活」の時には「すべてのものがふさわしい状態に回復されること」が必要であると教えています(アルマ41:2)。すなわち「現世での〔人々〕の行いが善く、心の望みも善かったならば、彼らが終わりの日に善なるものに回復されること」です(アルマ41:3)。同様に、「彼らの行い〔や望み〕が悪ければ、それら……は災いとして彼らに回復され」ます(アルマ41:4-5。ヒラマン14:31も参照)。預言者ヤコブもまた、最後の裁きの時に、「義にかなった者はそのまま義の状態にあり、汚れている者は、そのまま汚れた状態にある」と教えています(2ニーファイ9:16。モルモン9:14;1ニーファイ15:33も参照)。これは、モロナイが呼んだ、「生者と死者双方の永遠の裁き主である大いなるエホバの楽しい法廷」に立つ前に起こる過程です(モロナイ





10:34。3 ニーファイ 27:16 も参照)。

神の前で確かに清くあることができるように、わたしたちは最後の裁きの前に悔い改めなければなりません(モルモン 3:22 参照)。アルマが罪深い息子に告げたように、わたしたちは自分の罪を神から隠すことはできず、「また、悔い改めなければ、[それらの] 罪は終わりの日に[自分を] 責める証となる」でしょう(アルマ 39:8, 強調付加)。イエス・キリストの贖罪は、悔い改めによって必要な清めを得る唯一の道であり、この現世の生涯はそれを得るために努める時なのです。霊界においてもある程度悔い改める機会があると教えられていますが(教義と聖約 138:31, 33, 58 参照)、それは確実ではありません。メルビン・J・バラード長老は次のように教えています。「肉体と霊が一つであるときの方が、克服して主に仕えることははるかに容易なのです。人が柔軟で受容性に富んでいるのは、まさに今なのです。……人生は悔い改めをする時です。」⁶

悔い改めるとき、わたしたちの罪、また行いや望みまでもが清められることを、主は約束してくださっています。わたしたちの憐れみ深い最後の裁き主は、「もう[罪]を思い起こさない」のです(教義と聖約 58:42。イザヤ 1:18; エレミヤ 31:34; ヘブル 8:12; アルマ 41:6; ヒラマン 14:18-19 も参照)。悔い改めて清められることにより、わたしたちは永遠の命を受けるにふさわしい者となります。ベニヤミン王はそれを、「決して終わりのない幸福な状態で神とともに住[むこと]」と述べています(モーサヤ 2:41。教義と聖約 14:7 も参照)。

神の「回復の計画」におけるもう一つの側面を挙げると(アルマ 41:2)、復活に

よって「すべてのものが本来の完全な通りに」回復されます(アルマ 40:23)。これには、出生時、あるいは外傷や病気などにより生じた、現世における肉体的な不完全さのすべてが完全なものとなることが含まれます。

この回復は、すべての霊的な汚れや、克服されていない望み、依存症に関して、わたしたちを完全にしてくれるのでしょうか。そのようなことは起こりません。現代の啓示を通して分かっていることは、わたしたちは自分の望みと行いによって裁かれ(アルマ 41:5; 教義と聖約 137:9 参照)、また自分の思いまでもがわたしたちを罪に定めるということです(アルマ 12:14 参照)。わたしたちは死ぬまで「悔い改めの日を引き延ばすことのないように」しなければなりません(アルマ 34:33)。アミュレクが教えているように、現世で肉体を所有している同じ霊が、主に従ったか悪魔に従ったかを問わず、「永遠の世で、[わたしたちの] 肉体を所有する力を持つから」です(アルマ 34:34)。救い主は、わたしたちを悪から清める力をお持ちであり、いつでも準備を整えておられます。今こそ、自分の邪悪な、あるいはふさわしくない望みと思いを悔い改め、最後の裁きの場で神の前に立つに当たって清く、備えができていくように、主の助けを求めるべきです。

IV. 憐れみの御腕

神の計画とその戒めのすべてを貫いているのは、わたしたち一人一人に対する神の愛です。その愛は、「どんなものよりも好ましい、……人にとって最も喜ばしいもの」です(1 ニーファイ 11:22-23)。預言者イザヤは、邪悪な者にさえこう言い聞かせています。「主に帰れ。[主は] あ

われみを施され……豊かにゆるしを与えられる。」(イザヤ 55:7) アルマはこう教えています。「見よ、主はすべての人を招き、憐れみの御腕を伸べて[おられる。]」(アルマ 5:33。2 ニーファイ 26:25-33 も参照) よみがえられた主は、ニーファイ人にこう語られました。「見よ、わたしの憐れみの腕はあなたがたに向けて伸べられている。わたしは来る者をだれでも受け入れよう。」(3 ニーファイ 9:14) こうした多くの聖文による教えから、愛にあふれる救い主は、愛に満ちた条件の下、両腕を広げてすべての男女を受け入れてくださることが分かります。その条件は、神が御自分の子供たちに備えておられる最大の祝福を享受できるように主が定められたものです。⁷

神の計画とイエス・キリストの贖罪のゆえに、わたしは「完全な希望の輝き」を持って証します。神はわたしたちを愛しておられ、わたしたちは悔い改めの過程を踏むことによって清めを受けることができます。わたしたちには次のことが約束されています。「キリストの言葉をよく味わいながら力強く進み、最後まで堪え忍ぶならば、見よ、御父は、『あなたがたは永遠の命を受ける』と言われる。」(2 ニーファイ 31:20) わたしたち皆がこれを実践できるよう願い、祈っています。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 「主に來たれ」『賛美歌』67 番
2. ラッセル・M・ネルソン「悔い改めと改心」『リアホナ』2007 年 5 月号, 102
3. ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリストが授ける 4 つの賜物」(2018 年大管長会クリスマスディナーショナル, 2018 年 12 月 2 日), broadcasts.ChurchofJesusChrist.org.
4. ラッセル・M・ネルソン「わたしたちは行いを改善し、より良くなれます」『リアホナ』2019 年 5 月号, 69
5. The Teachings of Spencer W. Kimball, ed. Edward L. Kimball (1982), 101.
6. Melvin J. Ballard, in Melvin R. Ballard, Melvin J. Ballard: Crusader for Righteousness (1966), 212-13.
7. See Tad R. Callister, The Infinite Atonement (2000), 27-29.



七十人
フアン・パブロ・ビラル長老

霊的な筋肉を働かせる

筋肉を鍛えるうえで、筋肉について読み、学ぶだけでは不十分であるのと同じように、信仰について読み、学ぶだけで行動を起こさなければ、信仰を築くのに十分ではありません。

わたしは、天の御父からすばらしい贈り物、肉体が与えられているという祝福に感謝しています。肉体には、600を超える筋肉があります。¹ 多くの筋肉は、日常的な動作を可能にしておくために動かす必要があります。わたしたちは筋肉について読み、学び、知識面で多大な努力を払うことができますが、それだけで筋肉が強化されると思いついていたら、大層落胆することでしょう。筋肉は、使うことで初めて強められるからです。

霊的な賜物についても、同じことが当てはまると気がつきました。賜物を伸ばすには、鍛錬が必要なのです。例として、信仰という霊的な賜物は、単なる感情や気分ではありません。それは行動の原則であり、聖文ではしばしば「働かせる」という動詞と結びついて登場します。² 筋肉を鍛えるうえで、筋肉について読み、学ぶだけでは不十分であるのと同じように、信仰について読み、学ぶだけで行動を起こさなければ、信仰を築くのに十分ではありません。

わたしが16歳のときです。ある日のこと、当時22歳であったいちばん上の兄イバンが家に帰ってくると、家族に話があると言いました。兄は、末日聖徒イエス・キ

リスト教会のバプテスマを受ける決心をしたのです。両親が疑わしげに兄を見詰める一方、わたしは何が起こっているのかよく分からずにいたことを覚えています。1年近くがたったころ、兄はさらに驚くべき知らせを携えてきました。彼は教会の宣教師として奉仕することを決めたのです。それは、2年の間わたしたちと会えなくなるということでした。両親はその報告にいい顔をしませんでしたが、兄には強い決意が見て取れ、わたしはその決断をした兄にますます感心しました。

数か月後、イバンの伝道中、わたしは学校の友人たちと休暇の計画を立てる機会がありました。高校の卒業を祝い、ビーチで数日過ごしたいと思っていたのです。

宣教師として働く兄に手紙を書き、夏休みの計画について話しました。すると、わたしが目的地へ向かう途中に、兄の伝道している町があるという返事が来ました。そこに立ち寄って、兄に会うのは良い考えだと思いました。当時のわたしは、宣教師が家族の訪問を受けないことになっているとは知らなかったのです。

わたしはすべての段取りを整えました。今でも覚えています。バスに揺られながら、晴れ渡る空の下、イバンと一緒に過ごす楽しい時間を心待ちにしていました。朝食の後はおしゃべりをして、砂浜で遊び、日光浴をする。すばらしい時間になるに違いないと思ったものです。

バスが終点に到着すると、若い男性と並び、白いワイシャツにネクタイ姿で立つイバンの姿が目に入りました。バスから降り、互いにハグをすると、兄は同僚を紹介してくれました。わたしは1分も無駄にすることなく、その日の計画を兄に伝えましたが、イバンのスケジュールについては知る由もありませんでした。兄はわたしを見てほほえみ、言いました。「そうだね、で





もその前に幾つか用事があるんだ。一緒にどうかな？」その後ビーチで楽しむ時間が十分残るか考えながらも、わたしは同意しました。

その日、わたしは兄とその同僚と一緒に10時間以上、町の通りを歩きました。一日中人々にほほえみかけました。今まで一度も会ったことのない人々にあいさつしたのです。皆に話しかけ、見知らぬ人の家の戸をたたき、兄と同僚が教えている人々を訪問しました。

そのようにしてある人を訪れると、兄と同僚はイエス・キリストと救いの計画について教えました。すると突然、イバンが話をやめて、わたしの方を見ました。驚いたことに、兄は丁寧な口調で、教えている内容に関してわたしの意見を分かち合っしてほしいと言いました。部屋は静まり返り、皆の視線がわたしに注がれました。何とかして、ようやく言葉を紡ぎ出すと、わたしは救い主に対する自分の気持ちを話しました。自分の言ったことが、正しいのか間違っているのかも分かりませんでした。兄はわたしの発言を正すどころか、わたしが考えや気持ちを分かち合ったことに感謝を述べました。

一緒にいる間、兄と同僚がわたし個人に対してレッスンを教える時間を割くことはまったくありませんでしたが、それまでに兄と交わしたすべての会話の内容よりも多くの知識をわたしは得ました。生活に霊的な光を受けることにより、人々の顔つきが変わっていくのを目の当たりにしました。わたしは、人がメッセージに希望を

見いだす様を目にし、また自分自身と自分の望みを忘れて人々に仕える方法を学んだのです。わたしは、「だれでもわたしについてきたいと思うなら、自分を捨て……なさい。」³ という救い主が教えられたことを行っていました。

思い返すと、あの日わたしの信仰が強められたのは、兄が信仰を行動に移す機会をくれたからだ実感します。聖文から読み、教える人を探し、証を述べ、人に仕えるなどして、信仰を働かせました。その日、日光浴をする時間はありませんでしたが、わたしの心は天の光を浴びたのです。ビーチの砂は一粒も目にしませんでした。わたしの信仰が小さな一粒のからし種のように育つのが感じました。⁴ あの晴れた日を旅行者として過ごすことはありませんでしたが、わたしはすばらしい経験を得ました。そして、知らず知らずのうちに、教会員でもないわたしが宣教師として働いていたのです。

霊的な筋肉を強める機会

福音が回復されたおかげで、わたしたちは霊的な賜物を伸ばすうえで天の御父がどのように助けてくださるかを理解できるようになります。わたしたちの霊的、肉体的な努力なしにただ賜物を授けてくださるというより、御父は霊的な賜物を伸ばす機会を与えてくださるということです。わたしたちが主の御霊と調和していれば、そうした機会に気づき、行動に移すようになるでしょう。

さらに忍耐強くなることを求めるとき

に、その答えを待つ中で、自分が忍耐を働かせる必要に気づくかもしれません。隣人をさらに愛したいと思うなら、教会で初めて会う人の隣に座ることで、その愛を培うことができます。信仰に関しても同様です。疑いが心に浮かぶとき、前進するには主の約束を信頼することが求められます。このようにして霊的な筋肉を働かせて鍛え、人生における強さの源とするのです。

初めは簡単ではないでしょうし、もっと言えば大きな課題に思えるかもしれませんが。預言者モロナイを通して与えられた主の言葉は、今日のわたしたちにも当てはまります。「もし人がわたしのもとに来るならば、わたしは彼らに各々の弱さを示そう。わたしは人を謙遜にするために、人に弱さを与える。わたしの前にへりくだるすべての者に対して、わたしの恵みは十分である。もし彼らがわたしの前にへりくだり、わたしを信じる〔すなわち信仰を働かせる〕ならば、そのとき、わたしは彼らの弱さを強さに変えよう。」⁵

わたしは兄のイバンに感謝しています。福音を分かち合っただけでなく、福音に従って生き、自分の弱さを認めるよう間接的に招いてくれました。「わたしに従ってきなさい」⁶ という主の招きを受け入れられるように助けてくれました。その招きとは、救い主が歩まれたように歩み、救い主が求められたものを捜し求め、救い主がわたしたちを愛しておられるように愛するということです。宣教師の経験をした数か後のこと、わたしはバプテスマを受け、自分自身も伝道に行くことを決意しました。

ラッセル・M・ネルソン大管長の招きを受け入れ、一心に救い主のもとに来ましょう。⁷ そのために、さらなる霊的な運動を必要としている筋肉を見つけ、鍛え始めましょう。人生は、短距離走というより長距離走、つまりマラソンです。ですから、価値ある霊的な筋肉を強めるために、



十二使徒定員会
ゲレット・W・ゴング長老

良い羊飼い，神の小羊

小さくとも霊的な運動を続けることを忘れないでください。信仰を強めたければ、信仰が求められることを行いましょう。

わたしたちが、愛に満ちた天の御父の子供であることを証します。その御子、イエス・キリストはわたしたちを愛しておられます。わたしたちに道を示すべくこの世に來られ、わたしたちに希望をもたらすために進んで命を差し出されました。救い主はわたしたちに、御自分の完全な模範に従い、主とその贖罪に対する信仰を働かせるよう招いておられます。また、わたしたちが祝福されて持っている霊的な賜物のすべてを伸ばすように招いておられます。主がその道です。このことをイエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. Encyclopedia Britannica, s.v. "Human Muscle System," last modified Apr. 26, 2018, britannica.com/science/human-muscle-system.
2. 例として、アルマ 5:15:32:27:34:17; モロナイ 7:25; 教義と聖約 44:2 参照
3. マタイ 16:24
4. ルカ 17:6 参照
5. エテル 12:27
6. ルカ 18:22
7. ラッセル・M・ネルソン「神のみ業に進みて」『リアホナ』2018年5月号, 118-119 参照



イエス・キリストは、わたしたちを御自分の声とその御名によりお呼びになります。わたしたちを捜し出して集められます。愛をもってミニスタリングを行う方法を教えられます。

愛する兄弟姉妹の皆さん、皆さんは、なかなか眠れなくて頭の中で羊を数えたことがありますか。毛がふさふさの羊が柵を飛び越える姿を想像しながら、1匹、2匹、3匹と数えます。そうすると245匹、246匹になり、いつしか657匹、658匹になります。¹

わたしの場合は、羊を数えても眠くなりません。羊がいなくなることが心配で、目がさえてしまうのです。

後に王になった羊飼いの少年とともに、わたしたちはこう明言します。

「主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。

主はわたしを緑の牧場に伏させ、いこいのみざわに伴われる。

主はわたしの魂をいきかえらせ〔る。〕²

この復活祭の季節に、わたしたちは神の小羊とも呼ばれる、良い羊飼いのことを祝います。主のあらゆる聖なる称号の中で、これほど愛情がこもった、人の心に響く称号はありません。救い主が御自身を「良い羊飼い」と呼ばれ、預言者たちが救い主を「神の小羊」であると証していることから、わたしたちは多くのことを学びます。これら二つの役割と象徴は、非常によく補い合っています。「良い羊飼い」以上に、大切な羊を一匹ずつ助け出せる人がいるでしょうか。そして、「神の小羊」以上に、わたしたちの「良い羊飼い」としてふさわしい御方がおられるでしょうか。

なぜならば、「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さ〔り〕」、また神の独り子は、進んで御父に従って御自分の命をささげられたからです。³ イエスは証しています。「わたしはよい羊飼である。よい羊飼は、羊のために命を捨てる。」⁴ イエスは御自分の命を捨てる力と、その命を再び得る力を備えておられました。⁵ 救い主は、良い羊飼いとして、そして神の小羊として、御父と一つとなって特別な方法でわたしたちを祝福してくださいませ。

わたしたちの良い羊飼いとして、イエス・キリストは、わたしたちを御自分の声とその御名によりお呼びになります。わたしたちを捜し出して集められます。愛をもってミニスタリングを行う方法を教えられます。御自分の声とその御名によってお呼びになることから始めて、次の3つのテーマについて考えてみましょう。

第1に、わたしたちの良い羊飼いは「自分の羊の名をよ〔び、〕……羊はその声を知って〔います。〕⁶」しかも、「御自分の御名、すなわちキリストの御名によって〔皆さん〕を呼んでおられ〔ます。〕⁷」誠心誠意でイエス・キリストに従おうと努めるなら、わたしたちは善を行い、神を愛し、神に仕えるよう靈感を受けます。⁸ 研究し、深く考え、祈るとき、聖餐の聖約と神殿の聖約を定期的に新たにするとき、そして、主の福音と儀式にあずかるようすべての人に勧めるとき、わたしたちは主の声に従っ



ているのです。

今日、ラッセル・M・ネルソン大管長は、回復された教会を、イエス・キリストが明らかにされた「末日聖徒イエス・キリスト教会」という名称で呼ぶように勧告しました。⁹ 主は言われました。「あなたがたが行うことは何事でも、わたしの名によって行いなさい。あなたがたは教会をわたしの名で呼びなさい。また、父がわたしのために教会を祝福してくださるよう、わたしの名によって父に呼び求めなさい。」¹⁰ 世界中の至る所で、わたしたちは心の中や家庭でイエス・キリストの御名によって御父に呼び求めています。そして家庭を中心として教会がサポートする礼拝や福音研究、健全な家族の活動といった多くの祝福に対し、感謝をささげています。

第2に、わたしたちの良い羊飼いは、わたしたちを主の一つの群れに集めようとしておられます。主は問いかけられます。「あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている者がいたとする。その一匹がいなく

なったら、九十九匹を野原に残しておいて、いなくなった一匹を見つけるまでは捜し歩かないであろうか。」¹¹

救い主は、一匹にも、残りの九十九匹にも、しばしば同時に手を差し伸べられます。ミニスタリングを行うとき、わたしたちは確固として揺るぐことのない九十九匹に目を向けながらも、迷い出た一匹を心深く思いやります。主はわたしたちを「すべての所」¹²、「地の四方から」¹³ 捜し出して救助してください。聖なる聖約と贖いの血によって、わたしたちを集められるのです。¹⁴

救い主は新約聖書の弟子たちに言われました。「わたしにはまた、この囲いにはいない他の羊がある。」¹⁵ 復活した主はアメリカ大陸で、リーハイの聖約の子供たちにご証されました。「あなたがたはわたしの羊である。」¹⁶ そして、さらにほかの羊も御自分の声を聞くだろうと、イエスは言われたのです。¹⁷ イエス・キリストの声を証するもう一つの聖典としてモルモン書が

あることは、何という祝福でしょうか。

イエス・キリストは、御自分の声を聞いて戒めを守るすべての人を受け入れるよう教会の会員に求めておられます。¹⁸ キリストの教義の中に、水に沈めるバプテスマと火と聖霊によるバプテスマがあります。¹⁹ ニーファイはこう問いかけています。「神の小羊が聖なる御方であっても、あらゆる義を満たすために水でバプテスマをお受けになる必要があるとすれば、おお、聖くないわたしたちがバプテスマを、すなわち水でバプテスマを受けることは、なおさら必要ではないだろうか。」²⁰

今日、救い主が望んでおられるのは、わたしたちの行いと人となりを見て人々が主のもとに来て従うようになることです。人々に来てもらい、愛と癒し、主との関係、そして神殿での聖約を含め、聖約による主とのつながりを見いだしてもらいましょう。神殿において、救いの神聖な儀式により家族全員が祝福され、幕の両側でイスラエルの集合を行うことができるのです。²¹

第3に、「イスラエルの牧者」²² としてイエス・キリストは、イスラエルの羊飼いが愛をもってミニスタリングを行う方法を模範によって示しておられます。主がシモン・ペテロにわたしを愛するかと問いかけられたように、わたしたちにも問いかけられるとき、それは救い主が次のことを求めておられるのです。「わたしの小羊を養いなさい。……わたしの羊を飼いなさい。……わたしの羊を養いなさい。」²³ 主は、御自身の羊飼いがその子羊や羊を養うとき、主の群れにいる者は「再び恐れることなく、またおののくことなく、いなくなることもない」と約束しておられます。²⁴

イスラエルの羊飼いは眠ってはいはならず²⁵、羊を追い散らしたり踏み迷わせたりしてはならず²⁶、おのが道に向かい自身自身の利益を求めてはならない²⁷、とわたしたちの良い羊飼いは警告しておられます。神から召された羊飼いは、傷ついた者を強め、癒して包帯を巻き、迷い出た者を

再び群れに戻し、いなくなった者を捜し出すのです。²⁸

主はまた、「羊のことを心にかけていない」²⁹ 雇人や、「羊の衣を着てあなたがたのところに来るが、その内側は強欲なおおかみである」「偽預言者」³⁰ についても、警告しています。

良い羊飼いは、わたしたちが目的と信仰をもって個人の道徳的な選択の自由を行使することを喜ばれます。主の群れの羊は、贖いの犠牲を払ってくださったことを感謝して救い主に頼ります。わたしたちは主に従うことを聖約しますが、受動的、盲目的に、「羊のようにおぼおぼと」交わすものではありません。むしろ、心を尽くし、思いを尽くして神と隣人を愛し、互いに重荷を負い合い、互いの喜びを分かち合いたいと願いながら交わすのです。キリストが進んで自らの意思を御父の御心に従わせられたように、わたしたちも敬虔な気持ちで御子の御名を受け、神のすべての子供たちを集めてミニスタリングを行うという神の業に喜んで参加します。

兄弟姉妹の皆さん、イエス・キリストは、わたしたちの完全な良い羊飼いです。そして、わたしたちのために御自分の命を



捨てられ、また栄光のうちに復活された、今生けるイエス・キリストは完全な神の小羊でもあられます。³¹

神の小羊による犠牲は、時の初めから示されていました。アダムがささげている犠牲は、「御父の……独り子の犠牲のひながたであ[って、]……悔い改めて、いつまでも御子の御名によって神に呼び求め[る]」よう招くものであると、天使はアダムに教えました。³²

地のすべての国の人々に祝福をもたらすという聖約を交わした父アブラハムは、自分の息子をささげることが何を意味しているのかを経験によって知りました。

「やがてイサクは父アブラハムに言った、『父よ。』彼は答えた、『子よ、わたしはここ

にいます。』イサクは言った、『火とたきぎとはありますが、……小羊はどこにありますか。』

アブラハムは言った、『子よ、神みずから……小羊を備えてくださるであろう。』³³

使徒と預言者は、神の小羊に予任されていた使命をあらかじめ知って喜びました。旧世界のヨハネと、新世界のニーファイは、「神の小羊」³⁴「永遠の父なる神の御子、……世の贖い主」³⁵について証しました。

アビナダイは、イエス・キリストの贖いの犠牲について証しました。「わたしたちは皆、羊のように迷って、各々自分の道に向かって行った。主はわたしたちすべての者の罪惡を彼に負わせられた。」³⁶ アルマは、神の御子の大いなる最後の犠牲を「それらのどれよりも重要な……こと」と呼び、「神の小羊を信じる信仰を持[ち、]」「来[て、]恐れ……ない」よう勧めました。³⁷

愛する友人が、イエス・キリストの贖罪について貴い証を得たいきさつを話してくれました。彼女は、罪には必ず重い罰が伴い、それを本人だけが背負うものだと信じて生きてきました。そこで彼女は、神の赦しが実際にあり得るのか分かるように神に嘆願しました。悔い改めた人をどのようにしてイエス・キリストが赦されるのか、どのように憐れみが正義の要求を満たせるのかを理解できるようにと祈りました。

その祈りの答えは、自分が霊的な変化を経験をする中で与えられました。ある日、盗んだ食べ物の袋を二つ持った一人の若者が、必死にスーパーから走り出てきて、通りの人混みに駆け込んだのです。追いかけて来た店長は、若者を捕まえると怒鳴りつけ、暴力を振るい始めました。わたしの友人は、この怖がる若者をどろぼうと非難するのではなく、思いもかけずこの若者に対する深い哀れみの心を抱いたのです。すると彼女は、恐れずに、身の安全も顧みないで、口論する二人の方に向き直り向かっていき、こう言いました。「その食べ物の代金はわたしが払います。どう





か、この人を放してください。わたしにその代金を払わせてください。」

聖霊に促され、それまでに感じたことのない愛に満たされて、友人はこう言いました。「わたしが望んだのは、その若者を助け、救うことだけでした。」彼女は、イエス・キリストとその贖罪が理解できるようになってきたと言いました。純粹で完全な愛をお持ちのイエス・キリストが、どのように、またなぜ彼女の救い主、贖い主となるために喜んで犠牲を払われたのか、そして彼女自身が救い主、贖い主を必要とする理由を分かり始めたのです。³⁸

次の歌のとおりです。

見よ、善き飼い手は
そを訪ね行き
喜び連れ来る
何にかえても³⁹

神の小羊である救い主は、わたしたちが孤独なときや心が折れそうなとき、不安なとき、恐れを感じているときを御存じです。ニーファイは示現で、神の小羊の力が「小羊の教会の聖徒たち、すなわち主の聖約の民のうえに下る」のを見ました。「地の全面に散っている[ものの、]……彼らは、義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装していた」⁴⁰ のです。

この希望と慰めの約束は、現代のわたしたちにも当てはまります。

皆さんの中に、家族、学校、職場、地域社会で、たった一人の教会員はいますか。時折自分の支部が小さいと感じたり、孤立していると思ったりする人はいますか。新しい土地に引っ越して、言葉や習慣がよく

分からない人はいますか。生活環境が変わり、起こり得ないと思っていた出来事に今直面している人はいますか。わたしたちがだれであろうと、どのような状況にあらうと、イザヤの言葉にあるように、救い主は確かに「……そのかいなに小羊をいただき、そのふところに入れて携えゆき、乳を飲ませているものをやさしく導[いて]」⁴¹ くださるのです。

兄弟姉妹の皆さん、良い羊飼いは、御自分の声とその御名によってわたしたちをお呼びになります。御自分の民を捜し出し、集められて、その民のもとに來られます。生ける預言者とわたしたち一人一人を通して、救い主は、回復された完全な福音と聖約の道の中に平安、目的、癒し、喜びを見いだすようにすべての人を招いておられます。救い主は愛をもってミニスタリングを行うよう、イスラエルの羊飼いたちに、模範によって教えておられます。

神の小羊としての、主の神聖な使命は予任され、使徒と預言者はそれを喜びました。救い主の贖罪は、無限にして永遠であり、幸福の計画と創造の目的の中心です。救い主は確かに、わたしたちを愛し、その懐に入れて携えてくださいます。

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちが「神と小羊に謙遜に従う者」⁴² となって自分の名前がいつの日か小羊の命の書に記され⁴³、小羊の歌を歌い⁴⁴、小羊の晩餐に招かれることを望めますように。⁴⁵

主は、羊飼いとして、小羊として、「[あなたの] 贖い主、……[あなたの] 大いなるまことの羊飼いを知る」「真実の知識」⁴⁶ のもとに再び来るように呼びかけておられます。「神の恵みにより、[わたしたち

は] キリストによって完全になることができる」⁴⁷ と約束しておられます。

この復活祭の季節に、わたしたちは救い主をほめたたえます。

「小羊こそは……ふさわしい」⁴⁸

「神と小羊にホサナ」⁴⁹

わたしたちを名前で呼んでくださる、完全な良い羊飼ひ、完全な神の小羊について、その御名、すなわち、イエス・キリストの聖なる御名により証します、アーメン。■

注

1. 昔の流行歌の歌詞にこうある。
心配事があって眠れないとき、
わたしは羊ではなく祝福を数える。
すると、祝福を数えているうちに眠ってしまうのだ。
(Irving Berlin, "Count Your Blessings Instead of Sheep"[1952])
2. 詩篇 23:1-3
3. ヨハネ 3:16
4. ヨハネ 10:11
5. ヨハネ 10:15, 17-18 参照
6. ヨハネ 10:3-4
7. アルマ 5:38。アルマ 5:37, 39, 59-60 も参照
8. モロナイ 7:13; 教義と聖約 8:2-3 参照
9. ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」『リアホナ』2018年11月号, 87-89 参照
10. 3 ニーファイ 27:7; 強調付加
11. ルカ 15:4; 強調付加。教義と聖約 18:15 も参照
12. エゼキエル 34:12。エレミヤ 31:10; エゼキエル 34:6, 11-14; ミカ 5:8; マタイ 10:6; 15:24 も参照。これらの散乱の預言と、聖約の民の集合の預言および約束は、ラッセル・M・ネルソン大管長を含む預言者の一貫したテーマである。
13. 1 ニーファイ 22:25
14. ヘブル 13:20 参照
15. ヨハネ 10:16。3 ニーファイ 15:21; 16:1, 3; 教義と聖約 10:59-60 も参照
16. 3 ニーファイ 15:24。3 ニーファイ 15:17, 21 も参照
17. 3 ニーファイ 16:1, 3 参照。教義と聖約 10:59-60 も参照
18. モーサヤ 26:21 参照
19. 2 ニーファイ 31:13-14, 21 参照
20. 2 ニーファイ 31:5。アルマ 7:14 も参照
21. マラキ 4:5-6; ヨハネ 15:9-13; モーサヤ 25:18; ヒラマン 11:21。ラッセル・M・ネルソン大管長「シオンのつわもの」(2018年6月3日, ワールドワイド・ユース・デイポーショナル), HopeofIsrael.ChurchofJesusChrist.org; 「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号, 79-82
22. 詩篇 80:1



十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老

すべての必要なものを 得るために備える

23. ヨハネ 21:15 - 17。章全体も参照
24. エレミヤ 23:4
25. ナホム 3:18 参照
26. エレミヤ 23:1:50:6, 44 参照
27. イザヤ 56:11; エゼキエル 34:2 - 6 参照
28. エゼキエル 34:2 - 6 参照
29. ヨハネ 10:13
30. 3 ニーフアイ 14:15。マタイ 7:15; アルマ 5:60 も参照
31. 2 ニーフアイ 9:10 - 12 参照。肉体の死と霊的な分離に打ち勝つことにより、神の小羊は、この世と永遠にわたりすべての人を一人の羊飼いの群れに集めることを可能にされる。
32. モーセ 5:7 - 8
33. 創世 22:7 - 8。モルモン書ヤコブ 4:5 も参照
34. ヨハネ 1:29; 1 ニーフアイ 11:21
35. 1 ニーフアイ 11:21, 27
36. モーサヤ 14:6。イザヤ 53:6 も参照
37. アルマ 7:7, 14 - 15
38. ボンテップ・ティッピー・コイルとの会話から。2019年2月、許可を得て使用
39. 「羊を守る羊飼いの愛」『賛美歌』136 番。
羊飼いとその羊を歌っている賛美歌は、ほかにも、下記などがある。「飼い主はわれを」『賛美歌』65 番
飼い主はわれを
養いたまわん
望みはかなえて
導きたまわん
身近にて守りたまわん
昼も、夜も
「主よ靈感もて」『賛美歌』182 番
汝が羊の群れ
養い努めん
主よ、支えたまえ
われ連れたまえ
「神権持つ子らよ」『賛美歌』199 番
イスラエル集め
シオンに主たたう
末の日の業始まる
羊飼いの声聞け
40. 1 ニーフアイ 14:14。1 ニーフアイ 13:35, 37—「分かりやすくて貴い〔記録は、〕……小羊の賜物と力によって……もたらされる。……〔わたしたちは〕最後まで堪え忍ぶならば、終わりの日に……小羊の永遠の王国に救われるであろう。」も参照
41. イザヤ 40:11
42. ヒラマン 6:5
43. 黙示 21:27 参照
44. 黙示 15:3; 教義と聖約 133:56 参照
45. 黙示 19:9; 教義と聖約 58:11 参照。黙示 7:17—「小羊は彼らの牧者となって、いのちの水の泉に導いて下さるであろう。また神は、彼らの目から涙をことごとくぬぐい下さるであろう。」; 黙示 22:1—「水晶のように輝いているいのちの水の川……は、神と小羊との御座から出て〔いた。〕」も参照
46. ヒラマン 5:12
47. モロナイ 10:32 - 33
48. 黙示 5:12
49. 教義と聖約 109:79

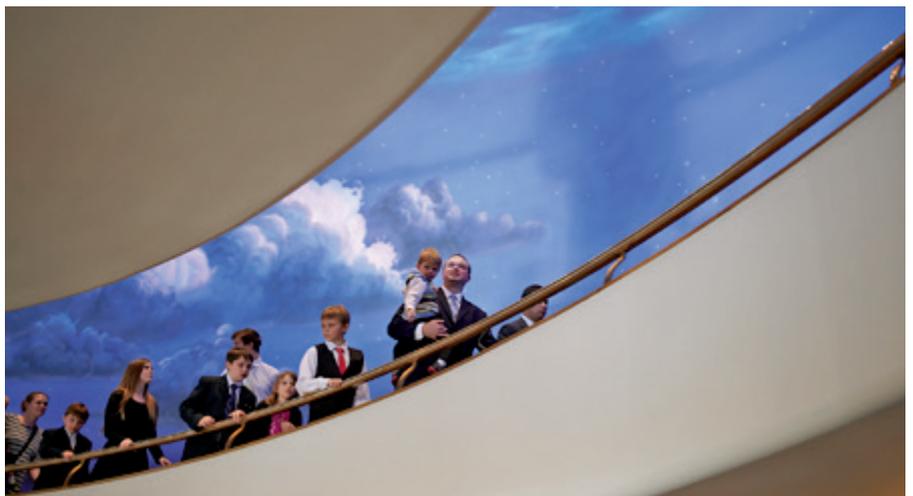
個人の責任、すなわち回復されたイエス・キリストの福音を学んで愛するという責任を全うしようと努力するときに、祝福を受けます。

最近の総大会で発表された一連の変更から明らかなように、末日聖徒イエス・キリスト教会のプログラムと活動は、ますます家庭中心で教会がサポートする形になりつつあります。ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように勧告しています。「まだまだ続きます。……ビタミン剤を飲み、休息を取っておいてください。きっとすばらしいことが起きます。」¹

主の回復された教会で現在進展しているこうした変更に含まれる、基本的な意味について幾つかともに考えるうえで、聖霊の助けがあるよう、祈り求めます。

家庭中心で教会がサポートする形の福音の学習

最近、ある神権指導者集会にクレーグ・C・クリステンセン長老と一緒に出席したときのことで。長老は二つの簡単な質問を使って、より家庭中心で教会がサポートできるようにするための原則を強調しました。日曜日の教会の集会后に自宅に帰ってから「今日教会で、救い主と主の福音についてどんなことを学んできたんだい?」と尋ねるのではなく、むしろ教会の集会で「この一週間、家庭で救い主と主の福音について何を学んできましたか?」と尋ねるべきだと言いました。正しく安





息日を守ることや新しい教科課程、そして変更された集会スケジュールといったものはすべて、家庭と教会の双方で福音を学ぶ際の助けとなります。

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は各々、主の教えを学び、それに従って生活し、適切な権能により救いと昇栄の儀式を受ける責任を負っています。教会は、献身的な弟子となり最後まで勇敢に堪え忍ぶために、知るべきこと、行うべきことをすべて教え、指示してくれる組織だと期待するべきではありません。²むしろ、学ぶべきことを学び、どう生きるべきか知っているとおりに生活し、主が望んでおられるような人物になるのは、わたしたち各々の責任なのです。そして、家庭は、学び、実践し、そのような人物になるための最も重要な場所です。

ジョセフ・スミスは子供のころ、家族から神について学びました。自分に対する神の御心を見いだそうとしたジョセフは、多くの異なるキリスト教の宗派の中で真理を探究し、聖文について熱心に考え、心から神に祈りました。御父と御子が御姿を現された直後に少年ジョセフ・スミスが聖なる森から自宅に帰って最初に話した相手は母親でした。「暖炉に寄りかかっていると、母がどうしたのかと尋ねた。そこ

で〔ジョセフ〕は、『何でもありません。大丈夫です。元気です』と答えた。それから、〔ジョセフ〕は母に、『……自分で分かりました』と言った。³ ジョセフの経験は、学ぶことに関してわたしたち一人一人が做すべき、力強い規範を示しています。わたしたちも自分で知る必要があるのです。

天の御父の計画の重要な目的は、御父の子供たちがさらに主に似た者となることです。したがって、天の御父はわたしたちに、成長し進歩するために不可欠な機会を与えてくださいます。ますます混迷し邪悪がはびこる、「混乱」⁴ した世にあって、真理を学び、それに従って生活するというわたしたちの決意は、いよいよ重要性を高めています。単に教会の集会に出席し、プログラムに参加するだけで、あらゆる面で霊的に強められ、守られて、その結果、「悪しき日にあたって、よく抵抗」⁵ できるようになるなどと期待することはできません。

「両親には、愛と義をもって子供たちを育て……するという神聖な義務があります。」⁶ 靈感を受けた教会の指導者や教師、活動は、霊的に成長しようとする個人や家族の取り組みを助けるものです。わたしたちは皆、聖約の道にあって前進する

ために助けを必要としてはいますが、霊的な強さと耐久力を育む最終的な責任は、わたしたち一人一人にあります。

預言者リーハイの息子ニーファイが、命の木の示現で父親が学んだことを聖霊の力によって自分で見、聞き、知りたいと望んだことを思い出してください。ニーファイは明らかに「善い両親」⁷ の模範と教えを必要とし、若いうちにそれらを祝福として受けました。それでも、ジョセフ・スミスと同様に、自分で学び、知りたいと切望したのです。

もしイエス・キリストとその回復された福音について皆さんやわたしの知っていることが、ほかの人が教えてくれたり、語ってくれたりしたことでしかないとしたら、主と主の栄えある末日の業に関するわたしたちの証の土台は砂の上に建てられていることになります。⁸ わたしたちは福音の光や知識を全面的にほかの人に依存したり、借りたりすることはできません。たとえ相手が自分の愛し、信頼する人であったとしてもです。

預言者ジョセフ・スミスが、それぞれの末日聖徒は「この世にやって来……ることについての神の計画と目的」⁹ を自分で理解する必要があると教えたのは、実に意味深いことでした。

「未来の状態における神や天使たちと人との関係について、アダムの時代から書き記されてきたすべてのものを読み、理解したとしても、ほとんど何も知ることができないでしょう。ほかの人の経験、すなわち彼らに与えられた啓示を読んでも、わたしたちは自分たちの状態や神とのほんとうの関係について、決して包括的な理解を得ることはできないのです。これらの事柄についての知識は、その目的のために定められた神の儀式を通して、経験することによってのみ得られるのです。」¹⁰

個人と家族に関するこの霊的に壮大な目標を達成できるようにすることこそ、時満ちる神権時代の特にこの時期に、末日聖徒イエス・キリスト教会のプログラムと活動が、より家庭中心で教会がサポートする形になりつつある基本的な理由の一つです。

家庭中心で教会がサポートする形の福音の学習が意味するもの

福音の学習はますます家庭中心で教会がサポートする形になりつつあります。その基本的な意味を少し要約したいと思います。

最も重要な宣教師訓練センターは、家庭にあります。それを支える宣教師訓練センターは、プロボやマニラ、メキシコシティなどにあります。最も有益な日曜学校のクラスは、わたしたちの住まいで行われる個人や家族の学習であるべきです。集会所で開催される日曜学校のクラスは、役立ちますが補助的なクラスです。

今や、家族歴史センターはわたしたちの家庭にあります。家族歴史の探求のための補助的な支援を集会所で得ることもできます。

きわめて重要な神殿準備クラスはわたしたちの家庭で行われます。大切ではあるものの補助としての神殿準備クラスも、定期的に集会所で行うことができます。

「聖なる場所に立〔つ〕」¹¹ ことができ

るよう、わたしたちの家庭を聖域とすることは、この末日では欠かせないことです。家庭中心で教会がサポートする形の学習が霊的な力と守りを得るうえで今日とても大切であり、その重要性は将来さらに増すでしょう。

家庭中心で教会がサポートする形の学習と神殿への備え

主の宮において神聖な儀式を受け聖約を交わすための、個人の備えとふさわしさに、「家庭中心で教会がサポートする」原則がどのように当てはまるか考えてみてください。

確かに、最も効果的に神殿に備える場は家庭にあります。しかし、多くの教会員は、神殿の外で神殿内の経験について話すうえで、何が適切な内容で何がそうでないのか、明確なところが分かりません。

エズラ・タフト・ベンソン大管長は、こうした不確かさが存在する理由を、次のように述べています。

「神殿は神聖な場所です。そして神殿の儀式も神聖なものです。その神聖さのゆえに、時としてわたしたちは子や孫に神殿について話すのをはばかることがあります。

その結果、心から神殿に行きたいという望みを育てていけない人が多く、また、たとえ行くにしても、そこで交わす聖約や果たすべき義務について備えるための予備知識をあまり持たないままに参入してしまう人が多くいます。

わたしは、適切な予備知識や理解は、若い人々を神殿参入に備えさせるうえで測り知れない助けになると信じています。その知識は、アブラハムが求めたように、神権の祝福を得たいという望みを彼らの内に育てていく、とわたしは信じています。」¹²

次の二つの指針は、ベンソン大管長が強調した適切な理解に到達する助けとなるものです。



指針その1。わたしたちは主を愛しているので、主の聖なる宮については常に敬虔な思いで話す必要があります。神聖な神殿の儀式で交わす聖約に関連する特別な象徴について、明らかにしたり説明したりすることがあってはなりません。また、口外しないと神殿で特に約束した聖なる情報についても話し合うことはできません。

指針その2。神殿は主の宮です。神殿内のすべてのことは、わたしたちの心を救い主イエス・キリストに向かわせるものです。わたしたちは神殿の儀式と聖約の基本的な目的や、それらに関連する教義と原則については話し合うことができます。

ハワード・W・ハンター大管長は次のように勧告しています。「神殿で味わう霊的な思いを子供たちに伝えてください。より熱心に、またもっとくつろいだ雰囲気の中で、主の宮が建てられる目的について、話しても差し障りのない事柄を子供たちに教えるようにしましょう。」¹³

預言者ジョセフ・スミス時代からラッセル・M・ネルソン大管長の時代に至るまで、神殿の儀式と聖約にかかわる教義上の目的は教会指導者によって広く教えられてきました。¹⁴ イニシャトリーの儀式やエンダウメント、結婚、その他の結び固めの儀式に関して、わたしたちが学ぶことができるよう、印刷物や音声、動画、そのほかの媒体で膨大な資料が存在します。

¹⁵ 同じように、従順の律法や犠牲の律法、福音の律法、純潔の律法、奉獻の律法を守るという聖約を交わし、それを尊ぶ



ことによって救い主に従うということに関する情報も得ることができます。¹⁶ 教会員は皆、temples.ChurchofJesusChrist.orgにある優れた資料に親しむべきです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、教会が公開している神殿に関する正確かつ適切で貴重な情報と、神殿儀式の神聖な性質との重要なバランスについて強調し、こう述べました。「会員は、『聖句ガイド』の神殿に関する項を読むようにしてください。『油注ぎ』『聖約(契約)』『犠牲』『神殿：主の宮』などです。また、出エジプト記第26章から第29章とレビ記第8章も読むとよいでしょう。旧約聖書や高価な真珠のモーセ書とアブラハム書は、神殿活動が昔に行われていたこと、またその儀式が永続するものであることを強調しています。」¹⁷

自分の息子や娘からこう尋ねられたとします。「学校の友達から、神殿では変な服を着るって聞いたんだけど、ほんとう？」temples.churchofjesuschrist.orgに、「神聖な神殿衣」という短い動画があります。この優れたリソースでは、古代より男女は神聖な音楽や異なる形の祈り、象徴的な宗教上の衣服、身振り、儀式を用いて、神への献身という内なる思いを表現してきたことが説明されています。このようにして、基本的な教えやこの動画のような優れたリソースを通して、栄えある神殿の

祝福のために家庭を中心にして備えることができるよう、教会はサポートしています。多くの役立つ情報がだれでも利用できるようになっています。¹⁸

わたしたちが主の御霊の柔和な道を歩もうと努めるときに¹⁹、家庭において、神聖な神殿の儀式と聖約について話すときに、何が適切で何がそうでないのかに必要なバランスを理解し、そのバランスをとることができるという祝福にあずかるでしょう。

約束と証

皆さんの中には、自分の福音学習を実際に家庭中心で教会がサポートする形にできるのだろうかといぶかる人がいるかもしれません。家庭で唯一の教会員や、伴侶の協力が得にくい会員、ひとり親、独身で、または離婚して一人で暮らす末日聖徒であるとすれば、これらの原則がどのように自分に当てはまるのだろうか疑問に思うかもしれません。夫婦で顔を見合わせ、「わたしたちにこれができるだろうか」と思っている人もいるかもしれません。

しかし、必ずできます！ 可能にするための祝福が皆さんの生活に流れ込み、表れることを約束します。扉が開かれ、光は輝くでしょう。皆さんの能力は増し加えられ、勤勉に、我慢強く忍耐できるようになるでしょう。

わたしたちが個人の責任、すなわち回復されたイエス・キリストの福音を学んで愛するという責任を全うしようと努力するときに、その報いとして祝福を受けることを喜んで証します。確かに「すべての必要なものを得るために備え[る]」ことができるのです。²⁰ 主イエス・キリストの神聖な御名によって約束し、証します、アーメン。■

注

1. Russell M. Nelson, in "Latter-day Saint Prophet, Wife and Apostle Share Insights of Global Ministry," Newsroom, Oct. 30, 2018, newsroom.ChurchofJesusChrist.org.
2. 教義と聖約 121:29 参照
3. ジョセフ・スミス —— 歴史 1:20
4. 教義と聖約 45:26
5. エペソ 6:13
6. 「家族 —— 世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
7. 1ニーファイ 1:1
8. マタイ 7:24-27; 3ニーファイ 14:24-27; 18:13
9. 『歴代大管長の教え —— ジョセフ・スミス』211
10. 『教え —— ジョセフ・スミス』418-419; 強調付加
11. 教義と聖約 101:22
12. 『歴代大管長の教え —— エズラ・タフト・ベンソン』161-162; 強調付加。エズラ・タフト・ベンソン「神殿について子供たちに教える」『聖徒の道』1986年4月号, 4も参照
13. 『歴代大管長の教え —— ハワード・W・ハンター』167
14. See, for example, James E. Talmage, *The House of the Lord* (1912), 99-101.
15. See James E. Talmage, *The House of the Lord*, 89-109; ラッセル・M・ネルソン「神殿の祝福を受けるための個人の備え」『リアホナ』2001年7月号, 37-40; Boyd K. Packer, *The Holy Temple* (1980), 153-55.
16. See *The Teachings of Ezra Taft Benson* (1988), 121; James E. Talmage, *The House of the Lord*, 100; 「聖なる神殿に参入する備え」(小冊子)
17. ラッセル・M・ネルソン「神殿の祝福のために備える」『リアホナ』2010年10月号, 47
18. 例えば、イタリヤ・ローマ神殿のビデオツアーを視聴したり、神殿に関する預言者の教えを研究するとよい (temples.ChurchofJesusChrist.org 参照)。
19. 教義と聖約 19:23 参照
20. 教義と聖約 109:15



七十人
カイル・S・マッケイ長老

すぐに与えられる 神の慈しみ

主を信頼し忍耐強く待っている間でも、すぐに与えられる祝福もあるのです。

数年前、5歳になる息子がわたしのところに来て言いました。「パパ、分かったことがあるんだ。パパの『もうすぐ』は、ぼくにとつての『すごく長い時間』なんだってこと。」

主や主の僕が「今から日ならずして」または「時は遠くない」というような言葉を使うとき、それは生涯またはそれ以上の長さを実際に意味することがあります。¹ 主の時、そして多くの場合、主のタイミングはわたしたちの尺度とは異なっています。忍耐が鍵です。それがなければ、命と救いに至る神への信仰を育むことも、表すこともできません。しかし、わたしが今日お伝えするメッセージは、主を信頼し忍耐強く待っている間でも、すぐに与えられる祝福もあるということについてです。

アルマとその民はレーマン人に捕らえられたとき、解放されるように祈りました。すぐには解放されませんでした。彼らが忍耐強く待つ間、主はすぐに与えられる幾つかの祝福で慈しみを示されました。例えば、主はレーマン人の心をすぐに和らげて、アルマの民を殺さないようにされました。また、彼らを強め、彼らの重荷を軽くしてくださいました。² 彼らはずいに解放されると、ゼラヘムラへ行き、驚く人々に自分たちの経験について話しました。ゼラヘムラの人々は驚嘆し、「アルマと彼の同

から
胞を……奴隷の状態から救い出してくださった神の直接の慈しみ〔訳注——英語の immediate は「直接の」のほかに「即座の」という意味がある〕と神の力のことを思つては、声を上げ、神に感謝をささげ〔まし〕た。』³

神の直接〔あるいは即座〕の慈しめは、真心から、誠心誠意で神を呼び求めるすべての人にもたらされます。これには、解放の時がとても遠く、苦難が長引き、激化しているようにすら思える中で、必死に叫び求める人々も含まれます。

若き預言者が湿った地下牢の中で瀬戸際まで追い詰められ、ついにこう叫び求めたときもそうでした。「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。……あなた

の御手はいつまでとどめられ……るのですか。まことに、おお、主よ……どれほど長く……ですか。』⁴ そのこたえとして、主はジョセフをすぐに救い出すことはされませんでした。すぐに平安をお与えになりました。⁵

また、最終的に解放されるという希望をすぐにお与えになりました。⁶ たとえ何があろうと、どこであろうと、キリストにより、キリストを通して、わたしたちの前には「明るき希望」が常にあります。⁷ すぐそばにあるのです。

さらに、主はこう約束されました。「わがいつくしみはあなたから移る……ことがない。』⁸

何よりも、神の愛はすぐそばにあります。パウロとともに、わたしは証します。どんなものも「キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできない」のです。⁹ 罪でさえも、それが神の御霊からわたしたちを一時的に引き離しても、いつでもすぐに与えられる神聖な御父の愛からわたしたちを引き離すことはできません。

様々な方法や手段で、「神はすぐに祝福を授けてくださる」のです。¹⁰ さて、これらの原則が今でも有効で身近にあることを示すために、すぐに与えられる神の慈しみについての証となる二人の体験を紹介しましょう。



エミリーは十代のころから、薬物の乱用で苦しんでいました。試しに使ったことから習慣になり、ついには薬物依存となって彼女を何年もとりこにし、健康な時期はわずかしかなかった。エミリーは、結婚して母親になってからは特に、自分の問題をひた隠しにしていました。

救出の扉が開かれても、自分が救出されるとは少しも思えませんでした。エミリーは定期健康診断を受けているときに、突然救急車で入院施設に運ばれたのです。彼女は動転し、子供たちや夫や家庭から引き離されると思いました。

その夜、寒くて暗い部屋で独り、エミリーはベッドで丸くなってすすり泣きました。思考力が低下し、やがて不安や恐れ、また部屋の中と心の中にある耐え難い暗闇に圧倒されて、エミリーはその晩自分が死ぬのではないかと本気で思いました。だれにも看取られずに。

そうした絶望的な状況の中で、エミリーは何とか力を振り絞ってベッドから転がり出ると、ひざまずきました。これまでの祈りとは違い、少しも気取らずに、すべてを主に委ね、必死に嘆願しました。「神さま、あなたが必要です。わたしを助けてください。独りでいたくありません。今晚、乗り切れるようにしてください。」

するとすぐに、主は昔のペテロにされたように、その御手を伸ばし、沈みゆく彼女の心をつかまえてくださいました。¹¹ エミリーは、すばらしい安らぎと勇気、確信、愛に満たされました。部屋はもはや寒くなく、エミリーは独りではないことを知りました。14歳の時以来、初めて、すべて大丈夫だと感じたのです。「[神に対して]目覚め[た]」エミリーは、安心して眠りにつきました。¹² このように、「あなたがたが悔い改めて心をかたくなにしなければ、偉大な贖いの計画はすぐあなたに効果を及ぼす」ことが分かります。¹³

エミリーの癒しと究極の解放には、何か月にも及ぶ治療や訓練、カウンセリングが



必要でしたが、その間、彼女は神の慈しみによって支えられ、時にはそれに頼りきりました。その後も引き続き神の慈しみを受けて、彼女は夫や子供たちと神殿に参入し、永遠に結び固められました。ゼラヘムラの民のように、エミリーは今、束縛から解放されるうえで、すぐに与えられる神の慈しみと神の力を思い返して、感謝をささげています。

さて、もう一人の勇敢な信者の経験です。2013年12月27日、アリシア・シュローダーは、思いがけず玄関先にやってきた親友のショーンとシャーラ・チルコートを楽しんで迎えました。アリシアのビショップでもあるショーンは、自分の携帯電話を渡すと、厳かに言いました。「アリシア、わたしたちはあなたを愛しています。この電話に出てください。」

アリシアの夫マリオからの電話でした。彼は、以前から楽しみにしていたスノーモービル旅行に、子供を連れて人里離れた地に出かけていました。そこでひどい事故に遭ったのです。マリオは重傷を負い、10歳の息子カレブは亡くなりました。アリシアは、マリオから涙ながらにカレブの死を告げられたとき、ほとんどの人が経験したことのないショックと恐怖に襲われ、倒れ込みました。言葉にできないほどの苦しみでまひし、話すことも動くこともできませんでした。

ビショップとチルコート姉妹は、素早く彼女を起こして抱き締めました。三人はしばらくの間、ともに涙を流し、深い悲し

みにくれました。それからチルコートビショップは、アリシアに祝福を受けることを申し出ました。

次に起こったことは、イエス・キリストの贖罪とすぐに与えられる神の慈しみがある程度理解していないと、分かりにくいことです。チルコートビショップは、アリシアの頭に優しく手を置くと、震える声で語り始めました。アリシアは、神ご自身が語られたかのように、二つのことを聞きました。最初に聞いたのは、自分の名前、アリシア・スーザン・シュローダーでした。それから、ビショップが全能の神の権能を行使するのを聞きました。その瞬間です。単に彼女の名前と神の力が言葉として発せられただけで、アリシアは言葉で言い表せない平安と愛、慰め、そしてどういうわけか喜びに満たされたのです。そして、それらの気持ちがずっと続きました。

もちろんアリシアとマリオと彼らの家族は、今でもカレブの死を嘆き、いないことを寂しく思っています。実につらいことです。わたしがアリシアと話すときはいつも、彼女の目にいっぱい涙をためて、どんなに幼い息子を愛し、寂しく思っているか話してくれます。そして涙ぐんだ目のままで、絶望のどん底にいたときに「すぐに与えられる神の慈しみ」をきっかけに、偉大な解放者があらゆる苦しい試練を乗り越えられるように支えてくださったこと、また現在は「今から日ならずして」起るであろうすばらしい再会への輝く希望があることについて話してくれます。



十二使徒定員会
ロナルド・A・ラズバンド長老

霊性と守りの砦を築く

わたしは、時に人生の経験が混乱や動揺を引き起こし、エミリーやアリシアが得られたような慰めを受けたり、認識したり、あるいは保ち続けたりするのを難しくしてしまうことがあるということに気づきました。わたし自身にもそのような経験がありました。そのようなときに、わたしたちをただ守ってくれるのは、「すぐに与えられる神の慈しみ」の優しく力強い現れであることを証します。古代イスラエルの民が日々「自分たちを守ってくださったあの同じ神によって」最終的に救い出されたことを思い出してください。¹⁴

イエス・キリストが偉大な解放者であることを証します。誠心誠意で主に心を向けるならば、生活を破壊したり、喜びを損なったりする恐れのあるすべてのものから主が救い出してくださいを、主の御名により約束します。その解放には自分が望む以上に長く、恐らく生涯またはそれより長くかかることもあり得ます。ですから、最終的な解放の日まで、皆さんに慰めや勇気、希望を与え、皆さんを支え、力づける**すぐに与えられる神の慈しみ**を求めようお勧めし、また証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 例えば、アルマ7:7-9:26; 教義と聖約88:87 参照
2. モーサヤ23:28-29:24:14-15 参照
3. モーサヤ25:10; 強調付加
4. 教義と聖約121:1-3
5. 教義と聖約121:7 参照
6. アルマ58:11「そして、主なるわたしたちの神は、わたしたちを救うという保証を与えてくださいました。……また主によって解放されるという望みをわたしたちに抱かせてくださったのです。」参照。教義と聖約121:7-8も参照
7. 「感謝を神に捧げん」『賛美歌』11番参照
8. イザヤ54:10; 強調付加
9. ローマ8:39
10. モーサヤ2:24
11. マタイ14:31 参照
12. アルマ5:7
13. アルマ34:31
14. 1 ニーファイ5:15

わたしたちがイエス・キリストの福音に従って生活し、救い主の贖罪に頼り、信仰をもって前進するとき、わたしたちは悪に対抗できる砦によって守られるのです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、総大会の閉会も近づきました。2日間にわたってこの壇上から語られた勧告や真理、そして啓示の言葉について、天の御父に感謝しています。わたしたちは、神の聖なる御言葉を語るために召された神の僕たちから教えを受けてきました。主は末日の啓示の中でこう言われています。「わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」¹

聖徒たちの大きな会衆を見渡し、世界中で総大会を視聴している会員たちのことを思い浮かべるとき、モルモン書の中にある、イエス・キリストが十字架上で亡くなられた後でニーファイの民に御姿を現されたときの集まりのことが頭に浮かびました。イエスはその民に福音を教えたと、こう勧められました。「だから、自分の家に

帰り、わたしが述べたことを深く考えなさい。そして、理解できるように、……わたしの名によって父に願いなさい。」²

「自分の家に帰り、……深く考えなさい」とは、この神聖な場から語られた預言者や教会指導者の言葉を心に留めるための次のステップです。キリストを中心とする家庭は、預言されたとおり、悪魔が「人の子らの心の中で荒れ狂い、人の子らをそそのかして善いことに対して怒らせる」³ 時代にあっては、地上における神の王国の砦となります。

人々は歴史を通じて、敵を内部に入れないようにするために砦を築いてきました。多くの場合、砦には監視塔がつきもので、そこでは見張りが、ちょうど預言者のように、威嚇してくる軍勢や近づいて来る敵の攻撃を見て警告を発します。





ユタ州の初期の開拓時代、わたしの曾祖父にあたるトーマス・ラズバンドとその家族は、美しいワサッチ山脈のヒーバー・バレーに最初に定住した人たちの中にいました。

1859年、トーマスは、防御を目的とするヒーバーフォートの建設の手助けをしました。この砦は、ポプラの木の丸太を使った簡素な造りで、1本1本立てかけて、砦の外壁が作られました。内部に作られた丸太小屋の壁はその外壁を共用していました。このような構造のおかげで、開拓者の家族たちがその地に根を下ろし主を礼拝するにあたっての安全と安心が確保されたのです。

わたしたちも同じです。家庭は世の悪に対抗するための砦です。家庭にあって、主の戒めに従い、聖文を研究し、ともに祈り、聖約の道に留まるように互いに助け合うことによって、わたしたちはキリストのもとに近づきます。新教科課程の『わたしに従ってきなさい』では家庭における個人や家族の学習が新たに強調されていますが、その目的は「さらに深く改心し、さらにイエス・キリストのようになることです。」⁴ それを続けることで、わたしたちはパウロの言う「新しく造られた者」⁵ となり、身も心も神と一致することができるようになります。わたしたちは、敵の攻撃に対抗したり、回避したりするためにそうした強さを必要としています。

イエス・キリストを信じる信仰から生み出される献身的な思いを抱いて生活して

いると、聖霊の存在を平安のうちに感じるようになります。聖霊は、わたしたちを真理へと導き、主の祝福を受けるにふさわしい生活ができるように靈感を与え、神が生きておられ、わたしたちを愛してくださっていると証します。これはすべてわたしたちの家庭という砦の中で起こることです。でも、忘れないでください。わたしたちの家庭が力強い存在でいられるのは、その壁の中にいるわたしたち一人一人の霊的な強さがあるからこそなのです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えています。「導きや、指示、慰めを与える聖霊の影響力が日常的になれば、これから先、霊的に生き残ることはできなくなるでしょう。」⁶ この時代の主の生ける預言者、聖見者、啓示者として、また末日聖徒イエス・キリスト教会という砦の塔の見張り人であるこの大管長は、迫りくる敵の姿をその目で見ています。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは人の救いのためにサタンと戦っている最中なのです。戦線はすでにわたしたちの前世から引かれていました。サタンと天の御父の子供たちの3分の1が、御父の昇栄の約束に背を向けました。その時以来、敵の軍勢は御父の計画を選ぶ忠実な者たちに戦いを挑み続けています。

サタンは、自分の命数が数えられ、しかもその時間が短くなっていることに気付いています。ずる賢く、巧妙であったとしても、サタンが勝利を収めることはないのです。しかしながら、わたしたち一人一人に

向けられたサタンの戦いは、猛威を振っています。

わたしたちは自分を守るために、自身の救いのために、悪しき者によって破られることのない霊性と守りの砦を築く必要があります。

サタンは狡猾な蛇であって、わたしたちが防御の手を下ろしたり、失意に直面したり、希望を失ったりすると、わたしたちの思いや心に忍び込もうとします。サタンは浮ついた言葉や簡単な約束、慰めにより、また落ち込んでいるときには一時的な高揚感によってわたしたちを誘い込もうとしています。サタンは、高慢、不親切、不正直、不満、そして不道徳といったものを正当化し、時にわたしたちも「心が鈍」くなることがあります。⁷ 御霊がわたしたちを離れることもあります。「悪魔はこうにして人々をだまし、巧みに地獄に誘い落とすのである。」⁸

これと対照的に、わたしたちが次のような言葉で神に賛美をささげると、力強く御霊を感じるようになります。

神はわが砦
破れることなし
強き助け手ぞ
悪には打ち勝つ⁹

わたしたちが霊的な強さという砦を築くとき、敵の侵入を食い止め、きっぱりと拒絶して、御霊の平安を感じることができず。荒野で誘惑に遭われたとき、「サタンよ、退け」と言われた、わたしたちの主であり救い主であられる御方の模範に従うことができます。¹⁰ わたしたち一人一人も、どのようにサタンを退けるのか、人生の経験を通じて学んでいかなければなりません。

そのような義にかなった目的については、モルモン書の中に見事に描写されています。司令官モロナイが、欺瞞に満ち、権力と血に飢えたアマリキアの攻撃に対抗

するために、ニーファイ人たちを備えさせていたときのことです。モロナイはニーファイの民を守るために砦を築きますが、それは「彼らが主なる神のために生きることができるように、また敵からクリスチャンの大義と呼ばれているものを保つことができるように」するためでした。¹¹ モロナイは「確固としてキリストを信じた人」¹²であり、「神の戒めを守ること、罪惡に立ち向かうこと」¹³を忠実に行人でした。

レーマン人が攻めて来たとき、彼らはニーファイ人の備えに驚き、打ち負かされました。ニーファイ人たちは、「主がたぐいぬ力で自分たちを敵の手から救ってくださったことを、主なる神に」感謝しました。¹⁴ 彼らは、外側には守りのための砦を築き、内側には、主イエス・キリストを信じる信仰を心の奥深くまで築いていたのです。

問題を抱えた時代にあって、わたしたちはどのようにして自分の砦を固め、「この大なる業を成し遂げるために、神の御手に使われる者」となることができるでしょうか。¹⁵ 聖典を紐解いてみましょう。

わたしたちは従順です。主は、父リーハイに対して、息子たちをエルサレムに戻ら



せて、「その記録を何とか手に入れ、それを荒れ野の中のここまで持って来るよう」お命じになりました。¹⁶ リーハイは疑問を持つことなく、その理由や方法についても思い悩むことはありませんでした。ニーファイも同じでした。ただ、「わたしは行って、主が命じられたことを行います」¹⁷と答えただけでした。

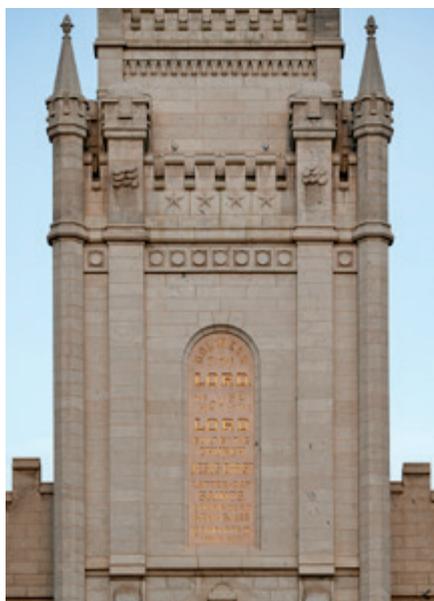
わたしたちは、ニーファイのように進んで従順さを示して行動しているでしょうか。それとも、ニーファイの兄たちのように、神の戒めに疑問を持つようになっているでしょうか。兄たちは、信仰が不足していたために、結局、主に背を向けてしまったのです。「聖い心」¹⁸から生み出される従順さは、主がわたしたちに求めておられるものです。

わたしたちは主に信頼していますが、その主は、イスラエルの民を約束の地へと導く準備をしているヨシュアに向かい、こう言われました。「強く、また雄々しくあれ。あなたがどこへ行くにも、あなたの神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない。」¹⁹ ヨシュアはこの言葉に信頼を置き、民にこう勧めます。「あなたがたは身を清めなさい。あす、主があなたがたのうちに不思議を行われる

からである。」²⁰ 主はヨルダン川の水を分け、イスラエルの民の40年にわたる荒れ野での生活に終止符が打たれました。

わたしたちは、モルモン書の預言者アビナダイのように真理を擁護します。捕えられて、ノア王と邪惡な祭司たちの前に連れ出されたアビナダイは、十戒について教え、キリストが「人の子らの中に降って来て、御自分の民を贖われる」²¹と力強く説きました。それから、自分の内にある深い信仰のゆえに、「おお、神よ、わたしの霊をお受けください。」²²と述べた後、アビナダイは「焼け死 [に]」²³しました。

わたしたちは、聖餐を受けることにより、また神殿で礼拝することにより、聖約を交わし、また聖約を新たにします。聖餐は日曜日の礼拝の中でもその中心となるものです。わたしたちはそこで、「いつも御子の御霊を受けられる」²⁴という約束を受けています。その神聖な儀式に伴って、わたしたちはイエス・キリストの御名を受け、イエスに従い、主がなさったようにこの神の御業におけるわたしたちの責任を引き受けるという決意をします。神殿では、わたしたちは「この世のものを捨てて」²⁵、主の存在とこの世がもたらすことのできない平安を感じることができます。





わたしたちの先祖や家族、そして御父の御前にあって受ける永遠の命のことだけに焦点を当てていることができます。ネルソン大管長が最近ローマで、「この神殿が生み出す善は計り知れないほど大なるものです」²⁶と述べたのも驚くべきことではありません。

わたしたちは何を行うにも、高潔が必要です。正しいものと誤っているものを絶えず判断する必要がないように、識別の力と自制心を身につけるようにすべきです。また、初期の教会の使徒であったペテロが言った次の警告の言葉にも心を留める必要があります。「身を慎み、目を覚ましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのようになり、食いつくすべきものを求めて歩き回っている。」²⁷

熱心に自分の砦を強化するとき、わたしたちは主の真の弟子として、身も心も主の守りの中に入り、キリストに似た者となるのです。

イエス・キリストについての皆さんの証は、皆さん自身の個人的な砦であり、魂の避け所です。わたしの曾祖父と仲間の開拓者たちがヒーバーフォートを建設したとき、彼らは、砦「全体が組み合わされ」るまで、1本ずつ丸太を立て続けました。²⁸こうして彼らは守られたのです。証も同じです。わたしたち一人一人も、聖き御霊から証を受けていきます。それは、御霊がわたしたち自身の霊に語りかけ、「真実を心のうちに」教えるからです。²⁹わたしたちがイエス・キリストの福音に従って生活し、救い主の贖罪に頼り、恐れではなく信仰を

もって前進するとき、わたしたちは悪の策略に対抗できる砦によって守られるのです。わたしたちは自分の証によって天と結びつき、「すべてのことの真理」を受けるといふ祝福にあずかります。³⁰そして、砦に守られた開拓者のように、わたしたちは救い主の愛の御腕に抱かれて守られるのです。

預言者エテルはこう教えています。「さて、神を信じる者はだれであろうと、もっと良い世界を、まことに神の右に一つの場所を、確かに望むことができる。この望みは信仰から生じ、人々にとってその心をしっかりとした不動のものにする錨となる。そしてそのような人々はいつも多くの善い行いをし、神をあがめるようになる。」³¹

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしは皆さんが主とその福音に信頼を寄せて前進して行けるよう、祝福を残します。つまり多くの人々の肩を抱き、皆さんの内にある御霊の力を駆使して、霊性と守りの砦の中へ愛によって導き入れてください。どんなことをするときも、「イエス様のように」³²なることを求め、悪や誘惑を退け、昨日わたしたちの愛する預言者によって教えられたように悔い改め、正直な心でいて、正しく、汚れもなく、思いやりと慈愛を示し、真の弟子らしい献身の心で主なるあなたの神を愛してください。

イエス・キリストの福音に対するわたしたちの証やわたしたちの家庭、またわたしたちの家族や末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であること、これらは皆、わたしたちの個人の守りの砦となるもので、わたしたちを取り囲み、悪魔の力からわたしたちを

守るものなのです。これを、わたしたちの主であり救い主であるイエス・キリストの御名によって厳粛に証します、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 1:38
2. 3 ニーファイ 17:3
3. 2 ニーファイ 28:20
4. 『わたしに従ってきなさい——個人と家族用:2019年新約聖書』v
5. 2 コリント 5:17
6. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96
7. 1 ニーファイ 17:45
8. 2 ニーファイ 28:21
9. 「神はわが砦」『賛美歌』36番
10. マタイ 4:10、欽定訳聖書（英語）ルカ 4:8
11. アルマ 48:10
12. アルマ 48:13
13. アルマ 48:16
14. アルマ 49:28
15. アルマ 26:3
16. 1 ニーファイ 3:4
17. 1 ニーファイ 3:7
18. 教義と聖約 46:7
19. ヨシヤ 1:9
20. ヨシヤ 3:5
21. モーサヤ 15:1
22. モーサヤ 17:19
23. モーサヤ 17:20
24. 教義と聖約 20:77
25. 教義と聖約 25:10
26. Russell M. Nelson, in Tad Walch, "President Nelson Refers to Apostles Peter and Paul During Rome Temple Dedication," *Deseret News*, Mar. 10, 2019, deseretnews.com.
27. 1 ペテロ 5:8
28. エベソ 2:21
29. 詩篇 51:6
30. モロナイ 10:5
31. エテル 12:4
32. 「イエス様のように」『子供の歌集』40



ラッセル・M・ネルソン大管長

結びの言葉

神に仕え、幕の両側にいる神の子供たちに仕えるために人生を奉獻し、再奉獻することができますように。

愛する兄弟姉妹の皆さん、この歴史的な大会を終えるに当たり、主の靈感と守りがあったことを主に感謝します。わたしたちはメッセージから教化されました。

話者にテーマは割り当てられていません。メッセージを準備する際にそれぞれが個人の啓示を求めて祈りました。テーマが互いに非常によく調和していたのは、驚きでした。これらのメッセージを研究するとき、主が僕を通して皆さんに何を教えようとされているかを学ぶよう努めてください。

音楽はすばらしいものでした。多くの演奏家が才能を持ち寄り、各部会に主の御霊を招いてくれたことに深く感謝しています。どの部会でも、主は祈る人々や聴衆に祝福を注いでくださいました。この大会は確かに、わたしたち全員にとって再び霊的な宴となりました。

すべての会員の家庭が信仰の真の聖所となり、そこに主の御霊が宿るようにと、わたしたちは願い、祈っています。争いに巻きかれていようと、家庭は天国のような場所にすることができます。家庭で学びと祈り、信仰が愛と一緒に溶け込むのです。わたしたちはまことの主の弟子となり、どこにいても主のために立ち上がり、声を上げることができます。

神の目的はわたしたちの目的でもあるべきです。神が御自分の子供に望んでおられるのは、備え、ふさわしくなり、エンダウメントと結び固めを受け、聖なる神殿で

交わした聖約に忠実に生活して、御自分のみもとへ戻るのを選ぶことです。

現在、奉獻されている神殿は162あります。初期の神殿は、愛する開拓者の信仰とビジョンの記念碑として立っています。彼らが建てた神殿の一つ一つは、個人の多大な犠牲と努力の結晶です。そのどれもが、開拓者の偉業において、宝石のようにひととき輝いています。

それらを大切にすることは、わたしたちの神聖な責任です。そのため、開拓者が建てたこれらの神殿は、間もなくある期間をかけて改装や改修をすることになり、その幾つかは大規模な修復を行います。それぞれの神殿が持つ固有の歴史的な価

値を可能なかぎり保存し、感動的な美しさや何世代も前の独特な職人の技を保存する作業が行われます。

ユタ州セントジョージ神殿については、すでに詳細が発表されています。ソルトレーク神殿とtemplスクウェア、それに隣接し、教会本部近くにあるプラザの改修計画は、2019年4月19日金曜日に発表される予定です。

ユタ州のマンタイ神殿とローガン神殿も、今後何年かのうちに改修されます。これらについても、計画が立ち次第、発表します。

これらの工事に伴い、それぞれの神殿は一定の期間閉館します。教会員は引き続き近くのほかの神殿で礼拝と奉仕を行うことができます。各プロジェクトが完了した後、これらの歴史的価値のある神殿は、それぞれ再奉獻されます。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは神殿を教会で最も神聖な建造物と考えています。新しい神殿を建てる計画を発表するとき、それはわたしたちの神聖な歴史の一部となります。では、どうぞ注意深く、敬虔な気持ちで聞いてください。これから発表する神殿の場所が皆さんにとって



特別なものだった場合、頭を垂れ、声を出さずに心の中で感謝の祈りをささげるようお勧めします。感情を口にすることで、この大会や主の聖なる神殿の神聖さを損なうようなことがあってほしくありません。

今日、わたしたちはさらなる神殿を建てる計画を喜びをもって発表します。それらは以下の場所に建てられます。

アメリカ領サモアのバゴバゴ、沖縄県の沖縄市、トンガのネイアフ、ユタ州のトゥイラ・バレー、ワシントン州のモーゼスレーク、ホンジュラスのサン・ペドロ・スーラ、チリのアントファガスタ、ハンガリーのブダペストです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、ありがとうございました。

新旧両方の神殿について話すとき、自らの行いによって主イエス・キリストのまことの弟子であることを、わたしたち一人一人が示すことができますように。主に對する信仰と信頼を通してわたしたちの生活を新たにすることができますように。日々の悔い改めによって主の贖いの力にあずかることができますように。そして、神に仕え、幕の両側にいる神の子供たちに仕えるために人生を奉献し、再奉献することができますように。

わたしの愛と祝福を皆さんに残し、この主の教会に絶えざる啓示があることをはっきりと申し上げます。啓示は「神の目的〔が〕成し遂げられ……て、大いなるエホバ〔が〕御業は成ったと告げられる」まで続くことでしょう。¹

そのように皆さんを祝福し、わたしの証を述べます。神は生きておられます。イエスはキリストであられ、この教会は主の教会です。わたしたちは主の民です。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』
142

2018年度統計報告

教会員に情報を提供するために、大管長会は2018年12月31日現在の教会の発展と現状に関する以下の統計報告を発表しました。

教会のユニット数	
ステーク	3,383
伝道部	407
地方部	547
ワードおよび支部	30,536
教会員数	
会員総数	1,631万3,735
新たな記録上の子供	10万2,102
バプテスマを受けた改宗者	23万4,332
宣教師	
専任宣教師	65,137
教会奉仕宣教師	37,963
神 殿	
2018年度に奉献された神殿 (チリ・コンセプション神殿, コロンビア・バランキージャ神殿)	2
2018年度に再奉献された神殿 (テキサス州ヒューストン神殿, ユタ州ジョーダンリバー神殿)	2
年度末時点で儀式が執行されている神殿	161

大会で話された実話や物語の索引

総大会で話された経験談をいくつか選びました。個人の研究や家庭の夕べ、その他の教える機会に活用してください。数字は説教の最初のページです。

ニール・L・アンダーセン	(34) 同性にひかれる気持ちがある、ある男性は、自分の交わした聖約を忠実に守っている。これまでに一度も結婚したことのないある女性は奉仕することに焦点を当てている。
D・トッド・クリストファーソン	(81) イタリアの青少年たちは自分たちの先祖のために準備した神殿のカードをラッセル・M・ネルソン大管長に見せる。
カール・B・クック	(51) ボツワナで互いに強め合い改宗を助け合う「きずなで結ばれた兄弟たち」は伝道活動を通して、数えきれないほどの人々の人生に祝福を与える。神権定員会が集まり、若き日のカール・B・クック長老を祝福する。
クエンティン・L・クック	(76) ゴードン・B・ヒンクレイ大管長の招きは、O・ビンセント・ハレック長老の父親をバプテスマに導く助けとなる。
ベッキー・クレーブ	(9) 目撃者は、運転士が線路で立ち往生した車に衝突する前に列車の進路を変えようとしなかったことに文句を言う。
シャロン・ユーバンク	(73) ソルトレーク神殿の屋外の夜間用照明が点灯しない。夢によって、シャロン・ユーバンク姉妹は信仰を増し加えたいという望みがうまれる。
ゲレット・W・ゴング	(97) 万引き犯に対して憐れみの感情を抱いた後、ゲレット・W・ゴング長老の友人はイエス・キリストとキリストの贖いを理解し始める。
ブルック・P・ヘイルズ	(11) ブルック・P・ヘイルズ長老の二人の息子は、神が祈りにこたえてくださり、初めから終わりまで御存じであることを学ぶ。「これも過ぎ去る」は自分の目が見えなくなることを受け入れる忠実な女性のモットーとなる。
マティアス・ヘルド	(31) マティアス・ヘルド、アイリーン・ヘルド夫妻は研究と御霊を通して真理を識別した後、教会に入る。
デビッド・P・ホーマー	(41) 乗客として小型機に搭乗していたとき、デビッド・P・ホーマー長老は正しい声に耳を傾けることの重要性を学ぶ。デビッド・P・ホーマー長老と妻は祈りに対する答えはゆっくり与えられることもあることを学ぶ。デビッド・P・ホーマー長老の兄は逆境にもかかわらず最後まで耐え忍ぶ。
カイル・S・マッケイ	(105) 薬物乱用で苦しんでいるある女性と事故で息子を失ったある母親は、偉大な解放者により慰めと支えを受ける。
ラッセル・M・ネルソン	(67) ある母親と娘たちは自分たちの家族の中で男性たちがスポーツやゲームに夢中になり気に留めてもらえていない。 (88) ラッセル・M・ネルソン大管長と娘のウエンディーは、「最後の親子の語らい」の中で、「最も大切なこと」について話をする。山火事から人々が避難するのを助けていた警察官は、「わたしの家族はどこにいるのだろう」と疑問に思う。ラッセル・M・ネルソン大管長の友人は福音の祝福を受ける資格を得るために変わることを拒絶する。
ダリン・H・オークス	(60) 犬がリスにそっと近づくのを見ていた学生たちは、「その先に何があるだろうか」という問いかけを怠る。神殿で結婚するためにコロンビア人のカップルが行った5泊5日のバス旅行により、神殿結婚と福音についての彼らの感じ方が変わる。
デール・G・レンランド	(70) 「最初のぎこちない祈り」が、あるあまり活発でない会員が教会に対して、「これはわたしの宮である」という印象を受ける助けとなる。
ウリセス・ソアレス	(6) あるシングルマザーは自分の子供たちの心に福音の祝福を注ぎ込む。
ゲリー・E・スティーンソン	(47) 祭司で高校生であったとき、将来の使徒は勇気を持って、不適切な映画を見ることを友人に断る。
ファン・パブロ・ピラル	(95) 宣教師の兄と伝道をして一日を過ごした後、ファン・パブロ・ピラル長老はバプテスマを受け、伝道に行くことを決意する。
和田貴志	(38) 和田貴志長老の母親は、ある男の子の親切な行いを通して主が彼女の心に触れてくださった後、教会に加入する。
W・クリストファー・ワデル	(19) 家族と友人のミニスタリングの取り組みにより、W・クリストファー・ワデルビショップの兄は亡くなる少し前に福音を再度受け入れる。



ルーベン・V・アリオード長老

中央幹部七十人

ルーベン・アリオード長老は14歳のとき、アメリカ合衆国にいるおじのところで1年を過ごすためにアルゼンチンの自宅を離れました。父のルーベン・レイナルド・アリオードは早くに亡くなったので、ルーベンは「反抗的な精神」を募らせていました。

ルーベンを心配していた母マリアは、彼女の弟であるマヌエル・ブストスとその家族と一緒に生活するよう、テキサス州ヒューストンにルーベンを送り出したのです。マリアは弟家族に「あなたの末日聖徒の信条を息子に教えないでください」という条件を出しました。

けれども、福音の精神はこの苦悩している10代の少年の心に語りかけました。ルーベンは、教会が祈りと奉仕を通してブストス家族をどのように一つとしているかを観察し、自分の部屋の棚にたくさんあるモルモン書に気を留めずにはいられませんでした。

好奇心から1冊を引っ張り出すと、モルモン書が真実であることを祈りを通して知ることができるというモロナイの約束を見つけました。

この新しく召された中央幹部七十人は言います。「その約束に心が動かされました。モルモン書を読みたくなったのです。」

モロナイの約束を真剣に受け止め、はっきりとした答えを受けたので、バプテスマを受けたいと言うとおじのマヌエルは驚きました。そしてルーベンの母親の許可を得るために、すぐにルーベンをアルゼンチンに送り返しました。ルーベンは程なくしてバプテスマを受けました。それ以来、回復された福音はアリオード長老の人生の錨となっています。

ルーベン・ビンセント・アリオードは、1966年1月8日にブエノスアイレスで生まれ、1992年12月17日、ファビアナ・ベネット・ラマスとアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿で結婚しました。夫妻には6人の子供がいます。

アリオード長老は、ブエノスアイレスのベルグラノ大学で法律の学位を取得し、刑法を専門とする様々な法律関係の仕事に携わってきました。1998年以来、Alliaud Asociados (アリオード・アソシアドス)の業務執行社員として働いてきました。

アリオード長老はこれまで、地域七十人、アルゼンチン・コルドバ伝道部の会長、ステーキ会長、高等評議員、ビショップ、長老定員会会長、ウルグアイ・モンテビデオ伝道部の宣教師として奉仕してきました。この召しを受けたときは、インスティテュートの教師、アルゼンチン宣教師訓練センター会長会の第一顧問、および広報ディレクターとして奉仕していました。■



ホルヘ・M・アルバラード長老

中央幹部七十人

ミゲル・アルバラード、アイリス・アルバラード夫妻は、1977年、息子のホルヘが6歳のときにプエルトリコで教会に入りました。幼いホルヘは2年後にバプテスマを受け、安息日の集会を欠席することは決してありませんでした。

「しかしわたし自身の改宗は、16歳のときに訪れました」と新たに召されたこの中央幹部七十人は言います。

高校生のとき、地元ボンセでセミナーのクラス会長を務め始めました。その年、生徒たちはモルモン書を学んでいました。新たな責任を引き受け、自分の内面を見つめ直すようになりました。

「わたしは自分自身に、『モルモン書が真実であるということをはんとうに知っているだろうか』と問いかけずにはいられませんでした。モルモン書が真実だということも知らなかったら、どうしてクラス会長でいられるでしょうか。」

そして自分のモルモン書を手に取り、初めて熱心に読み始めました。

「ひざまずいて祈りました。そして真実であると知りました。」

モルモン書はアルバラード長老の人生に決定的な影響を与え続けています。

フロリダ州タンパ伝道部で専任宣教師として奉仕しているとき、教えるすべての人にモルモン書を分かち合いました。後には、妻と3人の子供たちと一緒にモルモン書を学びました。プエルトリコ・サンファン伝道部の伝道部会長として、モルモン書を愛して分かち合うよう宣教師たちにチャレンジしました。

今は、中央幹部七十人として、アルバラード長老は人生を変える真理をモルモン書から見いだすよう熱心に人々に勧め続けます。

ホルヘ・ミゲル・アルバラード・パゾは、1970年11月21日に生まれました。1992年12月19日に、ワシントンD・C神殿においてカリ・ルー・リオスと結婚しました。

プエルトリコ大学で経営管理を学んだ後、プエルトリコとアメリカ合衆国本土において企業経営の様々な立場で働きました。最近、ソルトレーク・シティーの教会本部において自立支援サービスの国際マネージャーとして働いていました。

アルバラード長老は、地域七十人、ステーキ会長、高等評議員、支部会長、ワード伝道主任として奉仕してきました。■



ハンス・T・ブーム長老

中央幹部七十人

ハンス・T・ブーム長老が8歳のとき、家族はアムステルダムからオランダの南部に位置するブレダ市に引っ越しました。インドネシアで育ち教会に改宗したオランダ人の父親は、自分の家族が大都市を離れて先祖の地に戻る必要があると感じたのでした。

ブーム長老が家族とともにその小さな支部で過ごした時間は、教会で奉仕するための教育の場となりました。これまでの人生で行ってきた奉仕は、中央幹部七十人としての新しい召しにおいても継続することでしょう。

「わたしのすべてとわたしが持っているすべては、主のおかげであると同時に、わたしが学び成長するために主が与えてくださった機会のおかげです」とブーム長老は言います。

ハンス・テオドロス・ブームは、1963年7月13日に、アムステルダムでハンス・ブーム、アンキー・ブーム夫妻の間に4人きょうだいの2番目の子供として生まれました。ブーム長老の両親は家庭で福音を教え、一生懸命に働くよう子供たちに勧めました。

18歳のとき、ブーム長老はイングランド・ロンドン東伝道部で奉仕しました。伝道が終わった数か月後に、ブーム長老は教会のヤングアダルトカンファレンスで将来の妻となるアリエナ・ヨハンナ・マルヤン・プロエクジッターに出会いました。二人はオランダのローンで1984年7月27日に結婚し、その3日後にイングランド・ロンドン神殿で結び固められました。夫妻には3人の息子がいます。

ブーム長老は、マルケンハーゲカレッジの学長の秘書として、また、Franchise Development Benelux (フランチャイズ・デベロップメント・ベネルックス)の採用担当者として働きました。中央幹部としての召しを受けたときは、MacLean Agencies (マクリン・エージェンシー)の販売部長を務めていました。

ブーム長老はこれまで、地域七十人、ステーキ会長顧問、ステーキ若い男性会長、支部会長、支部会長顧問として奉仕してきました。この召しを受けたときは、インスティテュート教師、オランダ・ハーグ神殿の神殿儀式執行者として奉仕していました。■



L・トッド・バッジ長老

中央幹部七十人

トッド・バッジ長老が幼い少年だったとき、どのように主の御心を求めるかを両親は教えてくれました。生涯を通して、すべての決断においてそれを実践するよう心がけてきました。

何年も後、妻と5人の子供とともにある家に落ち着いたとき、銀行や財務の職を離れるようにという霊的な印象を受けました。新たなキャリアを築くという変化には、大きな犠牲を必要とすることでしょう。

キャリアを変えるための多大な努力と準備の後、バッジ長老は助言をもらうのに比類なく適任である人物に会いました。この人物は、バッジ長老に銀行関係の職にとどまるように提案し、多くの人に助言と助けを与える機会を持つであろうことを気づかせました。「誠実なビジネスをする人々が必要です」とその人は言いました。

バッジ長老は、その出会いを主からの深い憐れみだと考えました。こう言います。「主は、わたしの心がどこにあるのかをお知りになりたかったのだと思います。主は一度わたしの心をお知りになると、犠牲を求められませんでした。職を変えなくても、主は御自分の目的のためにわたしを使ってくれと信頼しました。」

実際、バッジ長老のキャリアはそのビジネス界に良い影響を与え、日本で福音を分かち合う機会さえも開きました。

ローレンス・トッド・バッジは、1959年12月29日、アメリカ合衆国カリフォルニア州ピッツバーグで、ロウエル・ジェンセン・バッジ、ディアナ・プライス・バッジ夫妻の間に生まれました。プリガム・ヤング大学でお互いが1年生のときに、ローリー・カペナーと出会いました。日本福岡伝道部での奉仕から帰還して8か月後、二人はユタ州ローガン神殿で結婚しました。夫妻には6人の子供がいます。

1984年にBYUを卒業して経済学の学士号を取得してから、日本のBainCompany Japan (ベイン・カンパニー・ジャパン)、北アメリカのシティバンク、GEキャピタルで働きました。2003年に東京スター銀行の頭取兼最高経営責任者となり、2008年から2011年にわたって取締役会長を務めました。

バッジ長老はこれまで、地域七十人、日本東京伝道部会長、ステーキ会長、ピシヨップ、長老定員会会長、ステーキ若い男性会長として奉仕してきました。■



リカルド・P・ヒメネス長老

中央幹部七十人

チリ・アントファガスタの教会員は、2019年4月の総大会で地元における将来の神殿建設の発表と、地元の会員のリカルド・P・ヒメネス長老が中央幹部七十人に召されたことを末永く覚えていることでしょう。

ヒメネス長老がこの新しい召しの責任について深く考えるとき、「主から召される人は、主によって適格な者とされる」という金言の中に信仰と勇気を見いだします（トーマス・S・モンソン「召しの義務」『聖徒の道』1996年7月号、52）。

ヒメネス長老はこう言います。「過去にこの金言について何回も教えてきたことを、今度は自分自身に当てはめようとしています。天の御父は皆さんを召しておられます。神は皆さんを御存じです。ですから、神が望んでおられることをただ行って実行してください。すべてはうまくいくでしょう。」

リカルド・パトリシオ・ヒメネス・サラザールは1971年11月28日、リカルド・ベンジャミン・ヒメネス・ヒメノ、ミルト・ルシスカ・アマリア・サラザール・シグノリニ夫妻の2人の子供の長男として生まれました。ヒメネス長老は11歳のときに教会に入り、両親が離婚した後、母と妹とともにチリのサンティアゴに引っ越ししました。

1995年にヒメネス長老は、キャサリン・イボンヌ・カラザナスニエガとサンティアゴで出会いました。それは、彼女がおじと一緒にサンティアゴに住んでいる間にヒメネス長老と同じワードに出席し始めたときのことでした。二人は1997年9月12日にチリ・サンティアゴ神殿で結び固めを受け、二人の子供がいます。

ヒメネス長老は、1997年にサンティアゴ大学で会計学と会計監査学の学士号を取得し、2003年にチリ大学で経営管理の修士号を取得しました。ヒメネス長老の職業は、初めは鉱業分野でしたが、やがて情報技術分野に移り、ラテンアメリカのComputer Sciences Corporation（コンピューター・サイエンス・コーポレーション）の財務担当役員を務めました。2012年に鉱業界に戻り、まずSierra Gorda Mining（シエラ・ゴルダ・マイニング）、その後Robinson Nevada Mining Company（ロビンソン・ネバダ・マイニング・カンパニー）で働きました。

この召しを受けたとき、ヒメネス長老はステーキ会長会の顧問として奉仕していました。長老はこれまで、南アメリカ南地域の地域七十人、ステーキ会長、高等評議員、ビショップ、ビショップリックの顧問、ワード若い男性会長会の顧問、チリ・コンセプション伝道部で専任宣教師としても奉仕しました。■



ピーター・M・ジョンソン長老

中央幹部七十人

施設管理者とタクシー運転手の息子であるピーター・M・ジョンソン長老がブリガム・ヤング大学ハワイ校のバスケットボール奨学金を受けた後、インスティテュート教師の前に立っている自分に気づきました。

「すぐに教会に入る[か]、そうでなければ、しばらく時間がかかるね。」それがその教師の予測でした。

教師は正しかったのです。1年以上たってから、ピーターは「断食して祈り、答えを受けました。」ジョンソン長老は、1986年8月16日にバプテスマを受けました。

5人きょうだいの4番目であったピーター・マシュー・ジョンソンは、1966年11月29日、アメリカ合衆国ニューヨーク州クイーンズで、マッキンレー・ジョンソン、ジェニーバ・パリス・ロング夫妻の間に生まれました。

両親はジョンソン長老が11歳のときに離婚し、母親はハワイに引っ越ししました。その1年後、ピーターはネイション・オブ・イスラム運動に加わり、イスラム教徒になりました。このかかわりがきっかけとなり、イエス・キリストの福音を受け入れる備えとなったのでした。

15歳のとき、ピーターは母親と一緒に住むためにハワイに移りました。そこでスポーツ（特にバスケットボール）に目覚め、それが大学教育へとつながり、さらに末日聖徒イエス・キリスト教会の会員となり、アラバマ州バーミングハム伝道部で宣教師として奉仕し、1990年にステファニー・リン・チャドウィックと神殿結婚をしました。南ユタ大学でバスケットボールをしていたときに出会ったこの夫妻には、4人の子供がいます。

「わたしは主に仕えるためにここにいます」と、七十人の召しを受けたジョンソン長老は言います。「国籍や文化や出身にかかわらず、わたしの責任は、心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして主に仕え、主の民に対して主を代表することです。救い主はわたしたちすべてを愛しておられます。わたしたちは神の息子、娘です。」

ジョンソン長老は、南ユタ大学から会計学の学士号と修士号を取得し、アリゾナ州立大学から会計学の博士号を取得しました。そしてBYUハワイ校の准教授、ブリガム・ヤング大学の助教授、アラバマ大学の准教授として働いてきました。ジョンソン長老はこれまで、地域七十人、ステーキ会長、ステーキ財政担当書記、ワード伝道主任として奉仕してきました。■



ジョン・A・マキューン長老

中央幹部七十人

仕事を始めて間もないころ、ジョン・A・マキューン長老は上司と話している最中に、彼が末日聖徒イエス・キリスト教会についてあまり知らないことがすぐに分かりました。上司はマキューン長老に、なぜ末日聖徒はダンスをしたり、クッキーを食べたりしないのか尋ねたのです。

マキューン長老は、ほほえんでおなかをさすりながら、答えました。「もちろんわたしはクッキーを食べますよ。だれかほかの方々と混同しているんだと思います。」

話しながら、マキューン長老は教会に関する誤解を解きました。そこからイエス・キリストの福音についての話になり、常に福音を分かち合う準備をしておくことの重要性をマキューン長老は再確認しました。

「わたしたちは、救い主イエス・キリストの弟子であり、どこにいても、どのような状況にあっても、どのような機会にあってもそのようなのです」とマキューン長老は言います。「仕事があり、職業に就いていますが、それらは家族を支え、わたしたちが福音を分かち合える状況にいられるようにするためのものです。常に福音を分かち合う準備をしておくことは、イエス・キリストの弟子としての第一の責務です。」

ジョン・アレン・マキューンは1963年6月20日、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンタクルスで、クリフォード・マキューン、ジョアン・シュルシーズ・マキューン夫妻の間に生まれました。おもにアメリカ合衆国オレゴン州ニッサで育ちました。

日本福岡伝道部に専任宣教師として奉仕した後、マキューン長老は1984年にソルトレーク神殿でデブラ・エレン・キングズバリーと結婚しました。4人の子供がおり、アメリカ合衆国ユタ州ミッドウェーに住んでいます。

マキューン長老は、ブリガム・ヤング大学で財政学の理学士の学位を取得し、後にカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)で財政学の経営修士号を取得しました。1997年から2012年にかけて、Capital Investment Advisors(キャピタル・インベストメント・アドバイザーズ)にて上席副社長および業務執行取締役として働き、その後、ユタ州プロボ伝道部の伝道部会長として奉仕し、その後、末日聖徒慈善事業部において主要贈与品に関して寄贈者との調整役を務めました。

マキューン長老は新たにこの召しを受けるとき、地域七十人として奉仕していました。またこれまでに、ステーキ会長、ビショップ、ビショップリックおよび支部会長会顧問、長老定員会会長として奉仕してきました。■



ジェームズ・R・ラズバンド長老

中央幹部七十人

何年も前にステーキ会長会の一員として召されたとき、ジェームズ・R・ラズバンド長老は準備ができていないと感じました。「きっと間違いだ」と思いました。

19歳で韓国ソウル伝道部に専任宣教師として召され、準備のためにプロボ宣教師訓練センターに入所するときも、同様の力不足を感じていました。「どうしたらいいのだろうか」と考えました。

どちらの場合も答えは同じでした。「とどまりなさい。喜びはやって来ます。」また、母親の言葉を借りると、「主は今、完全な人を切らしているのよ。とにかく行って働きなさい。」

ラズバンド長老は中央幹部七十人という新たな召しを受けるに当たって少しためらいはありますが、答えを知っています。「天の御父がただ必要とされておられるのは、わたしたちが行って働き、御子とその贖いの犠牲に関して、癒しと喜びに満ちたメッセージを分かち合うことです。」

ジェームズ・リチャード・ラズバンドは、1963年3月20日にアメリカ合衆国ワシントン州シアトルで、ジェームズ・E・ラズバンド、エステル・ラズバンド夫妻の間に生まれました。アメリカ合衆国カリフォルニア州ペブルビーチの、海岸から180メートルほどにある家で育ちました。

ラズバンド長老は、ブリガム・ヤング大学の1年生のときにメアリー・ダイアン・ウィリアムズと出会いました。長老が5か月間イスラエルに海外留学していたときも、その後韓国ソウル伝道部で伝道していたときも、二人は互いに手紙を書きました。1984年8月11日、二人はカリフォルニア州ロサンゼルス神殿で結婚しました。夫妻には4人の子供がいます。

伝道後、BYUで英語と近東研究を専攻して1986年に学士号を取得し、その後1989年には、ハーバード大学法科大学院から法務博士の学位を取得しました。シアトルで5年間弁護士をした後、1995年にBYUに戻り、J・ルーベン・クラーク法科大学院の教員になりました。2009年から2016年まで法科大学院の学部長を務め、BYUの副学長となりました。

ラズバンド長老はこれまでに、地域七十人、ステーキ会長、ステーキ会長会顧問、高等評議員、ビショップ、ワード若い男性会長として奉仕してきました。■



ベンジャミン・M・Z・タイ長老

中央幹部七十人

ベンジャミン・M・Z・タイ長老の父方の祖父は、第二次世界大戦中に香港に侵攻した日本軍によって捕らえられ、投獄され、処刑されました。

10年後、タイ長老は、ブリガム・ヤング大学の学生ワードで長老定員会会長として奉仕しているとき、将来の妻となる、日本から来た當眞直美姉妹に出会いました。直美姉妹は扶助協会会長として奉仕していました。

ベンジャミンが彼女とデートしていて結婚するつもりであることを、名誉中央幹部で父親のクォック・ユン・タイ長老に打ち明けたとき、長老は一つも苦言を呈しませんでした。それに加えて、直美姉妹の両親の當眞陸男兄弟と富美子姉妹が香港に来てベンジャミンの両親を訪ねました。當眞夫妻は、イエス・キリストの福音がこの二人の結婚を可能にしてくれたと話しています。二人は1995年12月23日にソルトレーク神殿で結婚し、6人の子供がいます。

「わたしたちには異なった文化があります。しかし、共通の信仰と犠牲を結ぶ原則があります」とタイ長老は言います。タイ長老は、今やそのような信仰と犠牲の原則が世界中の末日聖徒と自分を結ぶことになると思っています。

ベンジャミン・ミン・ツェ・タイ長老は1972年5月20日に香港で、クォック・ユン・タイ、ファイ・ファ・タイ夫妻の間に生まれました。父親の仕事の関係で、タイ長老が後に10代を過ごしたアメリカ合衆国の南カリフォルニアに移住するまで、タイ長老の家族は世界各国で暮らしました。家では、タイ長老の両親が次の言葉を中国書道で書いた掛け軸を下げていました。「わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。」(ヨシユア 24:15)これがタイ家族の座右の銘となっています。

オーストラリア・メルボルン伝道部で奉仕した後、タイ長老は1996年にBYUから運動科学の学士号を取得し、2003年にカリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)から経営管理学の修士号を取得しました。その後、投資銀行と不動産開発の仕事で日本と香港で働きました。

タイ長老はこれまで、地域七十人、地方部会長、地方部会長顧問、地方部幹部書記、長老定員会会長、支部会長、日曜学校教師として奉仕してきました。■



アラン・R・ワーカー長老

中央幹部七十人

新しい文化を学び、その文化に浸るのは、アラン・R・ワーカー長老にとって生涯の趣味となりました。中央幹部七十人としての召しを果たすにはうってつけです。

1971年1月2日、アルゼンチンのブエノスアイレスで、ビクター・エイドリアン・ワーカー、クリスティーナ・オフィーリア・スパロウ・ワーカー夫妻の間に生まれたアラン・ロイ・ワーカーは、南北アメリカの様々な場所で育ちました。

幼いころはアルゼンチンで暮らし、家族は後に父親の仕事のためにアメリカ合衆国マサチューセッツ州ボストンへ、そしてメキシコのメキシコシティへと移り住みました。

「英語を身につけたことは、大きな祝福となりました」と長老は述べています。そして福音の中で育ったことで、証を養い、早くに伝道へ出る準備ができていました。1年間ブリガム・ヤング大学に通った後、ワーカー長老はテネシー州ナッシュビル伝道部で専任宣教師として奉仕しました。

伝道後、父親が重大な事故から回復するのを助けるために、学校に戻る計画を遅らせ、アルゼンチンへと帰りました。そのときにインスティテュートのダンスで、イネス・マルセラ・スレーに出会いました。8か月後の1993年8月12日、二人はアルゼンチン・ブエノスアイレス神殿で結婚しました。翌日、若い二人はアメリカ合衆国ユタ州プロボへ引っ越し、ワーカー長老は1996年に経済専攻の学士号を取得しました。

ワーカー長老は、法人向け担当者として3年間シティバンクで働き、教会の監査役として南アメリカ南地域で6年、メキシコ地域で11年、最近では南アメリカ南地域の実務ディレクターとして働きました。2010年に、メキシコ・モンテレー東伝道部の伝道部会長に召されました。

ワーカー夫妻は娘と一緒に、ほかの人々に奉仕をし、旅をし、新しい場所や、人々と知り合うのを楽しんでいます。

中央幹部七十人として召される前、ワーカー長老は、地域七十人、ステーク会長顧問、高等評議員、ビショップ、ビショップリック顧問、ワード伝道主任など、教会において様々な責任を果たしてきました。■



マーク・L・ペイス

中央日曜学校会長

教会の新たな中央日曜学校会長として奉仕するよう召されたことについてのインタビューで、マーク・L・ペイス兄弟は祈りに決意を表明了。

「天のお父様、わたしに望まれることは何であろうと喜んで行います。全身全霊をささげることを知っててください」と祈りました。

ペイス兄弟は、新たな召しにおいて望んでいることはおもに、教会員を祝福し、支援し、励ますことだと言います。「わたしたちが持てるすべてを与えたいです」と、この新しい中央日曜学校会長は言いました。

マーク・レオナルド・ペイスは、アルゼンチンのブエノスアイレスでローリン・ネルソン・ペイス、マリリン・ハイモア・ペイス夫妻のもとに1957年1月1日に生まれました。その当時、ペイス兄弟の父親はアルゼンチン伝道部の伝道部会長でした。

ペイス兄弟はお互いが小学2年生のときに、将来の妻、アン・マリー・ランゲランドとアメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティーで出会いました。後に、市内の別々の高校に通っているときに、セミナーの合同活動で再会しました。その後、彼女は父親がノルウェー・オスロ伝道部の伝道部会長として奉仕するために家族とともにノルウェーに行き、ペイス兄弟はスペイン・マドリッド伝道部で奉仕している間、数年間互いに手紙を書きました。二人は1978年11月21日にソルトレーク神殿で結婚し、7人の子供がいます。

ペイス兄弟は1980年にユタ大学を卒業して経済学の学士号を、1982年にハーバード・ビジネススクールで経営管理学の修士号を取得しました。ニューヨーク・シティーにおいてPrice Waterhouse (プライス・ウォーターハウス)で短い期間働いた後、1984年から2012年までソルトレーク・シティーにあるBoyer Company (ボイヤー・カンパニー)において、商業不動産開発の分野で働きました。スペイン・バルセロナ伝道部の伝道部会長として3年間奉仕した後、2015年にGardner Company (ガードナー・カンパニー)に加わり、不動産開発をしました。

新たな召しを受けたとき、ペイス兄弟は地域七十人として奉仕していました。以前の教会の召しには、ステーク会長会顧問、高等評議員、ビショップ、ビショップリック顧問、長老定員会会長、ワード若い男性会長、ボーイスカウトの隊長などがあります。■



ミルトン・カマルゴ

中央日曜学校会長会第一顧問

ほかの教会の聖職者であったエリオ・ダ・ローシャ・カマルゴが、末日聖徒イエス・キリスト教会のバプテスマを受けると決めるのには1年近くかかりました。その後少して、妻のナイル・ベルミラ・ダ・ローシャ・カマルゴも夫の模範に従ってバプテスマを受けることを決めました。

当時、ナイルは息子を妊娠しており、それがミルトンでした。教会に入るというカマルゴ夫妻がともにした決断は、家族を将来の世代にわたって永遠に祝福するものでした。

ミルトン・ダ・ローシャ・カマルゴ兄弟は、1958年3月10日にブラジルのサンパウロで生まれました。2019年4月6日に中央日曜学校会長会第一顧問として支持されたカマルゴ兄弟は、教会員として育ったことは祝福だと言います。

「主はわたしたちを個人的に御存じです」、また「主がわたしたち一人一人のために計画されていることは、わたしたちが想像できるよりも壮大なものです」と述べています。

カマルゴ兄弟は、1970年代後半に、父親がブラジル・リオデジャネイロ伝道部の伝道部会長をしていたときに妻パトリシアと出会いました。二人は1980年1月4日、カマルゴ兄弟がポルトガル・リスボン伝道部での専任宣教師としての奉仕から帰還した約1年後に結婚しました。夫妻には3人の子供がいます。

カマルゴ家は結婚当初はリオデジャネイロに住み、そこでカマルゴ兄弟はInstituto Militar de Engenharia (エンゲンハリア陸軍大学)において土木工学の学士号を修めました。後に、ブリガム・ヤング大学から経営管理学修士号を取得しました。

カマルゴ兄弟はその職業においてずっと、ほかの人を教育することに時間と労力を費やしてきました。Laureate Brazil Online Education (ローリエット・ブラジル・オンライン教育)、メキシコ工科大学を含む幾つかの大学で働き、最近ではBYUパスウェイ・ワールドワイドの教科課程統括責任者として働きました。

カマルゴ兄弟は、地域七十人、ブラジル・ポルトアレグレ南伝道部の伝道部会長(1997-2000年)、ブラジル宣教師訓練センターの会長会顧問(2002-2005年)、ビショップ、ステーク伝道部会長、長老定員会会長として奉仕してきました。■



ジャン・E・ニューマン

中央日曜学校会長会第二顧問

若い宣教師としてフランスのストラスブールで奉仕したとき、ジャン・E・ニューマン兄弟は霊的に特別な経験をして証を強め、天の御父の愛を感じるようになりました。この経験をしたのは、心の中に福音の種を植えることに関する預言者アルマの言葉をモルモン書から読んだときでした（アルマ 32：28；33：22 - 23 参照）。

ニューマン兄弟はこう言っています。「心の中にその種を植える場所を設けるなら、種は成長し、種が実際にふくらみつつあるのを感じると書いてあります。その部分を読んでいると、このことが真実であると御霊がわたしに強く証されたのを覚えています。種がふくらみつつあるを感じたのです。わたしは生涯このことを決して忘れないでしょう。」

この経験を含む様々な経験が福音に対するニューマン兄弟の証を固める助けとなり、夫、父親、イエス・キリストの弟子として生涯仕える備えとなりました。

ジャン・エリック・ニューマンは1960年4月16日、アメリカ合衆国アイダホ州ジェロームで、ジョージ・レイモンド・ニューマン、ドラ・ウォーカー・ニューマン夫妻のもとに生まれました。ニューマン兄弟は、アメリカ合衆国ネバダ州オーバートンで育ちました。父親は改宗者で、母親は数世代続く末日聖徒でした。

ニューマン兄弟は若いときに証を育み、フランスとベルギーで専任宣教師として奉仕しました。伝道の後、ニューマン兄弟はブリガム・ヤング大学でフランス語の学士号を取得しました。フランス語を学ぶことが非常に楽しかったので、フランス語の教師になることを考えていましたが、そうせず、ソフトウェア産業でキャリアを積み選択をしました。ニューマン兄弟は、30年以上継続して起業家として働き、業績の良いソフトウェア会社を数社設立しました。現在は、ユタ州アルパインにある技術コンサルティング会社、SageCreek Partners（セージクリーク・パートナーズ）の共同経営者を務めています。

ニューマン兄弟は、1984年8月18日、カリフォルニア州オークランド神殿でルシア・プライスと結婚しました。夫妻には6人の子供がおり、ユタ州エルクリッジ在住です。

ニューマン兄弟はこれまで、ステーキ会長、ビショップ、ワード若い男性会長、ボーイスカウトの隊長、神殿奉仕者として奉仕してきました。2006年から2009年まで、ネブラスカ州オマハ伝道部の会長として奉仕しました。■



ネルソン大管長の務めは続く

20 18年10月の総大会が終わると間もなく、ラッセル・M・ネルソン大管長はペルー、ボリビア、パラグアイ、ウルグアイ、チリを訪れ、会員や宣教師に会い、デイポーショナルを開きました。中でもチリで開かれた青少年向けのデイポーショナルには1,500人が参加し、全国に放送されました。大管長は会員に向けてスペイン語で話し、チリ・コンセプション神殿を奉獻し、地元政府の指導者たちと会合を持ちました。

ネルソン大管長が2018年10月の総大会で与えた4つの勧めを行って経験したことを報告するようと呼びかけると、何千人もの女性がソーシャルメディアでこたえました。4つの勧めとは、(1) ソーシャルメディアと有害なメディアを10日間断つ、(2) 2018年の終わりまでにモルモン書を読破する、(3) 定期的に神殿に参入する、(4) 扶助協会にしっかりと参加する、というものです。「わたしの呼びかけにこたえてくださりありがとうございます。この呼びかけの一つ一つが皆さんをさらに救い主に近づけたのであれば幸いです」とネルソン大管長は述べました。

ネルソン大管長は、がんと雄々しく闘った末に亡くなった娘のウェンディー・ネルソン・マックスフィールドの葬儀を管理し、このように述べました。「永遠の観点から見るができるようになれば、悲しみの涙が再会の涙に変わる時を待ち望むことができる



ラッセル・M・ネルソン大管長と七十人のエンリケ・R・ファアラベラ長老は、ペルー・リマのディボーションナルに迎え入れられました。

ようになります。」大管長はカリフォルニア州チコステークの会員の
ために開かれた特別ステーキ大会の中でも、亡くなった娘のこ
を話しました。そのステーキには、山火事による甚大な被害を受
けたパラダイス地域の二つのユニットも含まれています。大管長は
こう語りました。「試練はだれにでもあることが分かります。明
るい気持ちになりたかったら、自分を忘れてだれかのために奉仕
してください。」

ネルソン大管長はアメリカ合衆国アリゾナ州で、スポーツスタ
ジアムに集まった6万5,000人の群衆に向かって「幕の両側でイ
スラエルの集合を助けましょう」と呼びかけました。ネルソン大
管長はまた、Arizona Republic (『アリゾナ・リパブリック新聞』)
に記事を寄稿し、「主を仰ぎ見て、主を生活の中心に置きましょう」
と人々に呼びかけました。また、同州のテレビ局で放映されたイン
タビューに出演し、市民団体や教育界、宗教界の指導者たちを招
いたレセプションを幾つか開き、ヤングシングルアダルトとの質疑
応答に応じる部会を持ちました。

ネルソン大管長は2018年1月14日に聖任されて以来、5つの
大陸、16の国および特別行政区、24の都市を訪れ、5万5,000
マイル(8万8,515キロメートル)を旅しています。■

靈感に基づく指導

これまで、ラッセル・M・ネルソン大管長の下で以下のことが
行われてきました。

- 神権定員会が再編成される。
- ミニスタリングがホームティーチングと家庭訪問に代わる。
- 子供と青少年のための新しい個人の成長プログラムの作成が進む。
- 新版の賛美歌と『子供の歌集』の準備が進む。
- 青少年のビショップとの面接に関して新しい指針が定められる。
- 教会を正式名称で呼ぶことが強調される。
- アメリカ合衆国およびカナダで伝道の召しがインターネット上に掲示される。
- 「モルモンタバナクル合唱団」が、「テンプルスクウェア・タバナクル合唱団」に名称を変更する。
- 家庭を中心にして教会がサポートする福音学習が始まり、日曜日の集会も2時間に変更になる。
- 27の新しい神殿が発表される。
- 教会のページェント(野外劇)が、三大ページェントを除いて廃止になる。
- 初等協会および青少年の進級、若い男性の神権聖任、青少年の神殿推薦状の時期が誕生日を迎えてからではなく1月になる。
- 姉妹宣教師はフォーマルなスタイルのズボンの着用ができるようになる。
- 神殿の業にかかわる細かい部分に調整が加えられる。
- 新しい伝道部が創設されて管轄区域が変更になり、宣教師訓練センターが2か所閉鎖になる。
- LGBTの親がいる子供が、子供の祝福とバプテスマを受けられるようになり、同性婚に関する方針が明確化される。

そして、ネルソン大管長は、主の示されることにしたが、変更はこれから先もあると約束しています。■

セミナーを『わたしに従ってきなさい』に合わせる

全世界のセミナーは間もなく、『わたしに従ってきなさい』と同じ教科課程とスケジュールで学習を進めることとなります。この変更によって家庭と日曜学校、セミナーでの学習内容が統一され、家庭を中心にして教会がサポートする福音の学習方法の効果がさらに高まります。

2020年から、セミナーのクラスでは、毎年、『わたしに従ってきなさい』で学習する聖典と同じ聖典を学びます。セミナーのコースは、学校の年度ではなく通常の年間カレンダーに従って行われるようになります。

セミナーでの学習は引き続き聖文を基にして行いますが、その教科課程はさらに教義を基にしたものになり、青少年を強め、守り、伝道や結婚、教会での奉仕に備えさせる内容になります。■

さらに詳しい記事は、[ChurchofJesusChrist.org/go/519122](https://www.ChurchofJesusChrist.org/go/519122) を御覧ください。この記事には、ホランド長老などの教会指導者がこの変更について語るビデオへのリンクが記されています。



奉献で語られた「先例のない未来」

「この教会には先例のない前代未聞の未来が待っています」と、ラッセル・M・ネルソン大管長は2019年3月のイタリア・ローマ神殿の奉献式で述べました。「わたしたちは今、将来のために基礎を築いているのです。」

この奉献式には、大管長会と十二使徒定員会の全員が参加しました。アメリカ合衆国以外の場所でのこの全員が同じ場所に集まるのは初めてのことです。ネルソン大管長は言いました。「イエス・キリストの現代の使徒として、わたしたちは今日、古代の使徒たちが述べたと同様のメッセージをお伝えします。一神は生きておられ、イエスはキリストであられます。」

神殿の奉献に加えて、ネルソン大管長は神殿地区内の青少年を対象に話し、教皇フランシスコと会いました。教会の大管長が公式にローマ・カトリック教会の長に謁見したのはこれが初めてです。■

イタリア・ローマ神殿についてのコメントとローマでの写真は、[ChurchofJesusChrist.org/prophets-and-apostles](https://www.ChurchofJesusChrist.org/prophets-and-apostles) を御覧ください。

新しい方針, 手順, リソース

神殿に関する声明。大管長会は2019年1月2日に以下の声明を出しました(部分)。「何世紀にもわたり、神殿の業に関連した細部は定期的に調整されてきています。その中には、言語や建築方法、コミュニケーション、記録管理などが含まれています。主がその僕たちに指示を与える度に行われるこのような調整に終わりはないということとを預言者たちは教えてきました。」

子供と青少年の進級。各自の誕生日を迎えてからではなく1月に、子供は初等協会を修了し、青少年は年齢グループごとに一つのクラスまたは定員会から次のクラスまたは定員会に進級します。つまり、青少年は12歳になる年の1月に初めて限定神殿推薦状を受けられるようになり、若い男性は12歳になる年の1月にアロン神権に聖任できるようになるということです。

広がる奉仕の機会。LDS慈善事業団は、JustServe.orgとパートナーシップを組んで#YouCanDoSomethingキャンペーンを繰り広げることを発表しました。このキャンペーンでは、地元で奉仕するよう、また、世界を変える全世界的な良い活動に献金するよう人々に呼びかけます。参加する人は、LDSCharities.orgで“How to Help”(「助けるには」) ページを開いてください。

ミニスタリングの新しいリソース。ウェブサイト「This Is Ministering (これがミニスタリングです)」(ministering.ChurchofJesusChrist.org)が更新され、新しい記事やビデオが加わりました。〔訳注:日本語では現在、旧ウェブページ「強められたメルキゼデク神権定員会と扶助協会によって行われるミニスタリング」で一部を閲覧可能〕このサイトのリソースは読者が思いやりをもって手を差し伸べ、さらに意義深い関係を築き、人の話に耳を傾けるスキルを伸ばすなど、様々なことに役立つ

ちます。新しいコンテンツには、『リアホナ』に掲載された「ミニスタリングの原則」の記事があり、ミニスタリングに関する総大会の話へのリンクや、共有可能なビデオ、引用文、聖句もあります。

虐待の被害者への希望と癒し。教会の新しいウェブサイト abuse.ChurchofJesusChrist.org は、虐待の被害者や虐待を防ぎたいと思っている人たちのためのリソースや実用的なツールを提供しています。また、大管長会は、虐待に遭っている人たちに愛の手を差し伸べて助けるようと呼びかける手紙も、2019年3月26日付けで出しています。その手紙には、ビショップやステーク会長会が性的虐待の被害者に助言を与える方法や、教会員と面接をする方法の指針の載った最新のリソース文書が添付されています。教会は“Protect the Child”(「子供を守る」)というビデオも公開し、「福音のテーマ」の「虐待」の項も更新しました。

新しい機能やアプリ。「福音ライブラリー」アプリの前の更新で登場した「学習計画」機能を使うと、このアプリにあるコンテンツであればどのコンテンツでも学習スケジュールを設定することができ

ます。「準備ができている儀式」機能はファミリーサーチの新しいツールです。これを使うと、神殿に持って行く名前を簡単に見つけることができ、親族のために奉仕し、神殿の祝福を味わう時間をさらに増やすことができます。それにファミリーサーチには「先祖が歩んだ場所を歩く」など、家庭でできる新しい活動が40近くあり、若い会員が家族歴史に取り組めるよう助けることができます。これらの活動は10か国語で利用できます。

大規模な公演の廃止。地元の文化的、歴史的な行事は適切かもしれませんが、ページェント(野外劇)のような大規模な公演を今後、教会は奨励しません。次の3つのページェント(野外劇)は引き続き行われます:教会本部のサポートで行うアメリカ合衆国イリノイ州のノーブページェント。地域の指導者の指導の下で行うアメリカ合衆国アリゾナ州のメサページェント。地域の指導者の指導の下、4年に1度行うプリティッシュページェント。また、教会は神殿の奉獻前に行われる青少年による文化の祭典も廃止して、教会指導者を迎えた青少年のディボーションに力を入れます。■



子供と青少年は誕生日を迎えてからではなく1月に、年齢グループごとに一つのクラスまたは定員会から次のクラスまたは定員会に進級します。



ソルトレーク神殿を含む開拓者時代の神殿は改修され、そして、新たに8つの神殿が建設されます。

8つの新しい神殿と 歴史的な修復の発表

ラッセル・M・ネルソン大管長は、2019年4月の総大会の最後に、新たな8つの神殿の建設と、ソルトレーク神殿の修復作業の詳細を含む、開拓者時代の4つの神殿の修復について発表しました。

新しい神殿の建つ地域は、アメリカ領サモアのバゴバゴ、沖縄県沖縄市、トンガのネイアフ、アメリカ合衆国ユタ州のトゥーイル・バレー、アメリカ合衆国ワシントン州のモーゼスレイク、ホンジュラスのサン・ペドロ・スーラ、チリのアントファガスタ、ハンガリーのブダペストです。

ソルトレーク神殿の大規模な修復計画には、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティにあるテンプルスクウェアと、隣接する教会本部ビル近くのプラザの改修も含まれます。アメリカ合衆国ユタ州セントジョージとマンタイ、ローガンにある神殿も、近い将来に改修されます。「これ

らの工事に伴い、それぞれの神殿は一定の期間閉鎖します」とネルソン大管長は言っています。「教会員は引き続き近くのほかの神殿で礼拝と奉仕を行うことができます。各プロジェクトが完了した後、これらの歴史的価値のある神殿は、それぞれ再奉獻されます。」

ネルソン大管長は、2018年1月に教会の大管長になって以来、27の新しい神殿の発表をしてきました。2018年10月に行われた前回の総大会以降、イタリアのローマ、コロンビアのバランキージャ、チリのコンセプションの神殿が奉獻されました。■

すべての神殿のリストと各神殿の状況については、temples.ChurchofJesusChrist.org を御覧ください。

LGBTである 親の子供と、 同性婚をしている 会員に関する方針

レスビアンまたはゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーを自認する親は、ふさわしいメルキゼデク神権者による自分の子供への子供の祝福を要請できるようになり、子供が8歳になったら、大管長会の承認なしにバプテスマを受けさせることができるようになりました。この発表は、総大会時の指導者集会において、大管長会第一顧問のダリン・H・オークス管長が行いました。

これに加えて、同性婚は依然として「重大な背罪」と見なされるものの、教会はこれを「背教」という扱いで教会宗紀の対象にすることはなくなりました。「異性間または同性間の不道徳な行為も、同じように『背教』として扱うことはなくなります」とオークス管長は言っています。

これらの方針の変更は、「結婚または貞潔や道徳に関する神の戒めに関する教会の教義が変わったことの表れではありません。救いの計画の教義と貞潔の大切さは変わることがないのです」と、大管長会は公式声明で述べています。

オークス管長は、この方針は関係する家族のためになるはずであると言い、「それに加えて、さらに深い理解と思いやりと愛を示そうとする教会員の努力により、善意あるすべての人たちの中で互いを尊重する気持ちと理解が深まっていくはずです」と話しました。■

正しい名称の強調

末日聖徒イエス・キリスト教会を正しい名称と呼ぶために、コミュニケーション・チャンネル〔訳注：情報を伝えるための経路〕の変更が行われています。

ウェブサイトの変更

- 教会の公式サイト名はLDS.orgからChurch of Jesus Christ.orgに変わります。
- MormonNewsroom.orgは数か月以内にNewsroom.Church of Jesus Christ.orgに変わります。
- Mormon.orgは、現在おもな利用者（教会外の人）に個別に働きかけられるよう再構築している段階で、将来的にはComeUnto Christ.orgへと変わる予定です。

ソーシャルメディアチャンネルの変更

- 教会のおもなソーシャルメディアのアカウントはすべて、救い主の教会の名前を強調するものに変更されました。
- 会員は「The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints — Inspiration and News (末日聖徒イエス・キリスト教会 — インスピレーションとニュース)」という新しいフェイスブックグループ（英語）に自身の判断で入ることができます。このグループに入ると、教会関係のニュースや最新情報を知ることができ、教会内でコミュニティーや人とのつながりを築くことができます。

携帯アプリの変更

- 「LDS ミュージック」は「神聖な音楽」に変わります。
- 「福音ライブラリー」の名称はそのままです。わたしたちが皆で協力して救い主の教会の名称である「末日聖徒イエス・キリスト教会」という名称を強調しようと努力すれば、ほかにも変更することが出てくるかもしれません。■

多くの人を支援する人道支援活動

教会の人道支援部門であるLDS慈善事業団は、昨年、141か国2,885件のプロジェクトに参加し、1,900の提携人道支援組織と協力して働きました。2019年2月19日に発表されたLDS慈善事業団2018年度年間報告によると、1985年以来、LDS慈善事業団は、22億ドル以上を現金または物品、現物で197の国および特別行政区に支給してきました。

教会の人道支援活動は、神のすべての子供たちに対する思いやりと愛を原動力とし、困っている人を世話し、自立を助け、ボランティア精神と奉仕の精神を育むという、3つの指針となる原則を強調しています。イエス・キリストを信じる信仰に基づくこの3つの原則は、人種や宗教、国籍を問わず人と家族に力を与えます。

教会は緊急時の対応（ボランティア活動を含む）や視覚障がい者のためのサービス、妊産婦および新生児のケア、清潔な水と衛生、予防接種、車椅子およ

び歩行補助器具の普及、地元の解決策と地元資源の活用による食料自給自足の支援、難民への長期・短期の支援を行っています。教会はまた、アメリカ合衆国およびカナダの43の州で地元コミュニティーのプロジェクトに参加して、ホームレスを助けたり難民の定住先を探すなどの支援を行っています。

「わたしたちは、2018年度の人道支援事業を成功に導くのに貢献した一人一人に大きな感謝の気持ちと親近感を抱いています」と、LDS慈善事業団の会長であり中央扶助協会会長会第一顧問でもあるシャロン・ユーバンク姉妹は言い、この報告は何十万人もの人々の思いやりの表れだと述べています。■

この報告の全文は、ldscharities.orgで御覧ください。



母親になったばかりの女性の横に立つインドネシアの看護師。この出産施設の看護師は、LDS慈善事業団が運営する「新生児の呼吸補助」コースを修了しています。



LDS慈善事業団の技術者に車椅子を調整してもらった後で笑顔を見せるガーナの若い男性。

宣教師関係の ニュース

家族との連絡。宣教師は毎週準備の日に、手紙や電子メールに加えて携帯メールやオンラインメッセージ、電話、ビデオチャットによって家族と連絡を取ることが認可されるようになりました。

宣教師になろうとする人のための計画ツール。教会宣教師管理部の提供する新しいオンライン伝道計画ツールは、宣教師になろうとする人がさらに綿密によく考えて宣教師として主に仕える最良の時期を決めるために役立てることができます。

奉仕宣教師。2019年1月より、青年教会奉仕宣教師は「奉仕宣教師」と呼ばれるようになりました。すべてのヤングアダルトは、オンラインポータルを通して同じ方法で伝道に出る申請をします。そして、福音を宣べ伝える宣教師であろうと奉仕宣教師であろうと、伝道の召しはすべて預言者から来ます。様々な理由で福音を宣べ伝える宣教師の召しを受けていない、ふさわしいヤングアダルトは、奉仕宣教師の召しを受けることができます。

姉妹宣教師のズボンの着用。姉妹宣教師は通常の日々の活動にズボンを着用することができるようになりました。ただし、神殿に参入するときや日曜日の礼拝行事、指導者大会、ゾーン大会、バプテスマ会、宣教師訓練センターディボーションに出席するときは、引き続きワンピースまたはスカートを着用しなければなりません。スラックスを着用することにより、姉妹たちは蚊が媒介する感染症から守られ、寒い天候の中で温かく過ごすことができ、自転車がかぎやすくなります。

新設の伝道部と、管轄区域の変更。4つの伝道部が新設されました。そして、12の伝道部が既存の伝道部に吸収されます。このような変更は、奉仕する宣教師の人数

に合わせるために時々行われます。新設の伝道部は、コンゴ民主共和国キンシャサ東伝道部とグアテマラ・アンティグア伝道部、ペルー・リマタンボ伝道部、フィリピン・アンティポロ伝道部です。新設または吸収される伝道部で伝道している宣教師の親には、さらに詳しい情報が伝道部長から送られます。

宣教師訓練センターの数の変更。全世界にある宣教師訓練センターの全般的な活用状況を改善するために、アルゼンチンおよびスペイン、チリ、ドミニカ共和国にある宣教師訓練センターを閉鎖します。この閉鎖により、教会が運営する宣教師訓練センターは、ブラジルおよびコロンビア、イングランド、ガーナ、グアテマラ、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン、アメリカ合衆国ユタ州プロボ、南アフリカの11か所になります。

安全に関するビデオ。12部から成る新しいビデオシリーズ The Safety Zone (「安全なゾーン」) は、現在奉仕している6万5,000人の専任宣教師およびこれから伝道に出ようとしている人々を安全に守るために作られました。最初のビデオは、これから伝道に出る人が伝道の召しを受け取った後、宣教師訓練センターに入る前に親と一緒に見るものとして作成されています。宣教師はMTCで、ほかの11のビデオとともに最初のビデオをもう一度見ます。安全に関する注意喚起も、伝道期間中を通して定期的に宣教師に対して行われます。■



クウェートが正式に教会を認可する

教会は、地元の指導者や組織を認可するという通知を、クウェート国から正式に受け取りました。クウェートに居住して働いている、世界中の様々な国から来た末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は300人近くに及んでいます。政府から正式に認可されたことにより、地元の指導者は、クウェートの会員の必要をさらによく満たすことができるようになります。

マナマ・バーレーンステーキ、クウェートワードのテリー・ハラダイニビショップは、

クウェートでの礼拝の自由を与えてくれたこと、特に同国で働く海外駐在員への配慮と、国内の宗教規制の緩和に対して、クウェート政府に感謝の気持ちを述べました。■

活動のアイデア

会員が総大会メッセージから学ぶのを助ける方法はたくさんあります。以下に幾つかの例を示しますが、あなたの定員会や扶助協会において、もっと効果のあるアイデアがほかにもあるかもしれません。



- **グループで話し合う。**
参加者を小さなグループに分け、各グループに大会メッセージから別々の部分を割り当てて読んで話し合ってもらいます。その後、学んだ真理を各グループに発表してもらいます。または、それぞれ別の割り当て部分から学んだ人たちを一つのグループにして、学んだことを互いに分かち合ってもらうのもよいでしょう。
- **質問に答える。**
大会メッセージについて以下のような質問に答えるように勧めます。このメッセージから、どのような福音の真理を見つけましたか。これらの真理を当てはめるにはどうすればよいでしょうか。どのような勧めや約束された祝福が与えられているでしょうか。わたしたちが行うように神が望んでおられる業について、このメッセージは何を教えているでしょうか。
- **引用文を分かち合う。**
大会メッセージから、会員が救いの業における自分たちの責任を果たすように靈感を与えてくれる引用文を、分かち合ってもらいます。愛する人やミニスタリングを行う相手も含め、人々を祝福するために、それらの引用文をどのように分かち合うことができるかを考えるよう励まします。
- **物を使ったレッスンをする。**
前もって数人の会員に、大会メッセージの教えに関連した物を家から持って来るよう頼んでおきます。集会中に、それらの物がそのメッセージにどのように関連しているかを説明してもらいます。
- **家庭で教えるレッスンを準備する。**
会員二人に一組になってもらい、大会メッセージに基づいた家庭の夕べのレッスンを計画してもらいます。そのメッセージを自分の家族に関連付けるには、どうするとよいでしょうか。わたしたちがミニスタリングを行う相手と分かち合うには、どうすればよいでしょうか。
- **経験を分かち合う。**
大会メッセージの一部を一緒に読みます。その中にある教義を表したり、裏付けるような聖文や個人の経験を会員に分かち合ってもらいます。
- **聖文から学ぶ。**
大会メッセージの中の参照聖句の一つを読んでもらいます。そのメッセージの中の教えがどのように聖文をさらに理解する助けとなるかについて話し合ってもらいます。
- **答えを探す。**
前もって、大会メッセージを使って答えられる質問を幾つか作っておきます。深く考えさせたり福音の原則の応用を促すような質問をするようにします（『救い主の方法で教える』31 - 32 参照）。会員に質問を選んでもらい、メッセージの中から答えを見つけてもらいます。小さなグループに分かれ、自分たちの答えについて話し合ってもらいます。
- **言葉を見つける。**
大会メッセージを調べるように会員に勧め、自分にとって大切だと思う言葉を見つけて、学んだことを分かち合ってもらいます。その教えは主の業を成し遂げるうえで、どのような助けとなるでしょうか。
- **何かを作る。**
大会メッセージからの短い霊的なメッセージを入れたポスターやしおりを作成するように勧めます。作成したものを分かち合う機会を提供します。■

「御腕の中で安らかに
(わたしの一人息子も
その中にいた)」
ジュリー・ロジャーズ画

「この世には、教会の内外を問わず、苦難は尽きることがありません。どの方向を見ても、耐え難いような苦勞をしている人や、終わりのないような心の痛みを持つ人がいるでしょう。『いつも御子を覚え〔る〕』一つの方法は、重荷を負っている人の荷をともに負い、取り乱している人の傷を和らげるといふ主の終わりのない業に、偉大な医者である主とともに携わることです。」

十二使徒定員会、ジェフリー・R・
ホランド長老「見よ、神の小羊」46





「新旧両方の神殿について話すとき、自らの行いによって主イエス・キリストのまことの弟子であることを、わたしたち一人一人が示すことができますように。」ラッセル・M・ネルソン大管長は、教会の第189回年次総大会の最後の部会で述べました。「主に対する信仰と信頼を通してわたしたちの生活を新たにすることができますように。日々の悔い改めによって主の贖いの力にあずかることができますように。そして、神に仕え、幕の両側にいる神の子供たちに仕えるために人生を奉獻し、再奉獻することができますように。」

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



JAPANESE